

第 16 回
豊川市
市民意識調査

調査結果報告書

令和7年8月

豊 川 市

は じ め に

豊川市では、第6次総合計画に基づき、本市の未来像である「光・緑・人 輝くとよかわ」の実現を目指し、少子高齢化と人口減少への対応を意識し先を見据える視点に立ち、定住・交流施策、シティセールス、市民協働、行政経営改革に取り組みながら、多くの人に住みたい、訪れたいと思ってもらえるまちづくりを進めています。「元気なとよかわ 子育てにやさしく 人が集うまち」を政策の目標とし、今後の施策を展開していくために、皆様のご意見を積極的にお伺いすることが重要であると考えております。

そこで、市民の皆様に、市のこれまでの取組みに対する評価をいただき、現在の生活環境や今後のまちづくりについてのご意見等をお聴きするため、「第16回豊川市市民意識調査」を実施しました。

このたび、調査結果がまとまりましたのでここに公表するとともに、いただいた貴重なご意見については、市民の皆様に満足していただける市政の実現に向けて、活用してまいります。

最後に、ご多用中、本調査にご協力いただきました多くの市民の皆様に心から御礼申し上げます。

令和7年8月

豊川市長 竹本 幸夫

目次

I	調査概要	6
1	調査の目的	6
2	調査対象及び調査方法	6
3	調査票の回収状況	6
4	報告書の見方	6
II	考察	7
III	回答者の属性	8
1	性別	8
2	年齢	9
3	職業	10
4	通勤・通学先	11
5	居住年数	12
IV	調査結果	13
1	市全体の生活環境	13
1	豊川市の住みよさ	13
2	定住意向	16
2	豊川市の市政の評価	19
1	満足度の評価	19
2	重要度の評価	56
3	満足度と重要度の評価	93
3	安全・安心について	117
1	交通安全・防犯対策等の行政への期待	117
2	自転車の安全な利用のための心掛け	119
3	日ごろの地震に備えた対策	121
4	防災対策の行政への期待	124
5	衛生環境の行政への期待	127
6	地球温暖化対策の取り組み	130
4	子ども・若者について	132
1	子どもや若者支援のために行政が取り組むべきこと	132
2	子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと	134
5	健康・福祉について	137
1	健康の維持・増進のための心掛け	137
6	建設・整備について	140
1	公共交通機関の利便性の行政への期待	140
2	道路の整備の行政への期待	143
3	公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと	146

4	河川の整備のために行政が取り組むべきこと	149
7	教育・文化について	152
1	地域づくりに向けた学校と地域との関わり	152
2	生涯学習の活動状況	154
3	スポーツや運動の頻度	156
4	文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと	158
8	産業・雇用について	160
1	観光客増加のために取り組むべきこと	160
9	地域・行政について	163
1	まちづくり活動への参加状況	163
2	男女共同参画	165
3	外国人とのつきあい方	166
4	広報紙等の閲読率	168
①	広報とよかわ	168
②	議会だより	170
③	その他のお知らせ	171
5	市の職員の対応への評価	173
6	定住・交流施策	175
V	参考資料	179
1	標本誤差	179
2	使用調査票	180
3	図表目次	196

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、市民の意見や要望を幅広く、正確にとらえ、市民参加の市政を進めるため、実施したものである。令和5年度に実施した前回調査に引き続き、ここ数年間の市民意識の変化を把握し、施策効果を確認するとともに、市民の市政参加意欲を高めることを目的とした。

2 調査対象及び調査方法

①調査地域

- ・豊川市全域

②調査対象者

- ・豊川市に在住する18歳以上の男女

③標本数

- ・5,000人

④標本抽出方法

- ・住民基本台帳等による無作為抽出

⑤調査期間

- ・令和7年4月28日から5月16日まで

⑥調査方法

- ・郵送配布、郵送回収及びWeb回答

3 調査票の回収状況

有効配布数	4,988 件	配布数	5,000 件
有効回収数(内 Web 回答)	2,635 件 (666 件)	回収数	2,641 件
有効回収率	52.8 %		

4 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示している。
- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100.0%にならない場合もある。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合がある。
- ・グラフ・表として示したもののうち、回答数が0の場合は表示を省略している。また、選択肢が無いために該当する数値が無い場合は※印で表示している。
- ・グラフ・表や文中において、選択肢の文章を簡略化してある場合がある。

Ⅱ 考察

本調査の主要なポイントは、市政に対する満足度・重要度の意識変化を確認し、市民がどのような施策を望んでいるのか把握することにある。そこで、住みよさ・満足度・重要度・優先度の視点から本調査結果を考察する。

● 『住みよい』と回答した人の割合が7割超

総合的に豊川市は住みやすいと感じるかどうかに着目すると、『住みよい』（「住みよい」・「どちらかといえば住みよい」）と回答した人が7割を上回っている。一方、『住みにくい』（「どちらかといえば住みにくい」・「住みにくい」）は1割を大幅に下回っている。今後も引き続き市民が住みやすいと感じる豊川市を目指して施策を推進していくことが必要である。

● 【満足度】経年比較では、全体的に満足度平均値が減少傾向。最も満足度が低いのは、「歩行者にとっての道路の安全性」である

満足度平均値が最も高い項目は、「水道水の安全・安定供給」（0.98）であり、満足度が最も低い項目は、「歩行者にとっての道路の安全性」（-0.25）となっている。

全体の項目（全49項目）別にみると、満足度がプラス（0以上）項目は44項目で、満足度がマイナス（0未満）項目は5項目となっており、前回調査と比較すると、16項目で満足度が増加する結果となった。今後も引き続き全体的に施策の満足度を向上させる取り組みの継続が必要となっている。

特に、全項目中で満足度がマイナスとなっている5項目「歩行者にとっての道路の安全性」「公共交通機関の利便性」「道路の整備状況」「中心市街地の活性化」「観光の振興」の満足度をあげる取り組みが求められる。

● 【重要度】重要度平均値が相対的に高い分野は『安全・安心』で、「地震などに対する防災対策」が求められている

重要度平均値が最も高い項目は、「地震などに対する防災対策」（1.56）で、次いで「救急体制」「水道水の安全・安定供給」（いずれも1.49）、「歩行者にとっての道路の安全性」「防犯対策」「医療環境」（いずれも1.46）の順となっており、上位6項目のうち5項目が『安全・安心』分野の項目となっている。

また、分野別にみると『安全・安心』分野の重要度平均値が最も高くなっている。

● 【優先度】「歩行者にとっての道路の安全性」を筆頭に、『安全・安心』分野での充実が求められている

優先度平均値が最も高い項目は、「歩行者にとっての道路の安全性」（1.71）となっており、2番目に高い「地震などに対する防災対策」（1.53）より0.18ポイント高くなっている。また、優先度上位5項目の内4項目が『安全・安心』分野となっている。そのため、この分野の取り組みを強化していくことが求められていることがわかる。

Ⅲ 回答者の属性

1 性別

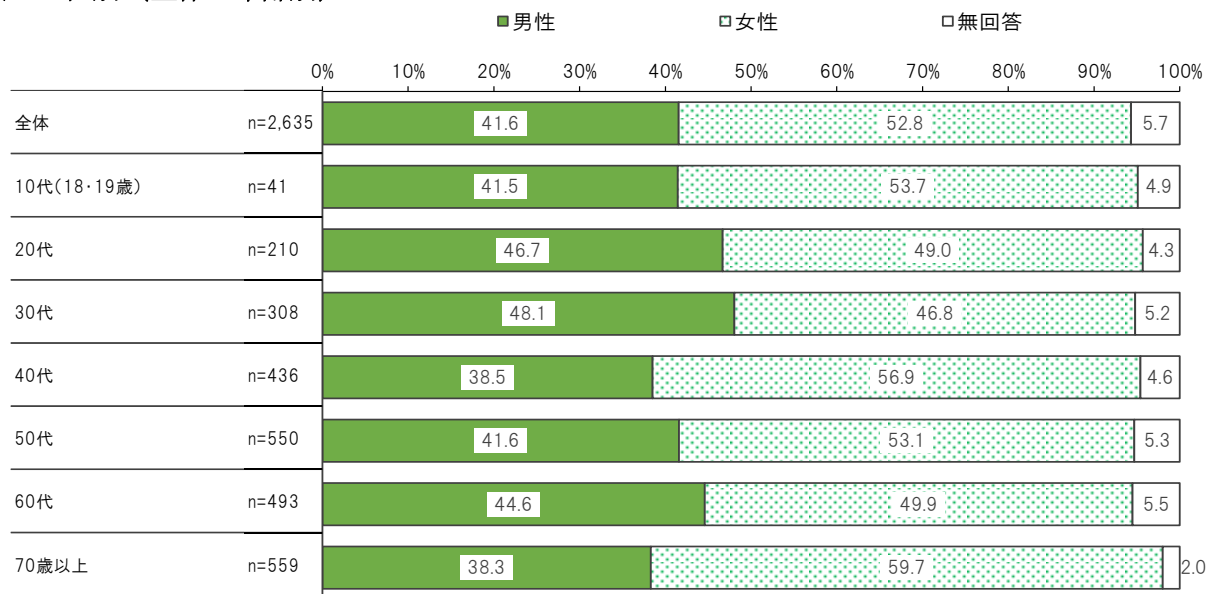
◆ 「男性」が41.6%、「女性」が52.8%

回答者の性別は、「男性」が41.6%、「女性」が52.8%となっている。【図表 1】

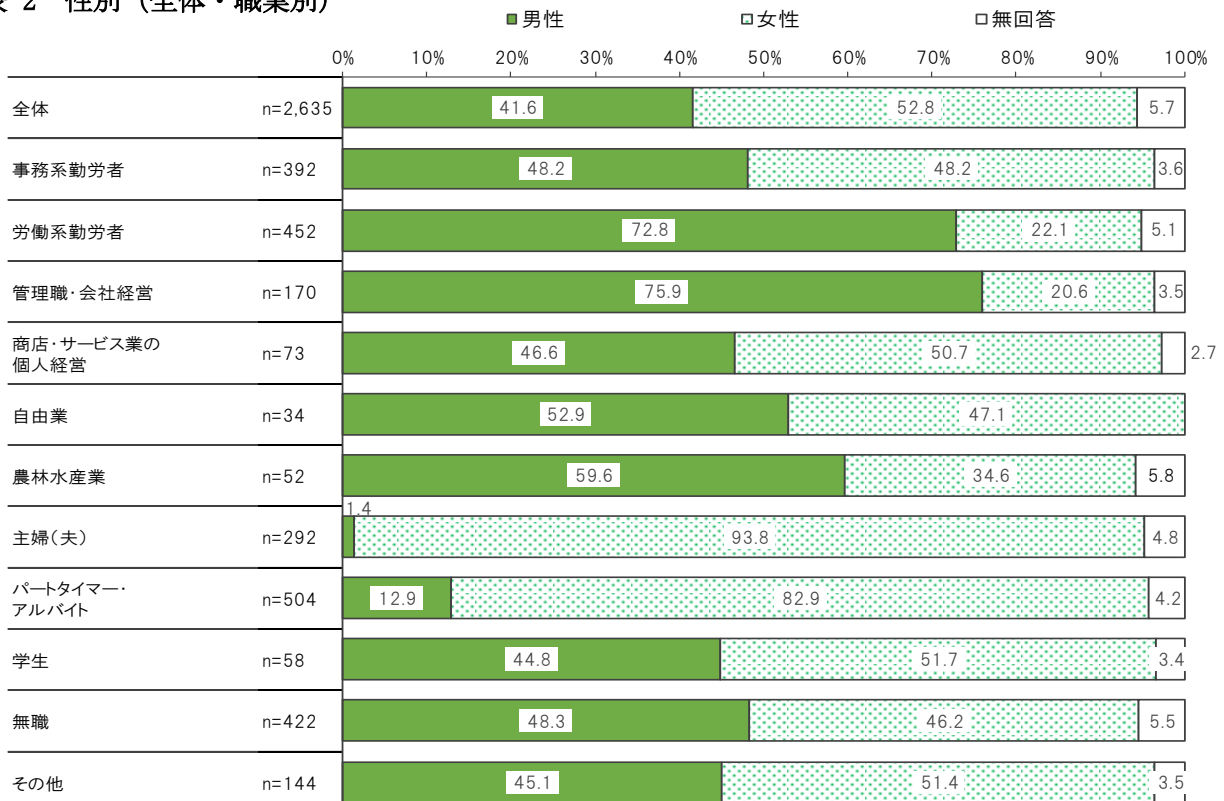
年齢別でみると、「男性」の割合が最も高いのは「30代」（48.1%）で、「女性」の割合が最も高いのは「70歳以上」（59.7%）となっている。【図表 1】

職業別でみると、「男性」の割合が最も高いのは「管理職・会社経営」（75.9%）で、次いで「労働系勤労者」（72.8%）となっている。「女性」の割合が最も高いのは「主婦（夫）」（93.8%）で、次いで「パートタイマー・アルバイト」（82.9%）となっている。【図表 2】

図表 1 性別（全体・年齢別）



図表 2 性別（全体・職業別）



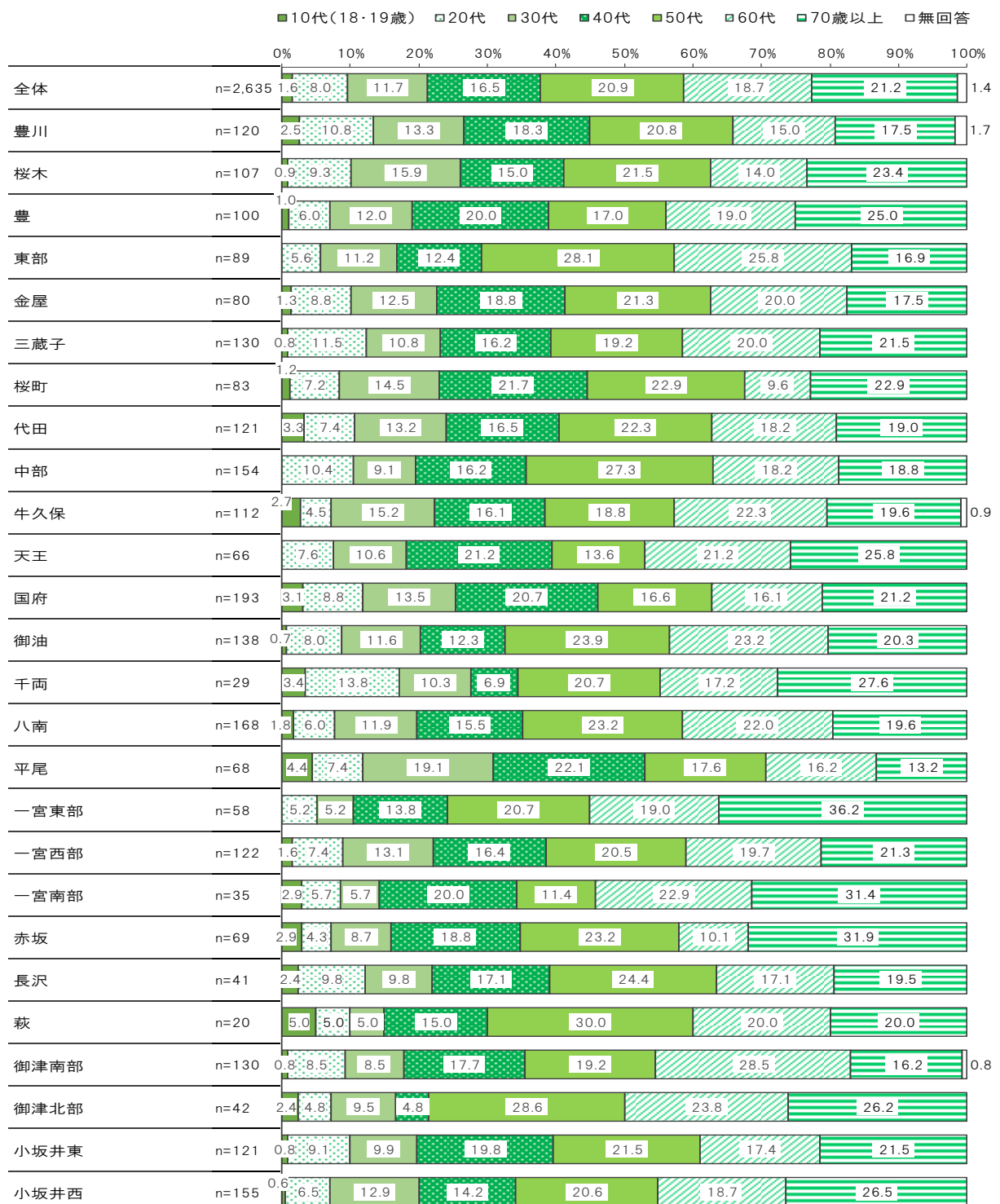
2 年齢

◆ 「70歳以上」が21.2%、「50代」が20.9%、「60代」が18.7%

回答者の年齢は、「70歳以上」(21.2%)が最も高く、次いで「50代」(20.9%)、「60代」(18.7%)、「40代」(16.5%)、「30代」(11.7%)、「20代」(8.0%)、「10代(18・19歳)」(1.6%)の順となっている。【図表3】

小学校区別でみると、「10代(18・19歳)」では「萩小学校区」(5.0%)、「20代」では「千両小学校区」(13.8%)、「30代」では「平尾小学校区」(19.1%)、「40代」では「平尾小学校区」(22.1%)、「50代」では「萩小学校区」(30.0%)、「60代」では「御津南部小学校区」(28.5%)、「70歳以上」では「一宮東部小学校区」(36.2%)で割合が最も高くなっている。【図表3】

図表3 年齢（全体・小学校区別）



3 職業

◆ 「パートタイマー・アルバイト」が19.1%、「労働系勤労者」が17.2%

回答者の職業は、「パートタイマー・アルバイト」(19.1%)の割合が最も高く、次いで「労働系勤労者」(17.2%)、「無職」(16.0%)の順となっている。【図表 4】

性別でみると、「男性」では「労働系勤労者」(30.0%)、「女性」では「パートタイマー・アルバイト」(30.1%)の割合が最も高くなっている。【図表 4】

年齢別でみると、「10代(18・19歳)」では「学生」(80.5%)、「20代」・「30代」では「労働系勤労者」(31.4%・32.1%)、「40代」・「50代」・「60代」では「パートタイマー・アルバイト」(25.9%・25.1%・24.7%)、「70歳以上」では「無職」(50.8%)の割合が最も高くなっている。【図表 4】

小学校区別でみると、「千両小学校区」では「パートタイマー・アルバイト」(34.5%)の割合が全体より15.4ポイント、「無職」(27.6%)の割合が全体より11.6ポイント高くなっている。【図表 4】

図表 4 職業(全体・性別・年齢・小学校区別)

														(%)
		件数	事務系勤労者	労働系勤労者	管理職・会社経営	個人商店・サービス業の経営	自由業	農林水産業	主婦(夫)	パートタイマー・アルバイト	学生	無職	その他	無回答
全 体		2,635	14.9	17.2	6.5	2.8	1.3	2.0	11.1	19.1	2.2	16.0	5.5	1.6
性別	男性	1,096	17.2	30.0	11.8	3.1	1.6	2.8	0.4	5.9	2.4	18.6	5.9	0.2
	女性	1,390	13.6	7.2	2.5	2.7	1.2	1.3	19.7	30.1	2.2	14.0	5.3	0.3
年齢別	10代(18・19歳)	41	7.3	9.8	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	80.5	0.0	0.0	0.0
	20代	210	25.7	31.4	4.3	0.5	1.4	1.0	4.8	9.5	11.4	2.9	7.1	0.0
	30代	308	24.7	32.1	3.9	1.9	1.3	1.0	8.1	12.3	0.0	4.2	10.1	0.3
	40代	436	20.9	24.1	9.9	3.2	1.1	0.2	5.7	25.9	0.0	2.3	5.7	0.9
	50代	550	19.1	19.3	12.7	2.9	2.0	1.3	8.0	25.1	0.2	2.9	6.4	0.2
	60代	493	11.6	12.0	6.1	3.9	1.6	2.2	15.2	24.7	0.0	18.9	3.9	0.0
	70歳以上	559	1.1	2.0	1.1	2.9	0.5	4.8	20.2	13.1	0.0	50.8	3.4	0.2
居住 小学校区別	豊川小学校区	120	17.5	19.2	8.3	5.0	1.7	0.8	10.0	10.8	5.0	15.0	6.7	0.0
	桜木小学校区	107	16.8	22.4	3.7	1.9	0.9	0.0	12.1	15.0	0.9	16.8	8.4	0.9
	豊小学校区	100	12.0	12.0	8.0	5.0	1.0	1.0	13.0	24.0	3.0	13.0	8.0	0.0
	東部小学校区	89	15.7	11.2	4.5	5.6	1.1	9.0	12.4	23.6	0.0	10.1	6.7	0.0
	金屋小学校区	80	20.0	20.0	5.0	1.3	1.3	0.0	10.0	11.3	1.3	18.8	11.3	0.0
	三蔵子小学校区	130	17.7	15.4	6.2	0.8	0.8	5.4	12.3	23.1	0.8	11.5	5.4	0.8
	桜町小学校区	83	15.7	22.9	7.2	0.0	2.4	1.2	14.5	22.9	1.2	8.4	3.6	0.0
	代田小学校区	121	14.9	24.0	6.6	4.1	0.0	0.0	9.9	14.0	3.3	16.5	6.6	0.0
	中部小学校区	154	10.4	18.2	9.1	3.2	2.6	0.0	11.0	22.1	1.3	17.5	4.5	0.0
	牛久保小学校区	112	17.9	12.5	3.6	6.3	1.8	2.7	9.8	19.6	2.7	17.0	5.4	0.9
	天王小学校区	66	9.1	22.7	7.6	3.0	0.0	6.1	9.1	16.7	1.5	16.7	7.6	0.0
	国府小学校区	193	21.8	16.6	6.7	2.1	0.5	0.5	11.4	17.6	2.6	15.5	4.1	0.5
	御油小学校区	138	21.0	11.6	4.3	1.4	1.4	0.0	15.2	21.7	1.4	18.8	2.9	0.0
	千両小学校区	29	3.4	3.4	6.9	3.4	0.0	10.3	6.9	34.5	3.4	27.6	0.0	0.0
	八南小学校区	168	17.9	16.1	6.0	1.8	0.6	1.8	8.9	20.8	3.6	19.6	3.0	0.0
	平尾小学校区	68	17.6	19.1	7.4	5.9	0.0	2.9	16.2	10.3	5.9	5.9	8.8	0.0
	一宮東部小学校区	58	12.1	10.3	3.4	3.4	1.7	8.6	15.5	19.0	0.0	22.4	3.4	0.0
	一宮西部小学校区	122	15.6	18.9	11.5	0.8	1.6	1.6	6.6	18.0	1.6	17.2	5.7	0.8
	一宮南部小学校区	35	14.3	11.4	8.6	2.9	0.0	5.7	17.1	14.3	2.9	20.0	2.9	0.0
	赤坂小学校区	69	8.7	17.4	10.1	1.4	0.0	0.0	10.1	15.9	5.8	26.1	2.9	1.4
	長沢小学校区	41	14.6	19.5	7.3	2.4	4.9	2.4	12.2	12.2	2.4	12.2	7.3	2.4
	萩小学校区	20	15.0	20.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	25.0	10.0	20.0	0.0	0.0
	御津南部小学校区	130	13.1	16.2	6.2	4.6	1.5	3.1	7.7	27.7	0.8	13.8	4.6	0.8
	御津北部小学校区	42	11.9	16.7	4.8	2.4	2.4	2.4	7.1	28.6	4.8	14.3	4.8	0.0
	小坂井東小学校区	121	9.1	17.4	6.6	3.3	2.5	0.8	12.4	24.0	1.7	16.5	5.8	0.0
	小坂井西小学校区	155	9.7	21.9	6.5	1.3	1.3	0.6	14.8	18.7	0.6	16.8	7.7	0.0

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

4 通勤・通学先

◆ 「豊川市内」が44.7%、「通勤・通学していない」が20.0%

回答者の通勤・通学先は、「豊川市内」(44.7%)が最も高く、次いで「通勤・通学していない」(20.0%)、「豊橋市」(10.3%)の順となっている。【図表 5】

性別では、「豊川市内」は女性(49.1%)が男性(40.7%)を8.4ポイント上回り、「豊橋市」は男性(13.4%)が女性(8.3%)を5.1ポイント上回っている。【図表 5】

年齢別でみると、「10代(18・19歳)」では「名古屋市」(31.7%)が、「20代・30代・40代・50代・60代」では「豊川市内」がそれぞれ最も割合が高く(46.7%、51.0%、55.3%、60.4%、42.8%)、「70歳以上」では「通勤・通学していない」(46.7%)が最も割合が高くなっている。

【図表 5】

職業別では、「主婦(夫)」、「学生」、「無職」以外の職業の人は、いずれも「豊川市内」の割合が最も高くなっている。「学生」の通学先では、「名古屋市」の割合が高くなっている。【図表 5】

図表 5 通勤・通学先(全体・性別・年齢・職業別)

													(%)
		件数	通勤・通学していない	豊川市内	豊橋市	蒲郡市	新城市	田原市	岡崎市	名古屋市	左記以外の愛知県	県外	無回答
全 体		2,635	20.0	44.7	10.3	1.8	2.1	0.9	2.4	2.8	4.0	1.9	9.0
性別	男性	1,096	16.1	40.7	13.4	2.0	3.0	1.6	3.6	4.1	7.5	3.0	4.9
	女性	1,390	23.0	49.1	8.3	1.7	1.4	0.4	1.5	1.8	1.4	1.0	10.2
年齢別	10代(18・19歳)	41	2.4	9.8	17.1	2.4	0.0	0.0	2.4	31.7	22.0	12.2	0.0
	20代	210	6.7	46.7	14.3	1.9	2.9	1.4	4.3	10.0	6.2	3.8	1.9
	30代	308	12.3	51.0	13.3	2.3	2.3	1.9	5.2	2.9	5.5	1.9	1.3
	40代	436	7.3	55.3	16.7	3.0	3.2	1.1	3.2	1.8	5.0	1.4	1.8
	50代	550	8.2	60.4	12.5	1.6	2.7	0.9	1.8	2.5	5.8	2.0	1.5
	60代	493	27.6	42.8	6.9	2.4	1.8	1.2	1.8	1.2	2.2	2.4	9.5
	70歳以上	559	46.7	23.8	3.2	0.4	0.7	0.0	0.7	0.4	0.4	0.4	23.4
職業別	事務系勤労者	392	0.5	47.4	19.4	2.0	4.1	1.8	3.6	8.2	9.7	3.1	0.3
	労働系勤労者	452	0.2	55.3	18.4	2.4	5.3	3.1	5.8	0.9	5.3	3.3	0.0
	管理職・会社経営	170	0.6	49.4	15.9	4.1	2.4	1.2	5.3	3.5	11.2	4.7	1.8
	商店・サービス業の個人経営	73	11.0	74.0	5.5	1.4	1.4	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	4.1
	自由業	34	17.6	55.9	17.6	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0
	農林水産業	52	40.4	51.9	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8
	主婦(夫)	292	69.2	10.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	19.2
	パートタイマー・アルバイト	504	0.4	83.9	8.7	2.6	1.2	0.0	1.4	0.4	0.8	0.2	0.4
	学生	58	0.0	5.2	12.1	1.7	0.0	0.0	1.7	39.7	25.9	13.8	0.0
	無職	422	65.2	4.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	29.6
	その他	144	5.6	58.3	14.6	3.5	2.8	0.7	2.1	1.4	3.5	2.8	4.9

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

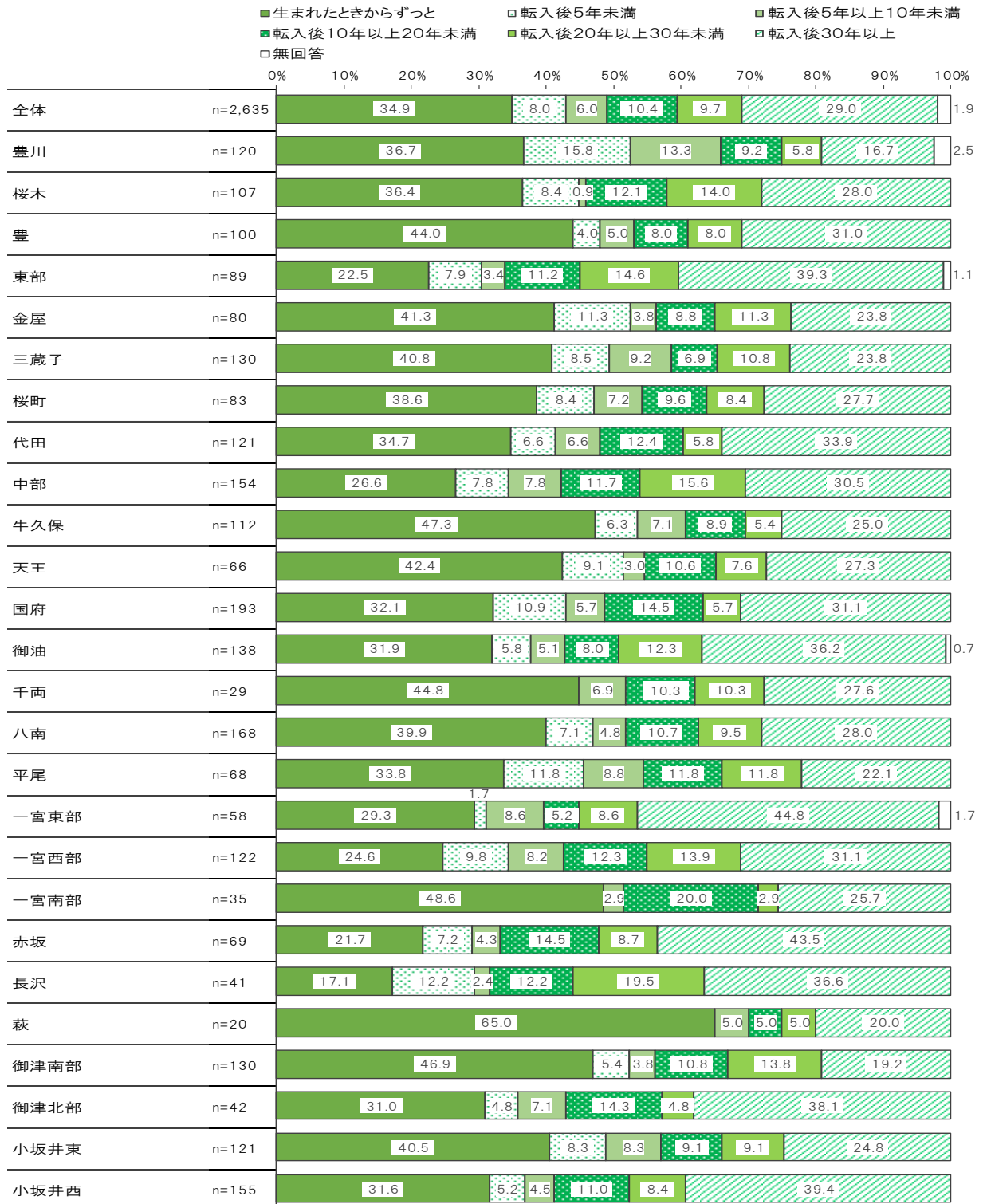
5 居住年数

◆ 「生まれたときからずっと」が34.9%、「転入後30年以上」が29.0%

回答者の居住年数は、「生まれたときからずっと」(34.9%)の割合が最も高く、次いで「転入後30年以上」(29.0%)が高くなっている。【図表6】

小学校区別にみると、「生まれたときからずっと」の割合は、「萩小学校区」(65.0%)が最も割合が高くなっているほか、「一宮南部小学校区」(48.6%)、「牛久保小学校区」(47.3%)で高くなっている。「転入後30年以上」の割合は「一宮東部小学校区」(44.8%)、「赤坂小学校区」(43.5%)で高くなっている。【図表6】

図表6 居住年数（全体・小学校区別）



IV 調査結果

1 市全体の生活環境

1 豊川市の住みよさ

問1 豊川市は、住みよいまちだと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

◆ “住みよい” が72.4%、“住みにくい” が3.6%

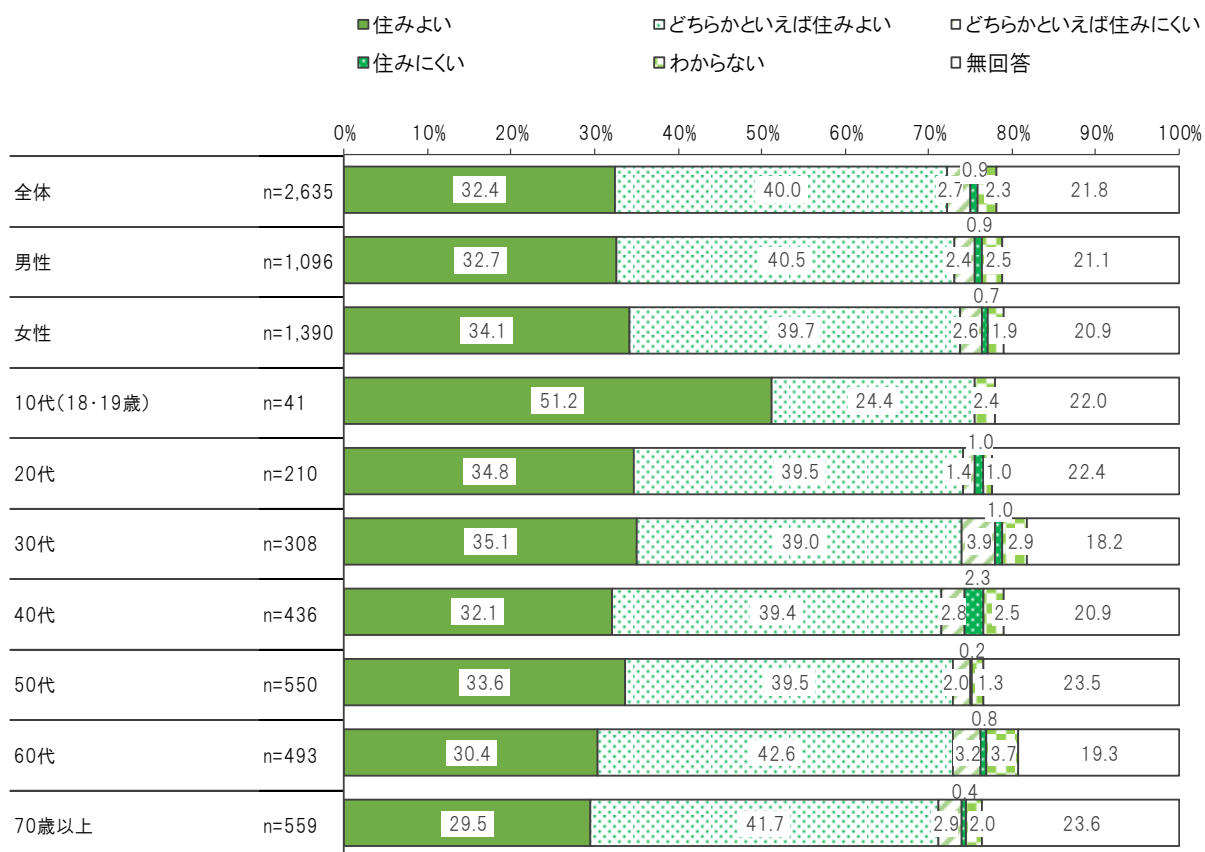
豊川市の住みよさについては、「どちらかといえば住みよい」（40.0%）の割合が最も高く、次いで「住みよい」（32.4%）となっており、この2つをあわせた“住みよい”は72.4%となっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」（2.7%）、と「住みにくい」（0.9%）をあわせた“住みにくい”は3.6%となっている。【図表7】

性別でみると、“住みよい”の割合が「男性」（73.2%）、「女性」（73.8%）となり、「男性」の方が0.6ポイント低くなっている。【図表7】

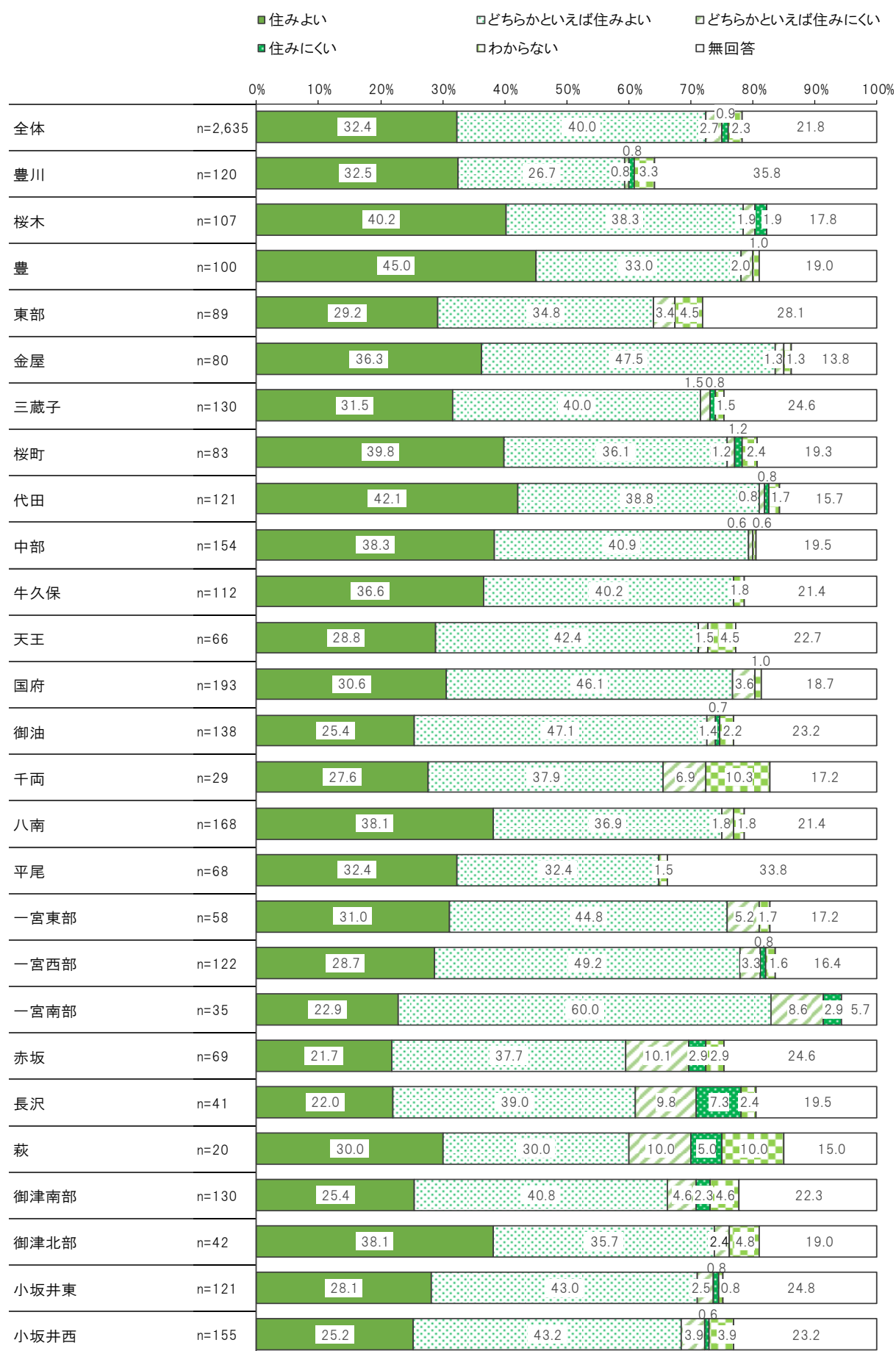
年齢別でみると、“住みよい”の割合は「10代（18・19歳）」（75.6%）が最も高く、「70歳以上」（71.2%）が最も低くなっている。【図表7】

小学校区別でみると、“住みよい”の割合が高い学区は、「金屋小学校区」（83.8%）、「一宮南部小学校区」（82.9%）、「代田小学校区」（80.9%）となっている。一方、“住みにくい”の割合が高い学区は、「長沢小学校区」（17.1%）、「萩小学校区」（15.0%）、「赤坂小学校区」（13.0%）となっている。【図表8】

図表7 豊川市の住みよさ（全体・性別・年齢別）



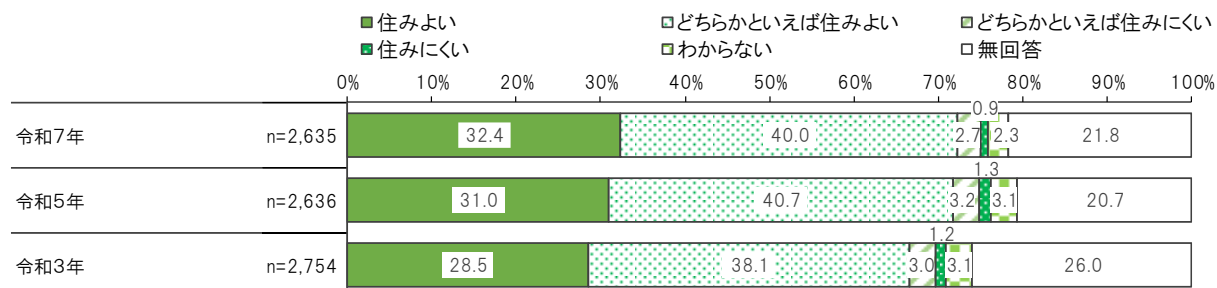
図表 8 豊川市の住みよさ（全体・小学校区別）



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、“住みよい”の割合は前回調査と比較して0.7ポイント増加、“住みにくい”の割合は0.9ポイント減少している。【図表 9】

図表 9 豊川市の住みよさ（経年比較）



2 定住意向

問 33 あなたは、今後も豊川市にお住まいになりますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

◆ 「ずっと住み続ける」が46.3%、「できればずっと住み続けたい」が30.6%

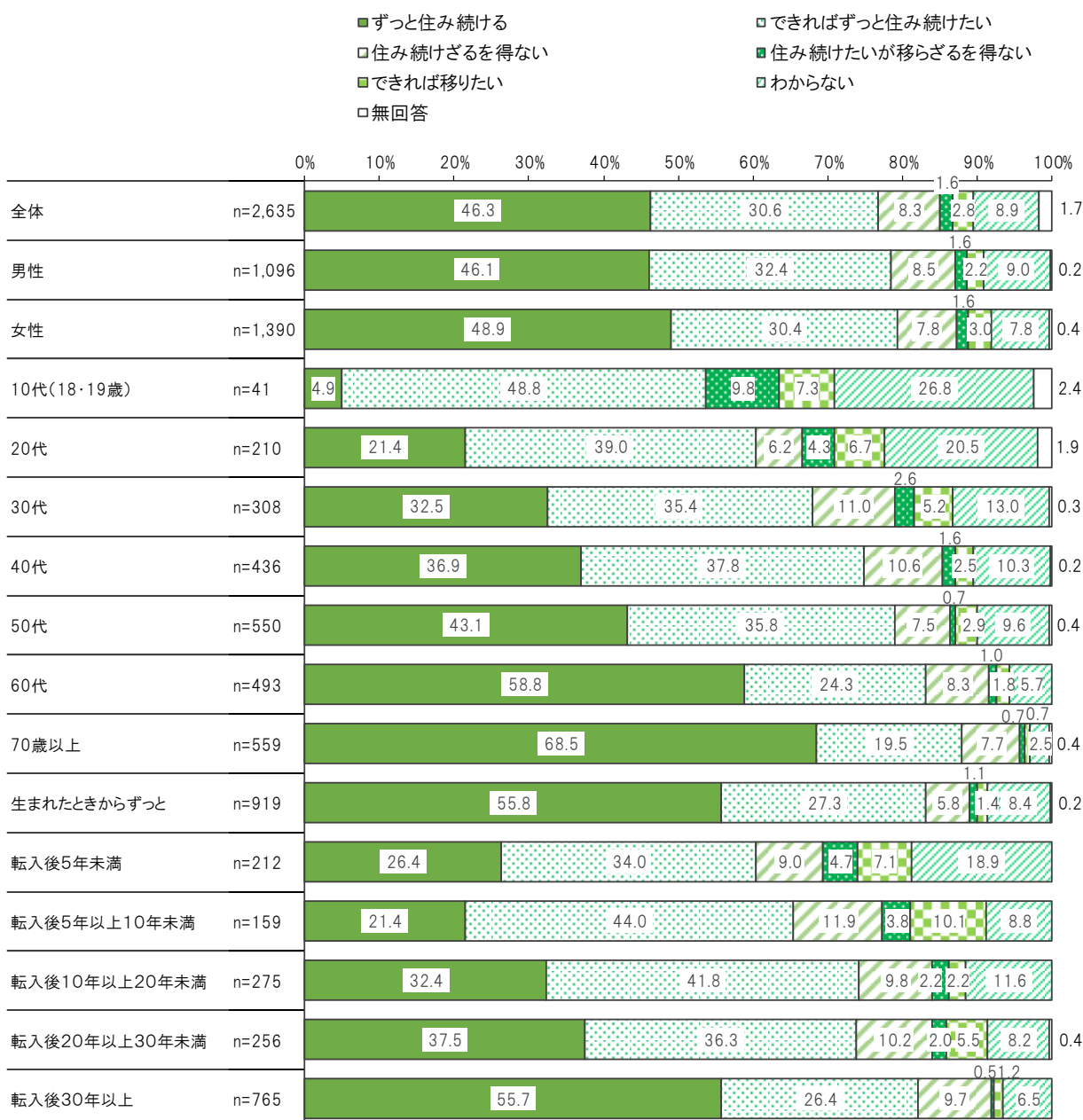
定住意向について、「ずっと住み続ける」(46.3%)の割合が最も高く、次いで「できればずっと住み続けたい」(30.6%)、「わからない」(8.9%)の順となっている。【図表 10】

年齢別でみると、年齢が高くなるほど「ずっと住み続ける」の割合が高くなっている。【図表 10】

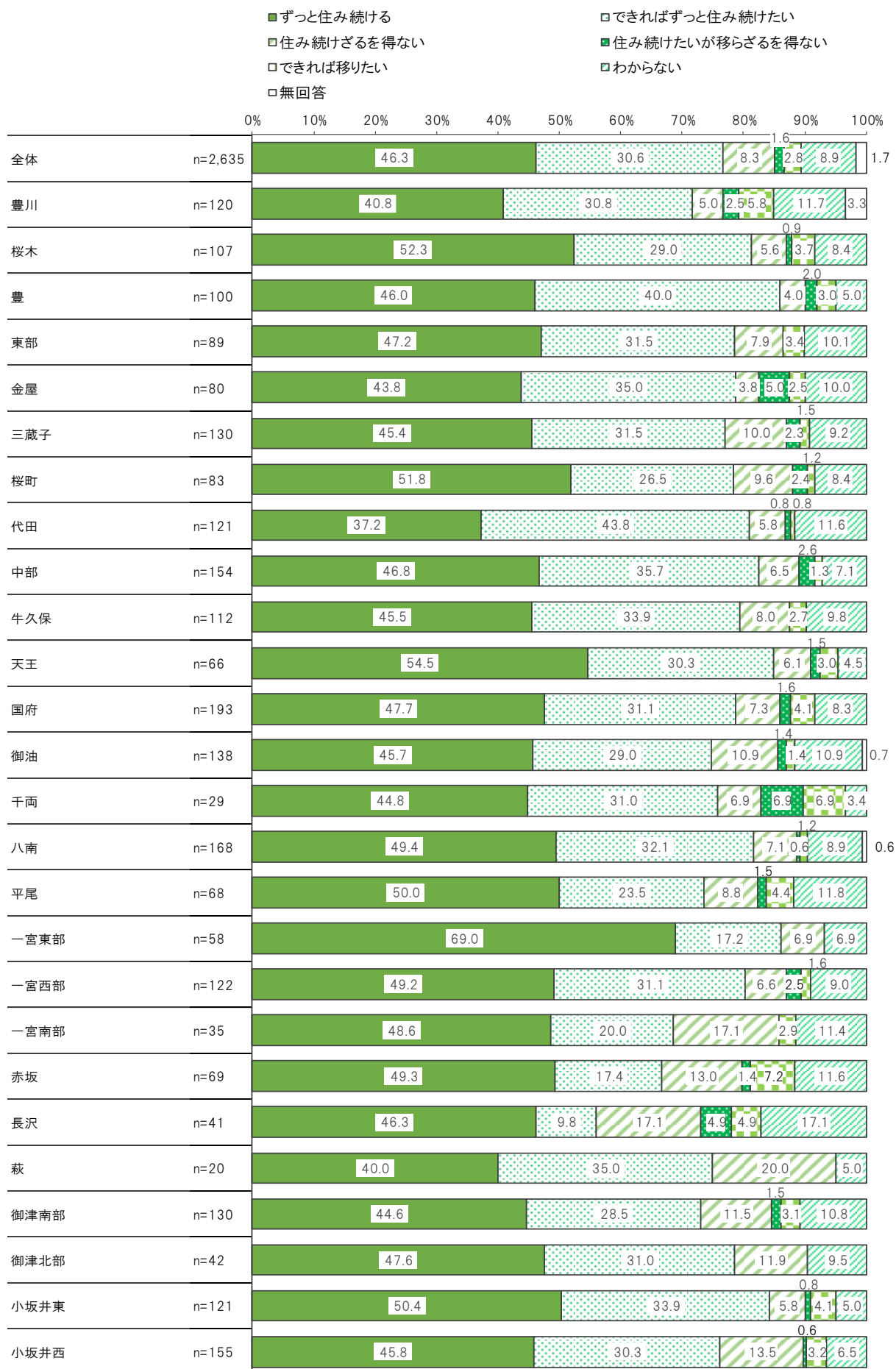
居住年数別でみると、「生まれたときからずっと」と、「転入後30年以上」は、「ずっと住み続ける」の割合が5割を超え、高くなっている。【図表 10】

小学校区別でみると、「ずっと住み続ける」の割合は、「一宮東部小学校区」(69.0%)で約7割と高くなっている。【図表 11】

図表 10 定住意向（全体・性別・年齢・居住年数別）



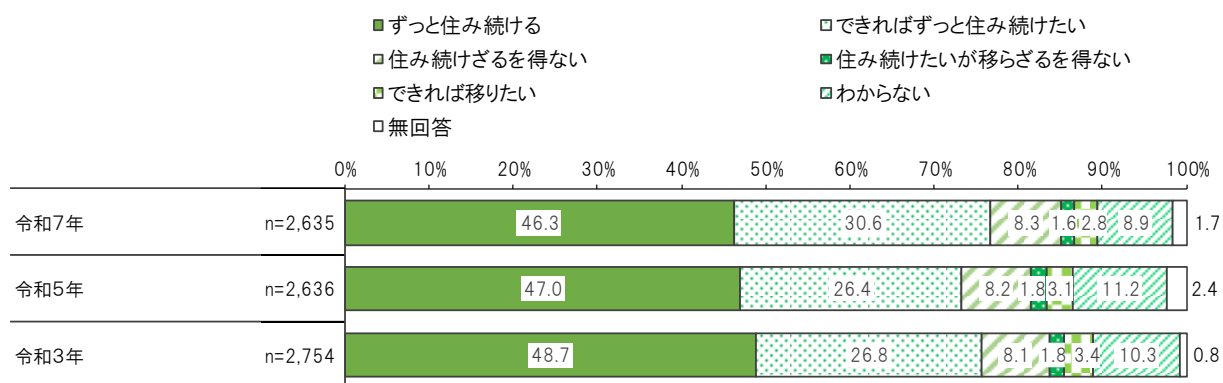
図表 11 定住意向（全体・小学校区別）



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、「ずっと住み続ける」の割合はわずかに減少しているものの、「できればずっと住み続けたい」の割合は前回調査と比較して4.2ポイント増加している。【図表 12】

図表 12 定住意向(経年比較)



2 豊川市の市政の評価

1 満足度の評価

問2 あなたは、豊川市の市政に関する次の 01～49 の各項目について、どの程度満足していますか。また、今後の市政を進めるにあたってどの程度重要だと思いますか。最もあなたの気持ちに近いものを「満足度」と「重要度」からそれぞれ1つだけ選んで○印をつけてください。

(1) 全体評価

豊川市の市政における現状の満足度について、「安全・安心」「子ども・若者」「健康・福祉」「建設・整備」「教育・文化」「産業・雇用」「地域・行政」の7分野49項目に対して、〔満足〕を＋2点、〔まあ満足〕を＋1点、〔やや不満〕を－1点、〔不満〕を－2点、〔わからない〕を0点として項目ごとに評価点を算出した。その結果、豊川市全体では、市政の満足度の平均値は0.28となっており、前回の0.37から0.09ポイント減少している。【図表 13】

◆ 満足度がプラス評価の項目が44項目、マイナス評価の項目が5項目

項目別にみると、満足度がプラス（0以上）になっている項目は合計44項目あり、満足度の高い項目から順に「11 水道水の安全・安定供給」（0.98）、「23 緑・自然の豊かさ」（0.87）、「8 ごみ処理対策」（0.80）、「9 生活における衛生環境」（0.74）、「33 日用品などの買い物の利便性」（0.69）となっている。

一方、満足度がマイナスになっている項目は5項目となり、満足度の低い項目から順に「2 歩行者にとっての道路の安全性」（-0.25）、「21 公共交通機関の利便性」（-0.09）、「22 道路の整備状況」（-0.06）、「35 中心市街地の活性化」「36 観光の振興」（いずれも-0.02）となっている。【図表 14】

◆ 前回より満足度が高くなった項目が16項目、低くなった項目が31項目

前回調査より満足度の評価点が高くなった項目は16項目となっている。「39 人権の尊重」が0.16ポイント高くなっており、次いで「38 男女共同参画」が0.11ポイント高くなっている。

一方、前回調査より満足度の評価点が低くなった項目は31項目で、特に「35 中心市街地の活性化」が0.35ポイント低くなっている。次いで、「22 道路の整備状況」が0.29ポイント、「32 商業の振興」が0.28ポイント、「16 医療環境」「21 公共交通機関の利便性」「36 観光の振興」がいずれも0.26ポイント低くなっている。【図表 14】

※「14 若者への支援」「44 行政のデジタル化」は前回調査項目に含まれず

図表 13 分野別満足度平均値

	全体	安全・安心	子ども・若者	健康・福祉	建設・整備	教育・文化	産業・雇用	地域・行政
満足度平均	0.28	0.43	0.19	0.28	0.28	0.30	0.20	0.21

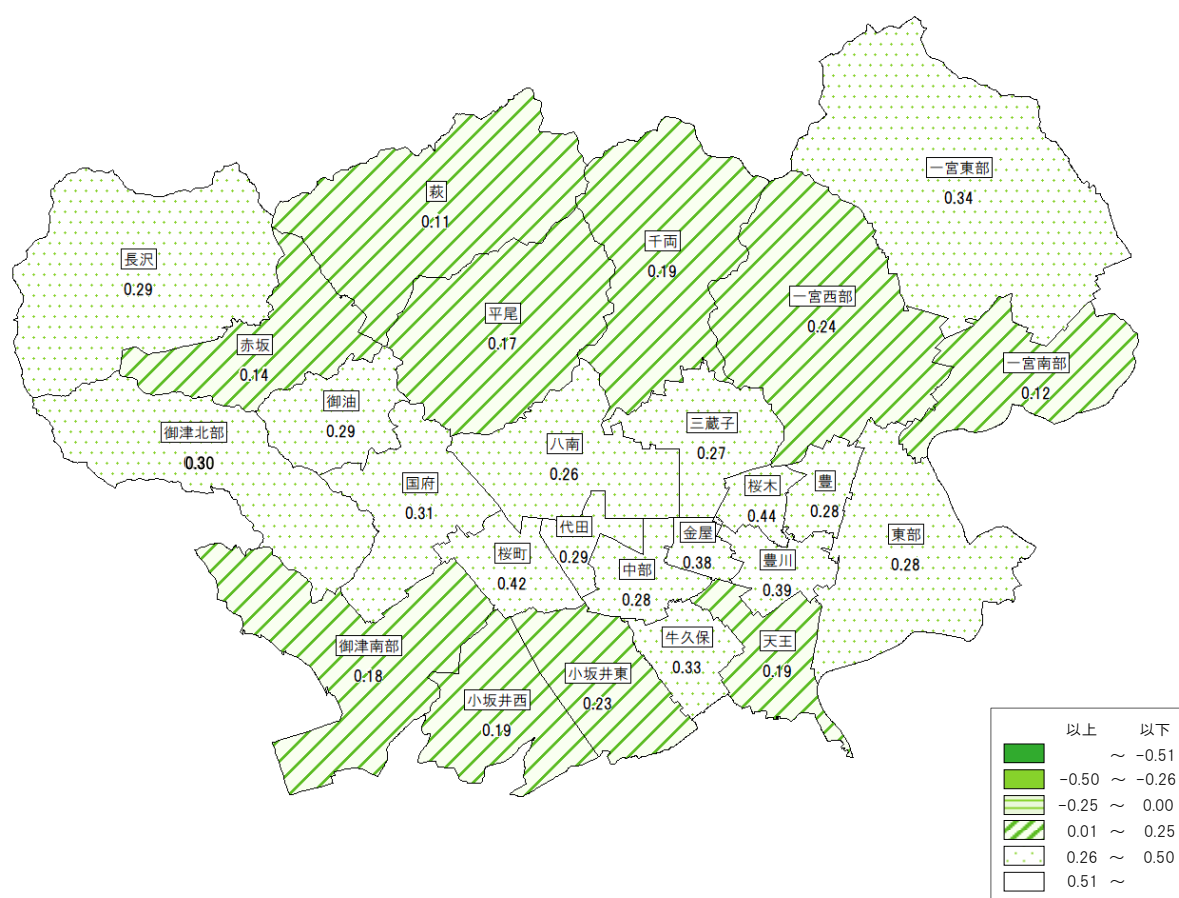
図表 14 市政に対する満足度の評価点



◆ ■ 小学校区別の傾向（満足度） ■ ◆

小学校区別に全体の満足度の平均値をみると、高い順に「桜木小学校区」(0.44)、「桜町小学校区」(0.42)、「豊川小学校区」(0.39)、「金屋小学校区」(0.38)、低い順に「萩小学校区」(0.11)、「一宮南部小学校区」(0.12) となっている。【図表 15】

図表 15 小学校区×「市政に対する満足度平均値」



(2) 分野別評価

ア 安全・安心

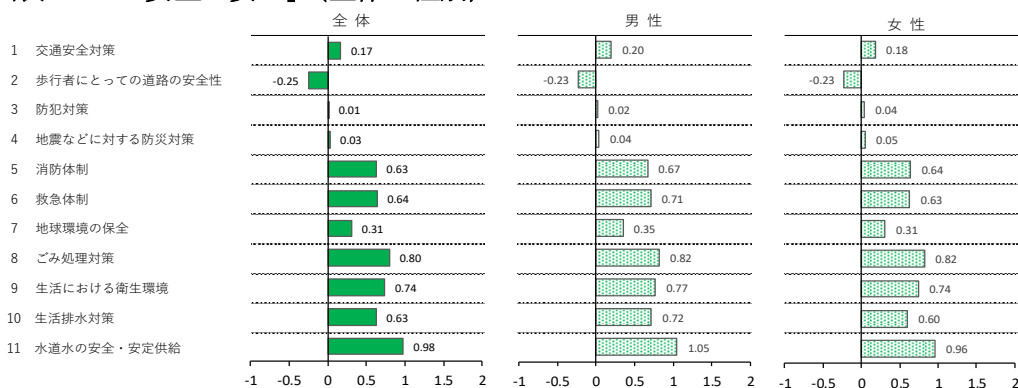
◆ 安全・安心分野では、「水道水の安全・安定供給」や「ごみ処理対策」で高評価、「歩行者にとっての道路の安全性」はマイナス評価

安全・安心分野では、11 項目のうちプラス評価が 10 項目、マイナス評価が 1 項目となっている。「11 水道水の安全・安定供給」(0.98) や「8 ごみ処理対策」(0.80) は満足度が高くなっているのに対し、「2 歩行者にとっての道路の安全性」(-0.25) はマイナス評価となっている。【図表 16】

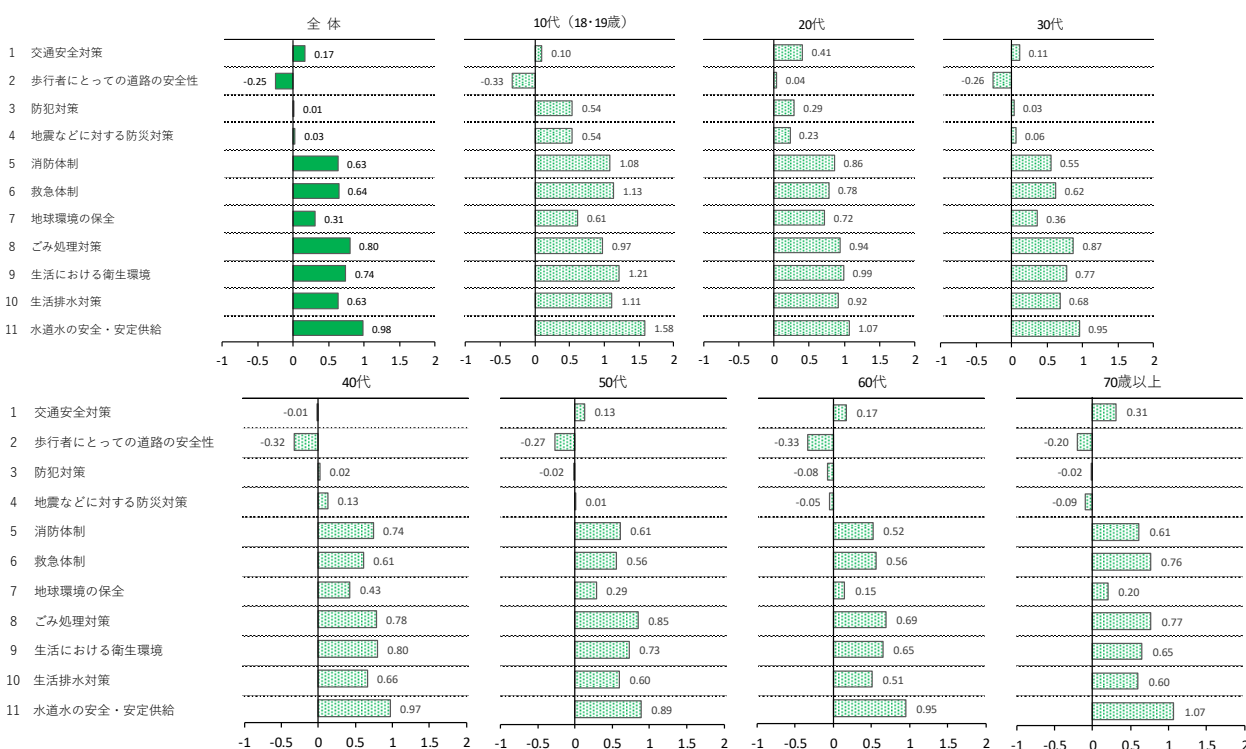
性別でみると、最も差がある項目は、「10 生活排水対策」で、「男性」(0.72) が「女性」(0.60) より 0.12 ポイント高くなっている。その他、多くの項目で「男性」が「女性」より高くなっている。【図表 16】

年齢別でみると、「10 代 (18・19 歳)」は「3 防犯対策」「4 地震などに対する防災対策」の満足度が全体平均よりも大幅に高くなっている。また、「20 代」は「1 交通安全対策」「2 歩行者にとっての道路の安全性」で他の年代と比較して高くなっている。一方、「70 歳以上」は「4 地震などに対する防災対策」で他の年代と比較して満足度が最も低くなっている。【図表 17】

図表 16 「安全・安心」(全体・性別)

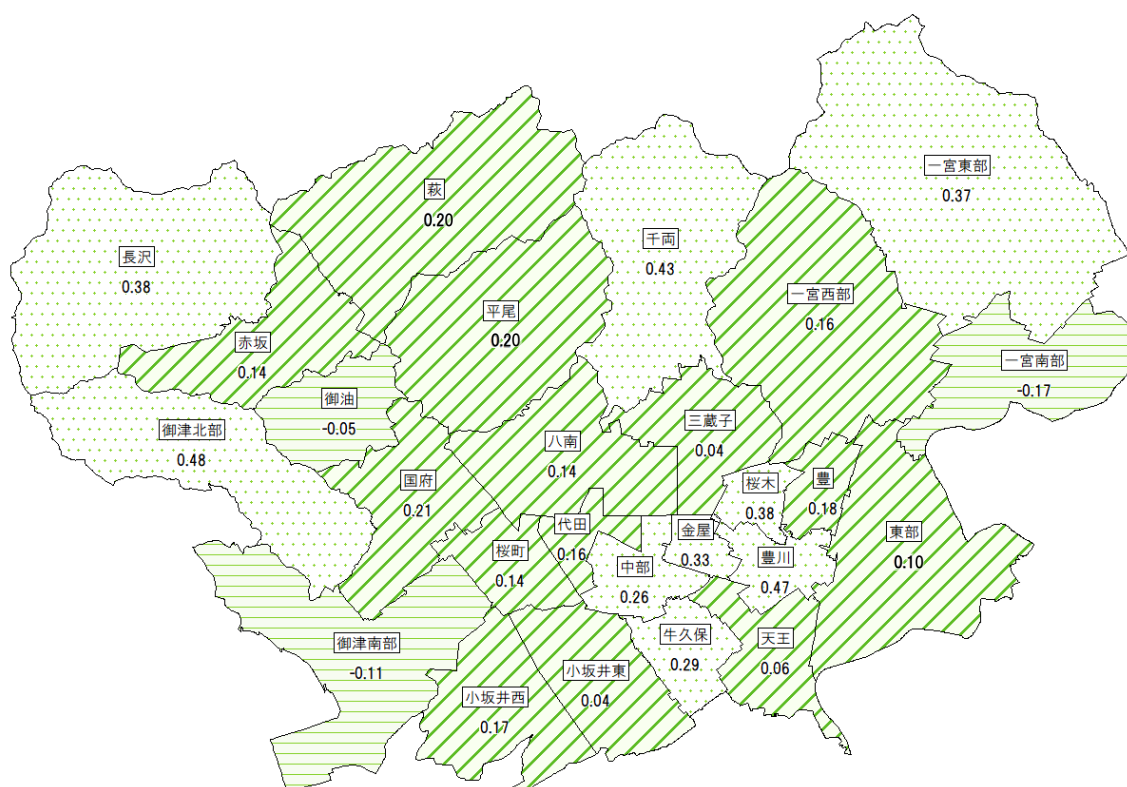


図表 17 「安全・安心」(全体・年齢別)

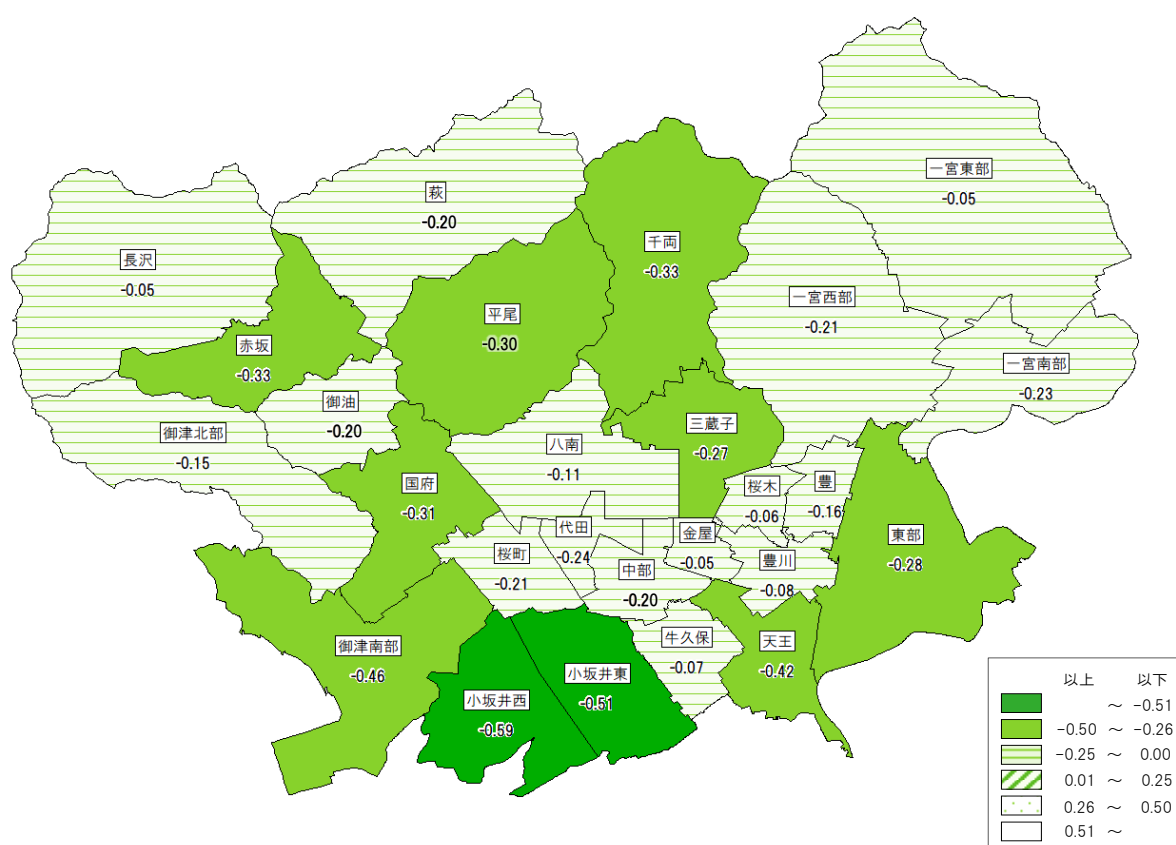


◆■ 小学校区別の傾向（満足度） ■◆

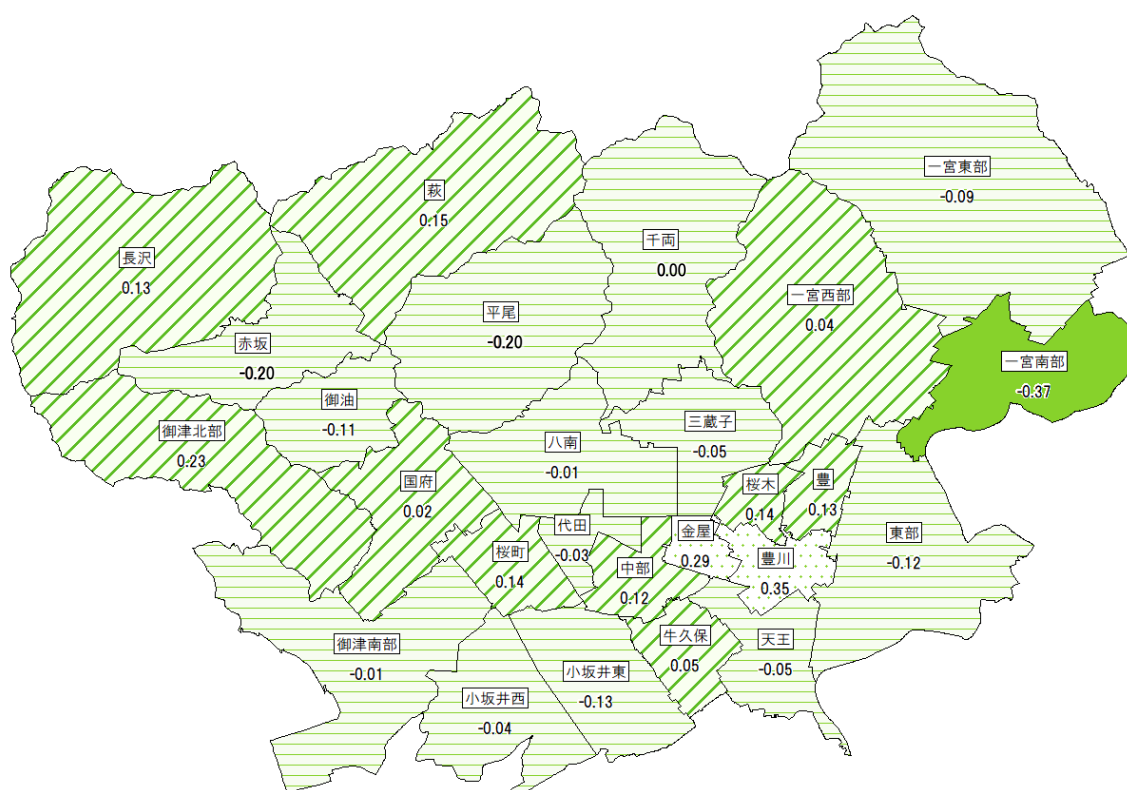
図表 18 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔1 交通安全対策〕



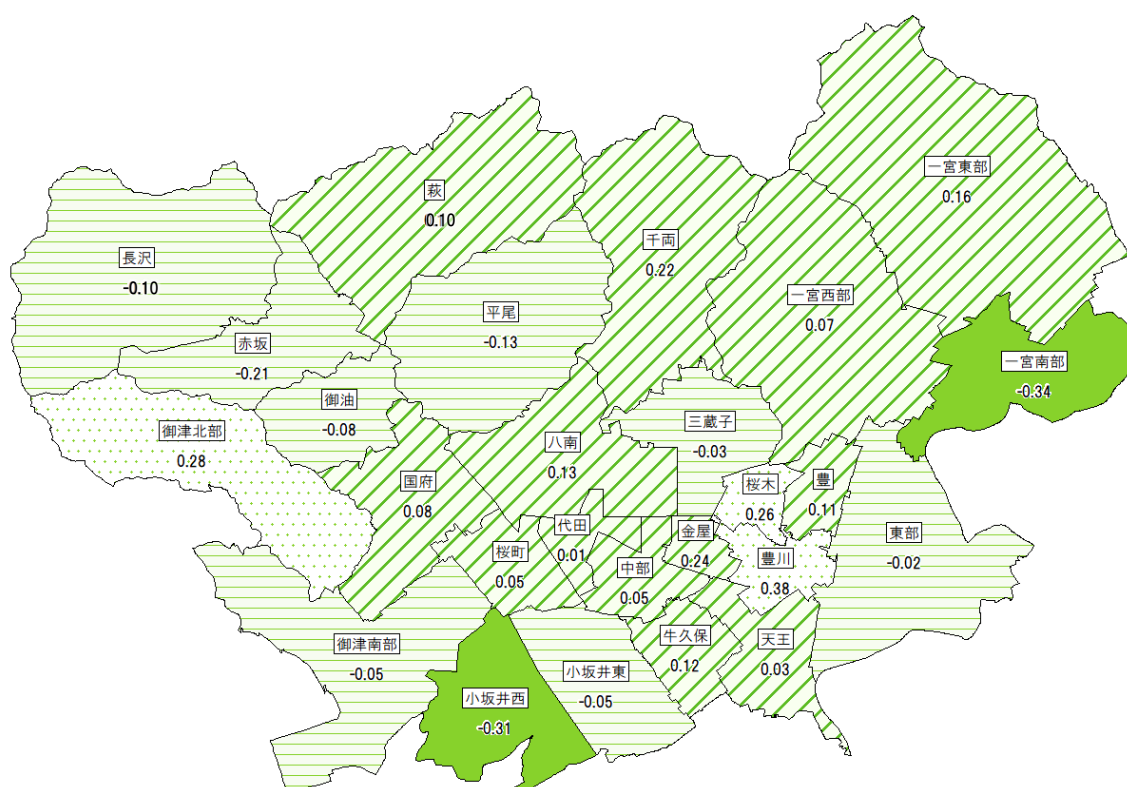
図表 19 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔2 歩行者にとっての道路の安全性〕



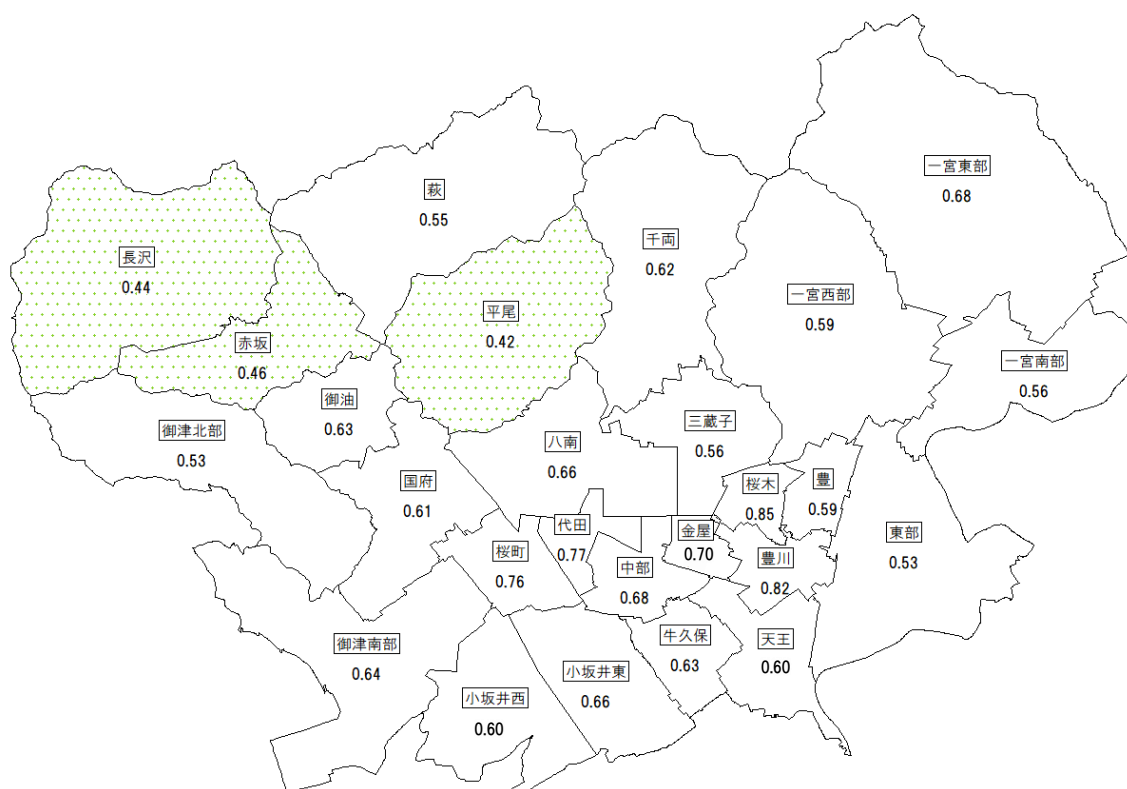
図表 20 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔3 防犯対策〕



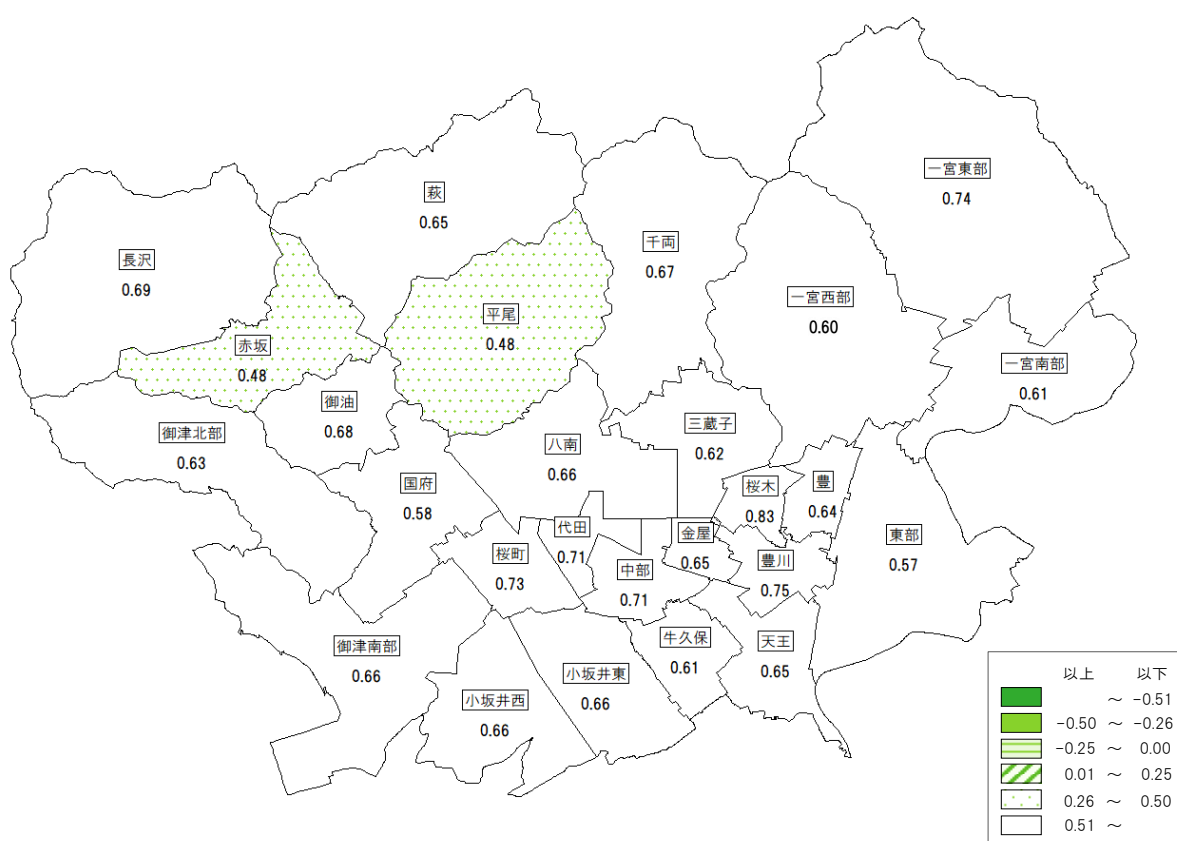
図表 21 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔4 地震などに対する防災対策〕



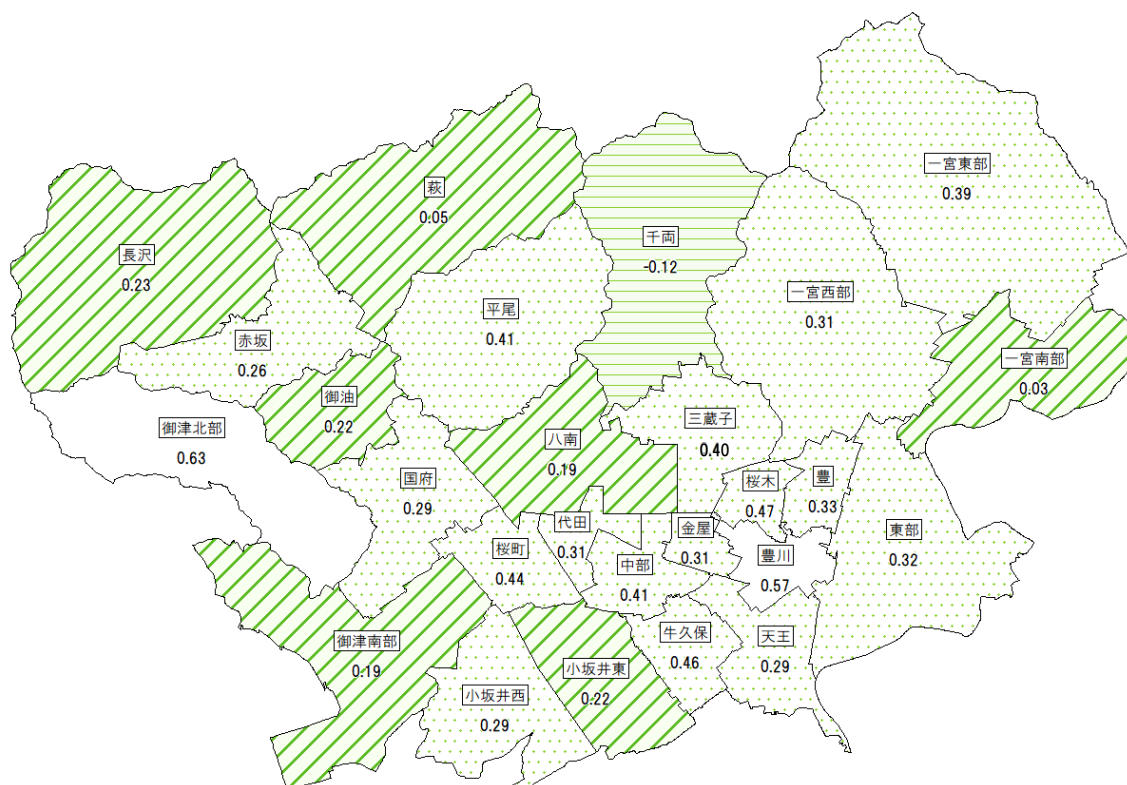
図表 22 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔5 消防体制〕



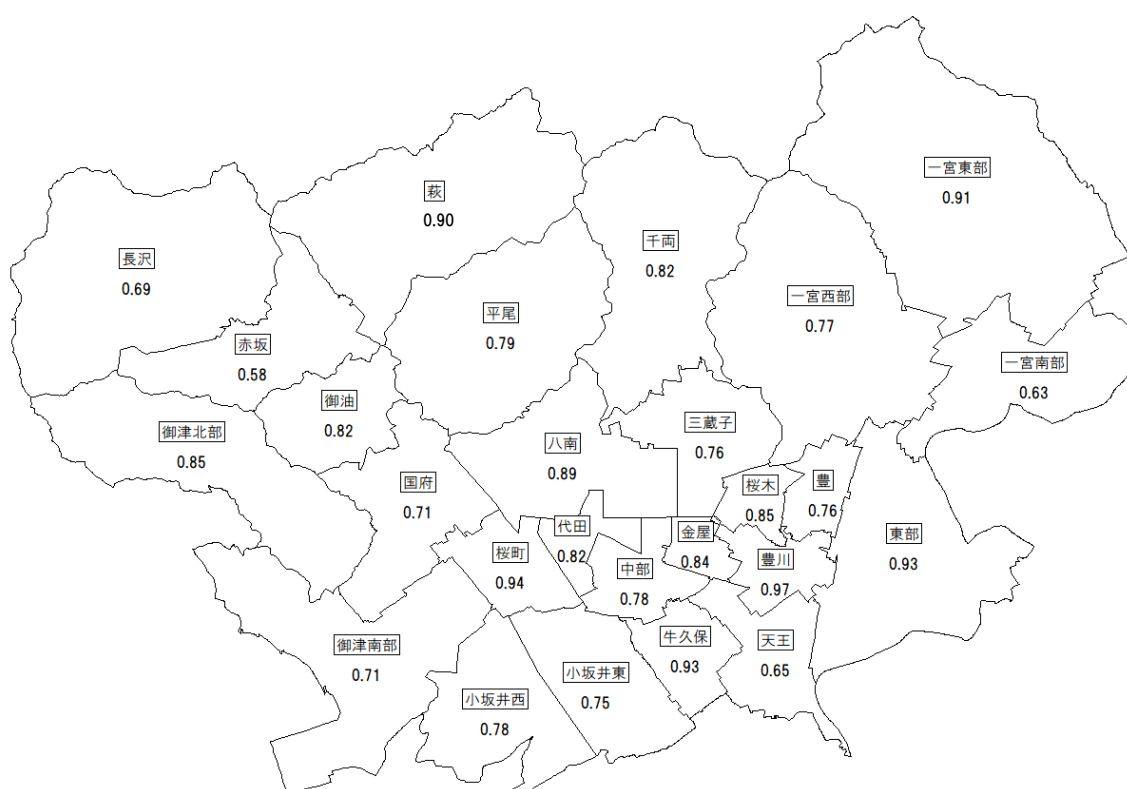
図表 23 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔6 救急体制〕



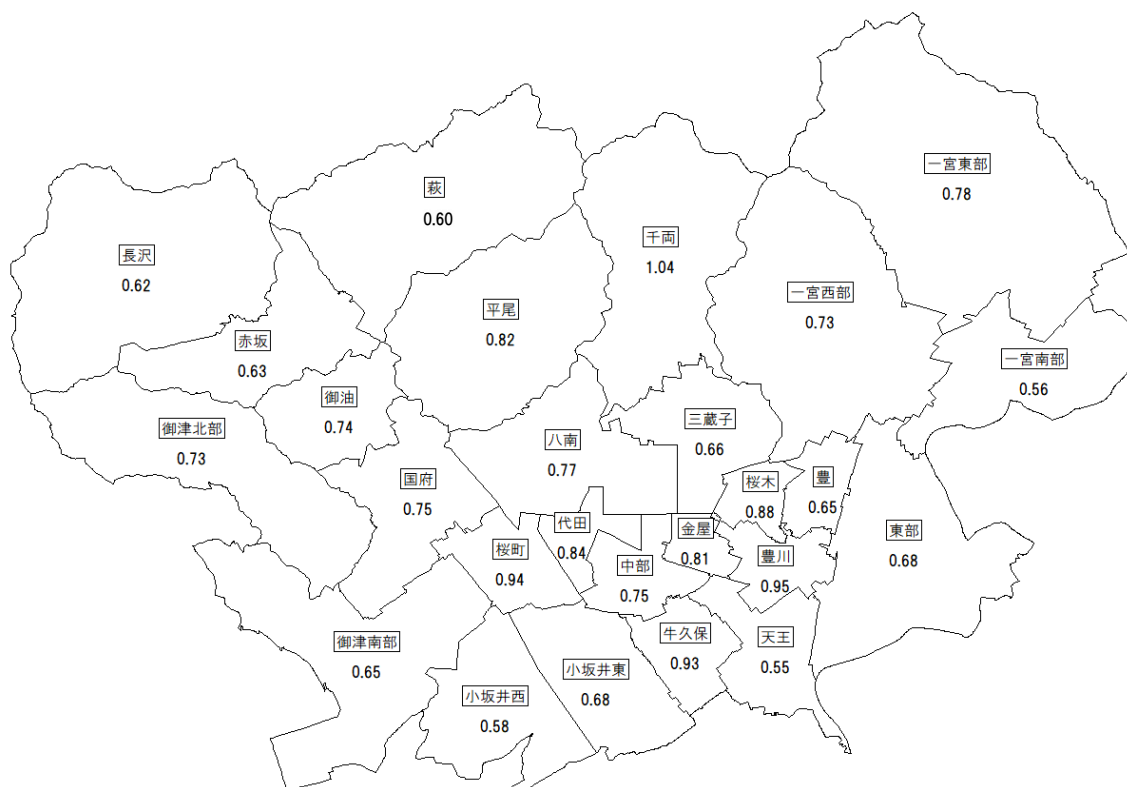
図表 24 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔7 地球環境の保全〕



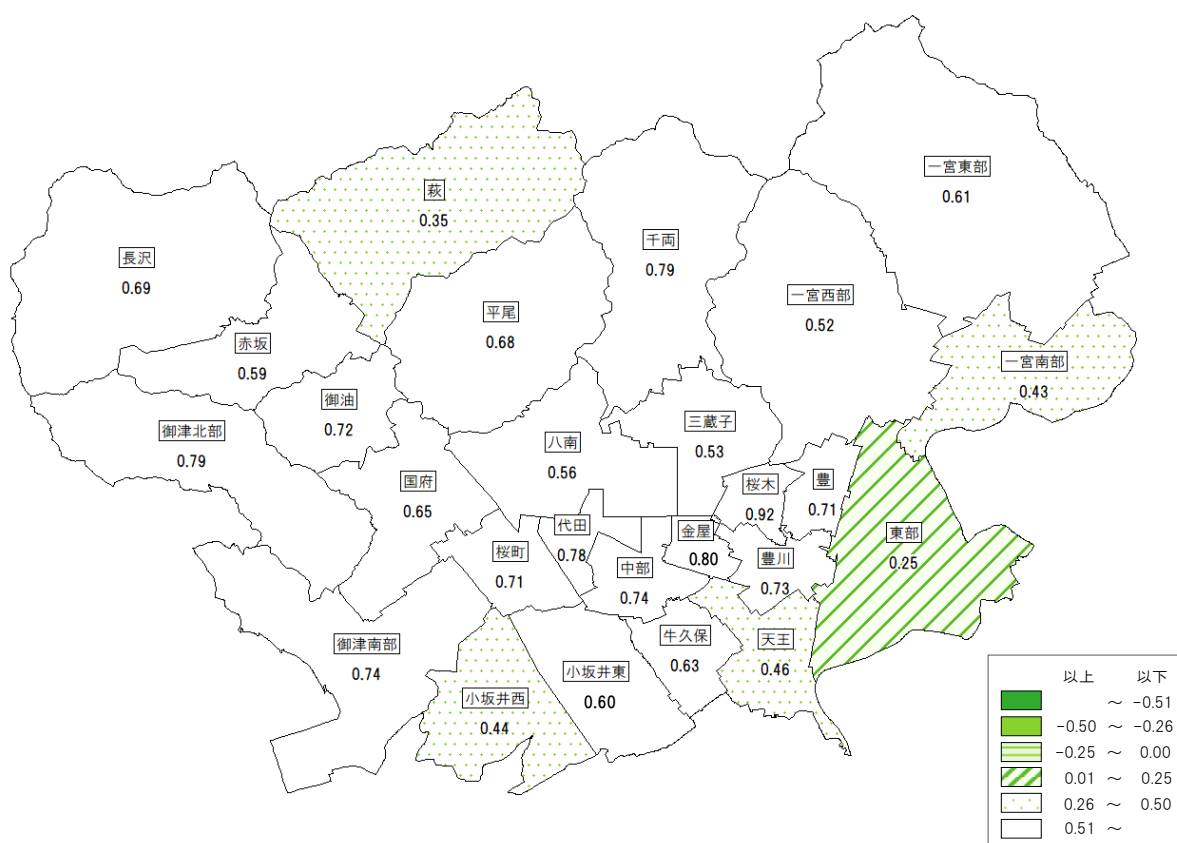
図表 25 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔8 ごみ処理対策〕



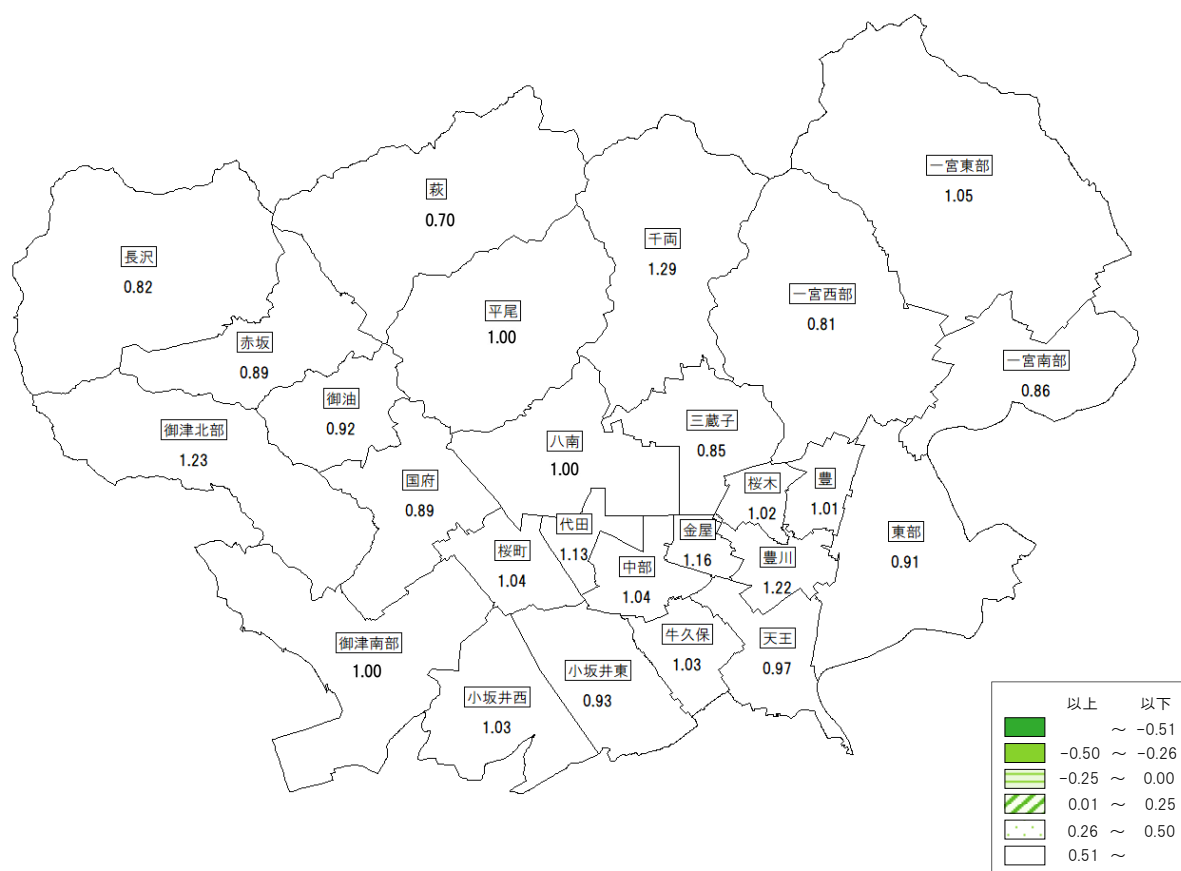
図表 26 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔9 生活における衛生環境〕



図表 27 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔10 生活排水対策〕



図表 28 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔11 水道水の安全・安定供給〕



イ 子ども・若者

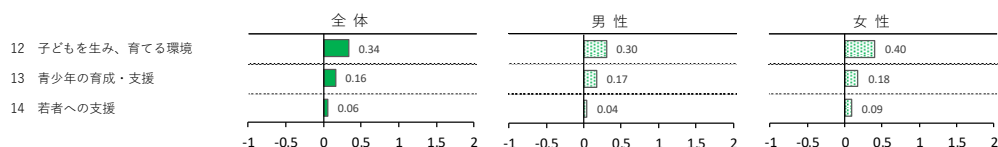
◆ 子ども・若者分野では、「子どもを生み、育てる環境」が高評価

子ども・若者分野では、3項目全ての満足度がプラス評価となっている。【図表 29】

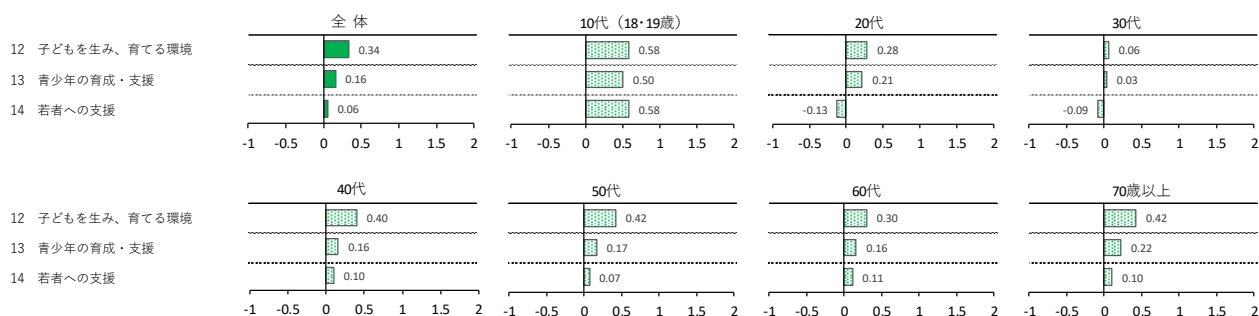
性別でみると、最も差がある項目「12 子どもを生み、育てる環境」は「女性」(0.40)が「男性」(0.30)より0.1ポイント高くなっている。【図表 29】

年齢別でみると、すべての項目で「10代(18・19歳)」の満足度が最も高くなっている。一方、全体平均と比較して「30代」の満足度が低い傾向にある。【図表 30】

図表 29 「子ども・若者」(全体・性別)

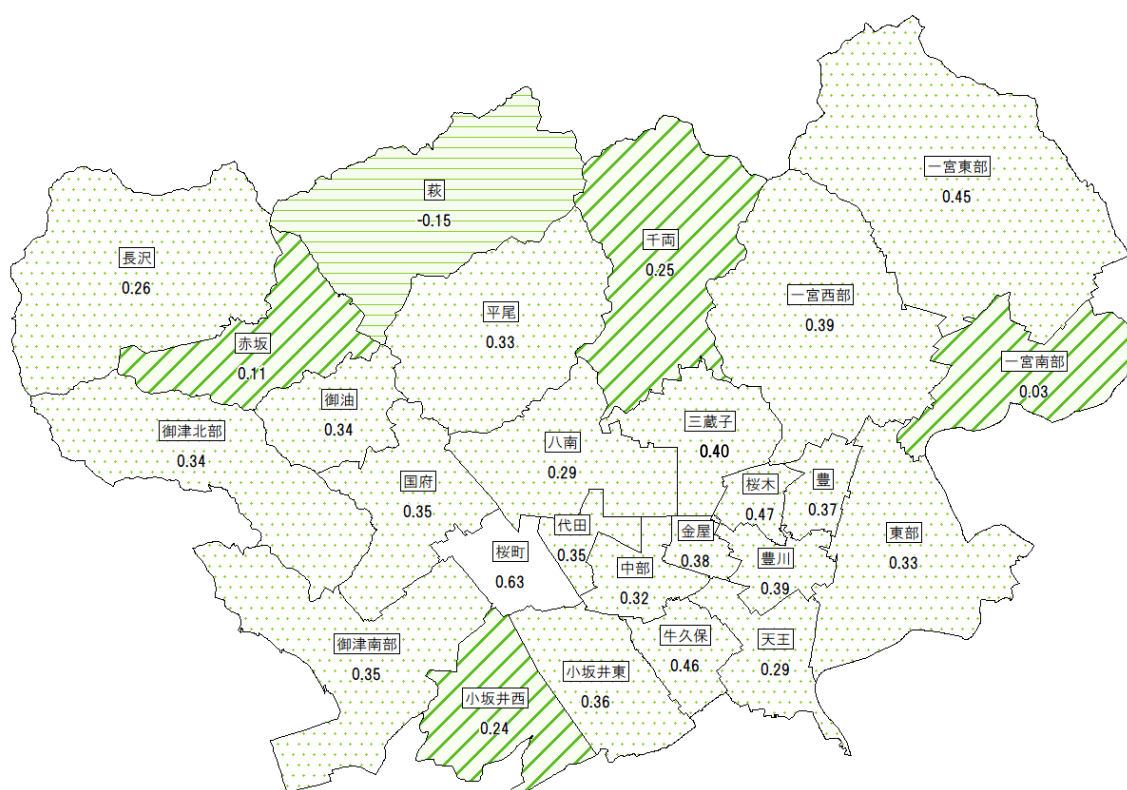


図表 30 「子ども・若者」(全体・年齢別)

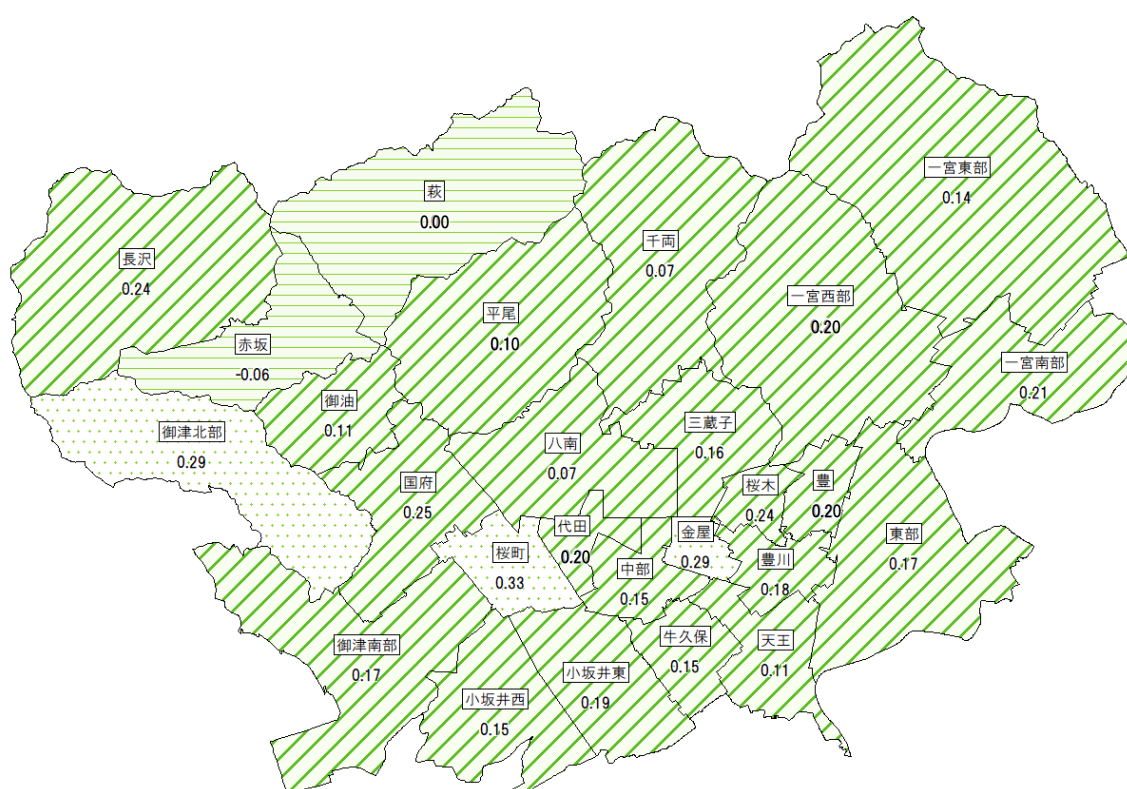


◆ ■ 小学校区別の傾向（満足度） ■ ◆

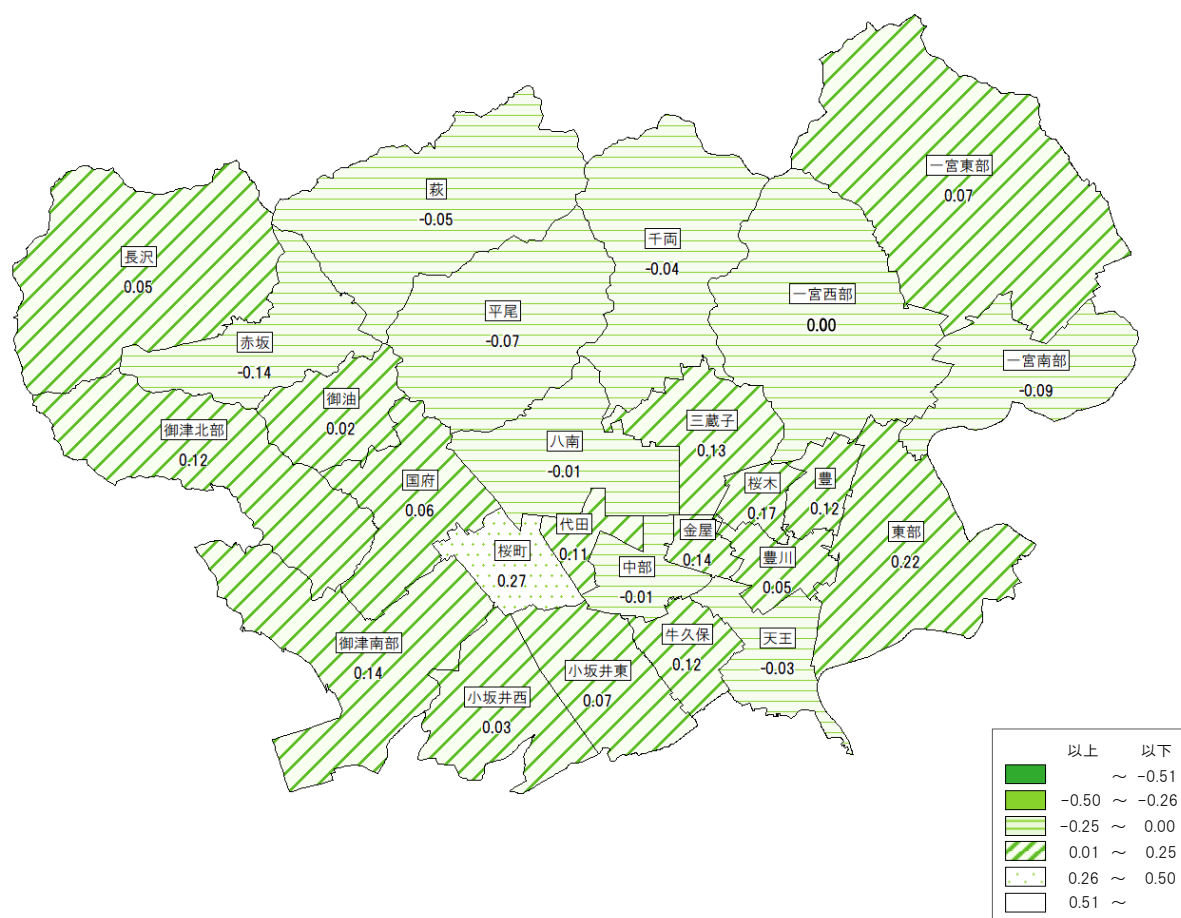
図表 31 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔12 子どもを生み、育てる環境〕



図表 32 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔13 青少年の育成・支援〕



図表 33 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔14 若者への支援〕



ウ 健康・福祉

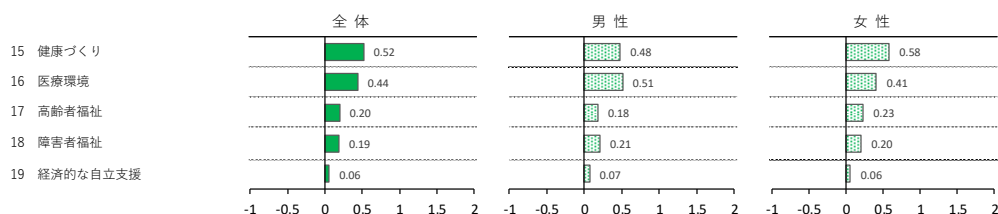
◆ 健康・福祉分野では、「健康づくり」や「医療環境」が高評価

健康・福祉分野では、5項目全ての満足度がプラス評価となっている。【図表 34】

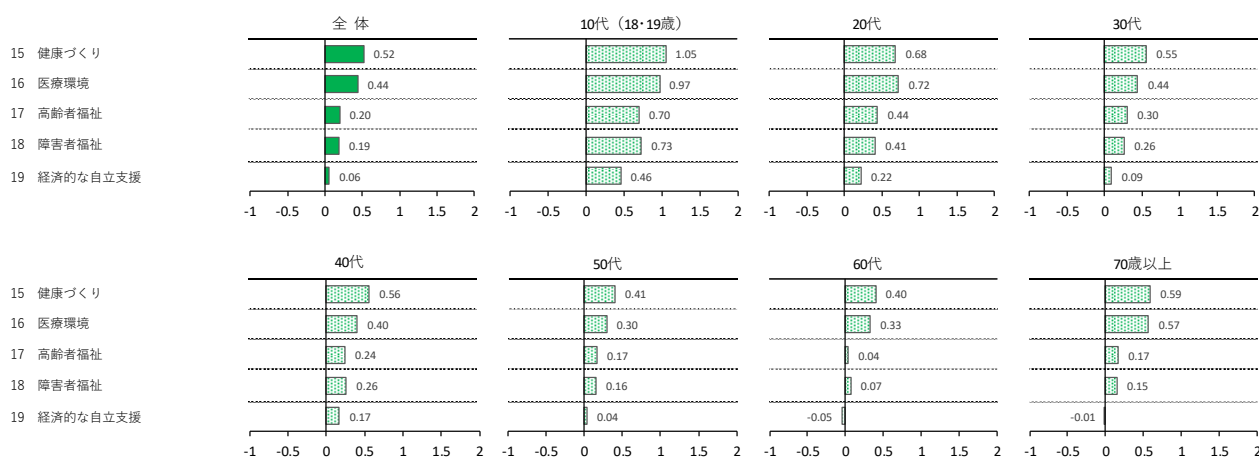
性別でみると、最も満足度が高い項目「15 健康づくり」は「女性」(0.58)が「男性」(0.48)より0.1ポイント高くなっている。【図表 34】

年齢別でみると、すべての項目で「10代(18・19歳)」の満足度が最も高くなっている。一方、全体平均と比較して「50代」「60代」の満足度が低い傾向にある。【図表 35】

図表 34 「健康・福祉」(全体・性別)

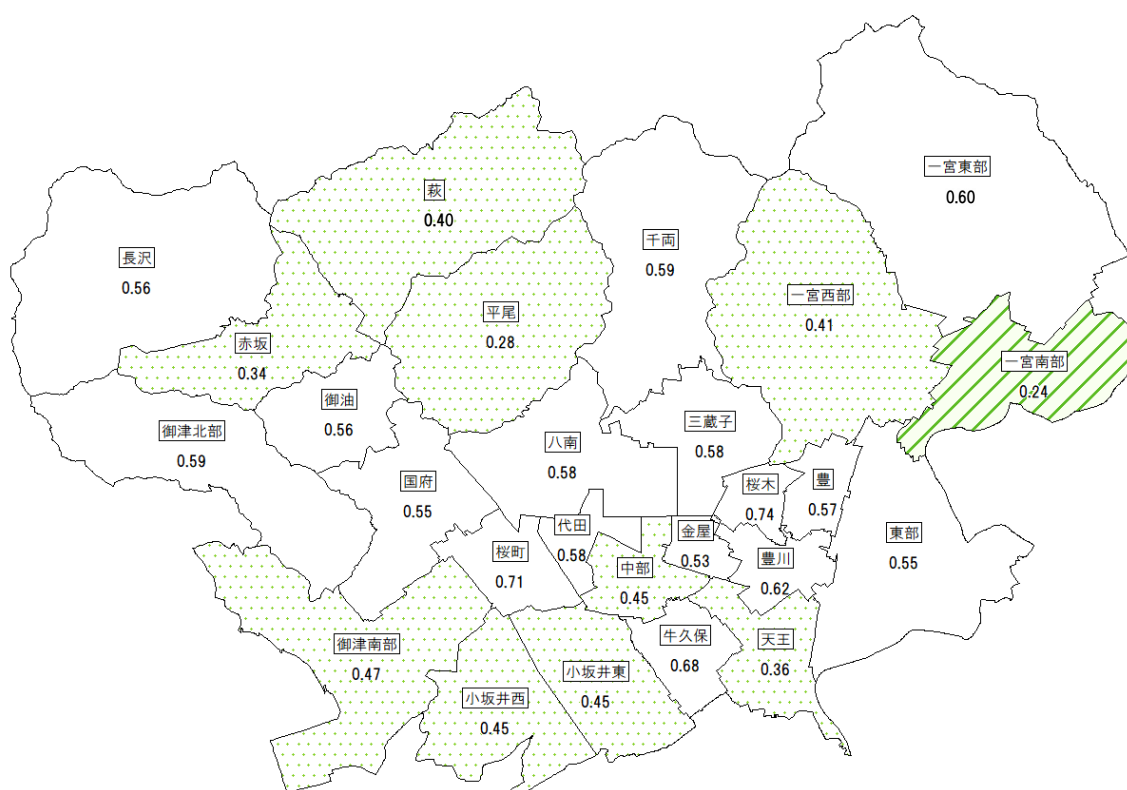


図表 35 「健康・福祉」(全体・年齢別)

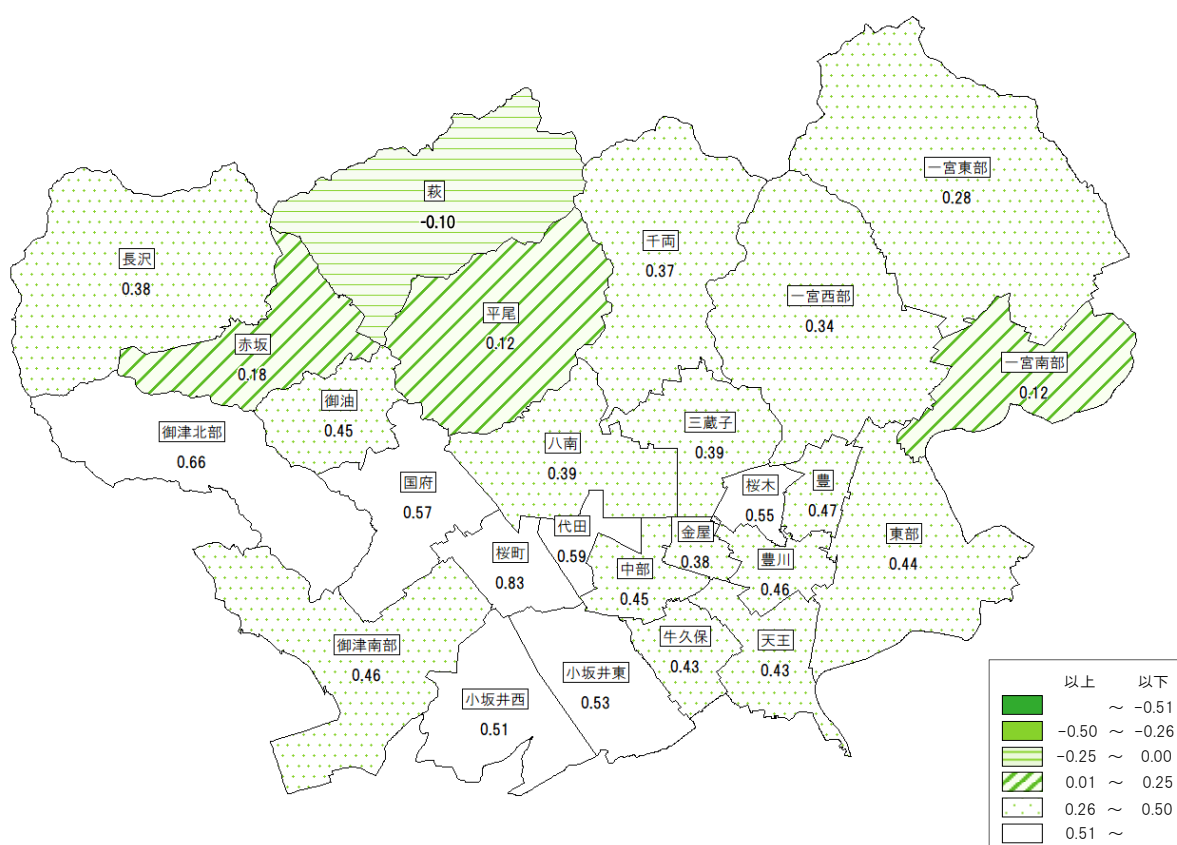


◆ ■ 小学校区別の傾向（満足度） ■ ◆

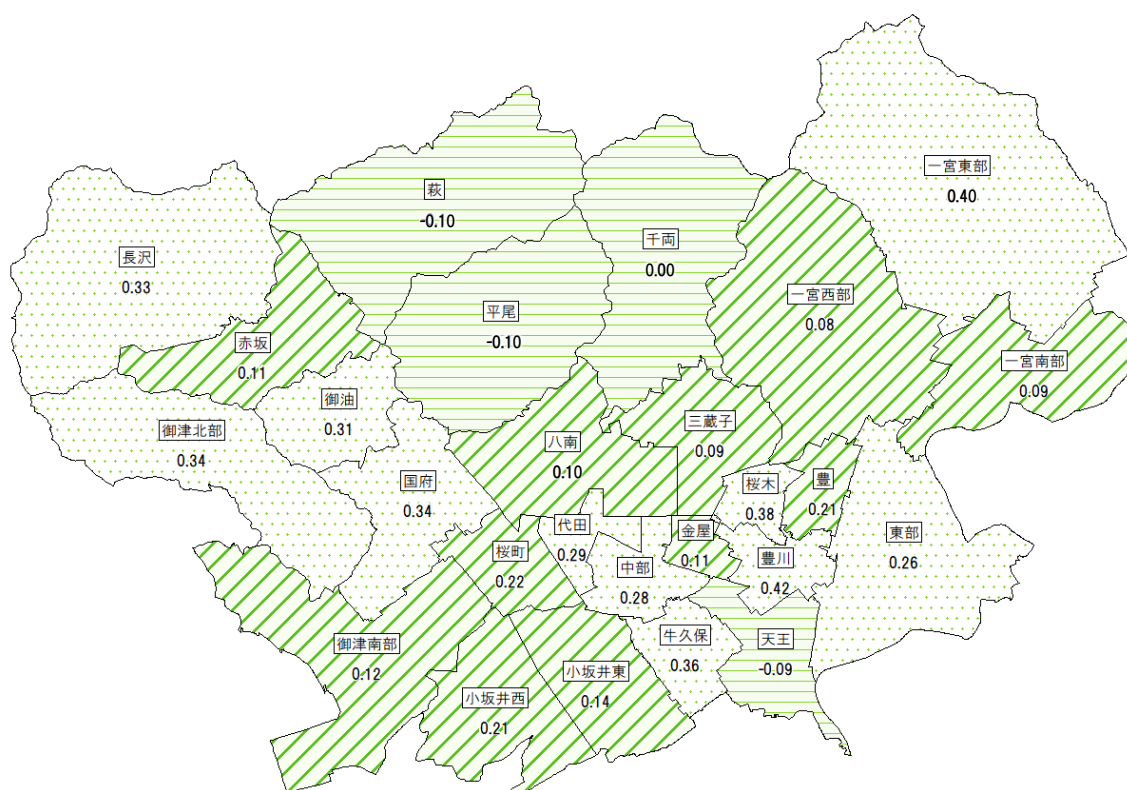
図表 36 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔15 健康づくり〕



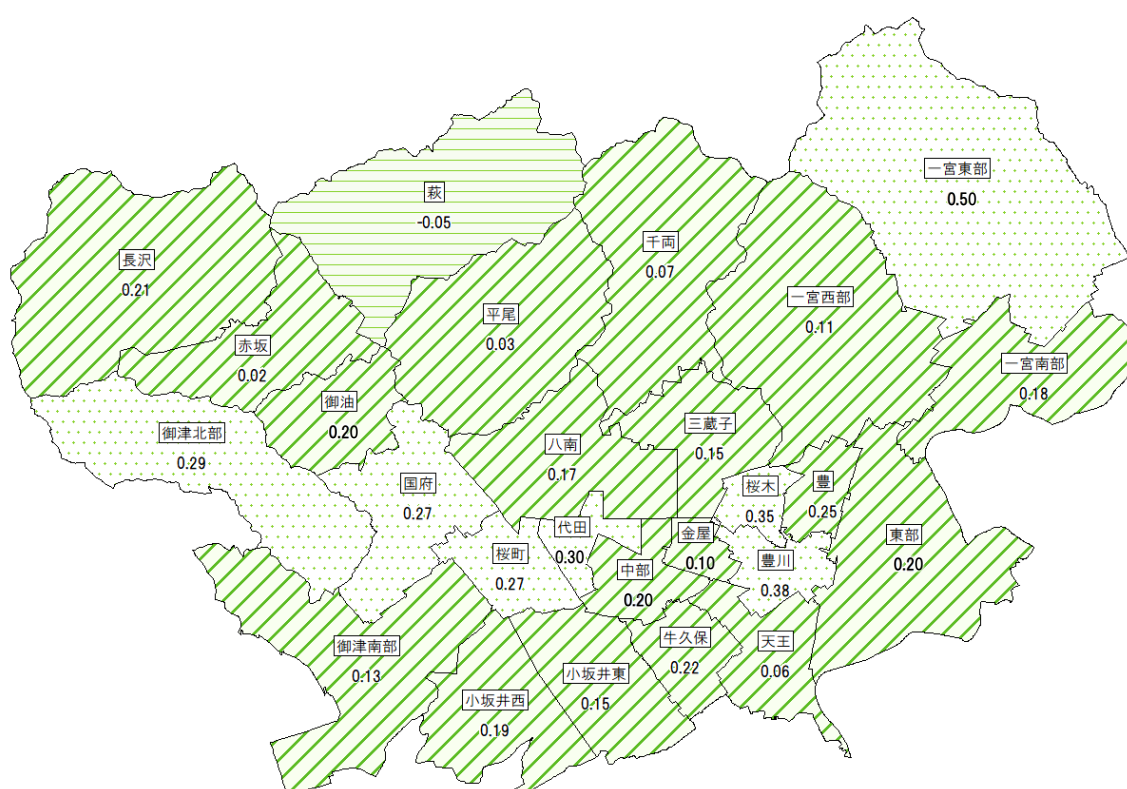
図表 37 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔16 医療環境〕



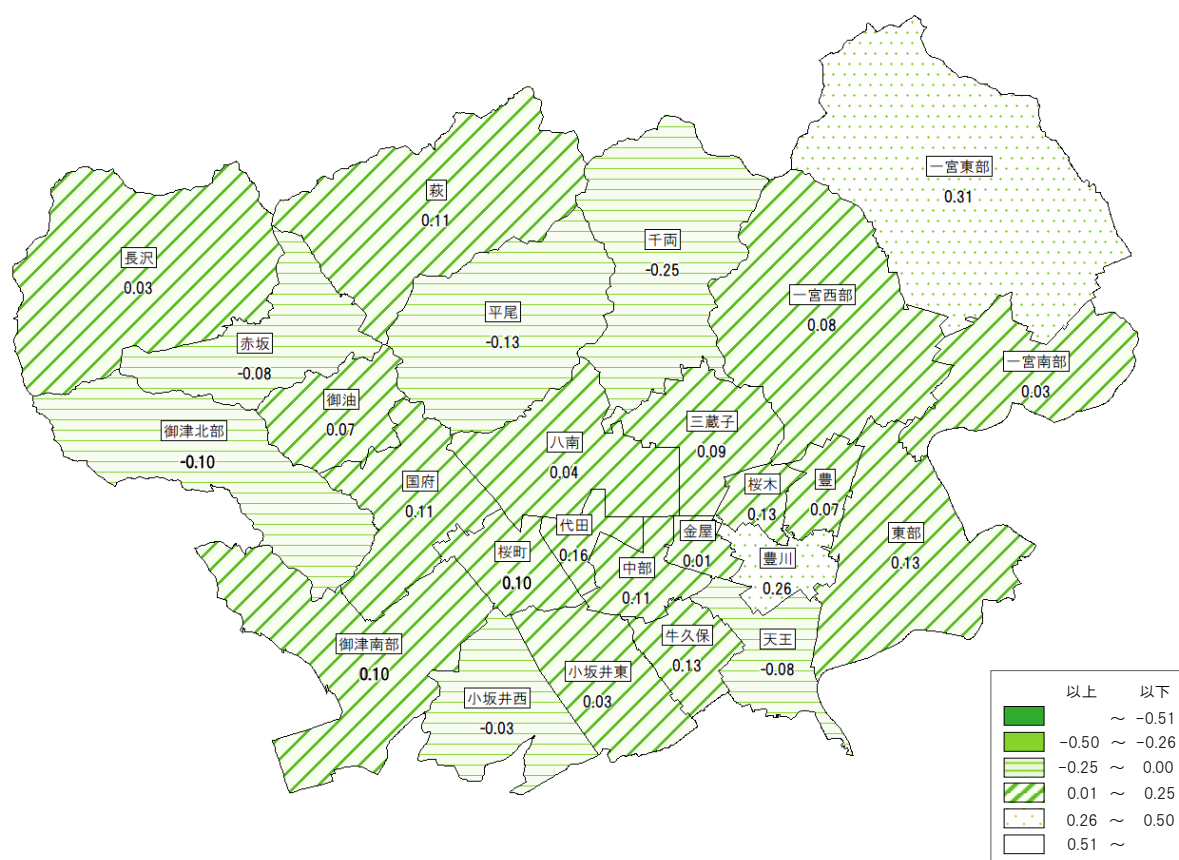
図表 38 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔17 高齢者福祉〕



図表 39 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔18 障害者福祉〕



図表 40 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔19 経済的な自立支援〕



工 建設・整備

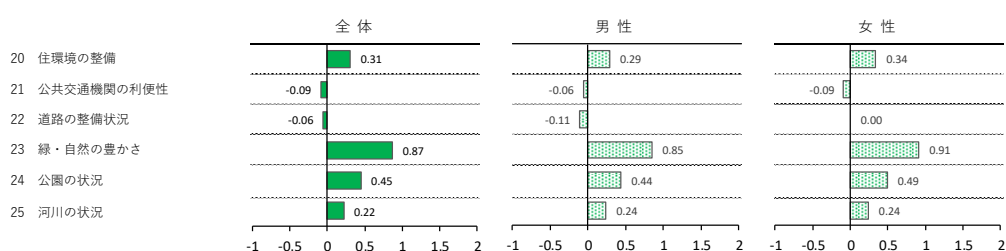
◆ 建設・整備分野では、「緑・自然の豊かさ」で高評価

建設・整備分野では、6項目のうちプラス評価が4項目、マイナス評価が2項目となっている。「23 緑・自然の豊かさ」(0.87)で満足度が高くなっているのに対し、「21 公共交通機関の利便性」(-0.09)は満足度が低くなっている。【図表 41】

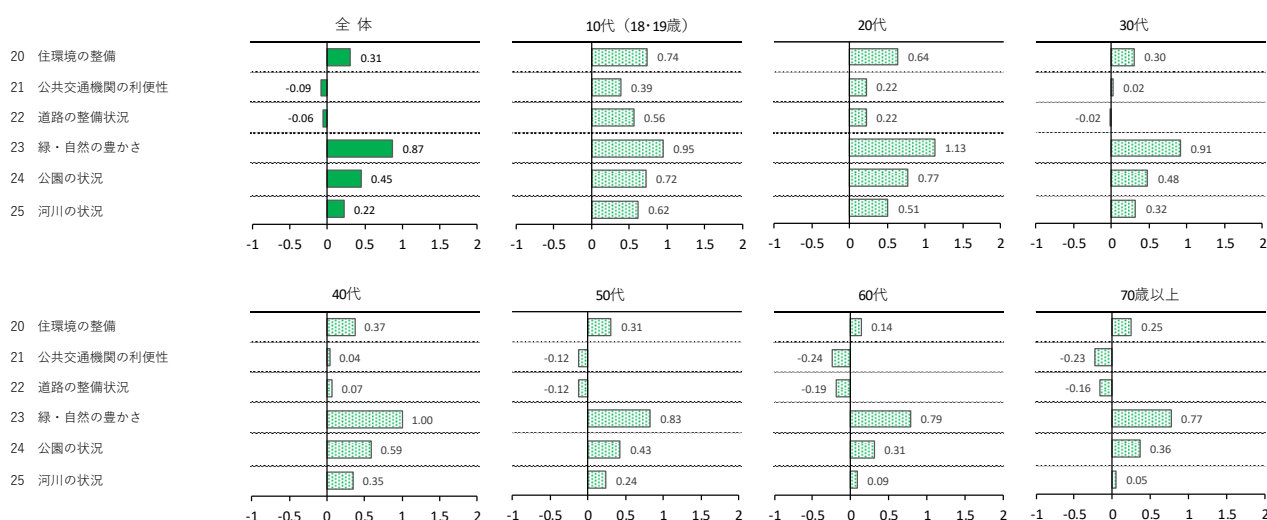
性別でみると、「21 公共交通機関の利便性」「25 河川の状態」を除く項目で「女性」が「男性」を上回っている。最も差がある項目「23 緑・自然の豊かさ」は、「男性」(0.85)が「女性」(0.91)より0.06ポイント低くなっている。【図表 41】

年齢別でみると、「23 緑・自然の豊かさ」「24 公園の状態」を除く項目で「10代(18・19歳)」の満足度が最も高くなっている。一方、「50代」「60代」「70歳以上」は「21 公共交通機関の利便性」「22 道路の整備状況」で他の年代と比較して満足度が低くなっている。【図表 42】

図表 41 「建設・整備」(全体・性別)

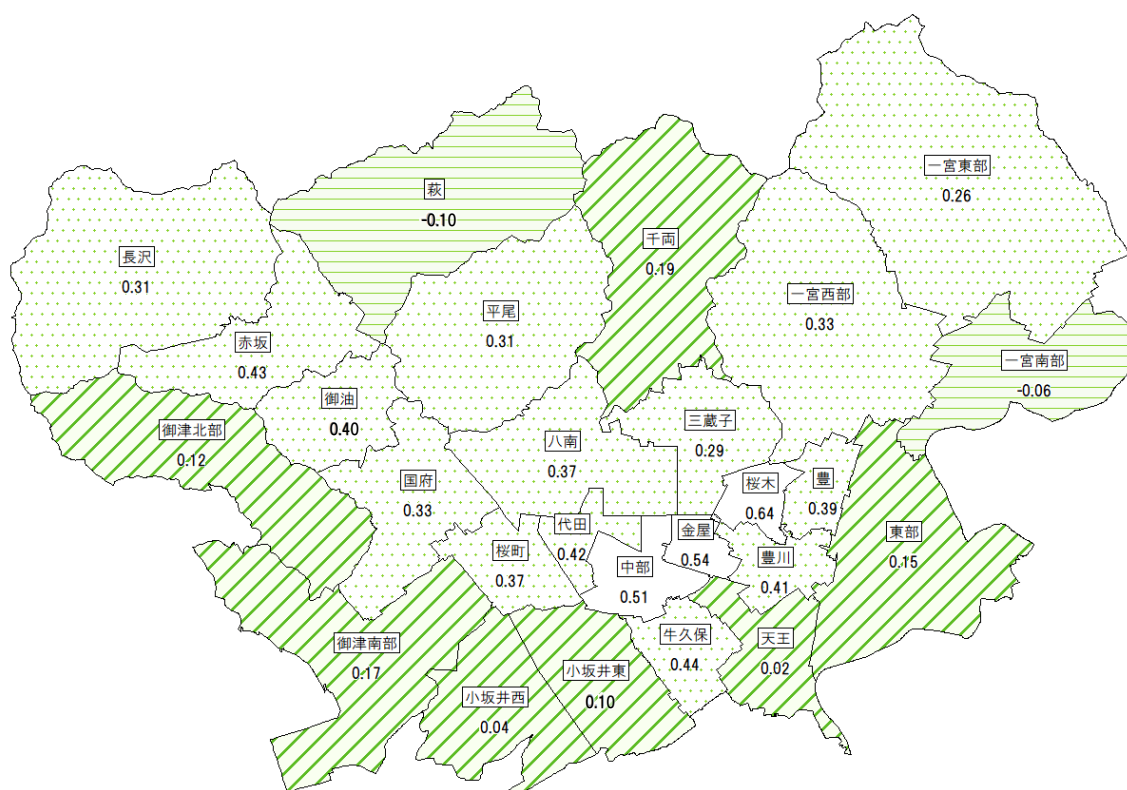


図表 42 「建設・整備」(全体・年齢別)

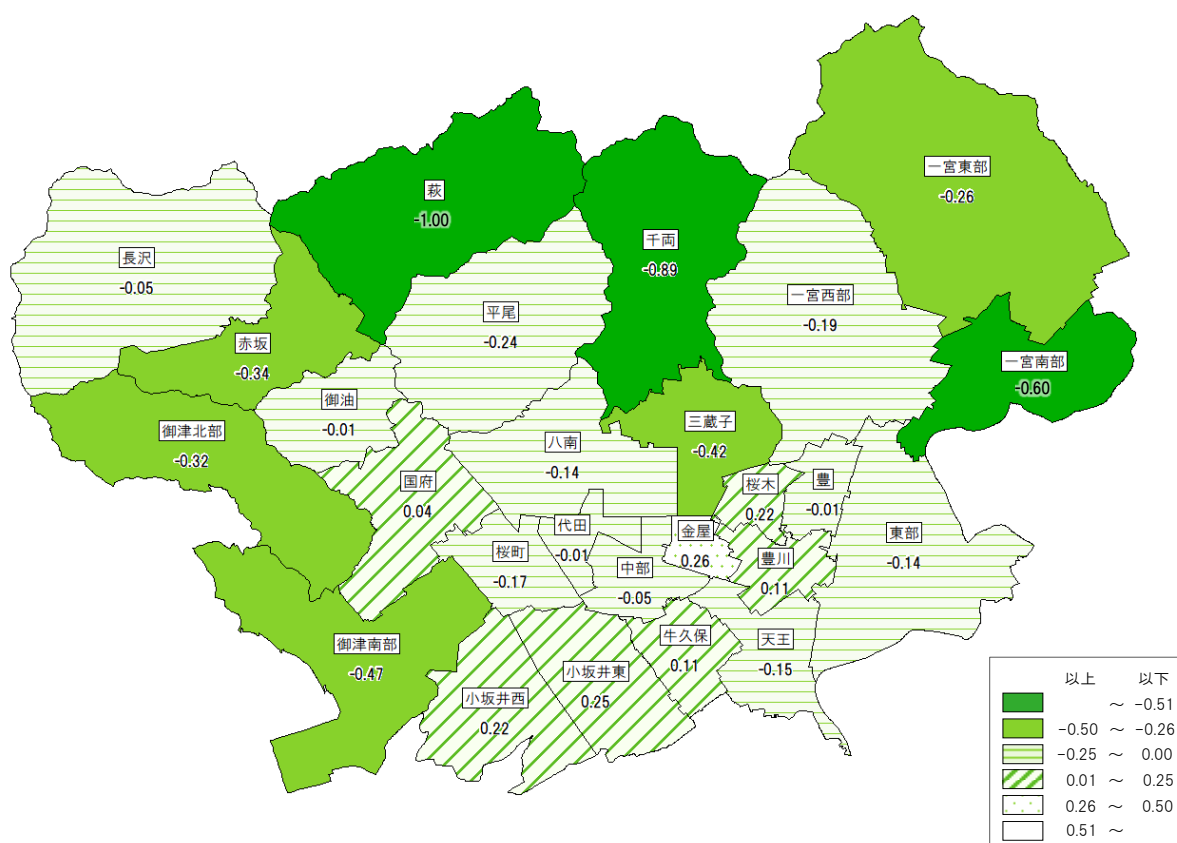


◆ ■ 小学校区別の傾向（満足度） ■ ◆

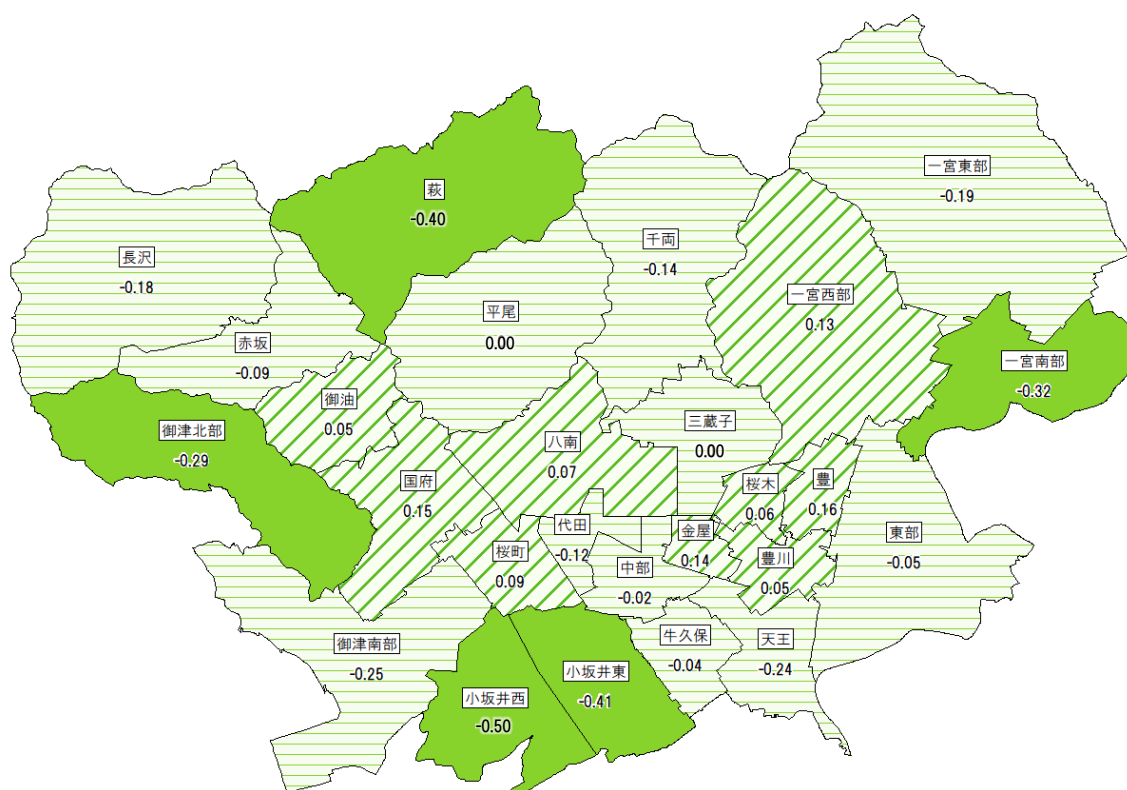
図表 43 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔20 住環境の整備（区画整理・住宅対策など）〕



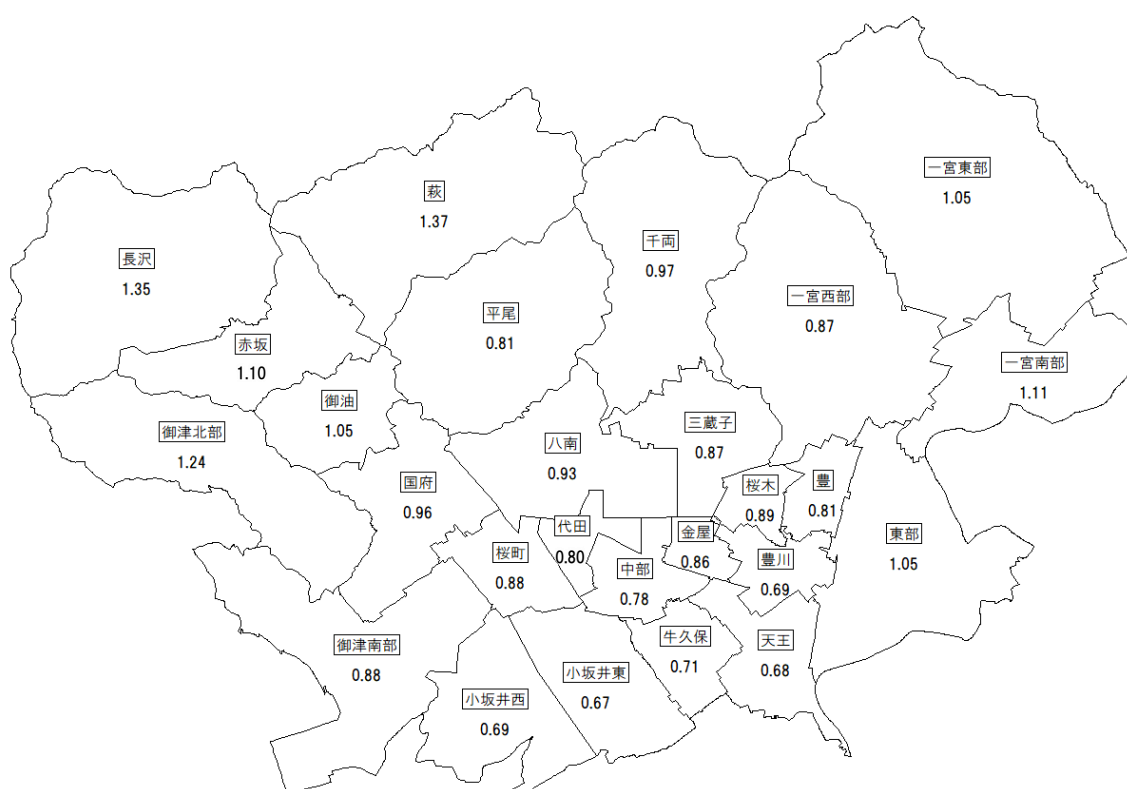
図表 44 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔21 公共交通機関の利便性〕



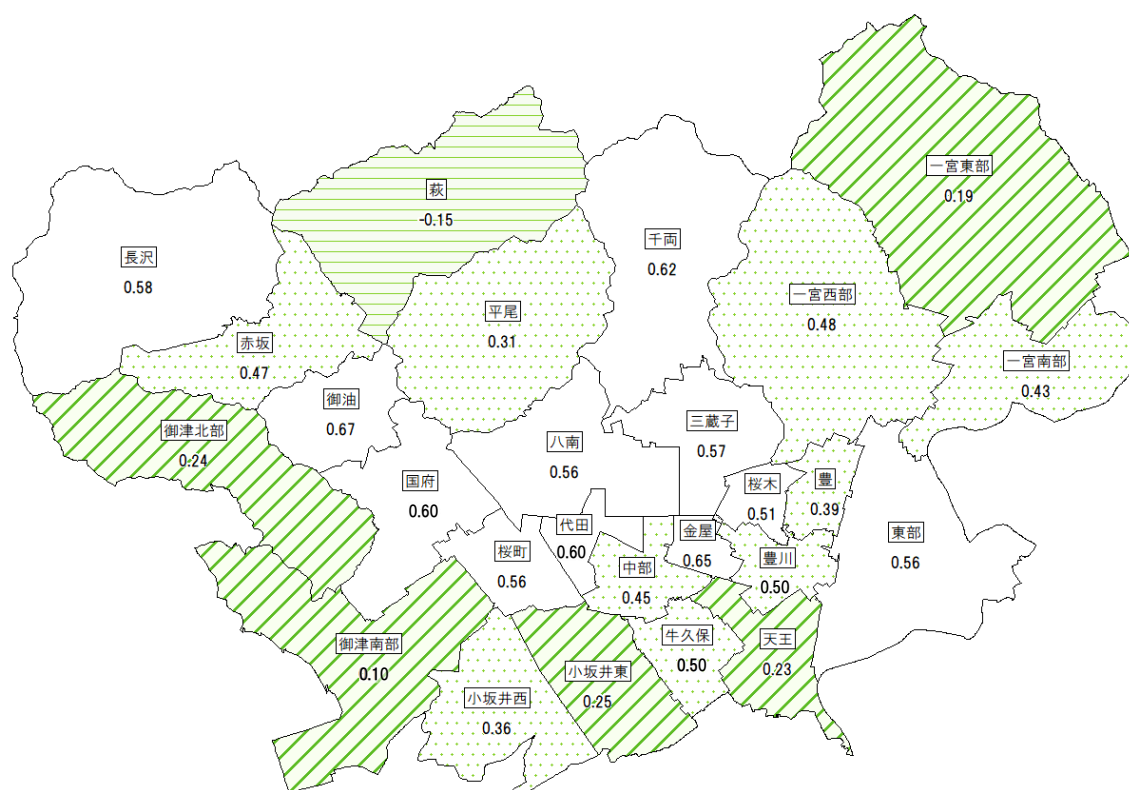
図表 45 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔22 道路の整備状況〕



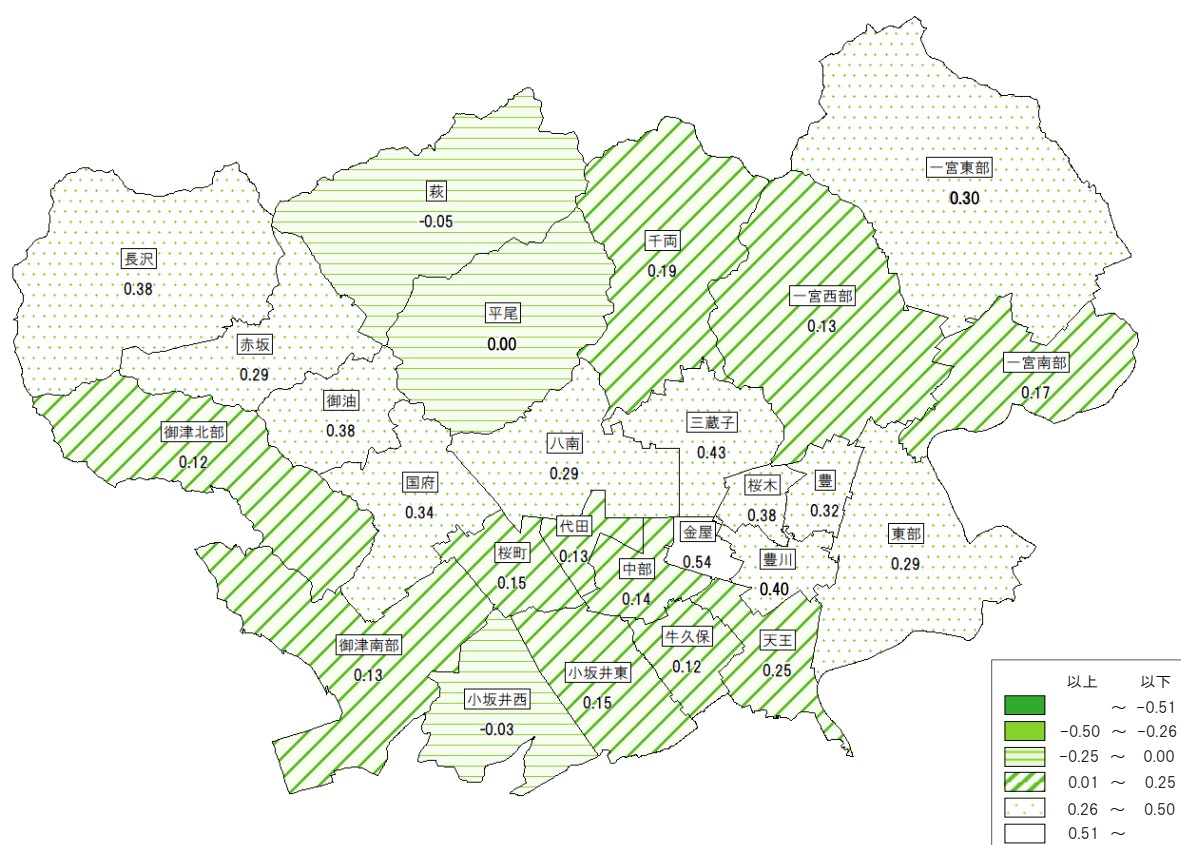
図表 46 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔23 緑・自然の豊かさ〕



図表 47 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔24 公園の状況〕



図表 48 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔25 河川の状況〕



オ 教育・文化

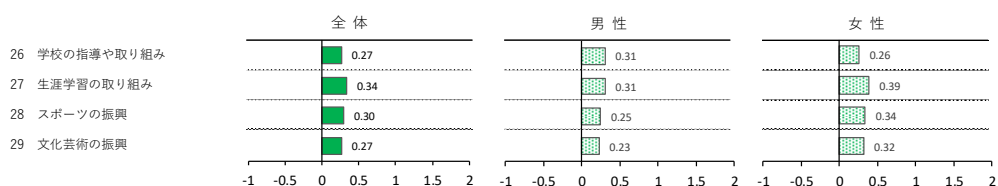
◆ 教育・文化分野では、4項目ともにプラス評価

教育・文化分野では、4項目すべての満足度がプラス評価となっている。【図表 49】

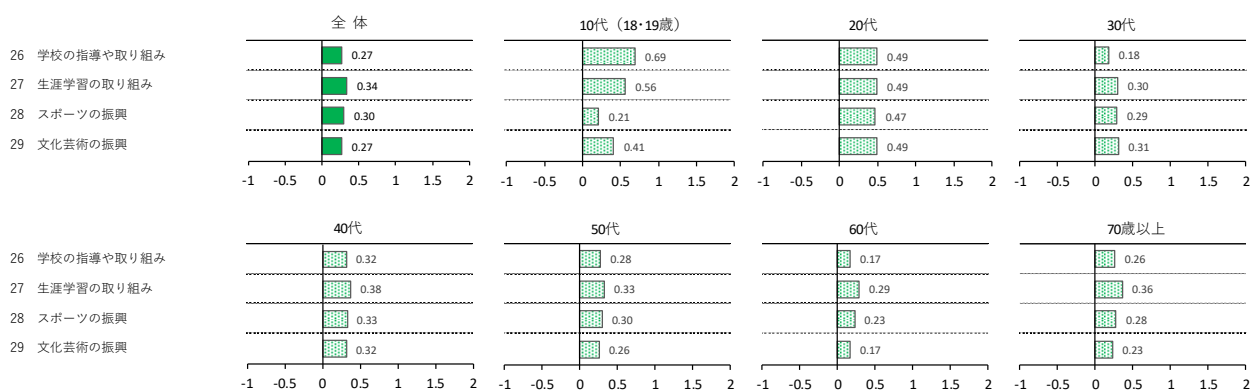
性別でみると、「26 学校の指導や取り組み」を除く項目で「女性」が「男性」を上回っている。最も差がある項目「28 スポーツの振興」「29 文化芸術の振興」はいずれも「女性」が「男性」より 0.09 ポイント高くなっている。【図表 49】

年齢別でみると、全体平均と比較して、すべての項目で「20代」「40代」の満足度が高くなっている。一方、「60代」はすべての項目で満足度が低くなっている。【図表 50】

図表 49 「教育・文化」(全体・性別)

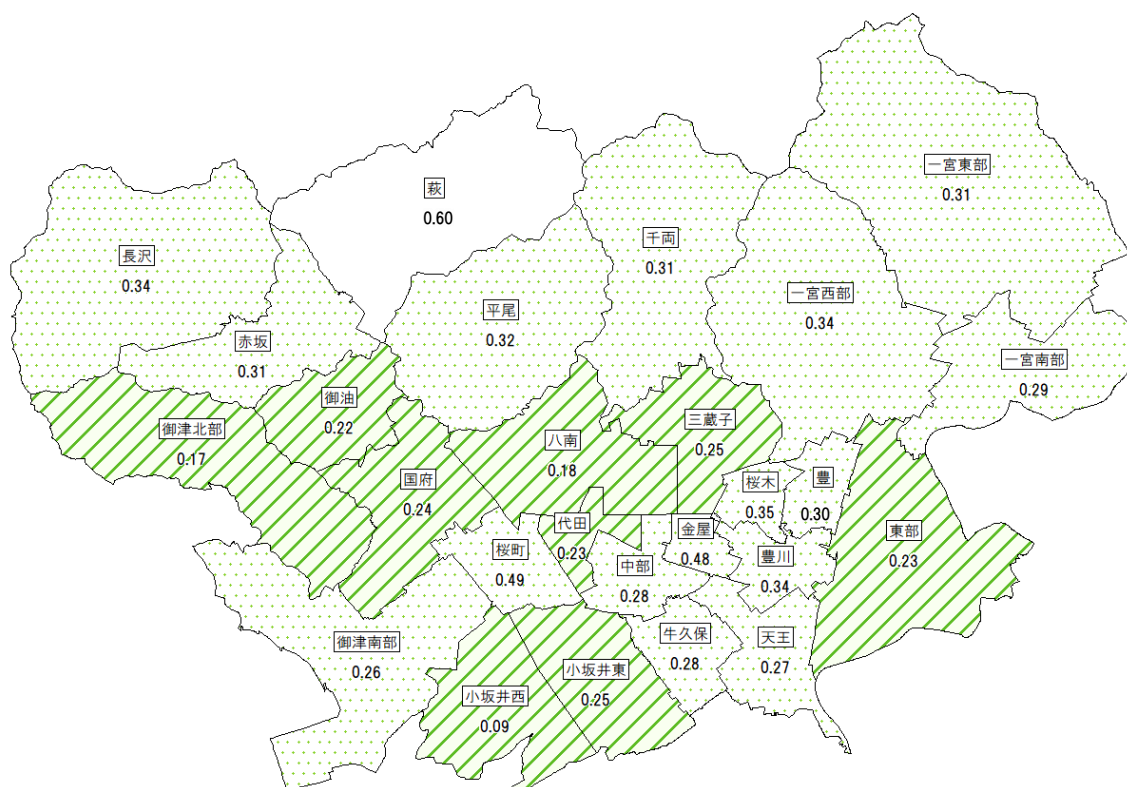


図表 50 「教育・文化」(全体・年齢別)

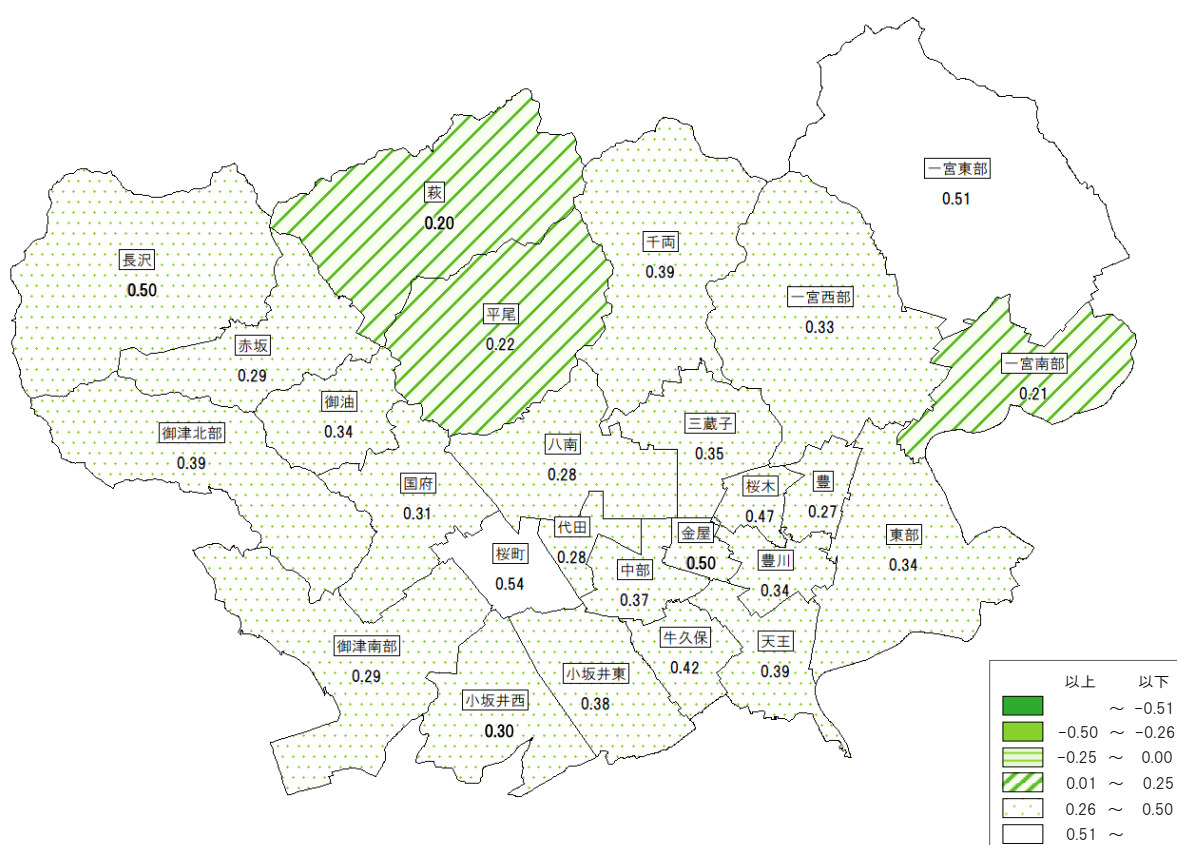


◆ ■ 小学校区別の傾向（満足度） ■ ◆

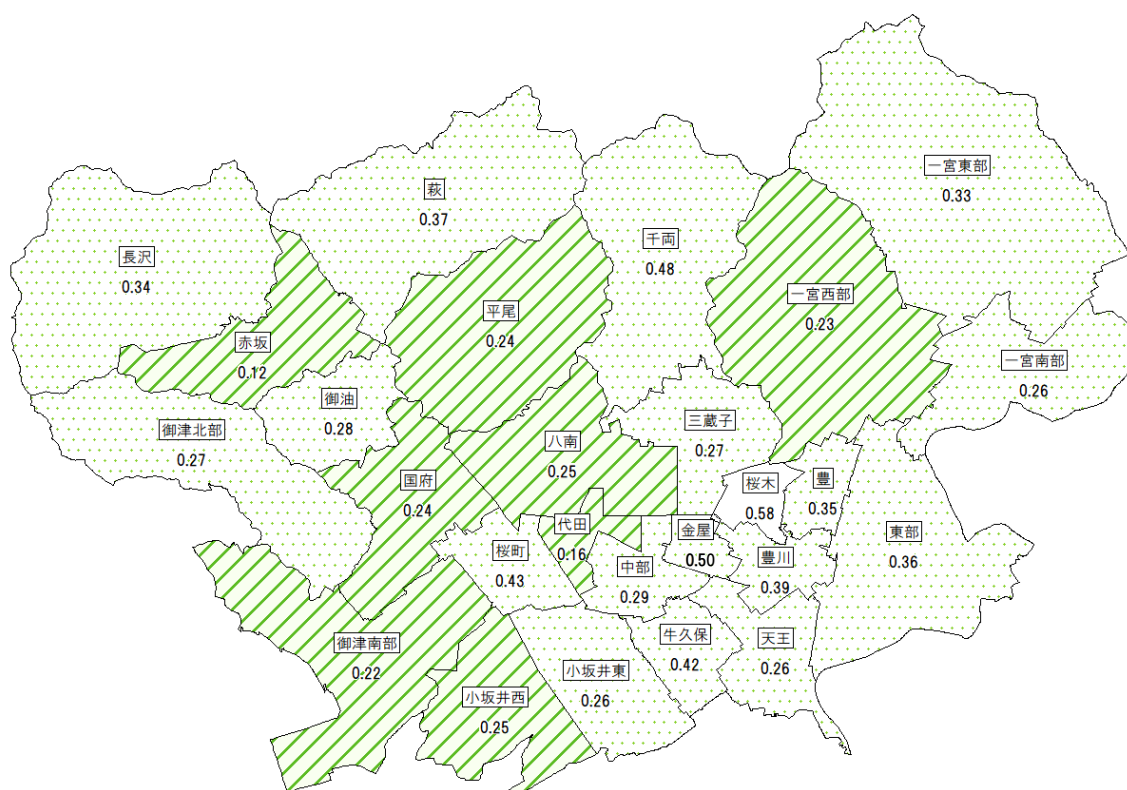
図表 51 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔26 学校の指導や取り組み〕



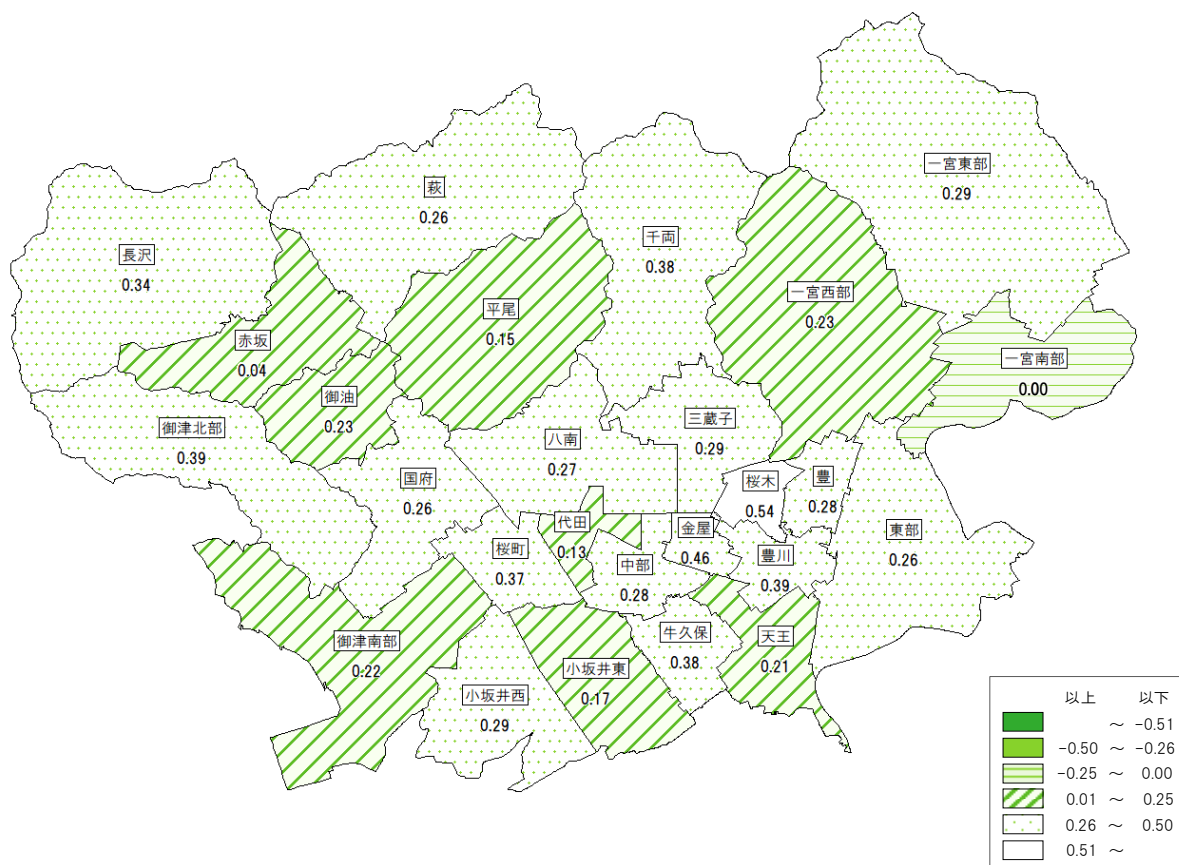
図表 52 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔27 生涯学習の取り組み〕



図表 53 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔28 スポーツの振興〕



図表 54 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔29 文化芸術の振興〕



力 産業・雇用

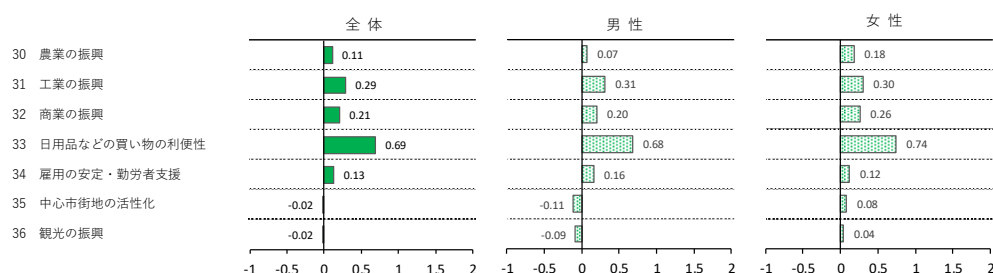
◆ 産業・雇用分野では、「日用品などの買い物の利便性」で高評価

産業・雇用分野では、7項目のうちプラス評価が5項目、マイナス評価が2項目となっている。「33 日用品などの買い物の利便性」(0.69)は満足度が高くなっているのに対し、「35 中心市街地の活性化」「36 観光の振興」(いずれも-0.02)は満足度が低くなっている。【図表 55】

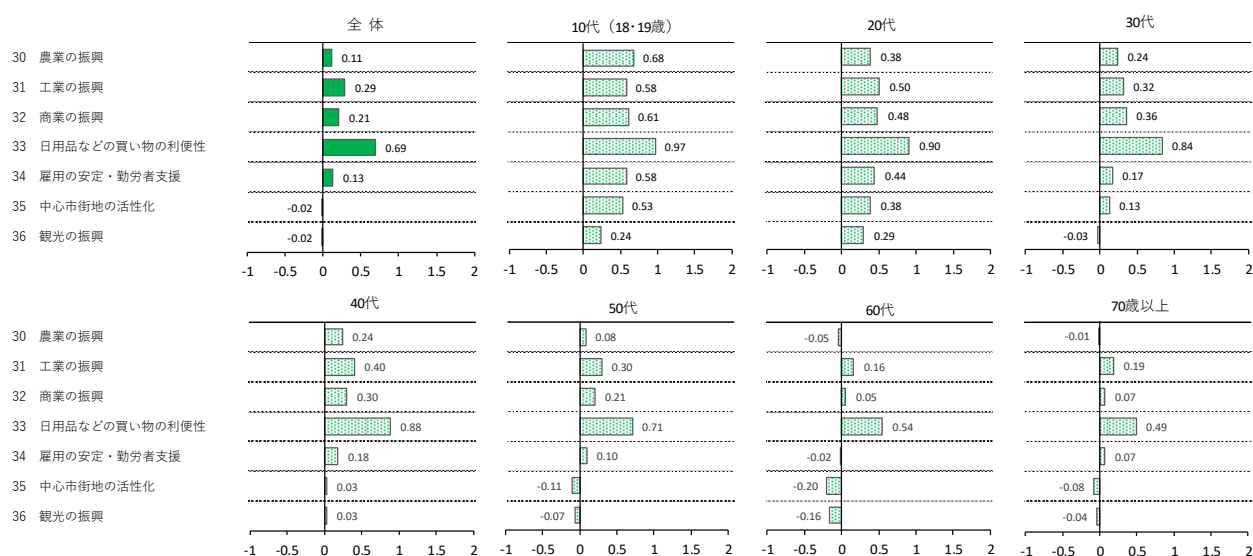
性別でみると、「31 工業の振興」「34 雇用の安定・勤労者支援」以外の項目は「男性」が「女性」より満足度が低く、最も差がある項目「35 中心市街地の活性化」は「男性」(-0.11)が「女性」(0.08)より0.19ポイント低くなっている。【図表 55】

年齢別でみると、全体平均と比較して、すべての項目で「10代(18・19歳)」「20代」「40代」の満足度が高く、「60代」「70歳以上」はすべての項目で満足度が低くなっている。【図表 56】

図表 55 「産業・雇用」(全体・性別)

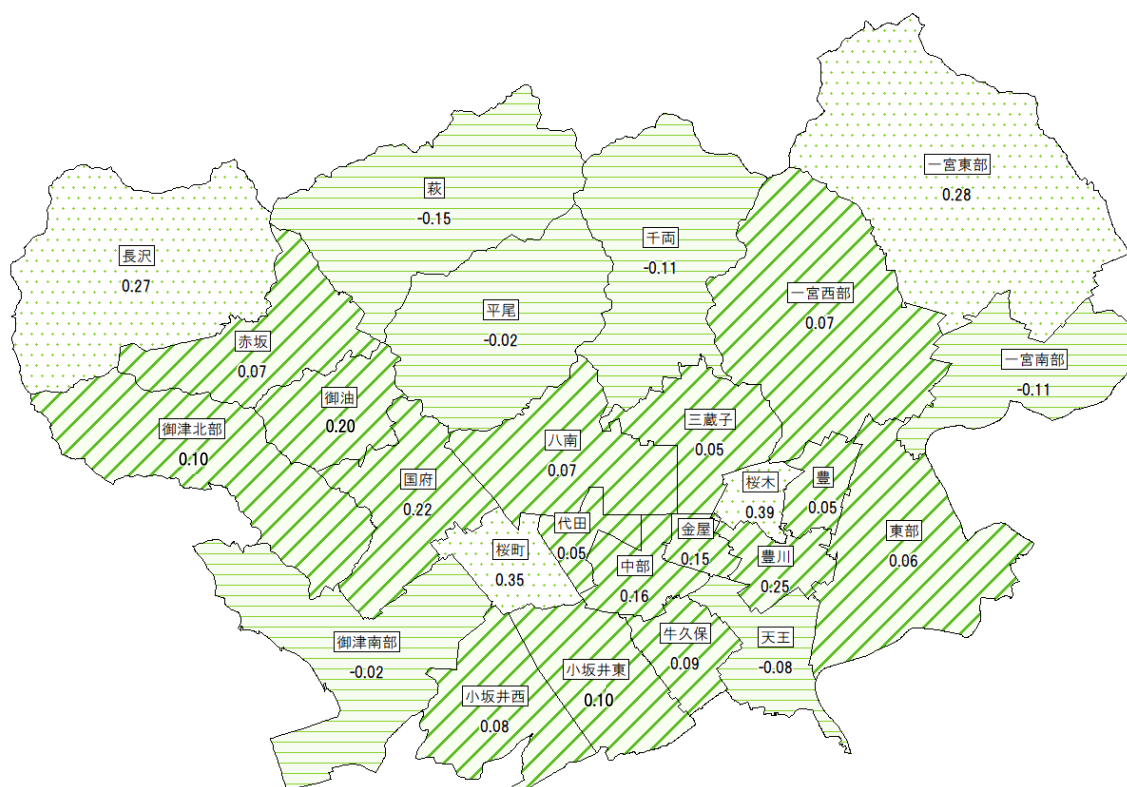


図表 56 「産業・雇用」(全体・年齢別)

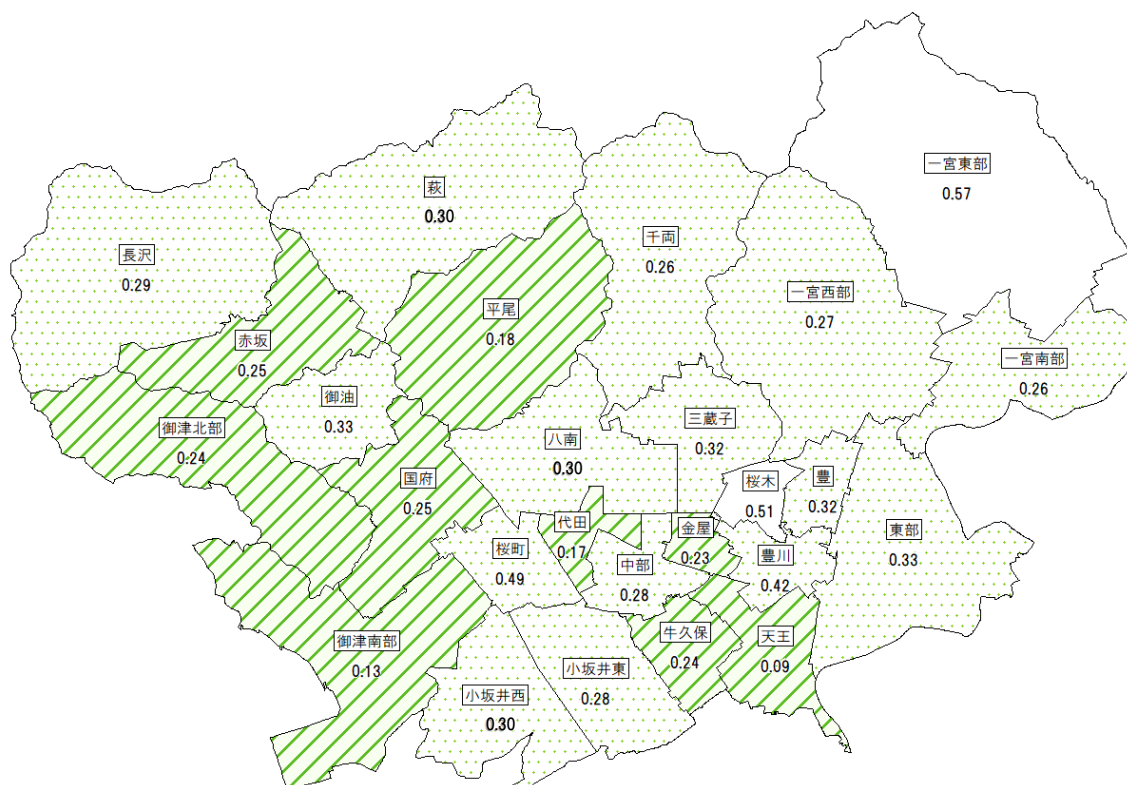


◆■ 小学校区別の傾向（満足度） ■◆

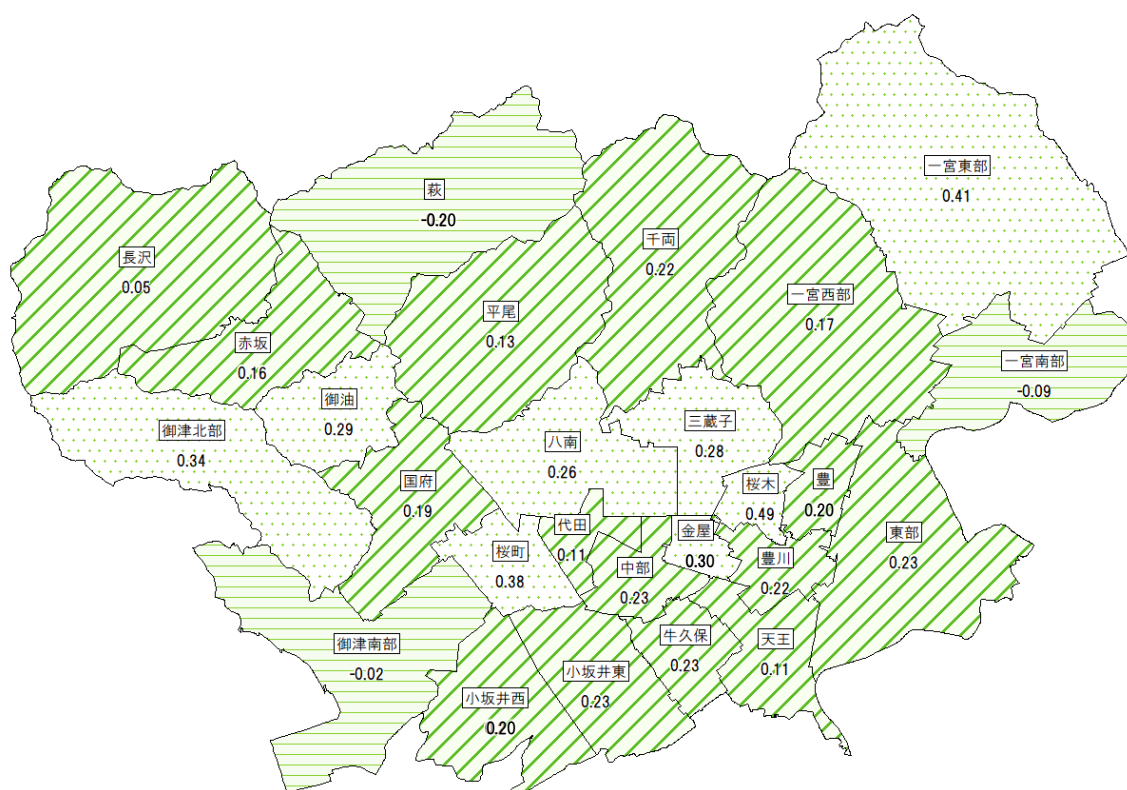
図表 57 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔30 農業の振興〕



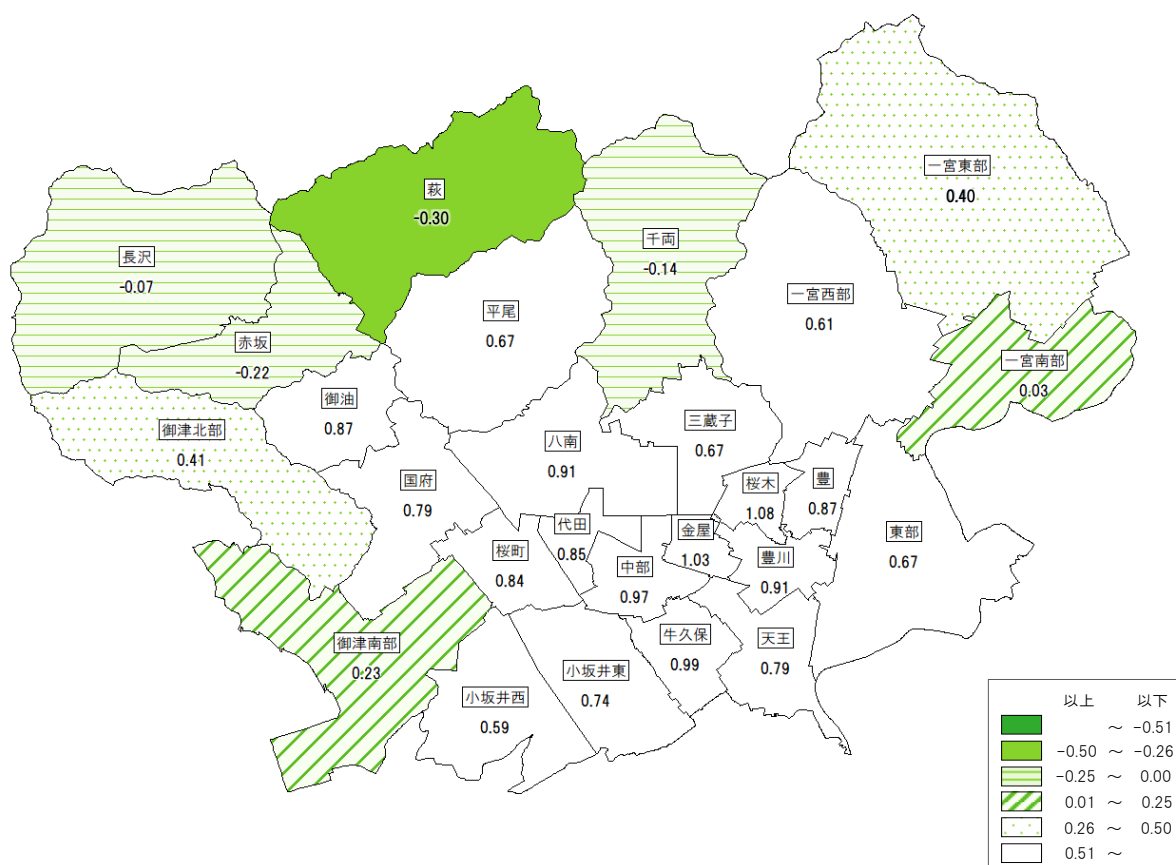
図表 58 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔31 工業の振興〕



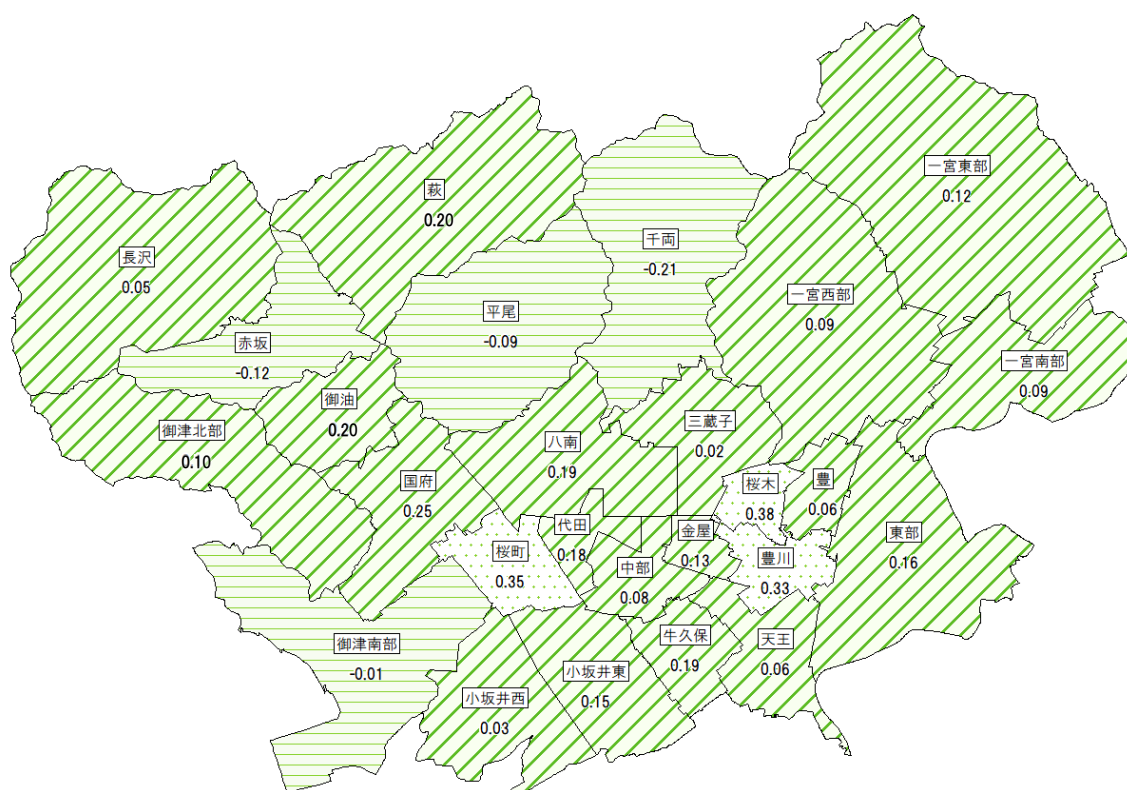
図表 59 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔32 商業の振興〕



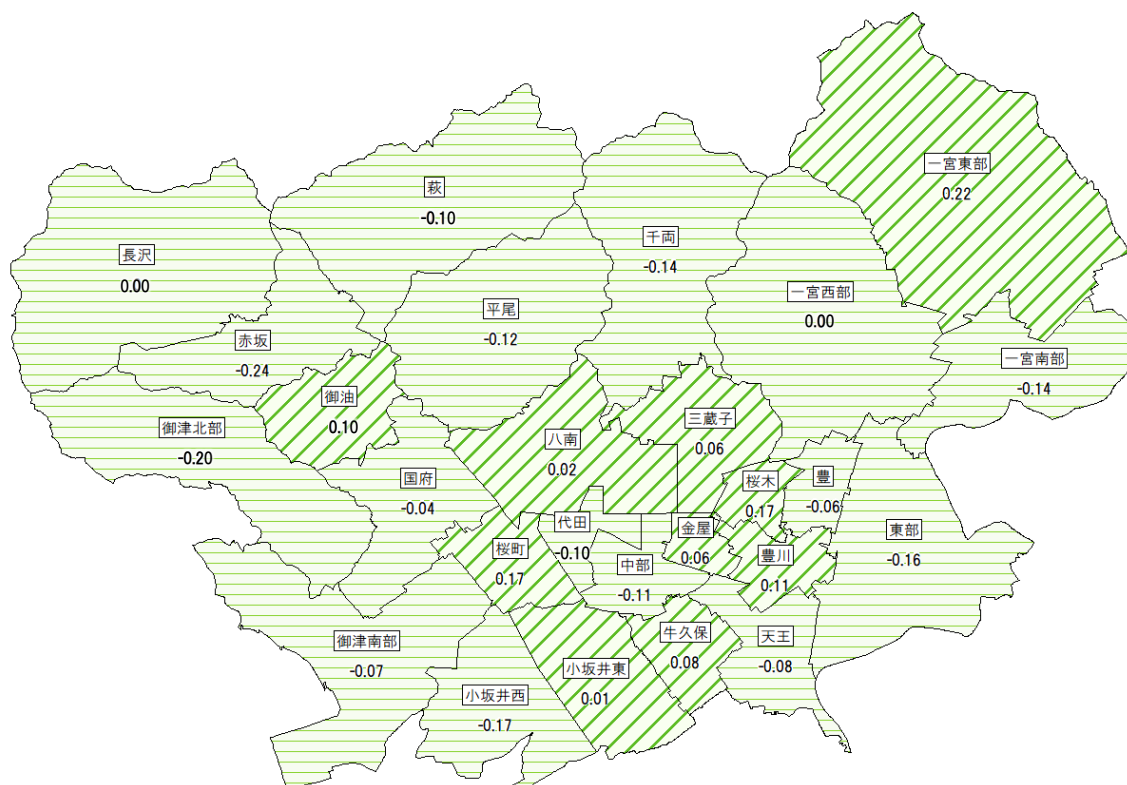
図表 60 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔33 日用品などの買い物の利便性〕



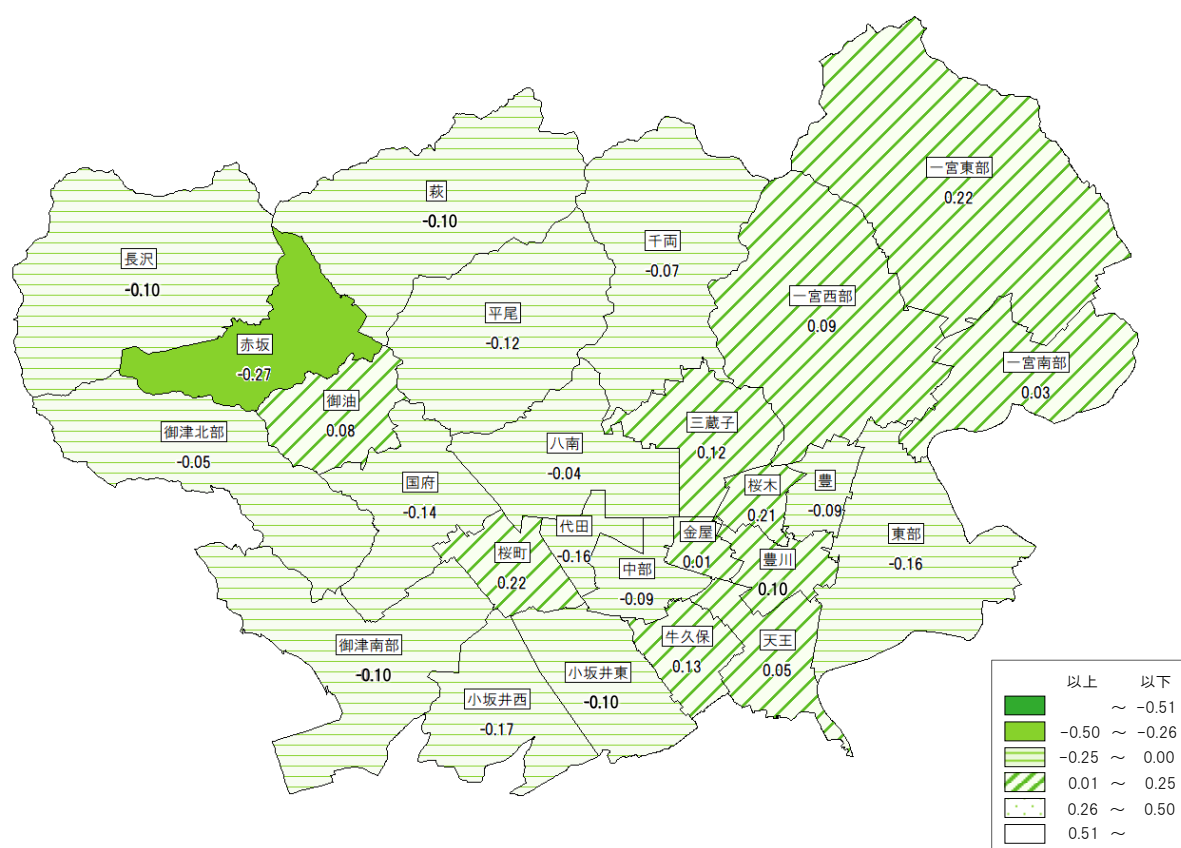
図表 61 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔34 雇用の安定・勤労者支援〕



図表 62 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔35 中心市街地の活性化〕



図表 63 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔36 観光の振興〕



キ 地域・行政

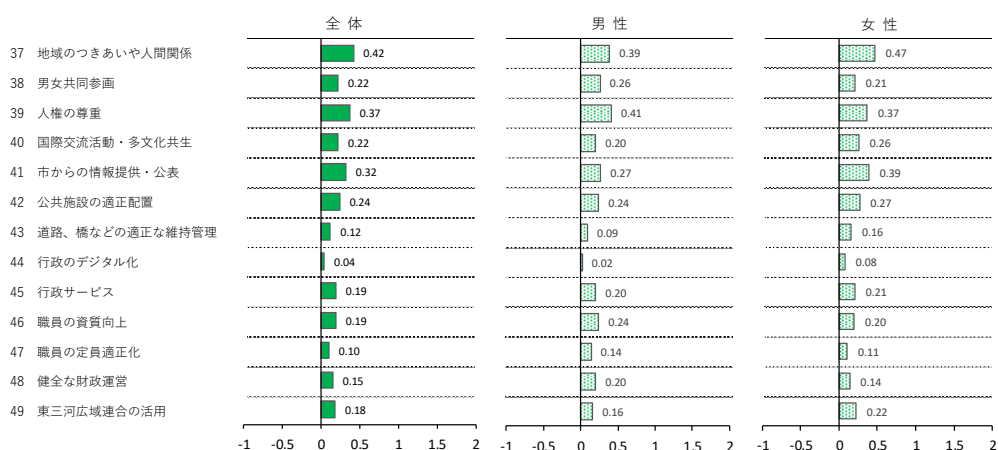
◆ 地域・行政分野では、13項目ともにプラス評価

地域・行政分野では、13項目すべての満足度がプラス評価となっている。「37 地域のつきあいや人間関係」(0.42)、「39 人権の尊重」(0.37)で満足度が高くなっている。【図表 64】

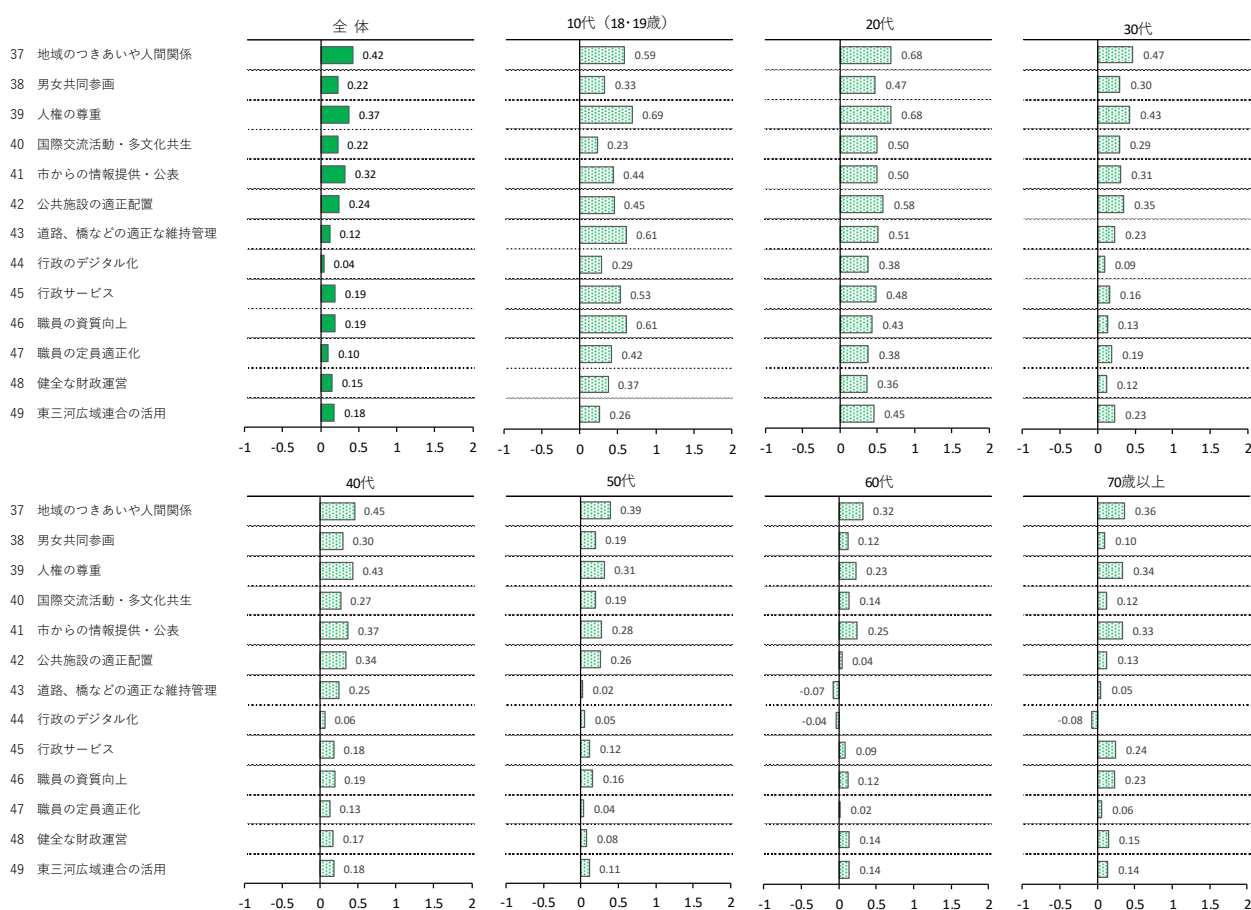
性別でみると、最も差がある項目「41 市からの情報提供・公表」では、「男性」(0.27)が「女性」(0.39)より0.12ポイント低くなっている。【図表 64】

年齢別でみると、全体平均と比較して、すべての項目で「60代」の満足度が平均よりも低くなっている。また、「60代」「70歳以上」では「44 行政のデジタル化」の満足度がマイナス評価になっている。【図表 65】

図表 64 「地域・行政」(全体・性別)

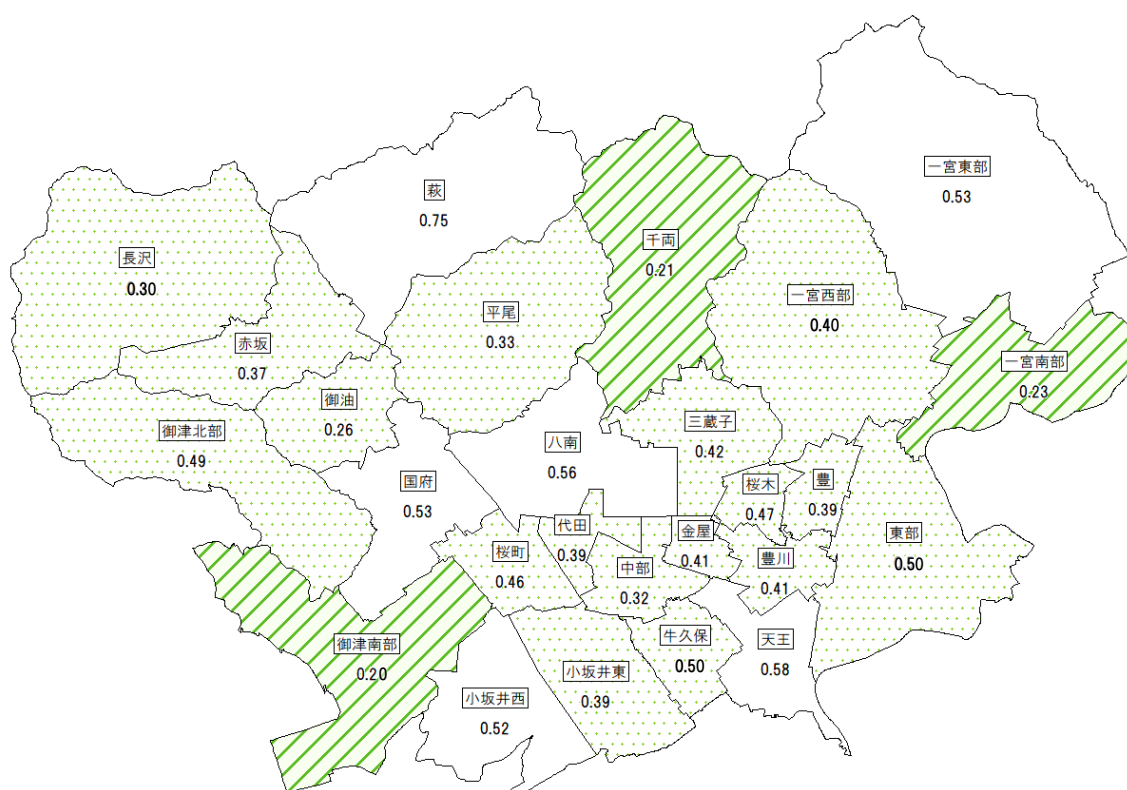


図表 65 「地域・行政」(全体・年齢別)

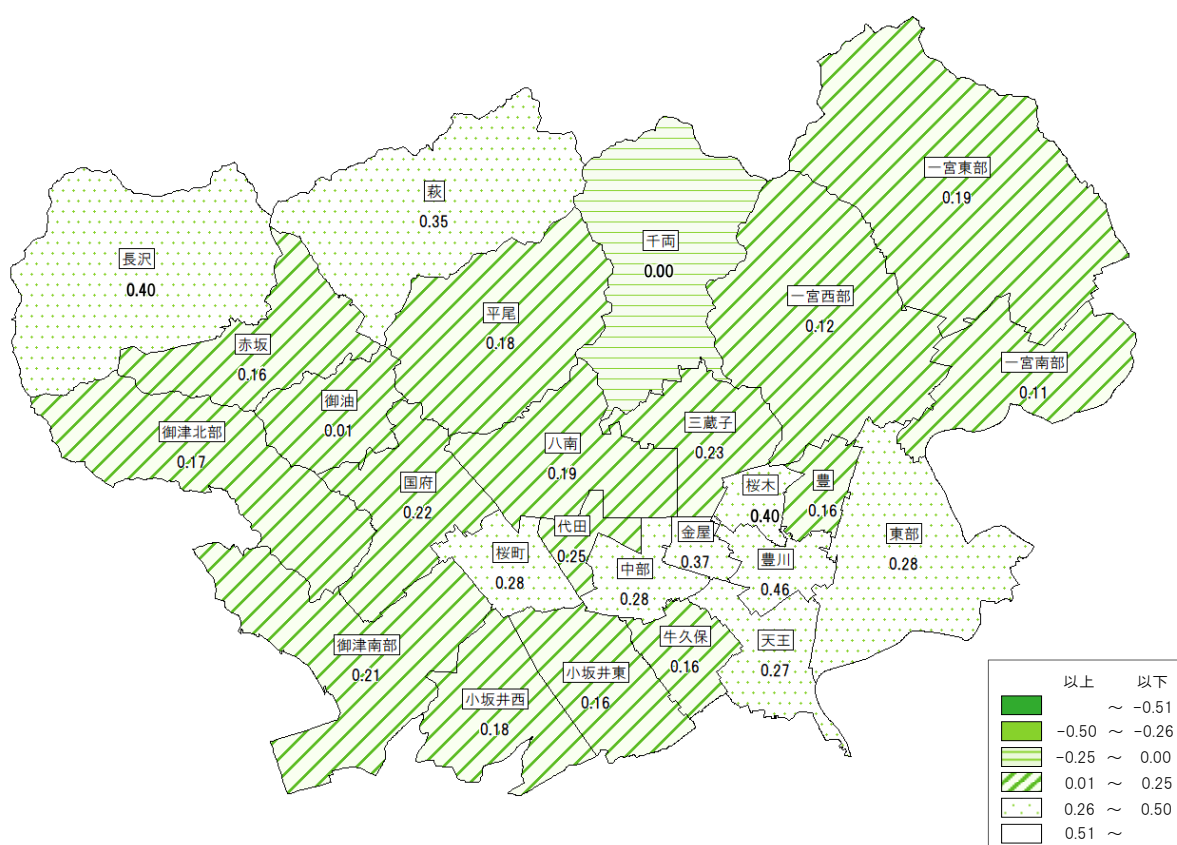


◆ ■ 小学校区別の傾向（満足度） ■ ◆

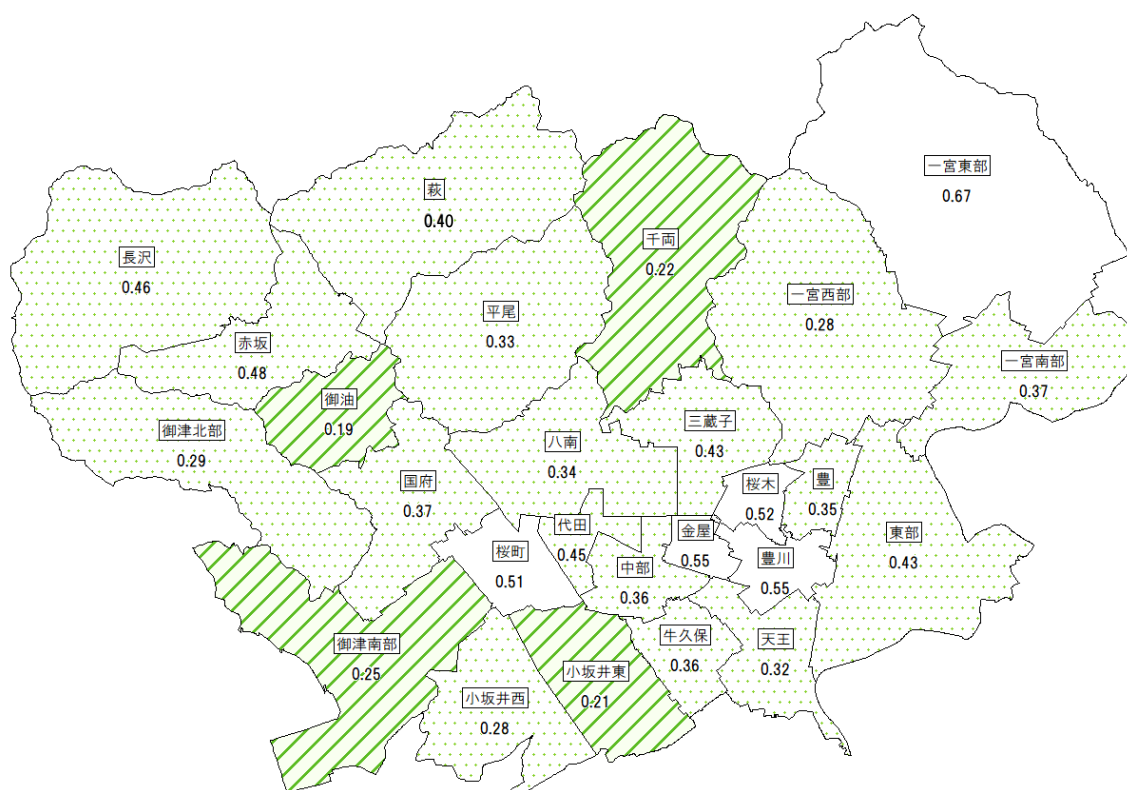
図表 66 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔37 地域のつきあいや人間関係〕



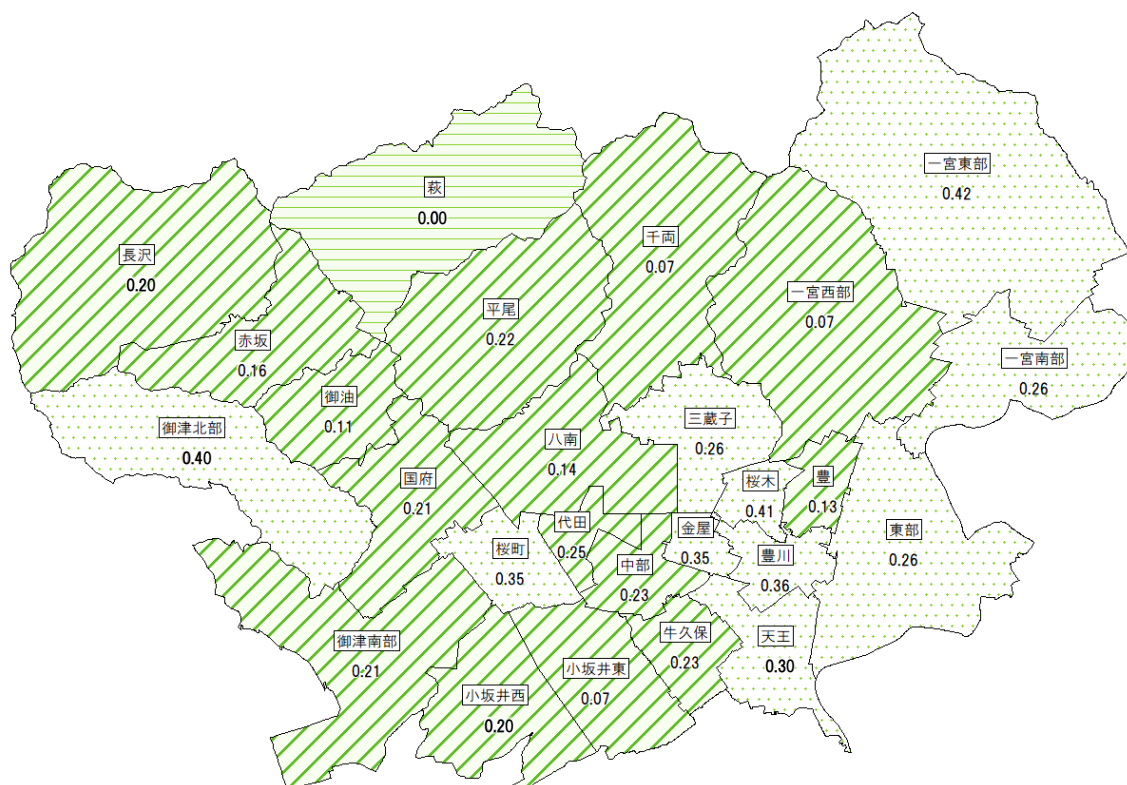
図表 67 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔38 男女共同参画〕



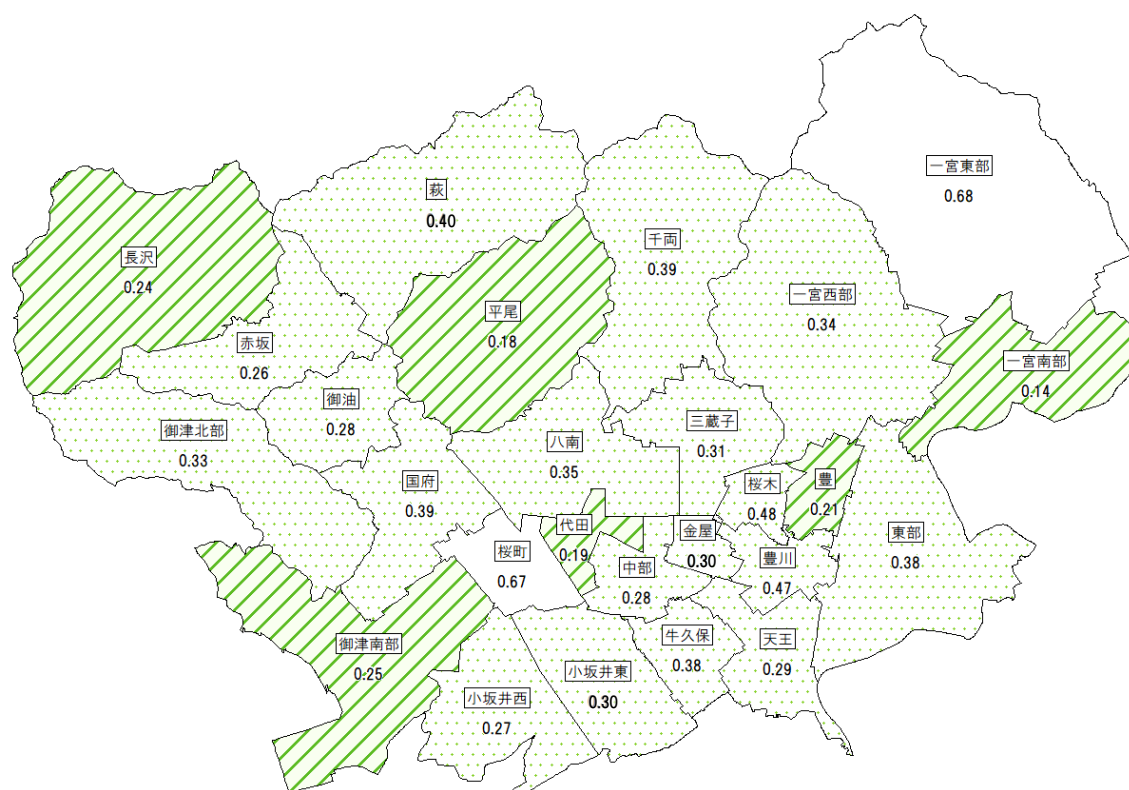
図表 68 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔39 人権の尊重〕



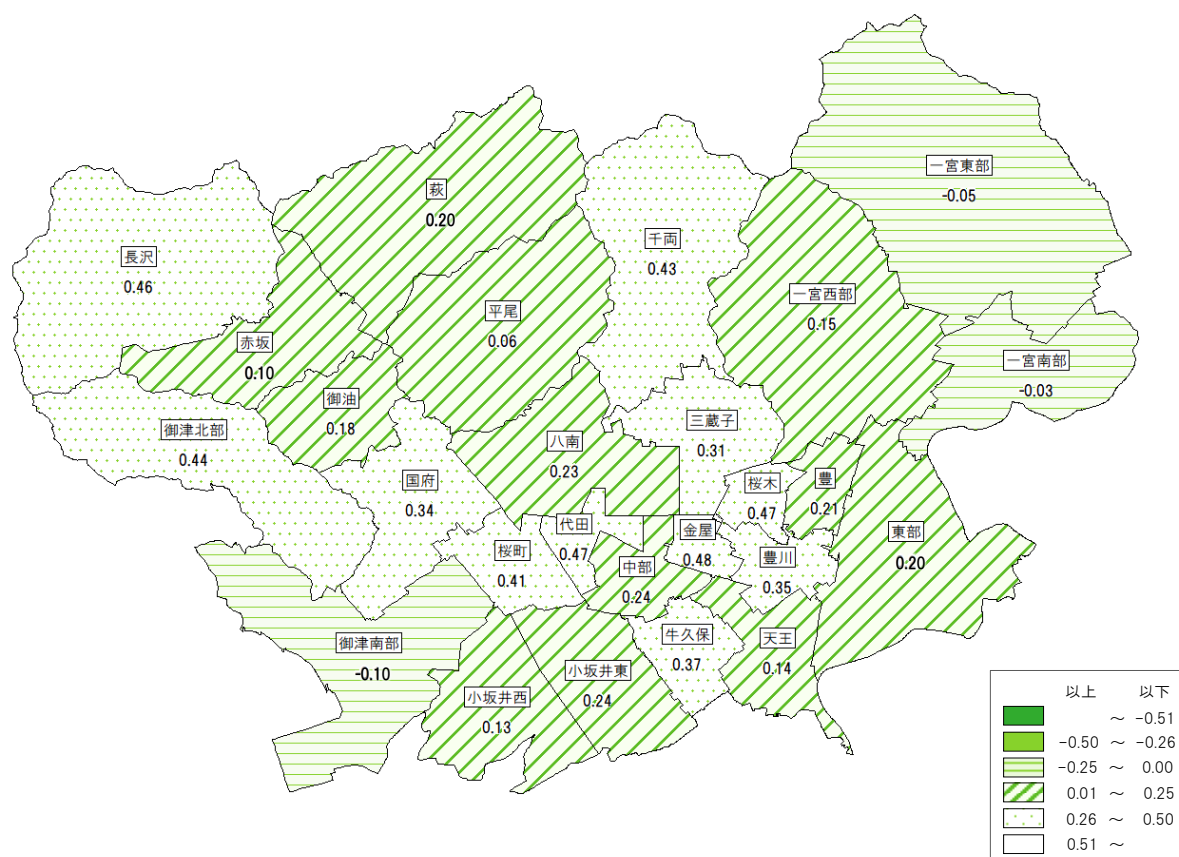
図表 69 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔40 国際交流活動・多文化共生〕



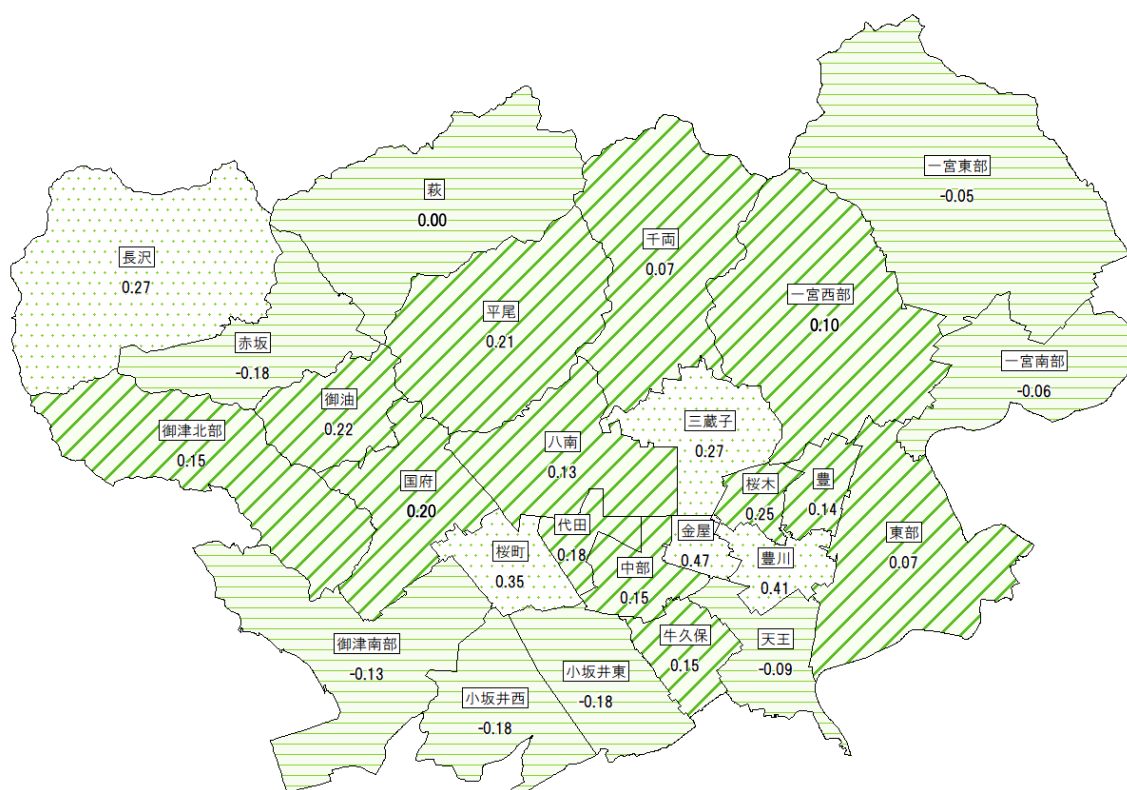
図表 70 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔41 市からの情報提供・公表〕



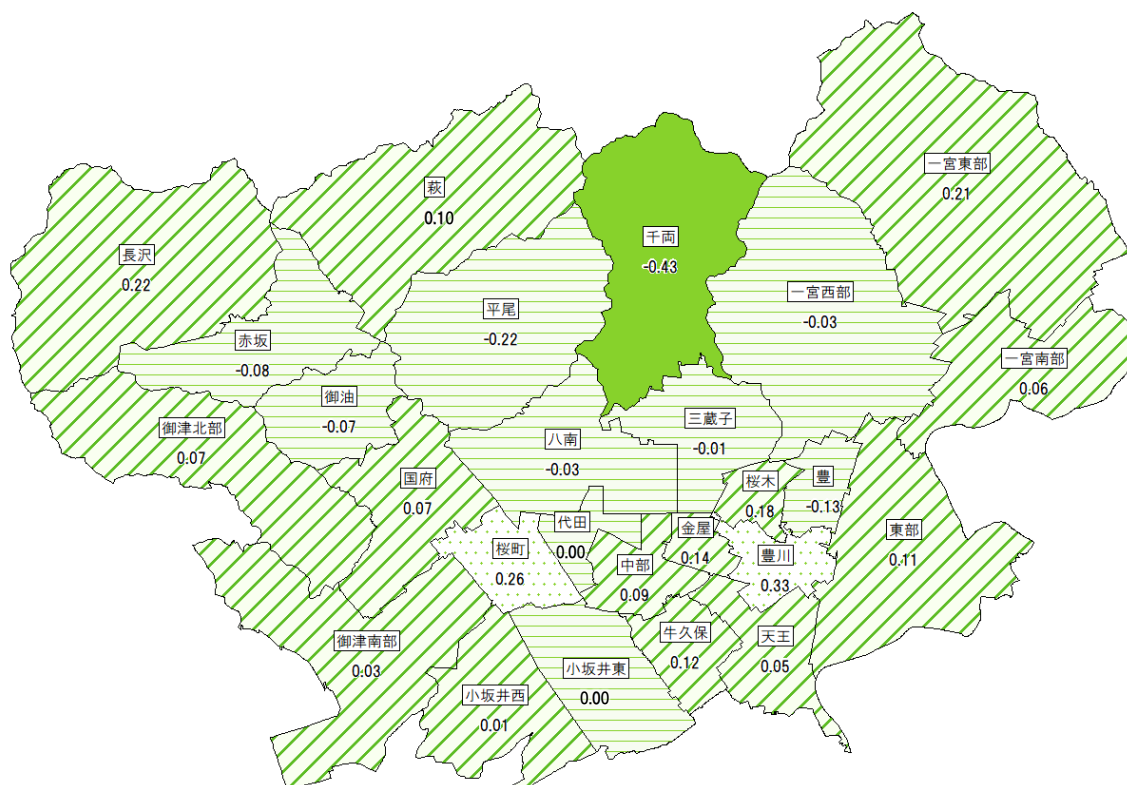
図表 71 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔42 公共施設の適正配置〕



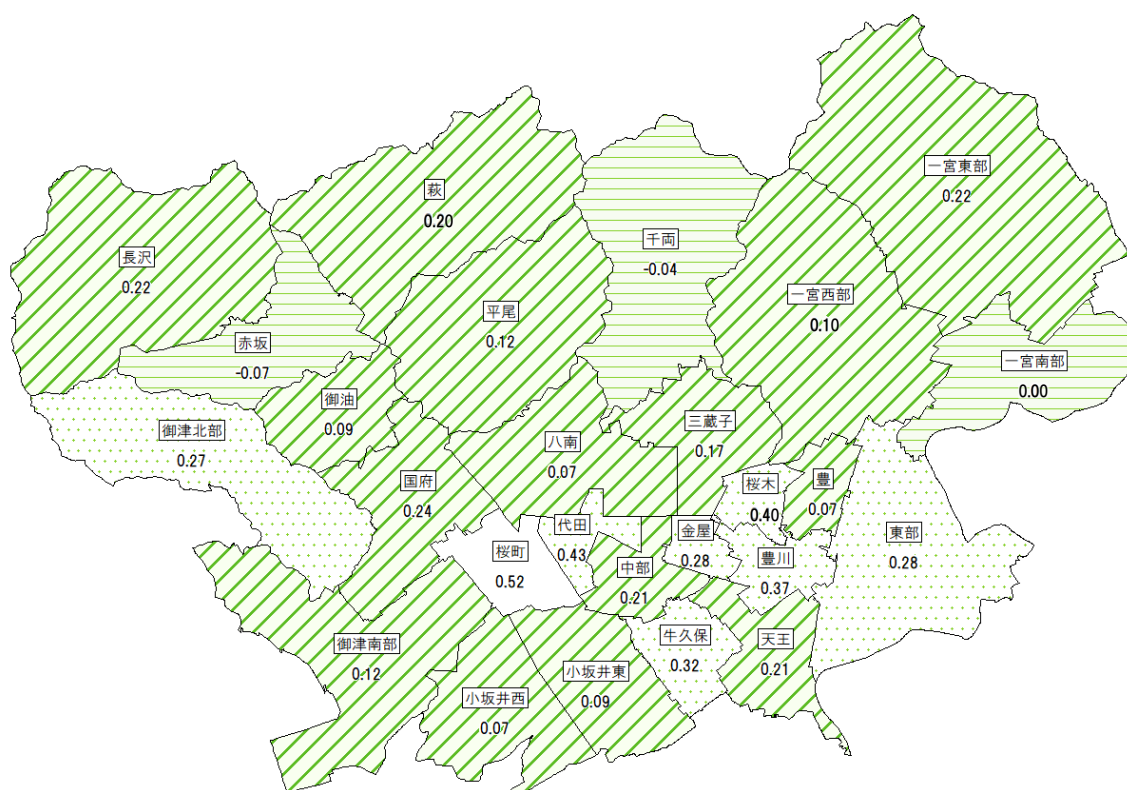
図表 72 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔43 道路、橋などの適正な維持管理〕



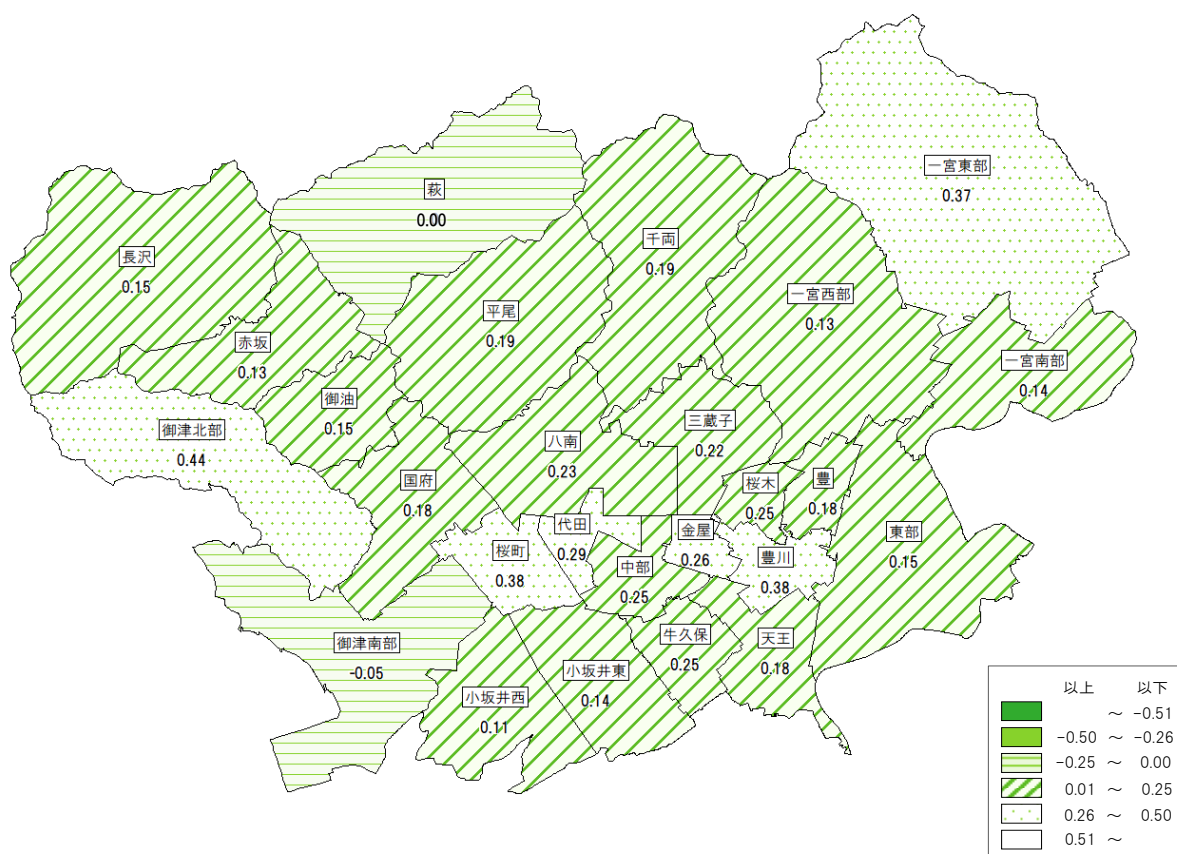
図表 73 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔44 行政のデジタル化〕



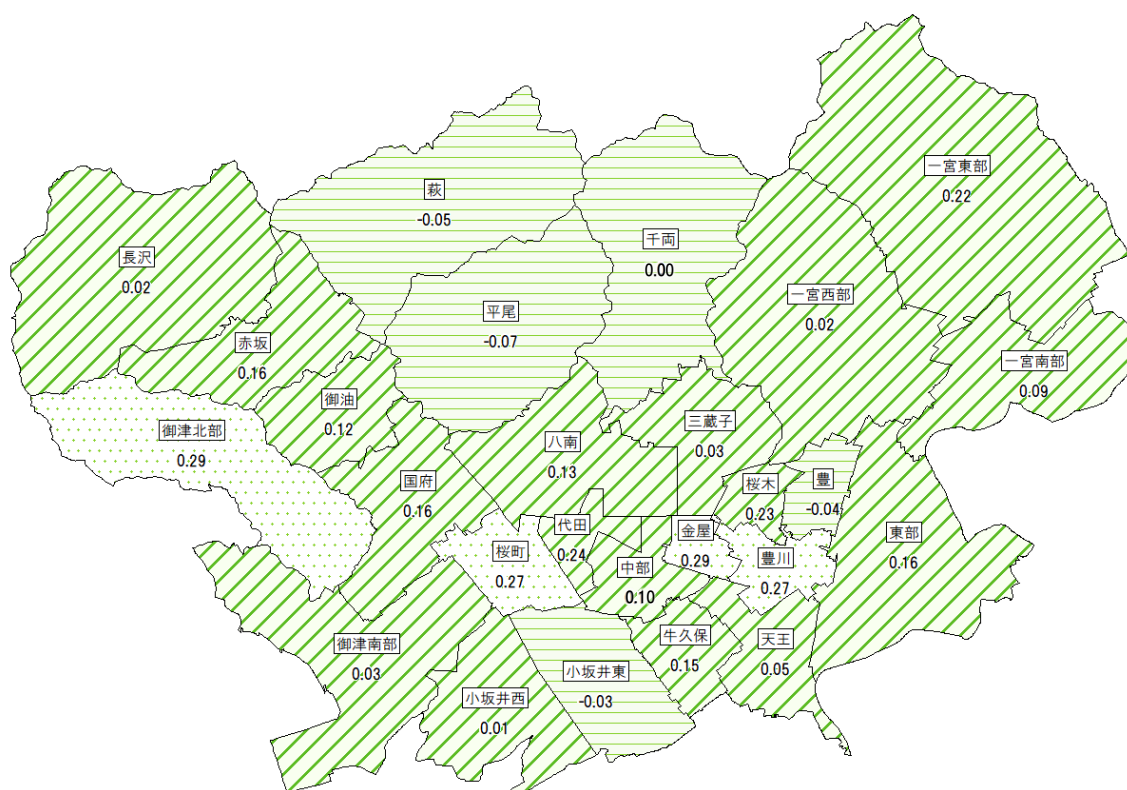
図表 74 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔45 行政サービス〕



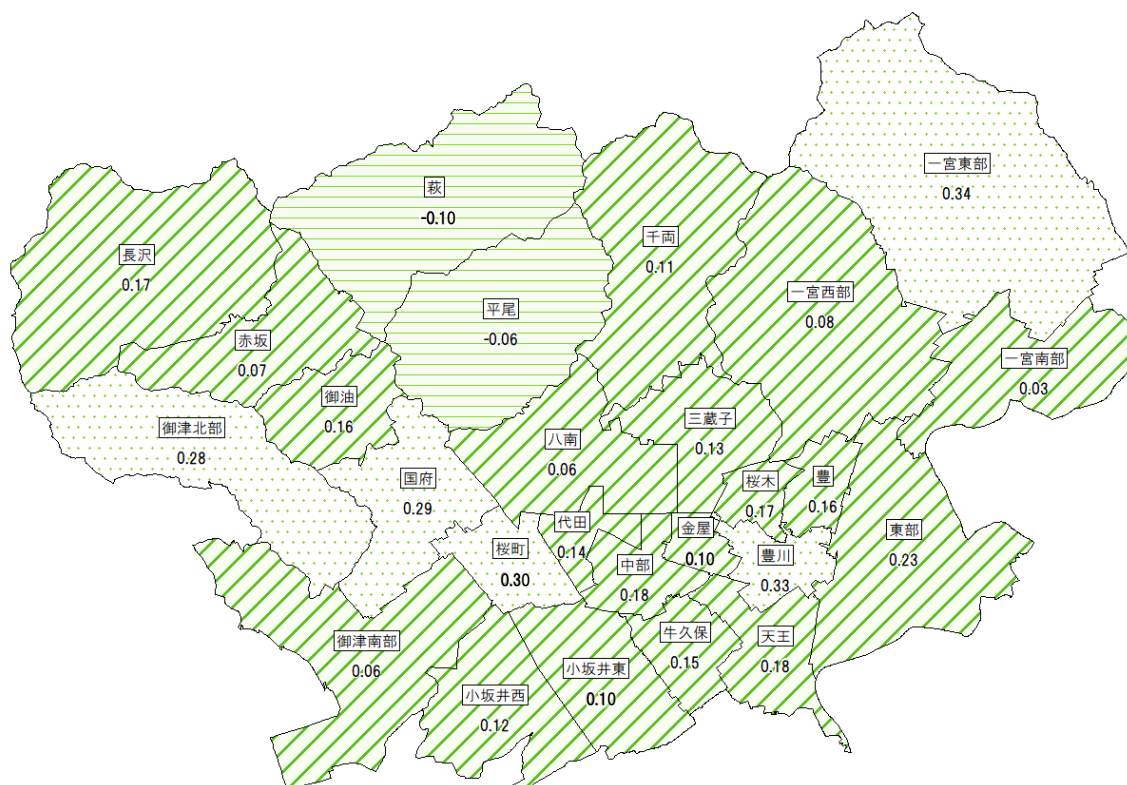
図表 75 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔46 職員の資質向上〕



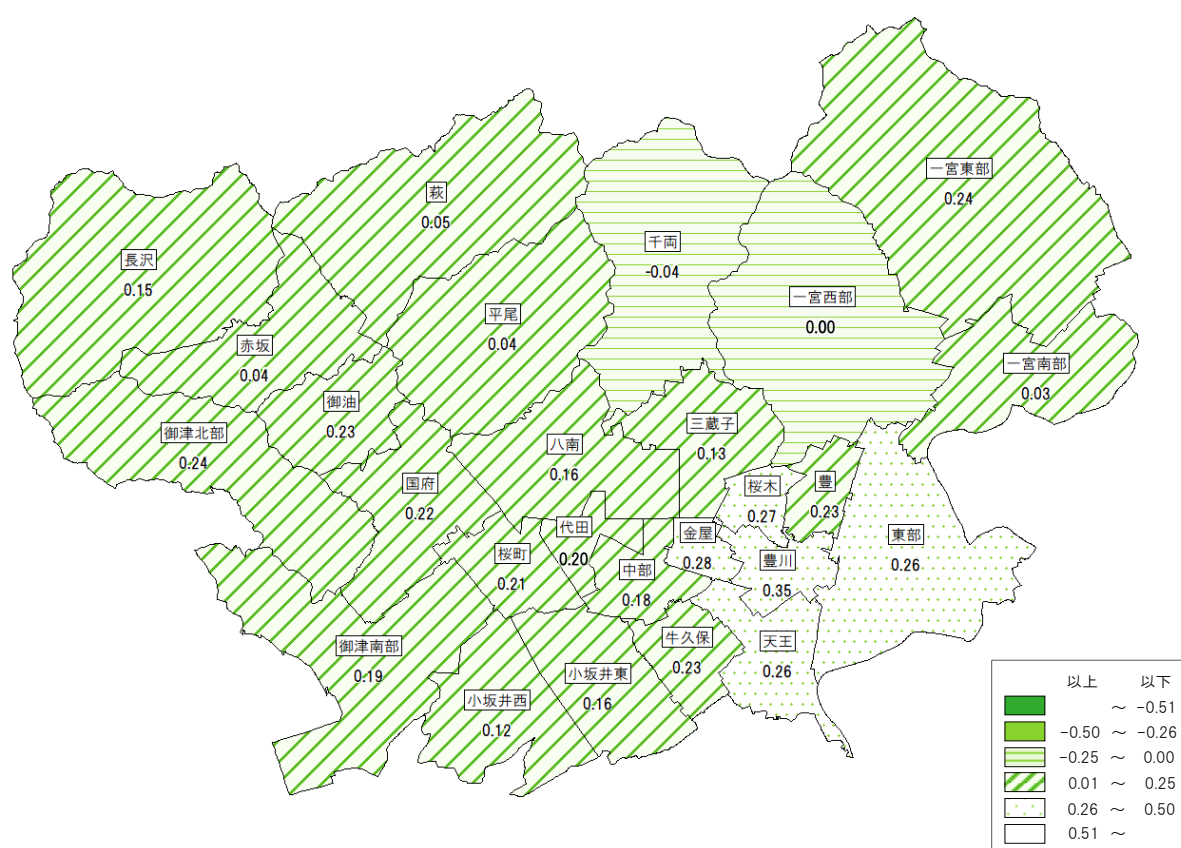
図表 76 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔47 職員の定員適正化〕



図表 77 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔48 健全な財政運営〕



図表 78 小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔49 東三河広域連合の活用〕



2 重要度の評価

(1) 全体評価

豊川市の今後の市政を進めるにあたっての重要度を、「安全・安心」「子ども・若者」「健康・福祉」「建設・整備」「教育・文化」「産業・雇用」「地域・行政」の7分野49項目に対して、〔非常に重要〕を＋2点、〔やや重要〕を＋1点、〔さほど重要でない〕を－1点、〔重要でない〕を－2点、〔わからない〕を0点として項目ごとに評価点を算出した。その結果、豊川市全体では、市政の重要度の平均値は1.00となっており、分野別の最大値は1.56、最小値は0.32であった。【図表 79、80】

◆ 重要度の評価点が1.00以上の項目が24項目、1.00未満の項目が25項目

分野別にみると、「安全・安心」分野（1.35）での重要度が高くなっている。【図表 79】

項目別にみると、「4 地震などに対する防災対策」（1.56）で重要度が最も高くなっており、次いで「6 救急体制」「11 水道水の安全・安定供給」（いずれも1.49）、「2 歩行者にとっての道路の安全性」「3 防犯対策」「16 医療環境」（いずれも1.46）の順となっており、上位6項目のうち5項目が「安全・安心」分野の項目となっている。その他「子ども・若者」「健康・福祉」分野でも重要度の高い項目がみられる。【図表 80】

◆ 前回より重要度が高くなった項目が39項目、低くなった項目が8項目

前回調査より重要度の評価点が高くなった項目は39項目となっており、「4 地震などに対する防災対策」が0.39ポイント増、「13 青少年の育成・支援」が0.36ポイント増、「14 子どもを生み、育てる環境」が0.34ポイント増、「3 防犯対策」が0.33ポイント増、「11 水道水の安全・安定供給」が0.32ポイント増となっている。

一方、前回調査より重要度の評価点が低くなった項目は8項目で、「24 公園の状況」「40 国際交流活動・多文化共生」がいずれも0.09ポイント減、「45 行政サービス」が0.03ポイント減、「38 男女共同参画」「39 人権尊重」「47 職員の定員適正化」がいずれも0.02ポイント減となっている。【図表 80】

※「14 若者への支援」「44 行政のデジタル化」は前回調査項目に含まれず

図表 79 分野別重要度平均値

	全体	安全・安心	子ども・若者	健康・福祉	建設・整備	教育・文化	産業・雇用	地域・行政
重要度平均	1.00	1.35	1.16	1.10	0.92	0.60	0.95	0.80

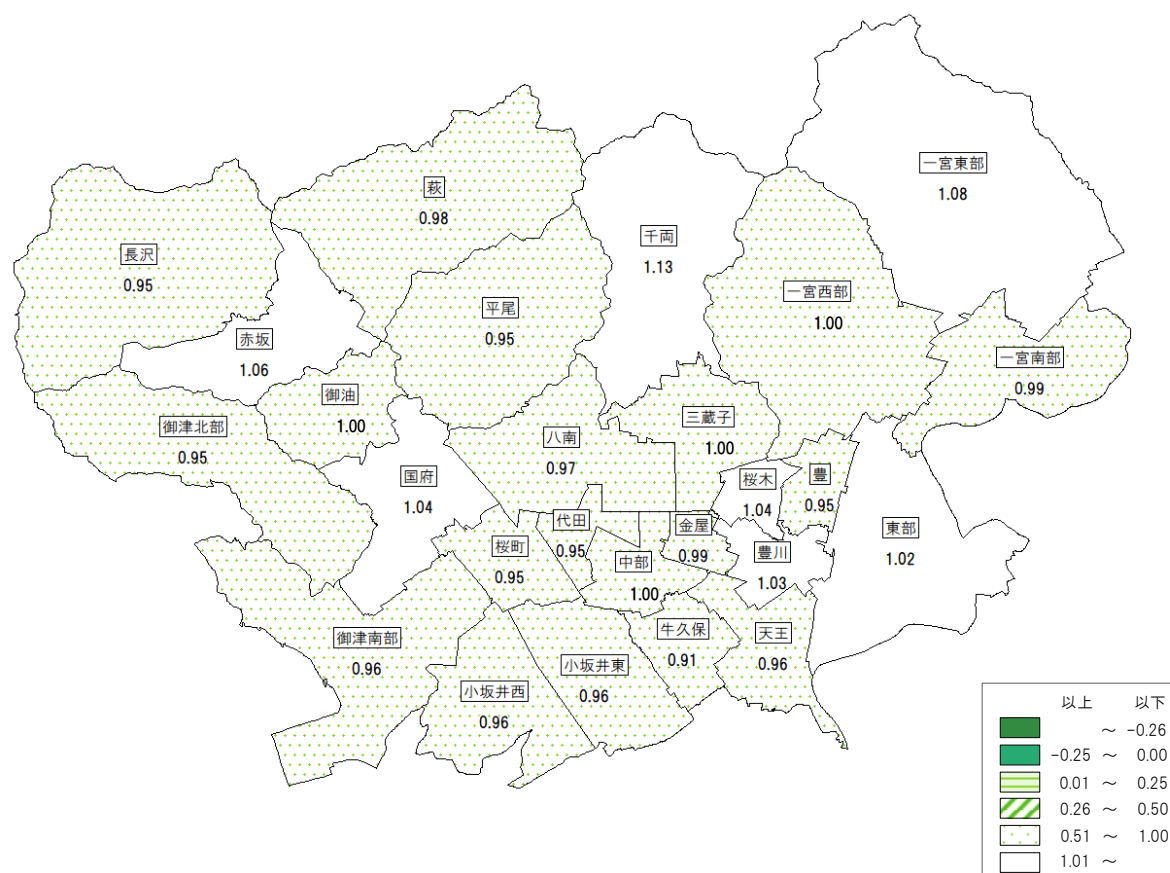
図表 80 市政に対する重要度の評価点



◆ ■ 小学校区別の傾向（重要度） ■ ◆

小学校区別に全体の重要度の平均値が高い順にみると、「千両小学校区」（1.13）、「一宮東部小学校区」（1.08）、また、「赤坂小学校区」（1.06）、「国府小学校区」「桜木小学校区」（いずれも 1.04）となっている。一方、重要度の平均値が低い小学校区は、「牛久保小学校区」（0.91）、「豊小学校区」「桜町小学校区」「代田小学校区」「平尾小学校区」「長沢小学校区」「御津北部小学校」（いずれも 0.95）となっている。【図表 81】

図表 81 小学校区×「市政に対する重要度平均値」



(2) 分野別評価

ア 安全・安心

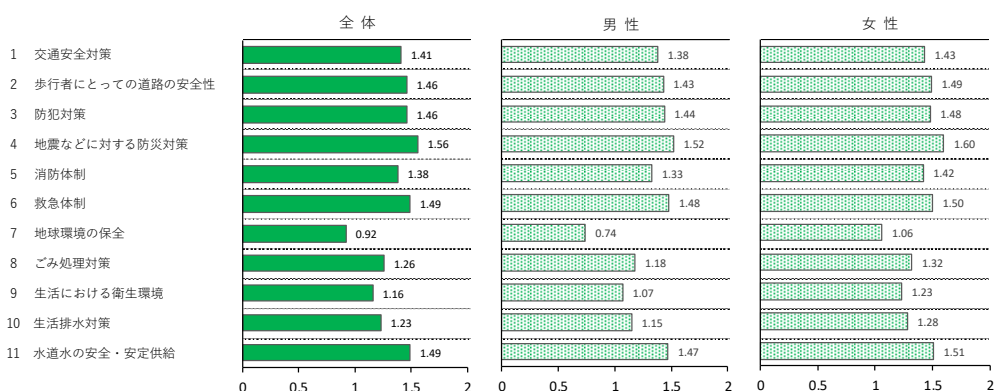
◆ 安全・安心分野で重要度が高い項目は、「地震などに対する防災対策」

安全・安心分野では、いずれの項目も重要度が高く、11項目のうち1.20以上が9項目となっている（他分野で1.20以上の項目は3項目のみ）。最も重要度が高かった項目は「4 地震などに対する防災対策」（1.56）で、次に「6 救急体制」「11 水道水の安全・安定供給」（いずれも1.49）で、「2 歩行者にとっての道路の安全性」「3 防犯対策」（いずれも1.46）、「1 交通安全対策」（1.41）の順となっている。【図表 82】

性別でみると、すべての項目で「男性」より「女性」の重要度が高く、最も差がある項目は「7 地球環境の保全」で「男性」（0.74）が「女性」（1.06）よりも0.32ポイント低くなっている。【図表 82】

年齢別でみると、「10代（18・19歳）」では「1 交通安全対策」（1.57）で他の年代と比較して高くなっている。【図表 83】

図表 82 「安全・安心」（全体・性別）

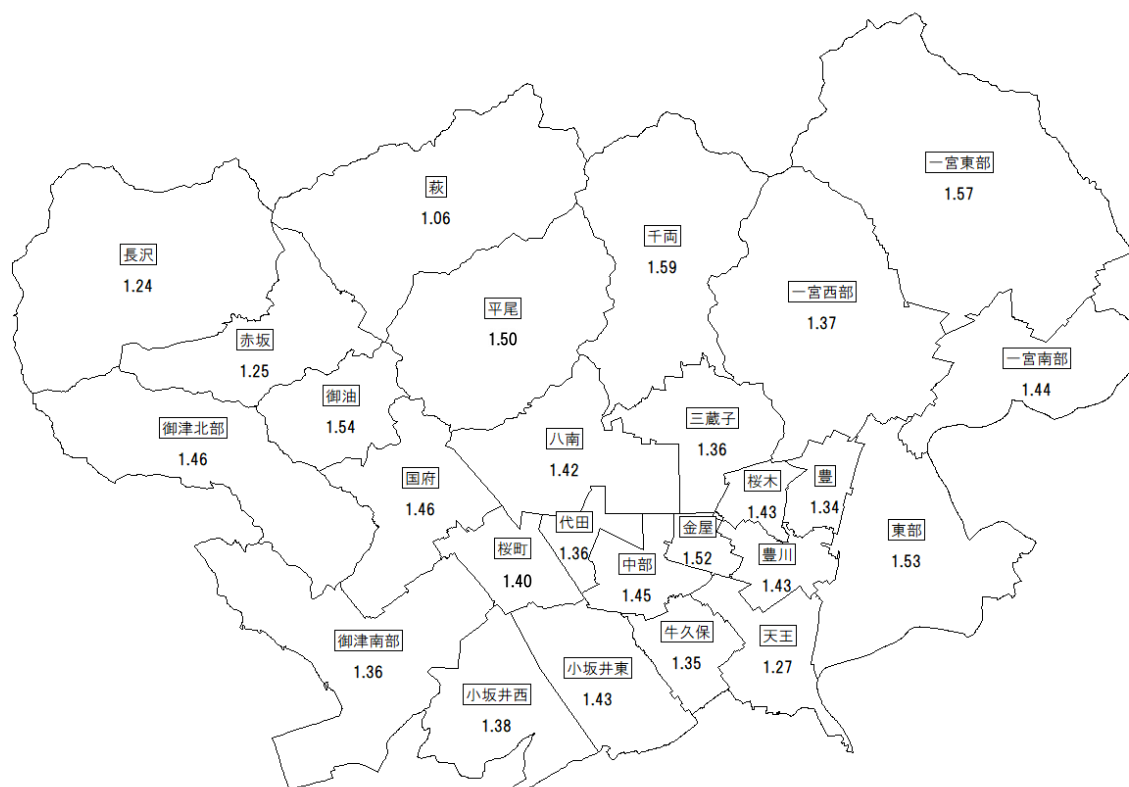


図表 83 「安全・安心」（全体・年齢別）

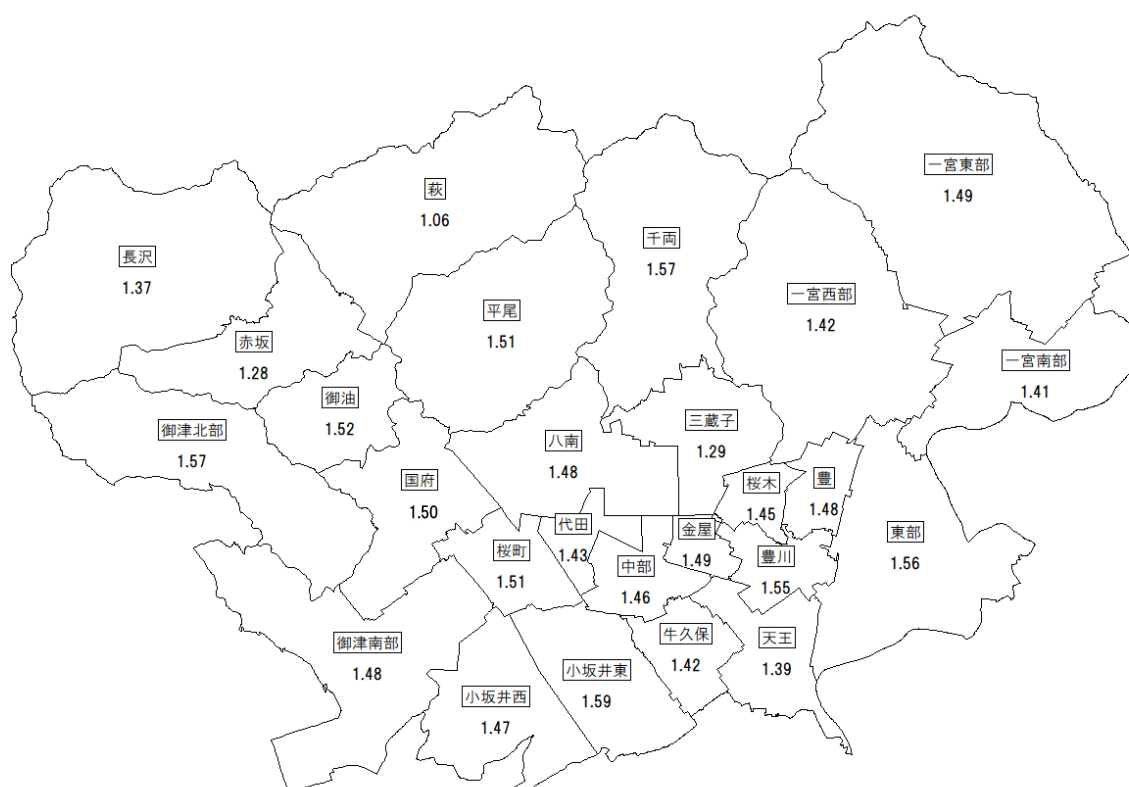


◆■ 小学校区別の傾向（重要度） ■◆

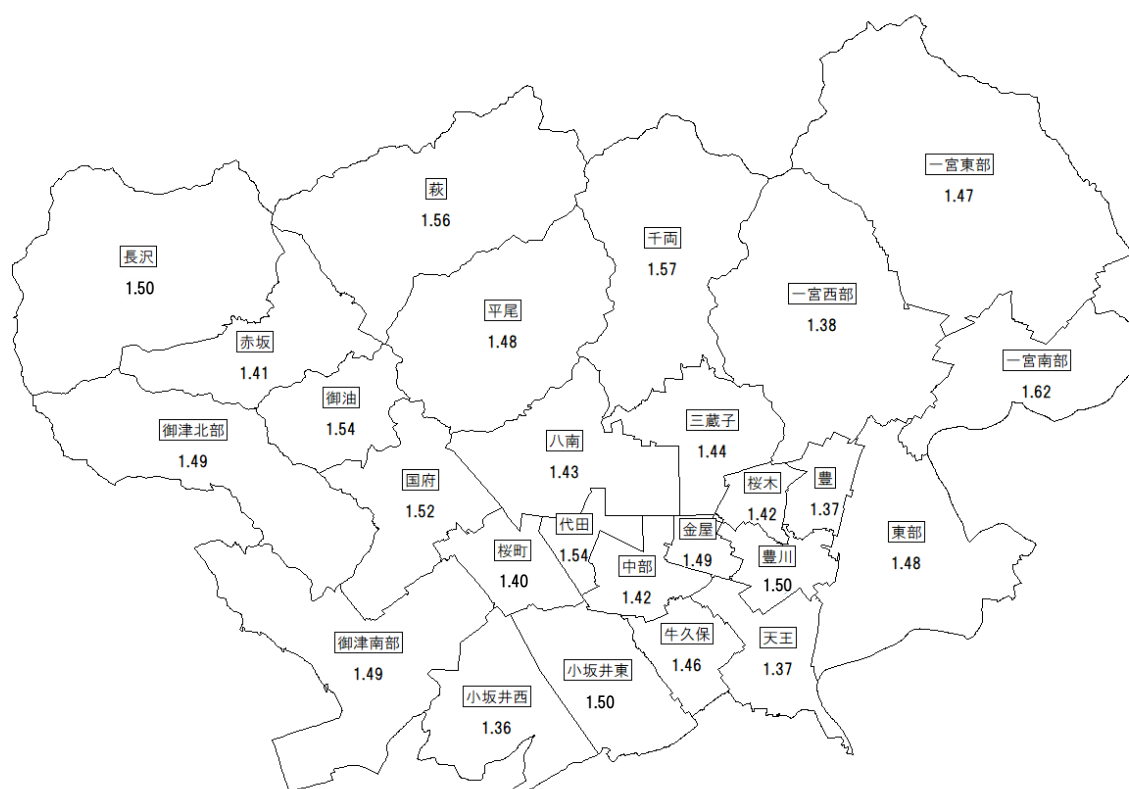
図表 84 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔1 交通安全対策〕



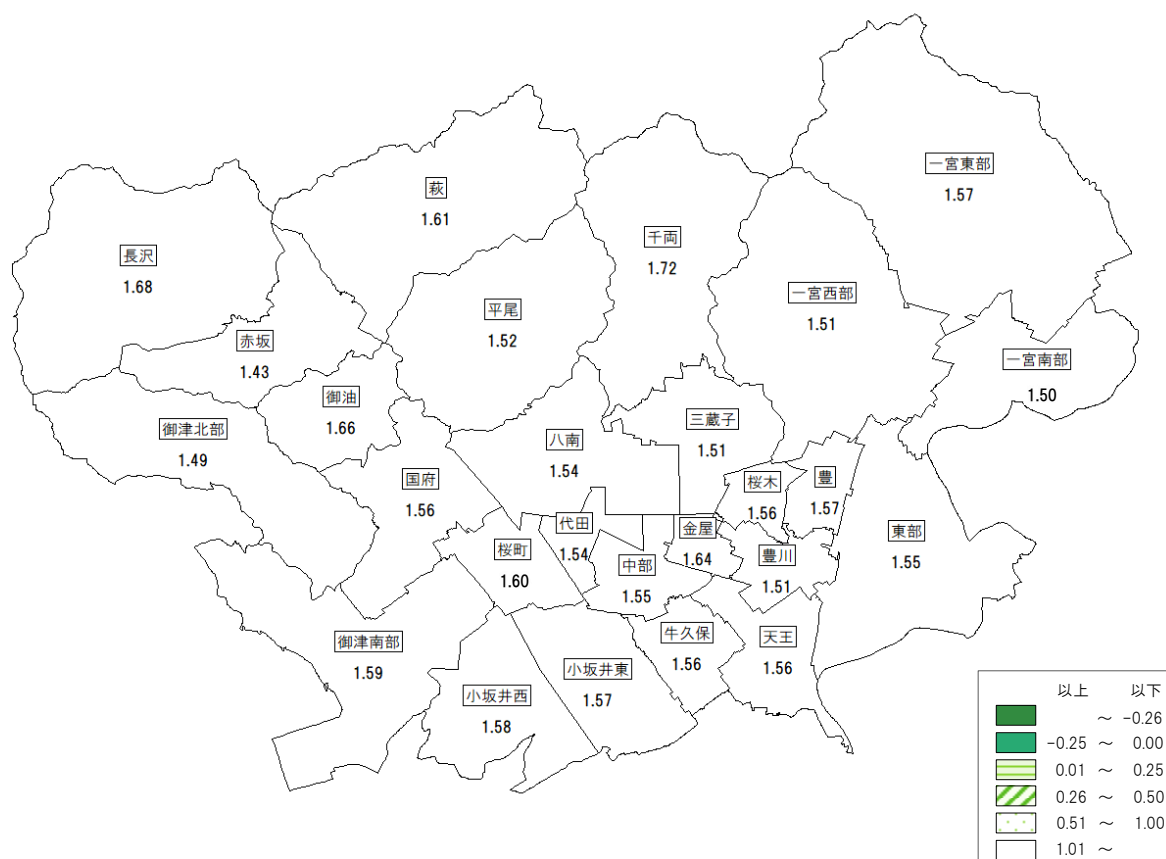
図表 85 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔2 歩行者にとっての道路の安全性〕



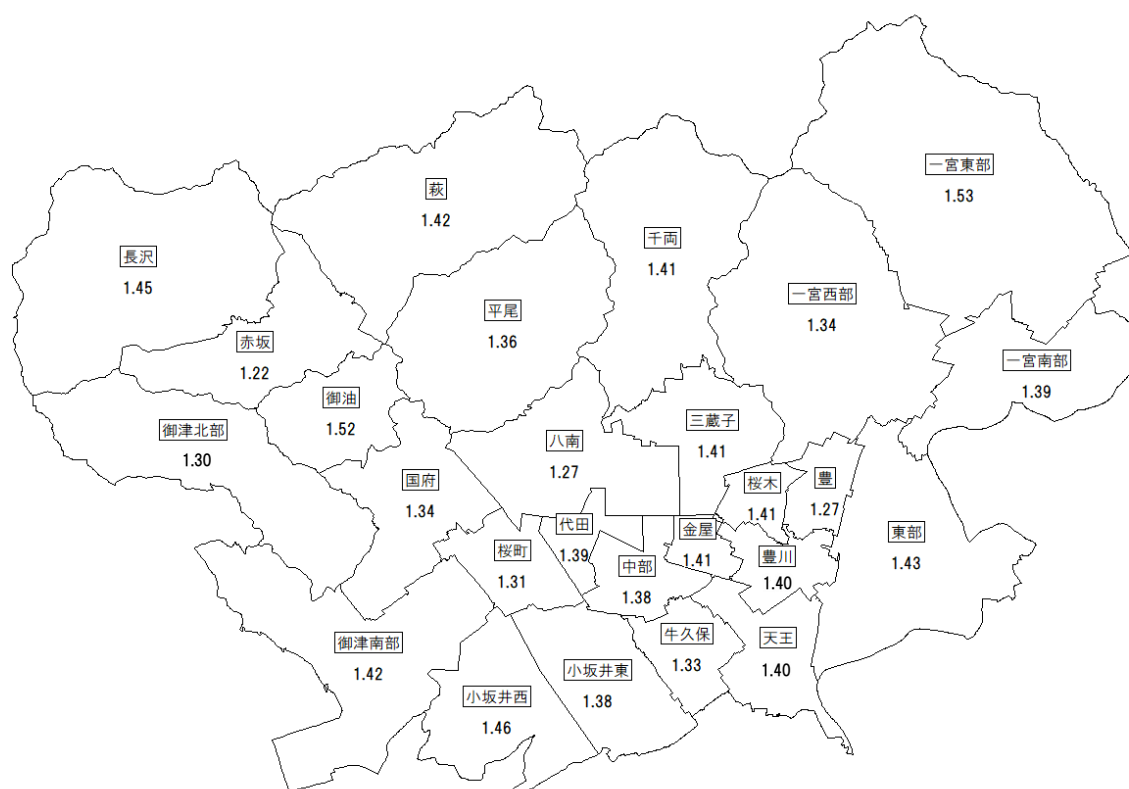
図表 86 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔3 防犯対策〕



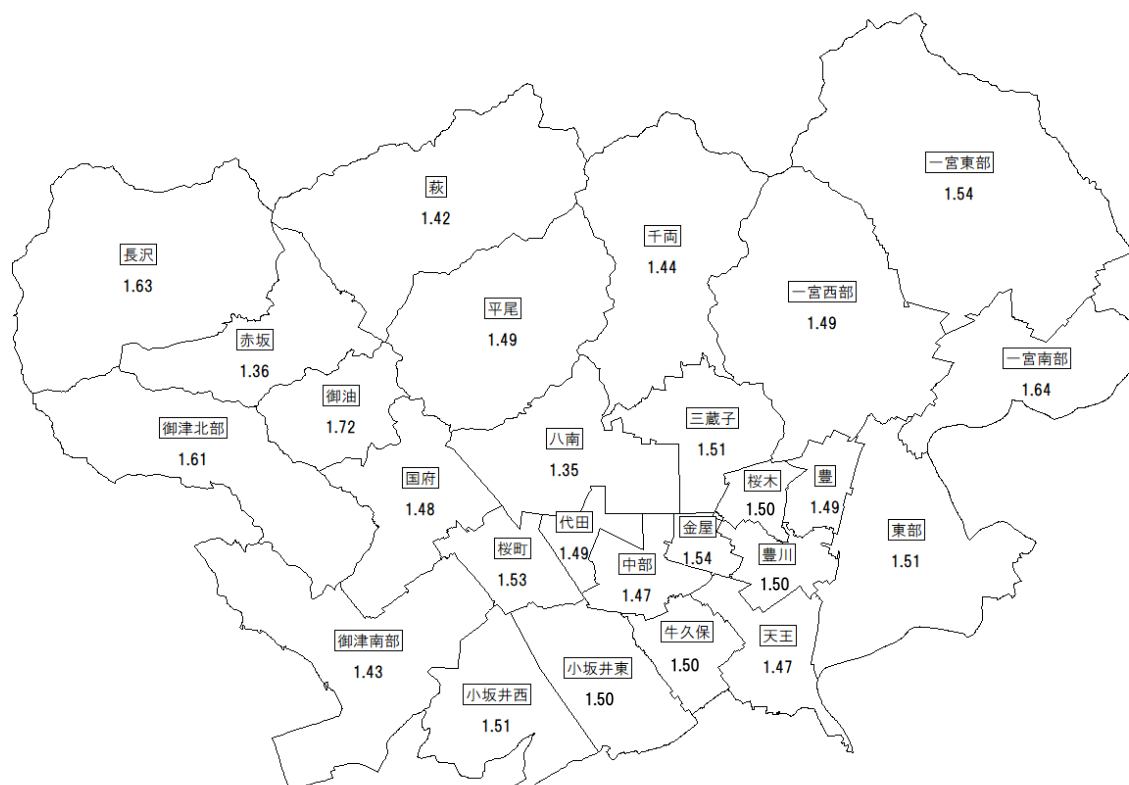
図表 87 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔4 地震などに対する防災対策〕



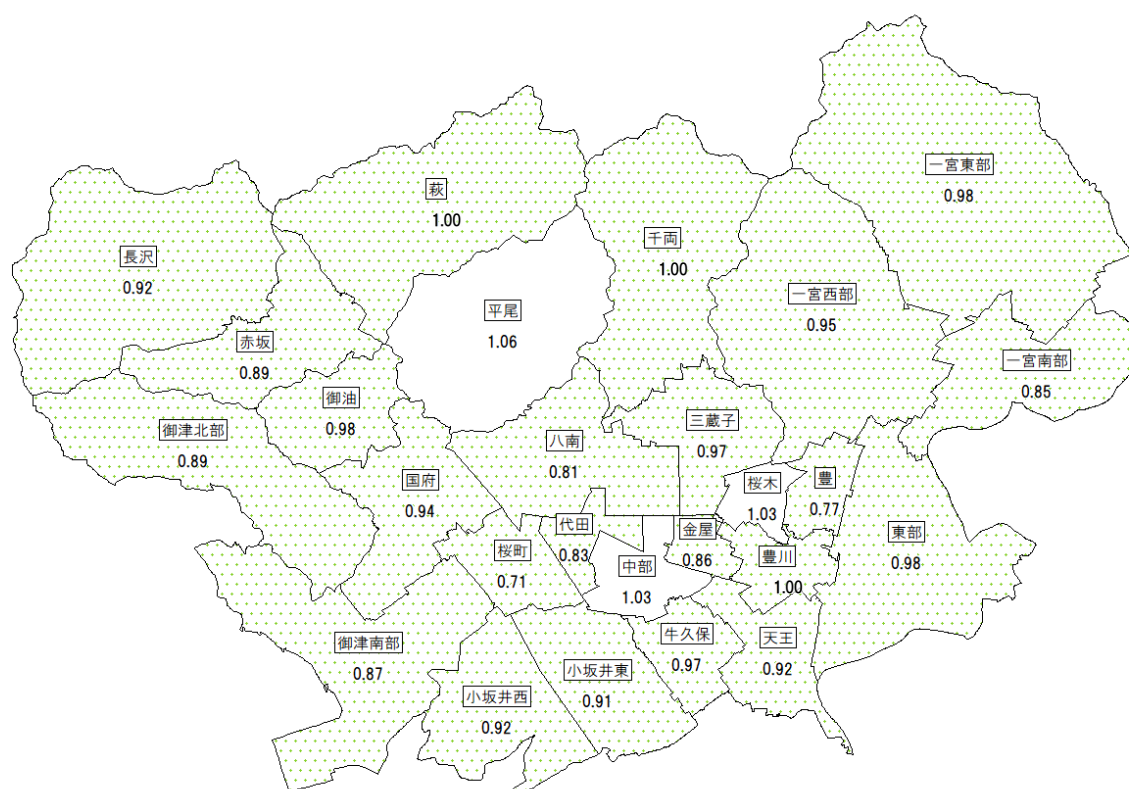
図表 88 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔5 消防体制〕



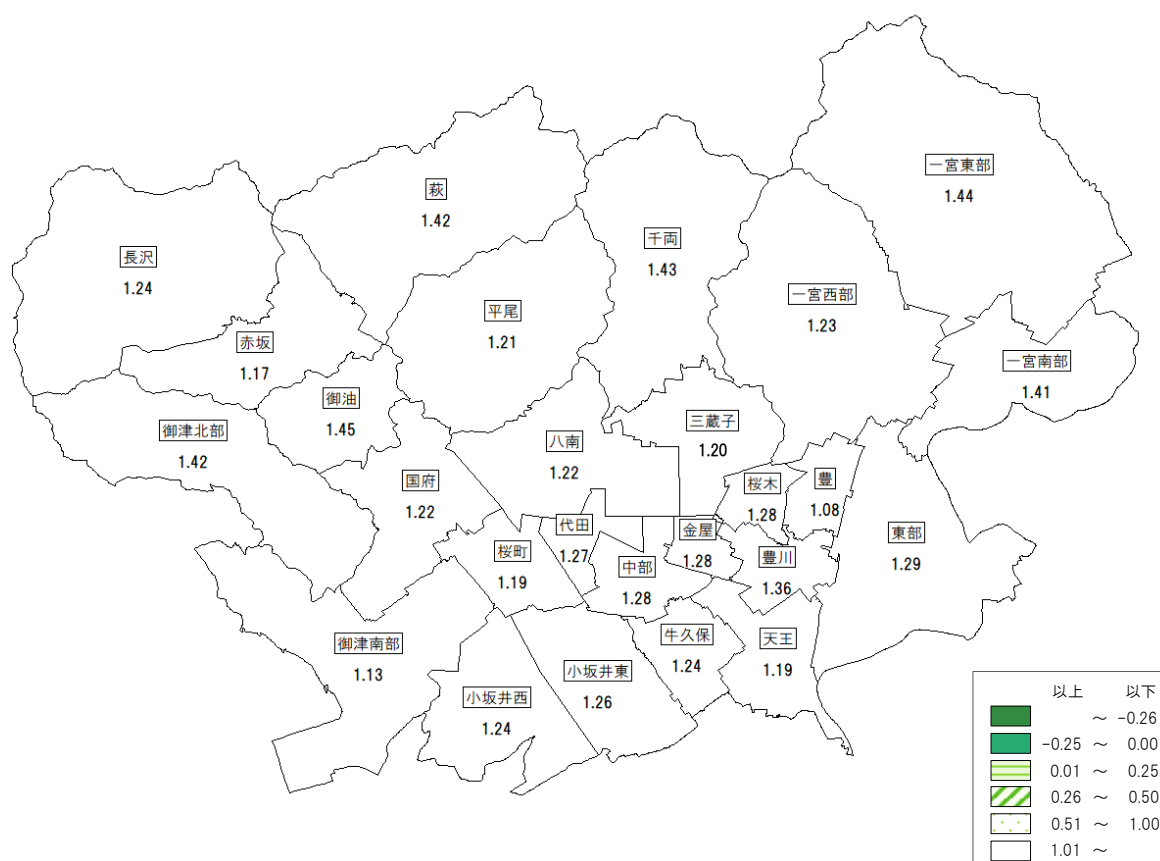
図表 89 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔6 救急体制〕



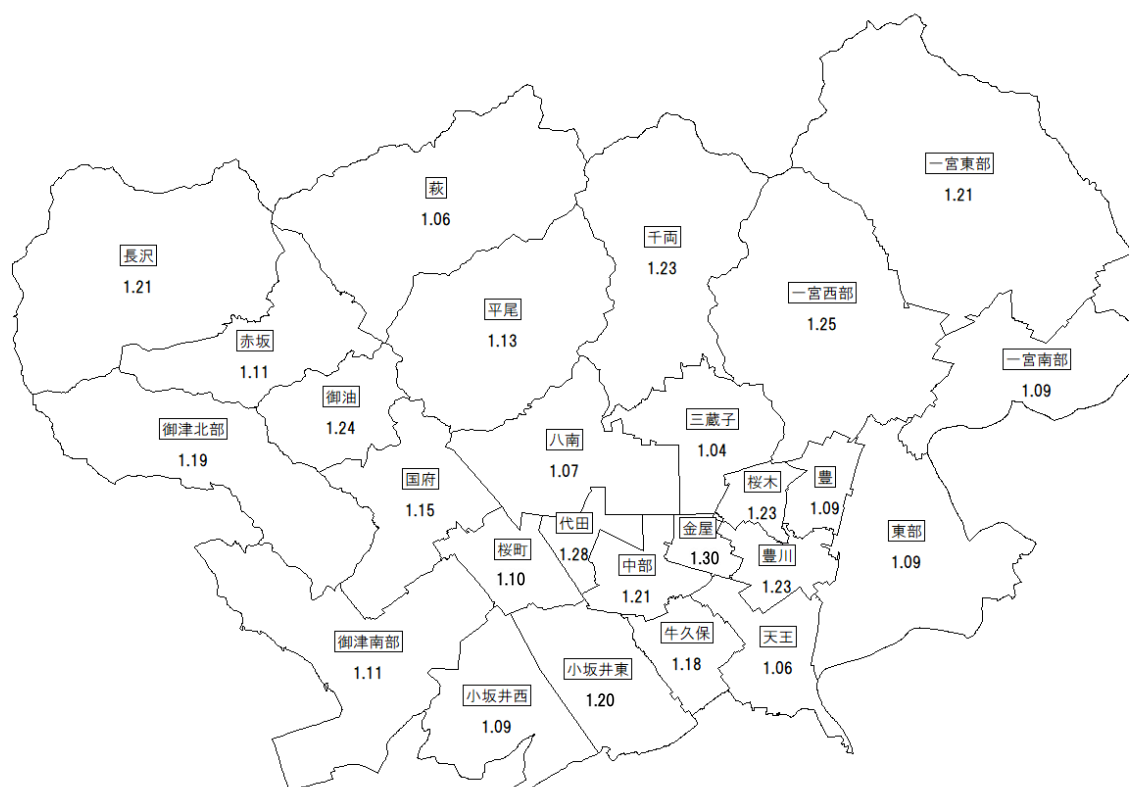
図表 90 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔7 地球環境の保全〕



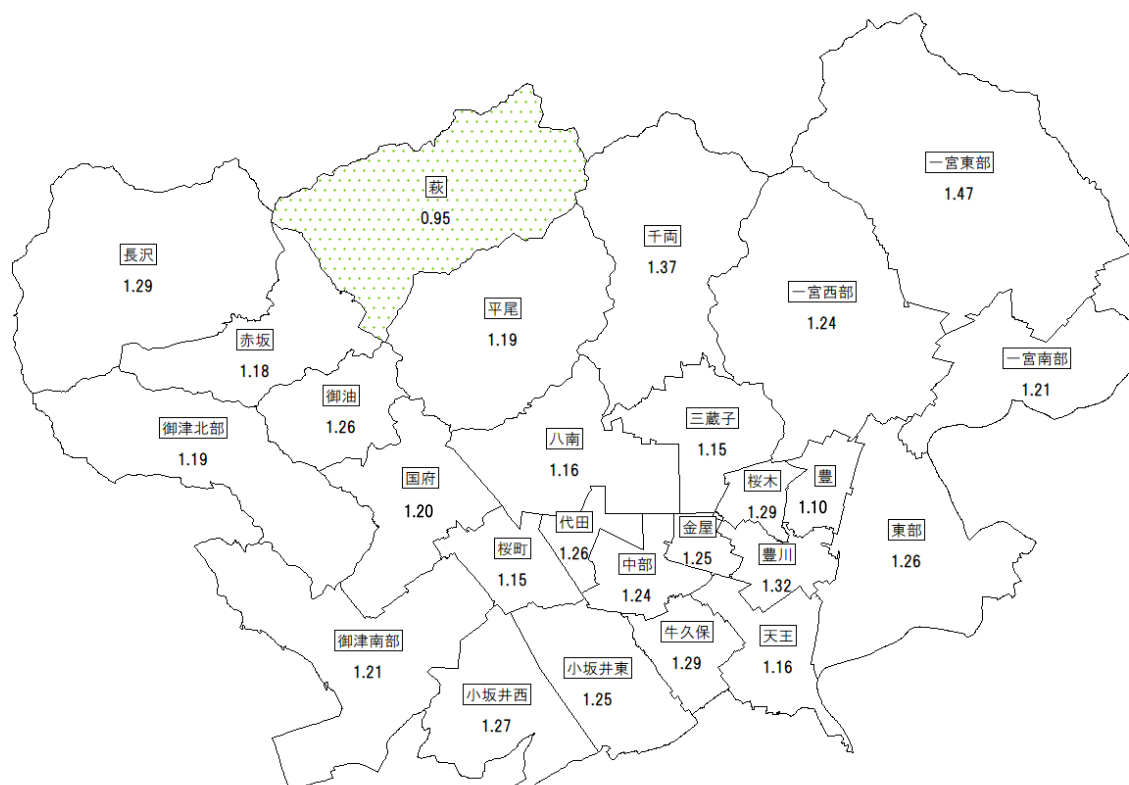
図表 91 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔8 ごみ処理対策〕



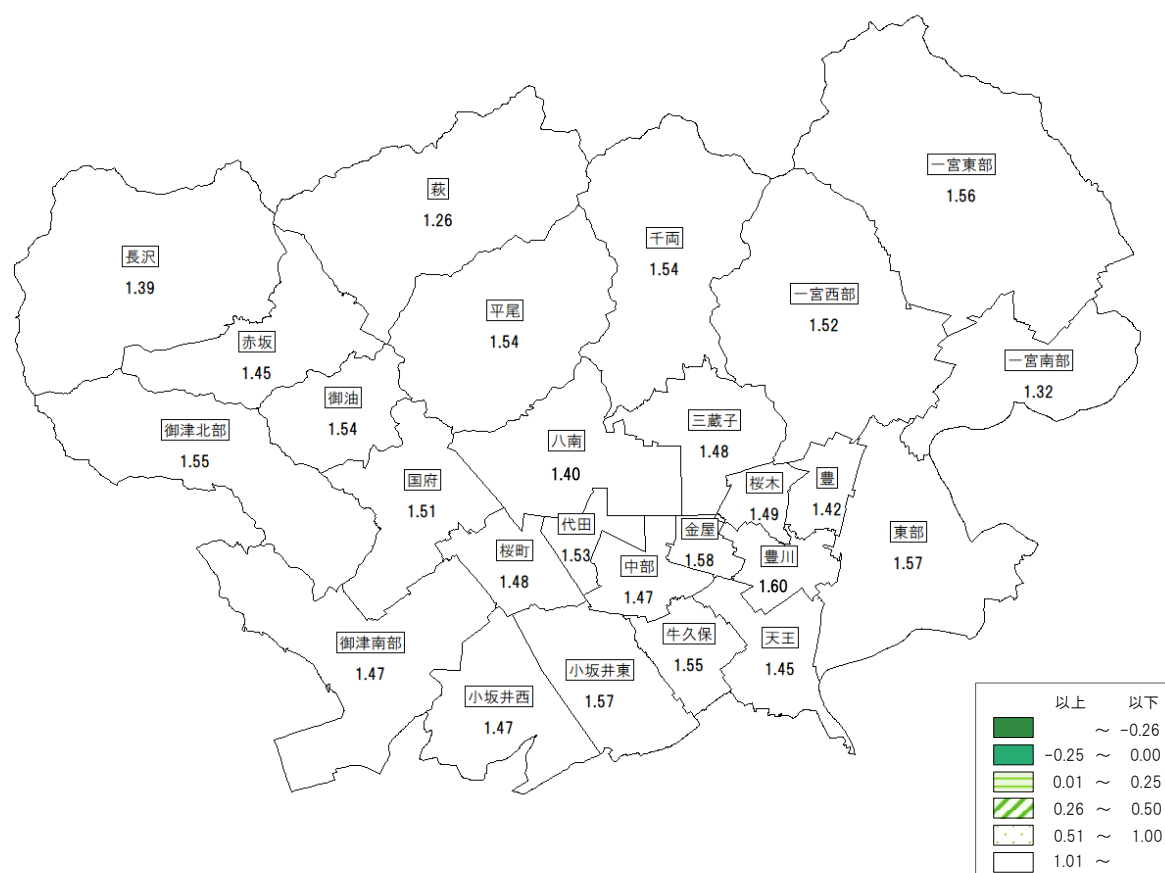
図表 92 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔9 生活における衛生環境〕



図表 93 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔10 生活排水対策〕



図表 94 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔11 水道水の安全・安定供給〕



イ 子ども・若者

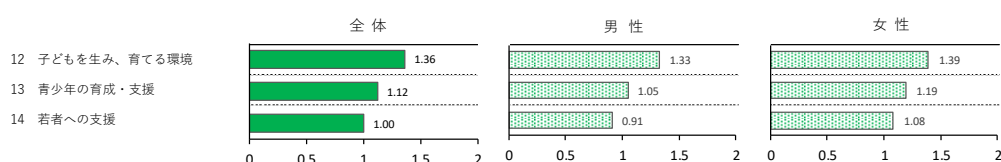
◆ 子ども・若者分野で重要度が高い項目は、「子どもを生み、育てる環境」

子ども・若者分野では、3項目のすべての項目で重要度が1.00以上と高くなっている。最も重要度が高かった項目は「12 子どもを生み・育てる環境」(1.36)で、次に「13 青少年の育成・支援」(1.12)、「14 若者への支援」(1.00)の順となっている。【図表 95】

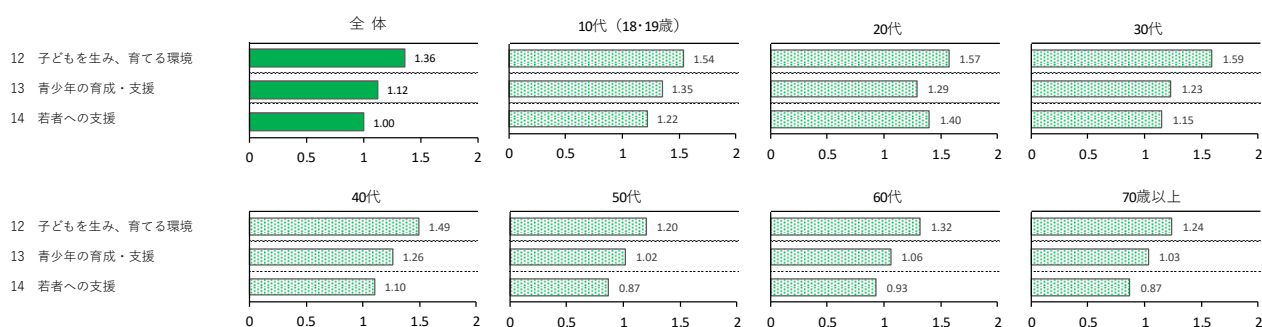
性別でみると、すべての項目で「男性」より「女性」の重要度が高く、最も差がある項目は「14 若者への支援」で「男性」(0.91)が「女性」(1.08)よりも0.17ポイント低くなっている。【図表 95】

年齢別でみると、「10代(18・19歳)」で「13 青少年の育成・支援」(1.35)、「20代」で「14 若者への支援」(1.40)が、他の年代と比較して重要度が高くなっている。【図表 96】

図表 95 「子ども・若者」(全体・性別)

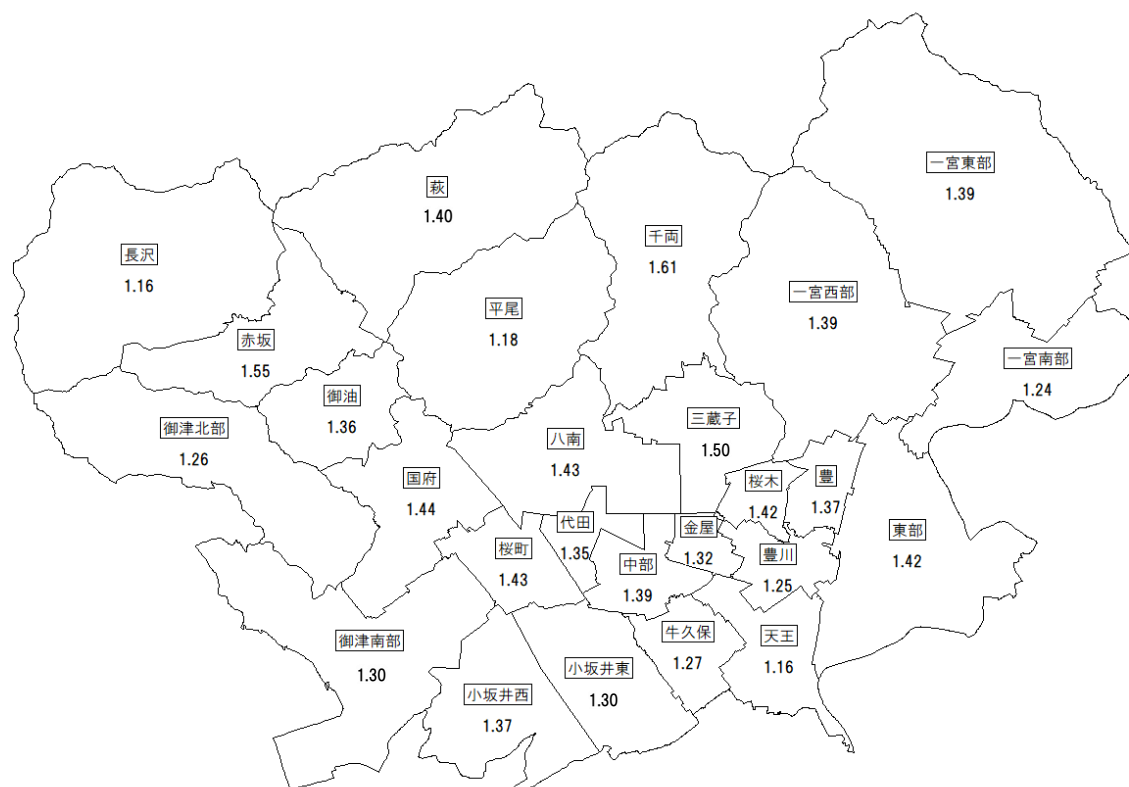


図表 96 「子ども・若者」(全体・年齢別)

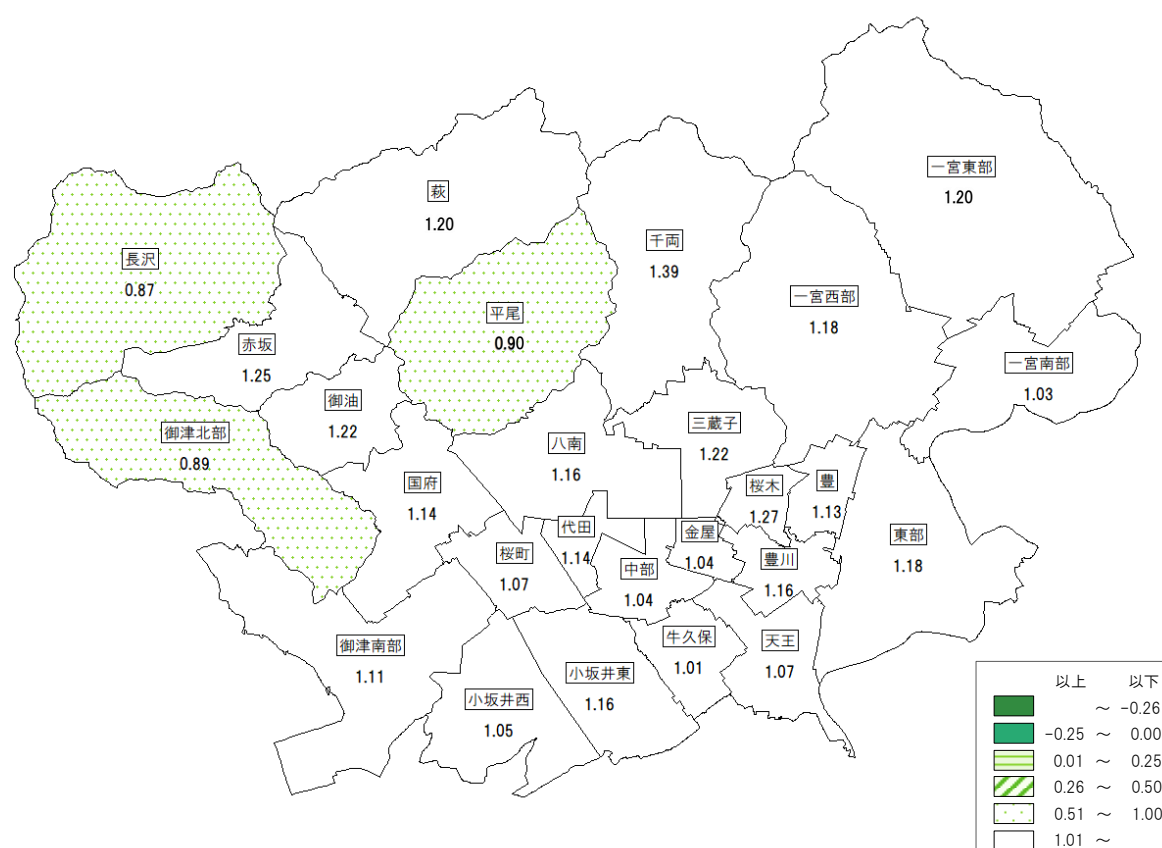


◆ ■ 小学校区別の傾向（重要度） ■ ◆

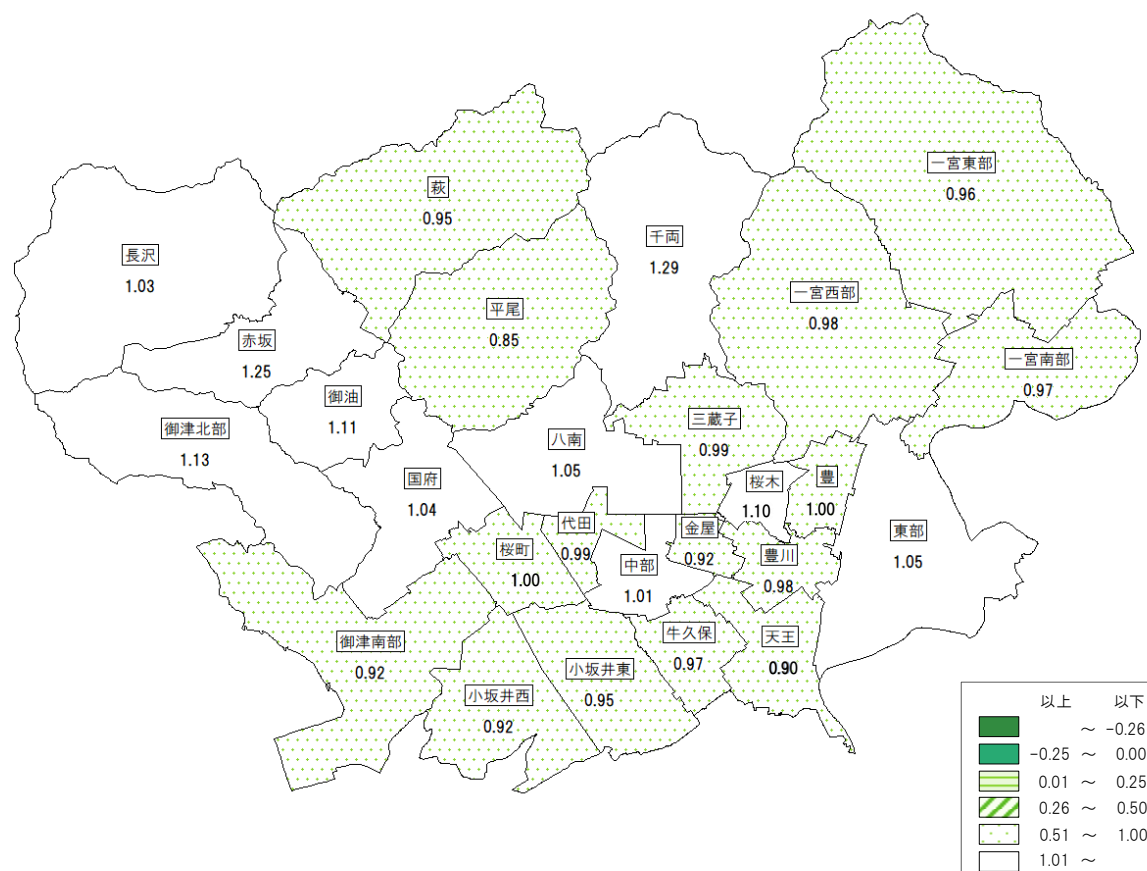
図表 97 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔12 子どもを生み、育てる環境〕



図表 98 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔13 青少年の育成・支援〕



図表 99 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔14 若者への支援〕



ウ 健康・福祉

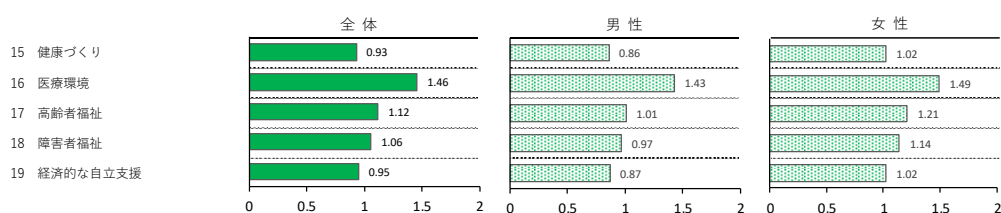
◆ 健康・福祉分野で重要度が高い項目は、「医療環境」

健康・福祉分野では、5項目のうち3項目で重要度が1.00以上と高くなっている。最も重要度が高かった項目は「16 医療環境」(1.46)で、次に「17 高齢者福祉」(1.12)、「18 障害者福祉」(1.06)の順となっている。【図表 100】

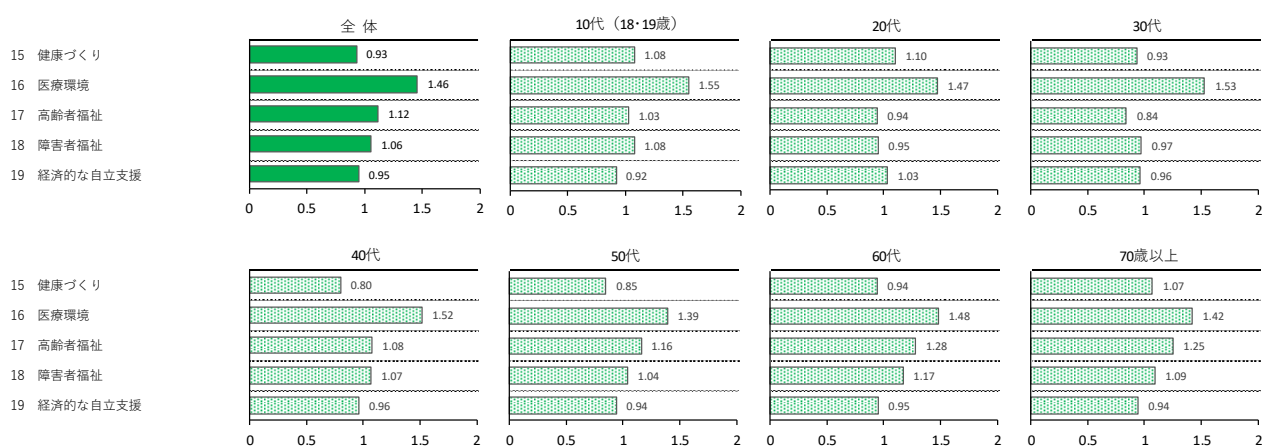
性別でみると、すべての項目で「男性」より「女性」の重要度が高く、最も差がある項目は「17 高齢者福祉」で「男性」(1.01)が「女性」(1.21)よりも0.2ポイント低くなっている。【図表 100】

年齢別でみると、「20代」で「19 経済的な自立支援」(1.03)、「60代」で「18 障害者福祉」(1.17)が、他の年代と比較して重要度が高くなっている。【図表 101】

図表 100 「健康・福祉」(全体・性別)

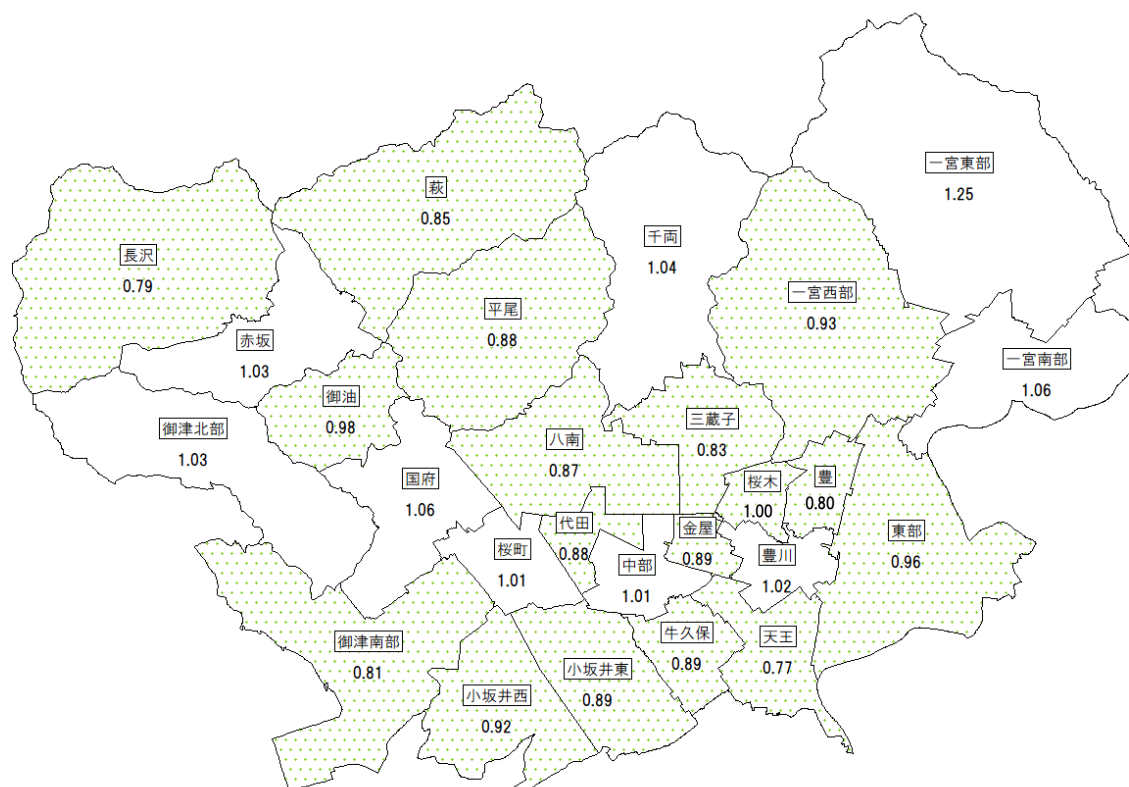


図表 101 「健康・福祉」(全体・年齢別)

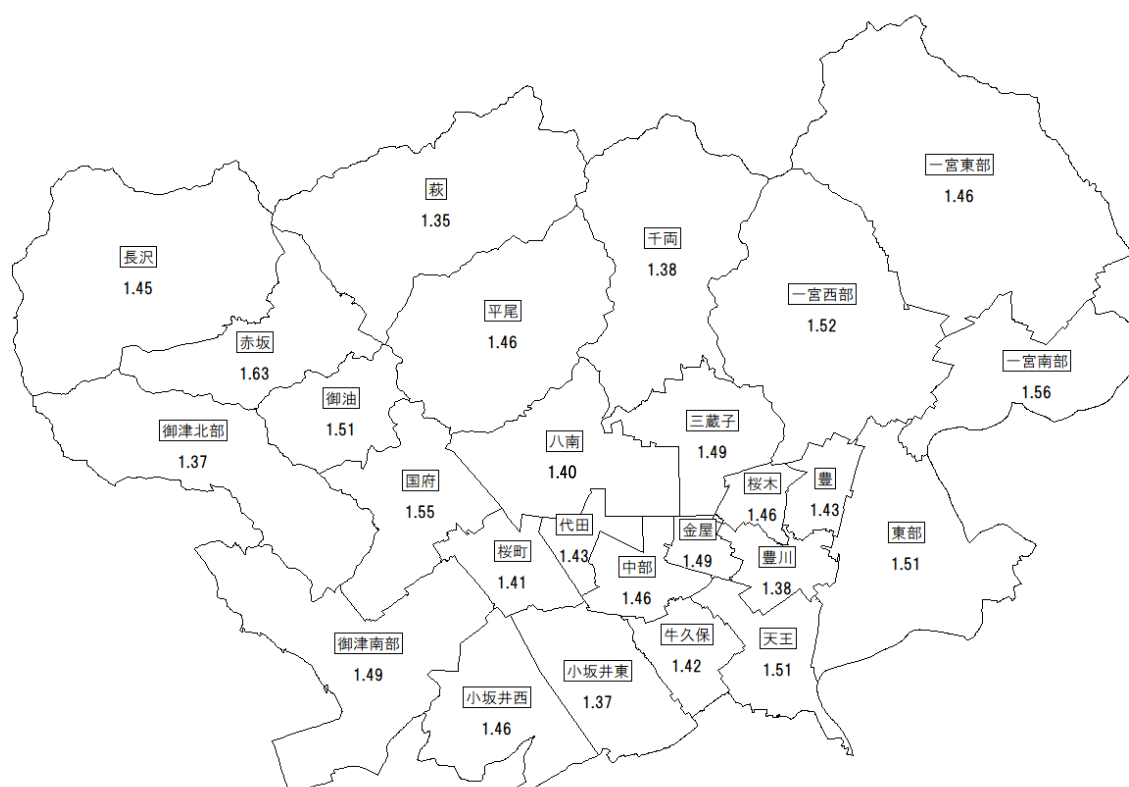


◆ ■ 小学校区別の傾向（重要度） ■ ◆

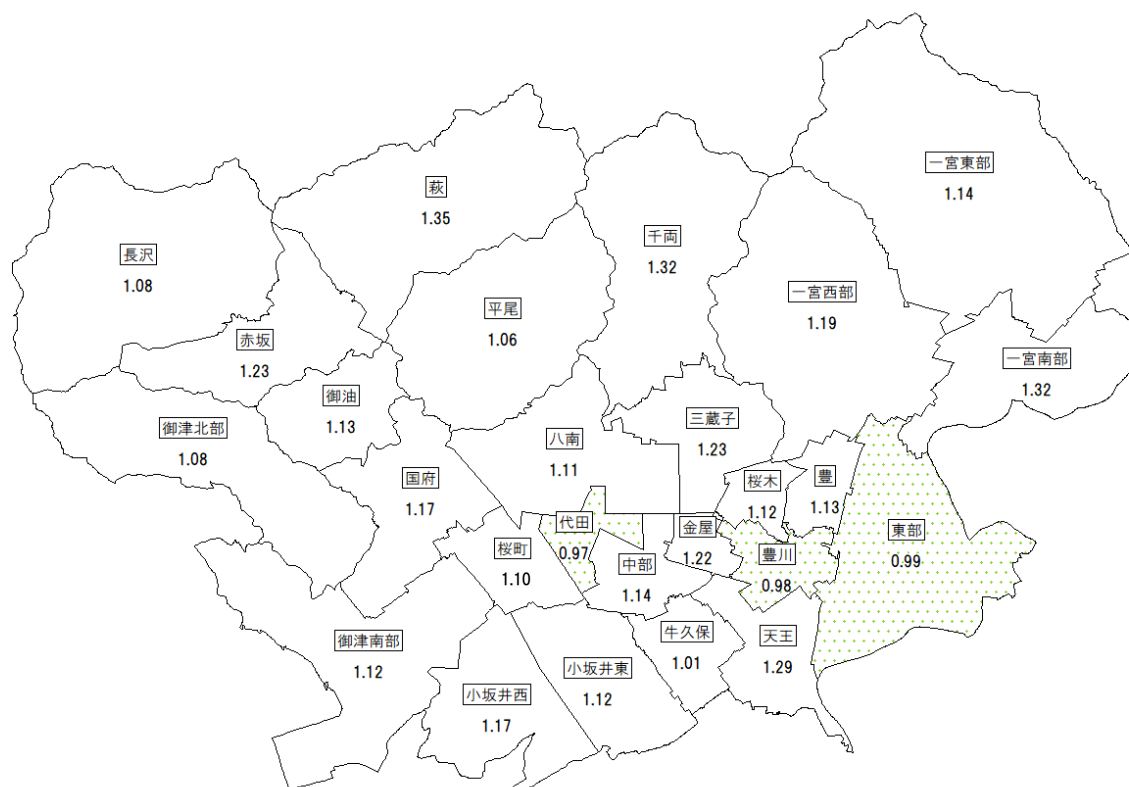
図表 102 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔15 健康づくり〕



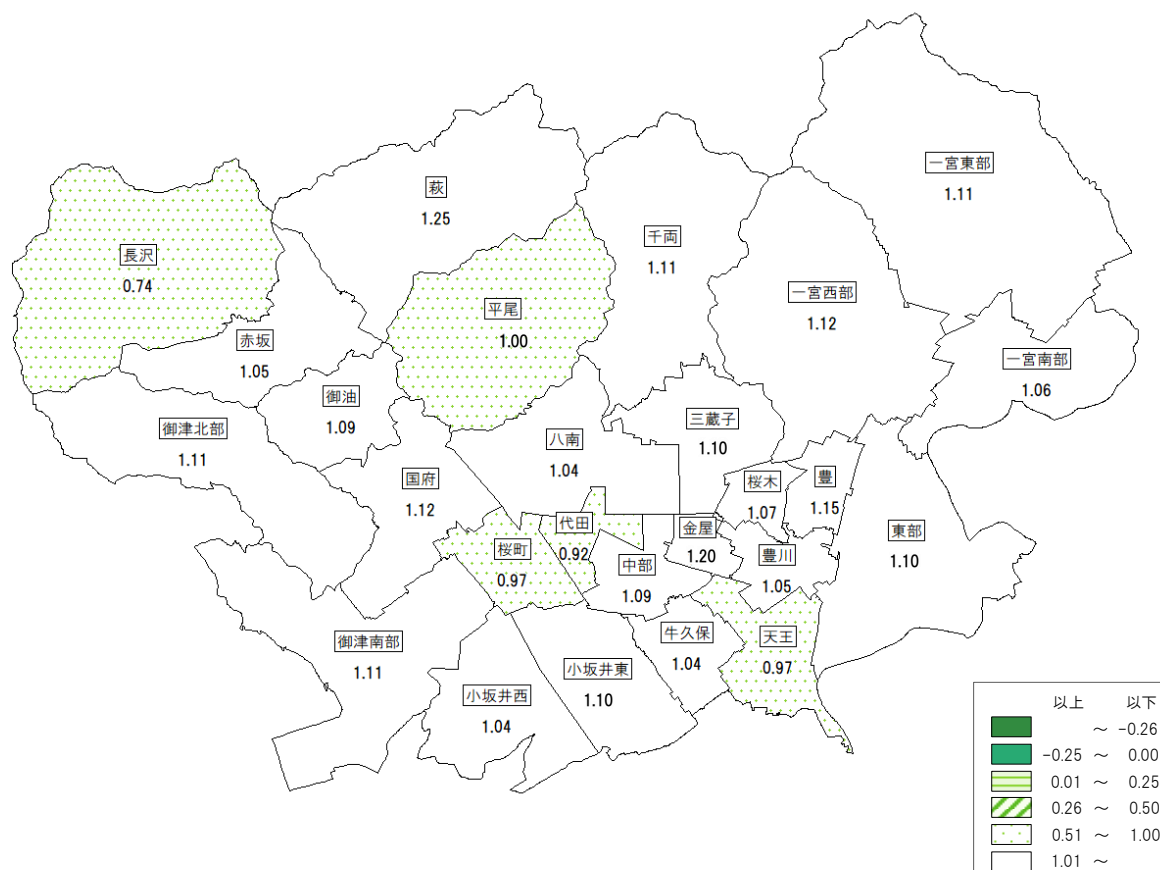
図表 103 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔16 医療環境〕



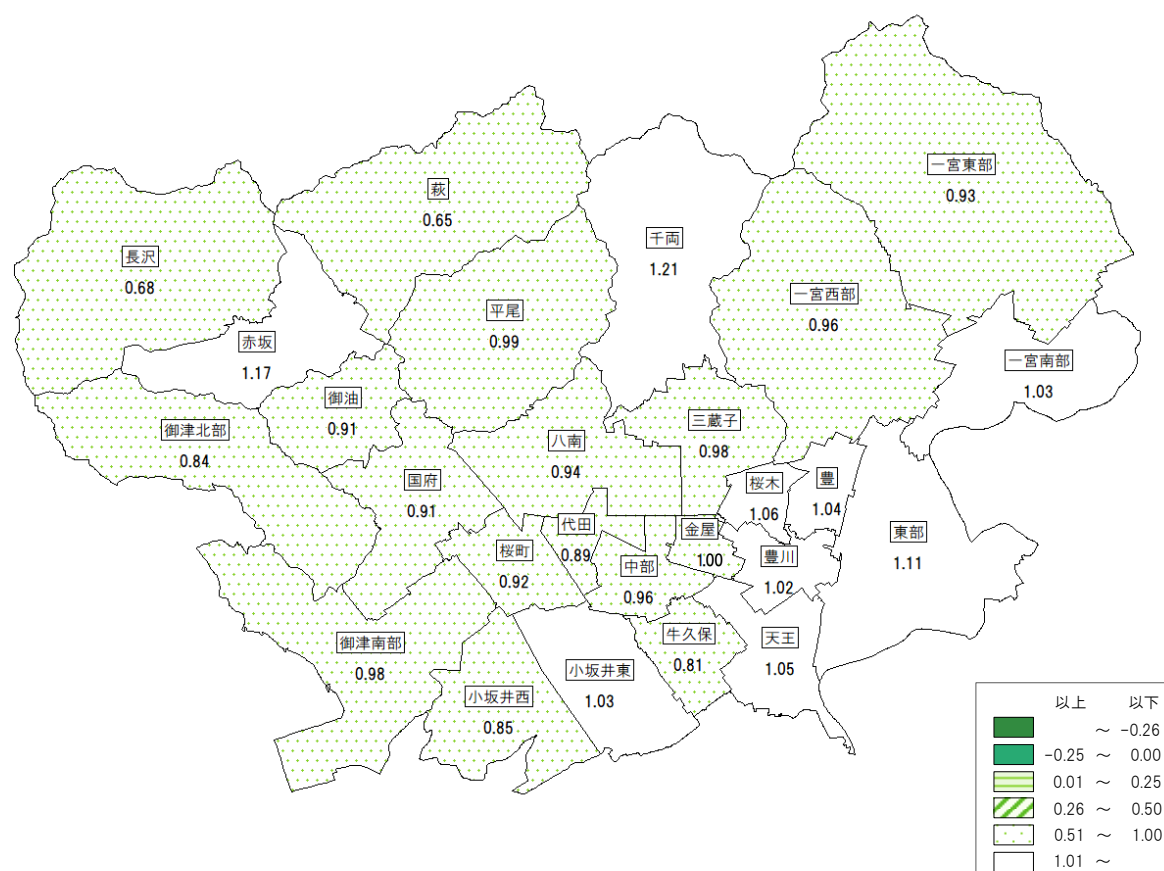
図表 104 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔17 高齢者福祉〕



図表 105 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔18 障害者福祉〕



図表 106 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔19 経済的な自立支援〕



工 建設・整備

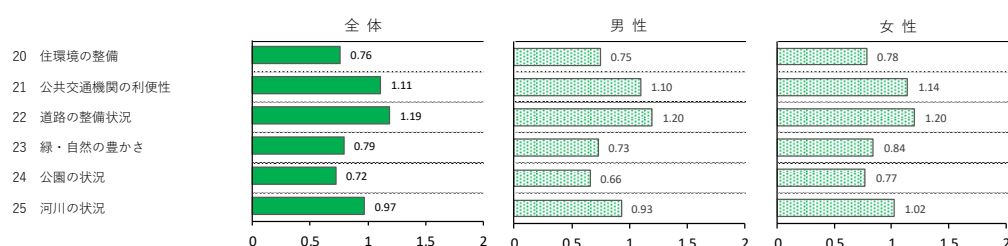
◆ 建設・整備分野で重要度が高い項目は、「道路の整備状況」「公共交通機関の利便性」

建設・整備分野では、6項目のうち2項目で1.00以上となっている。最も重要度が高かった項目は「22 道路の整備状況」(1.19)で、次いで「21 公共交通機関の利便性」(1.11)、「25 河川の状態」(0.97)の順となっている。【図表 107】

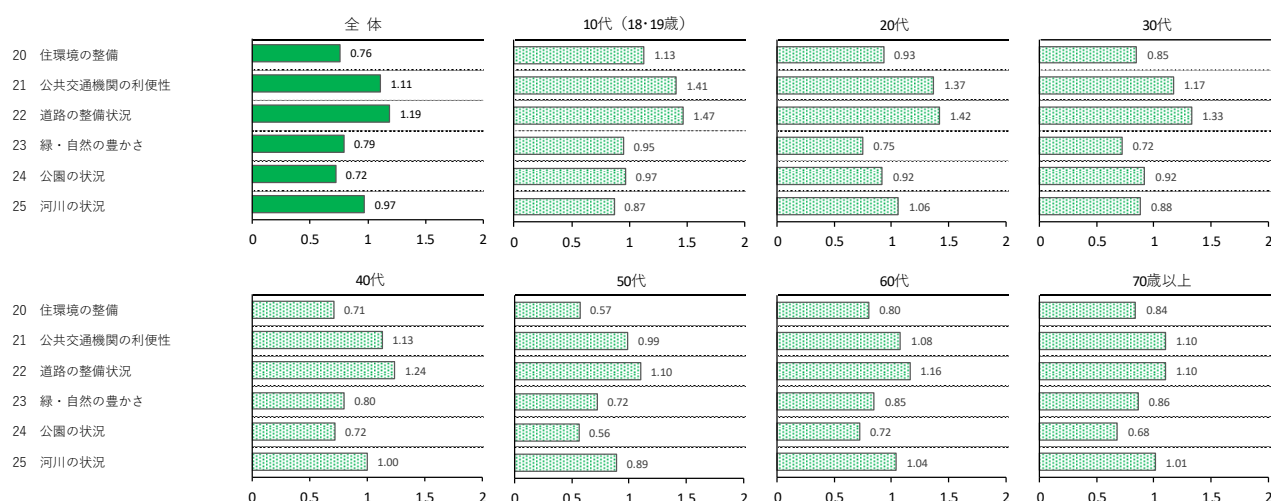
性別でみると、「22 道路の整備状況」以外の項目は「男性」より「女性」の重要度が高く、最も差がある項目は「23 緑・自然の豊かさ」「24 公園の状況」で、いずれも男性が女性よりも0.11ポイント低くなっている。【図表 107】

年齢別でみると、「10代(18・19歳)」では「20 住環境の整備」(1.13)で他の年代と比較して重要度が高くなっている。また、「10代(18・19歳)」「20代」「30代」では「24 公園の状況」で他の年代と比較して重要度が高くなっている。【図表 108】

図表 107 「建設・整備」(全体・性別)

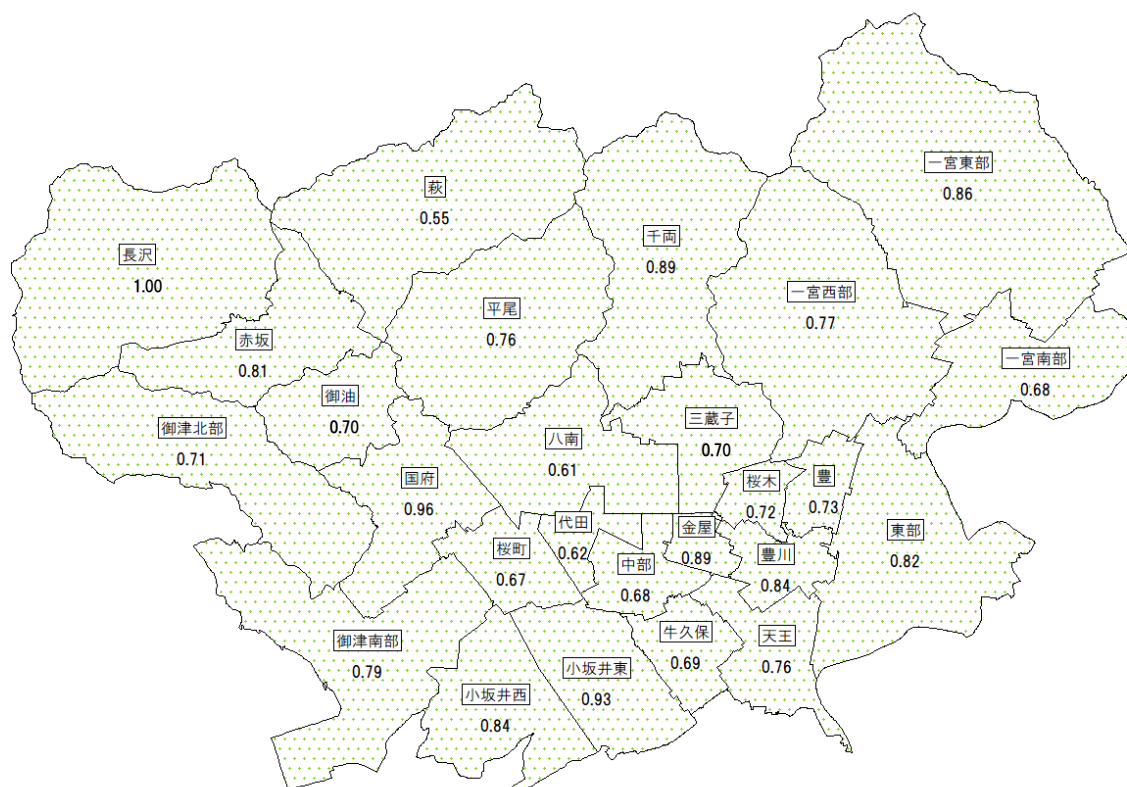


図表 108 「建設・整備」(全体・年齢別)

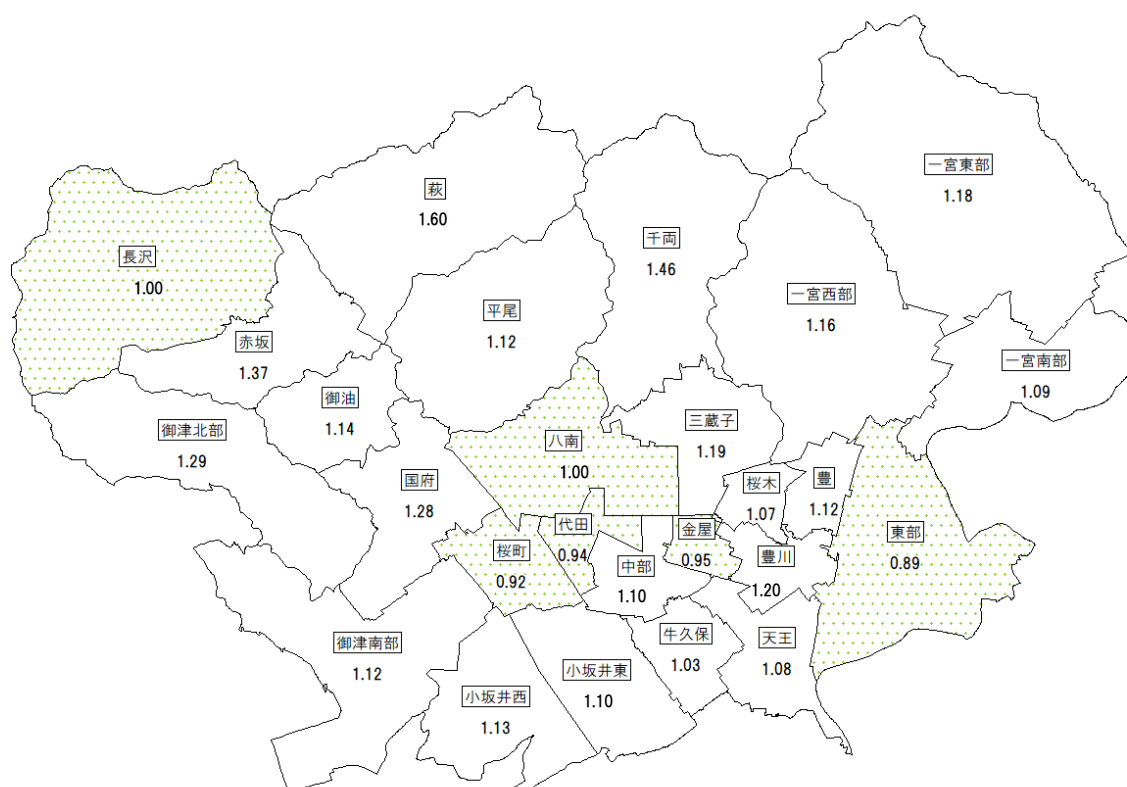


◆■ 小学校区別の傾向（重要度） ■◆

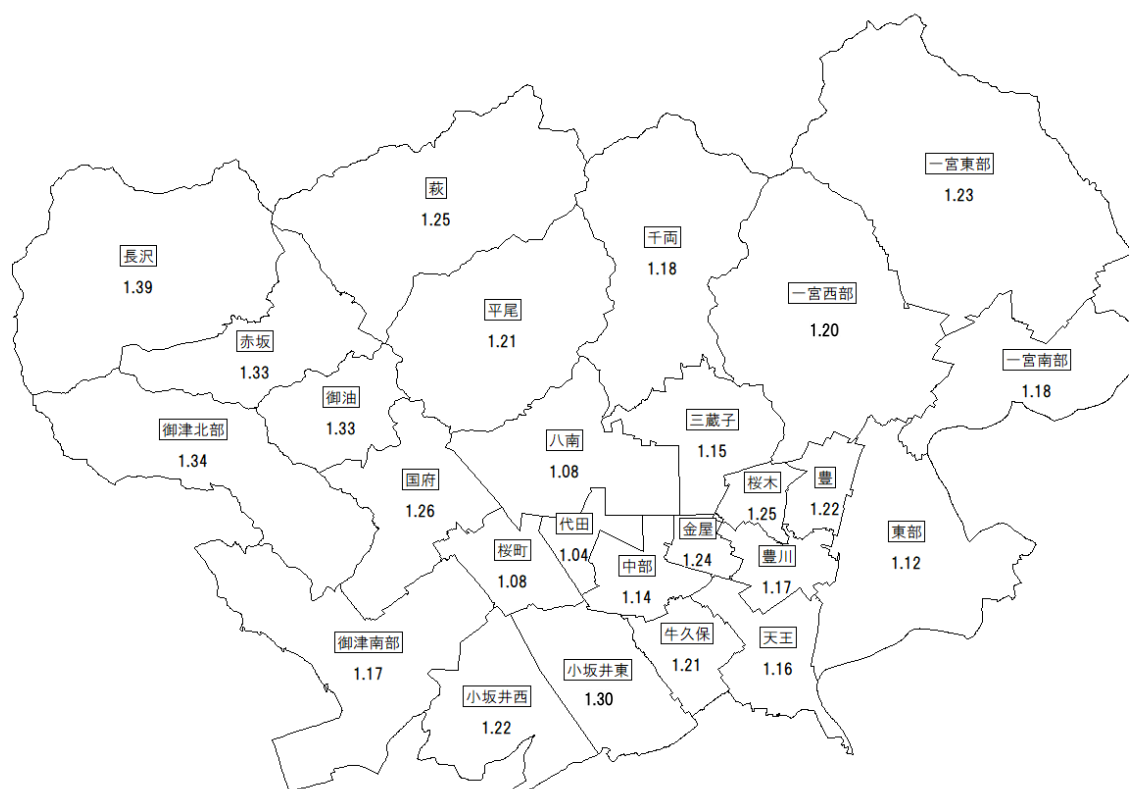
図表 109 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔20 住環境の整備（区画整理・住宅対策など）〕



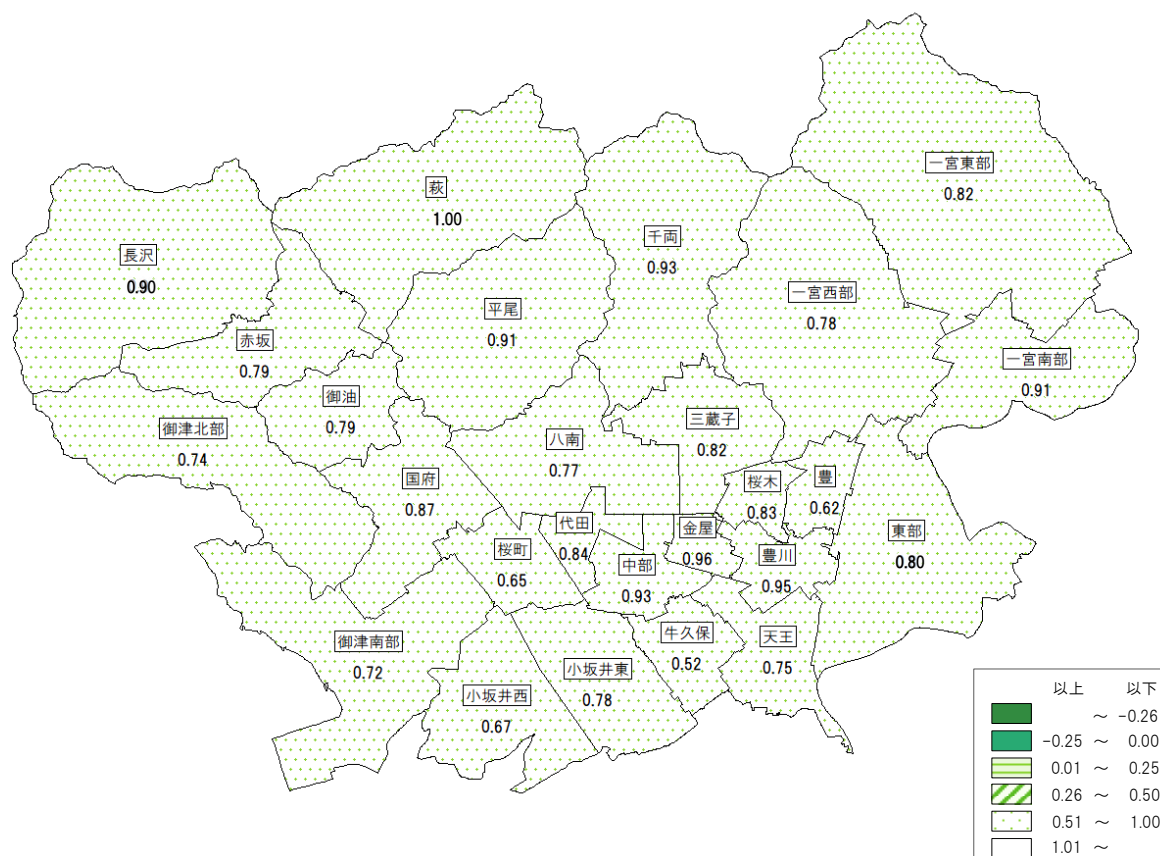
図表 110 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔21 公共交通機関の利便性〕



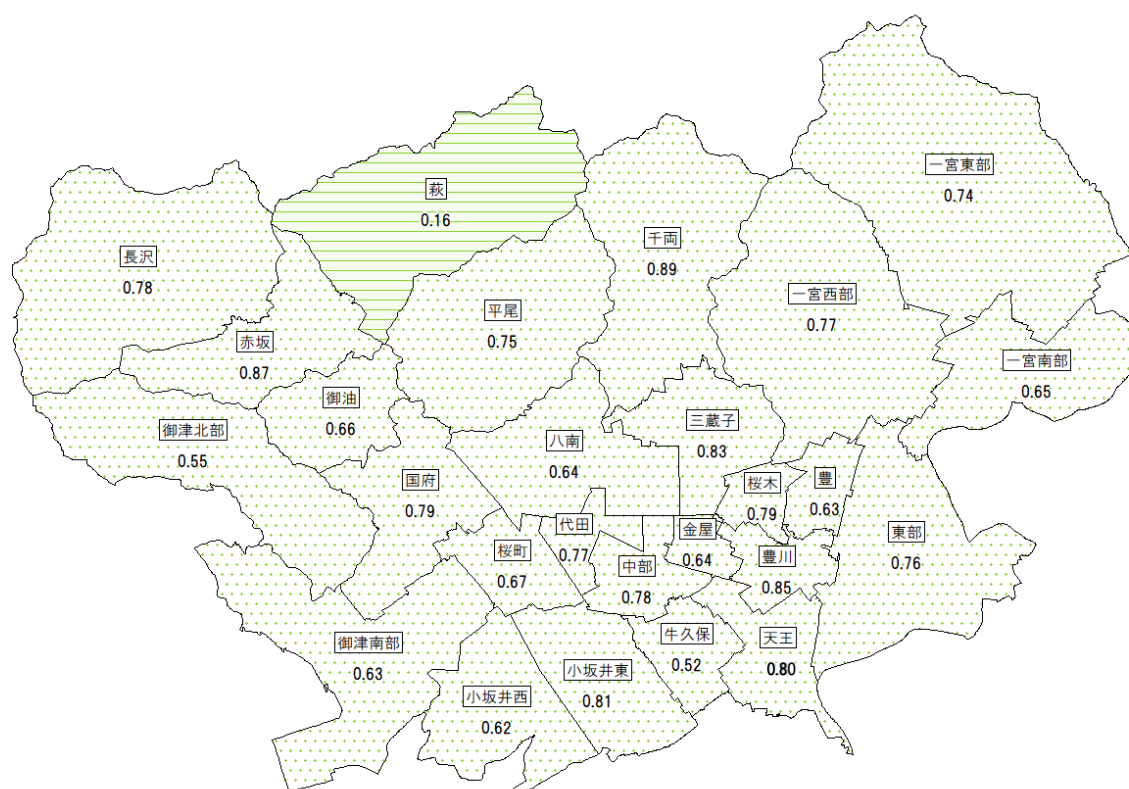
図表 111 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔22 道路の整備状況〕



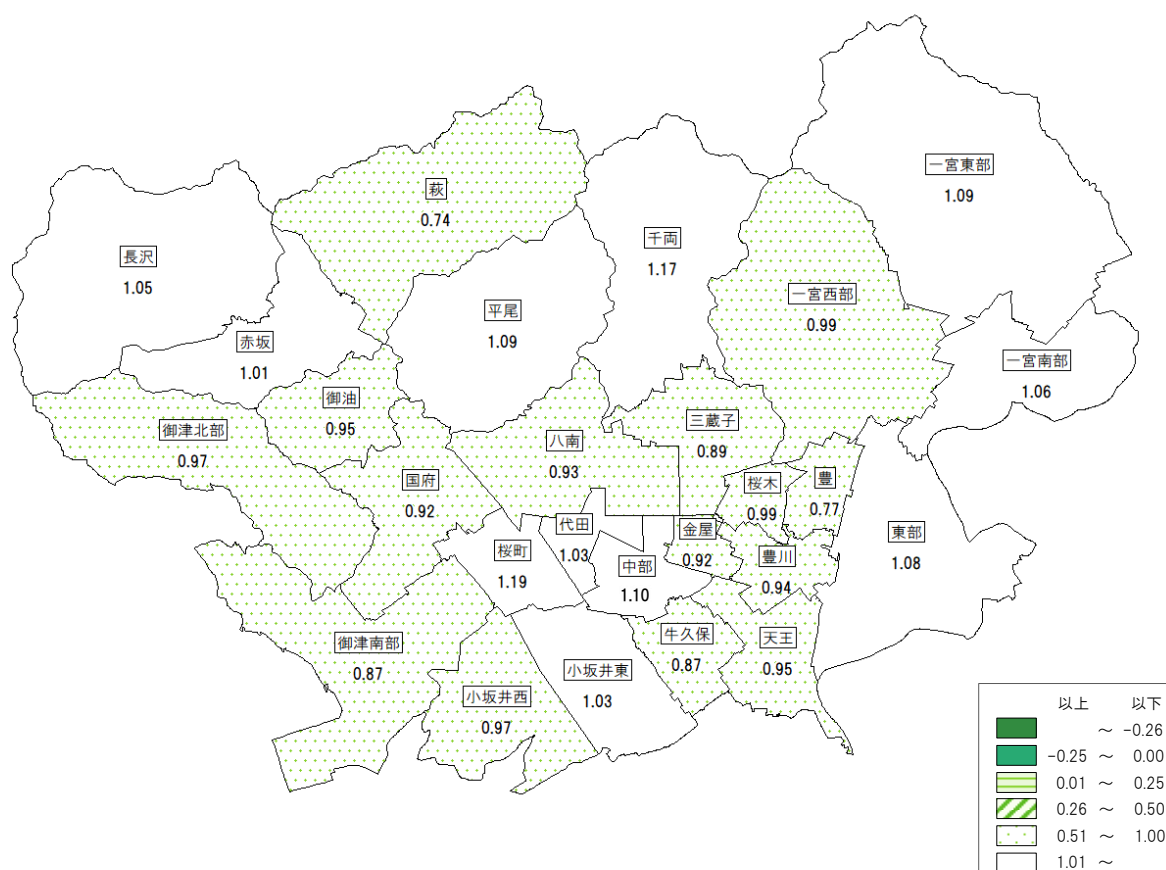
図表 112 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔23 緑・自然の豊かさ〕



図表 113 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔24 公園の状況〕



図表 114 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔25 河川の状況〕



オ 教育・文化

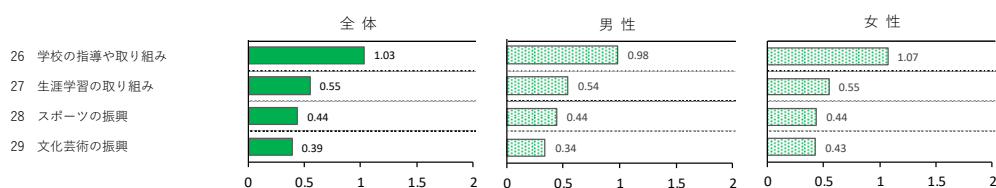
◆ 教育・文化分野で重要度が高い項目は、「学校の指導や取り組み」

教育・文化分野では、4項目のうち1項目で1.00以上となっている。最も重要度が高かったのは「26 学校の指導や取り組み」(1.03)で、次に、「27 生涯学習の取り組み」(0.55)、「28 スポーツの振興」(0.44)、「29 文化芸術の振興」(0.39)の順となっている。【図表 115】

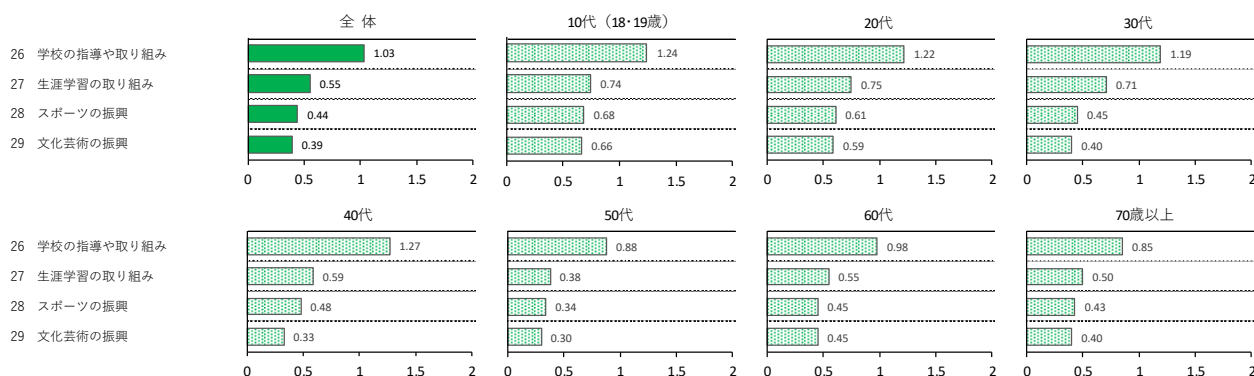
性別でみると、「28 スポーツの振興」以外の項目は「男性」より「女性」の重要度が高く、最も差がある項目は「26 学校の指導や取り組み」「29 文化芸術の振興」で「男性」が「女性」より、いずれも0.09ポイント低くなっている。【図表 115】

年齢別でみると、「10代(18・19歳)」で「28 スポーツの振興」(0.68)、「29 文化芸術の振興」(0.66)が他の年代と比較して重要度が高くなっている。【図表 116】

図表 115 「教育・文化」(全体・性別)

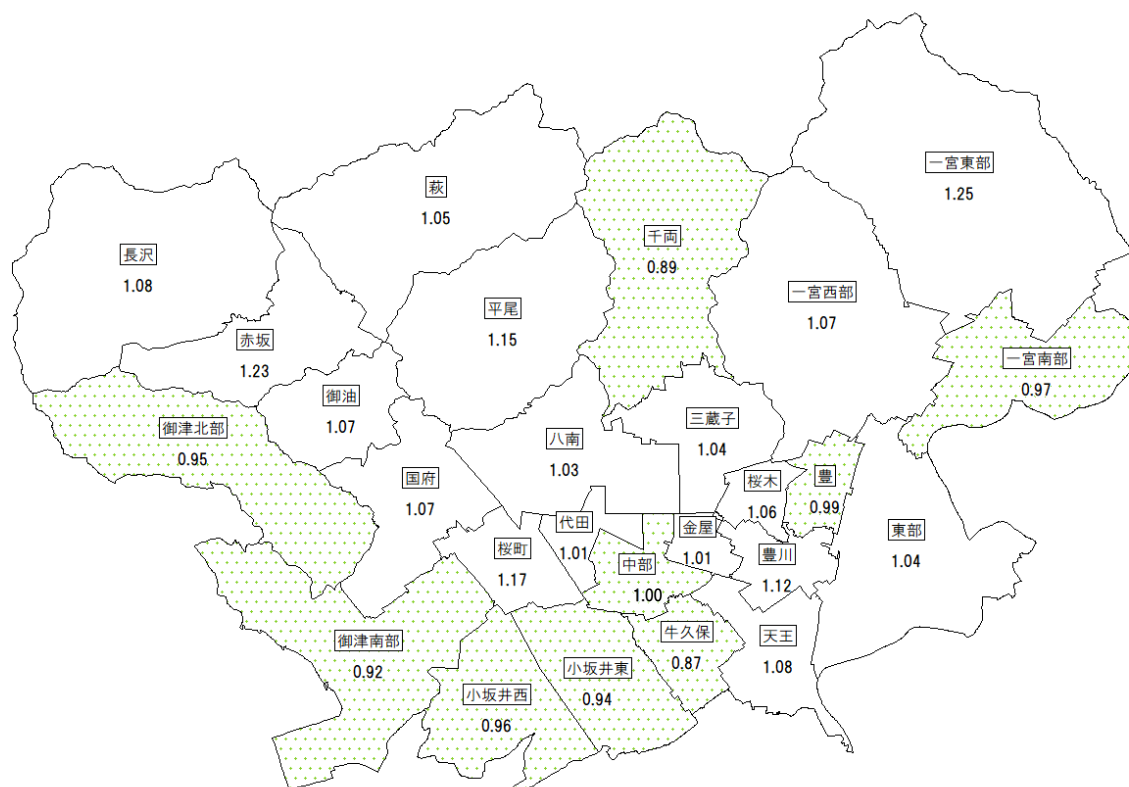


図表 116 「教育・文化」(全体・年齢別)

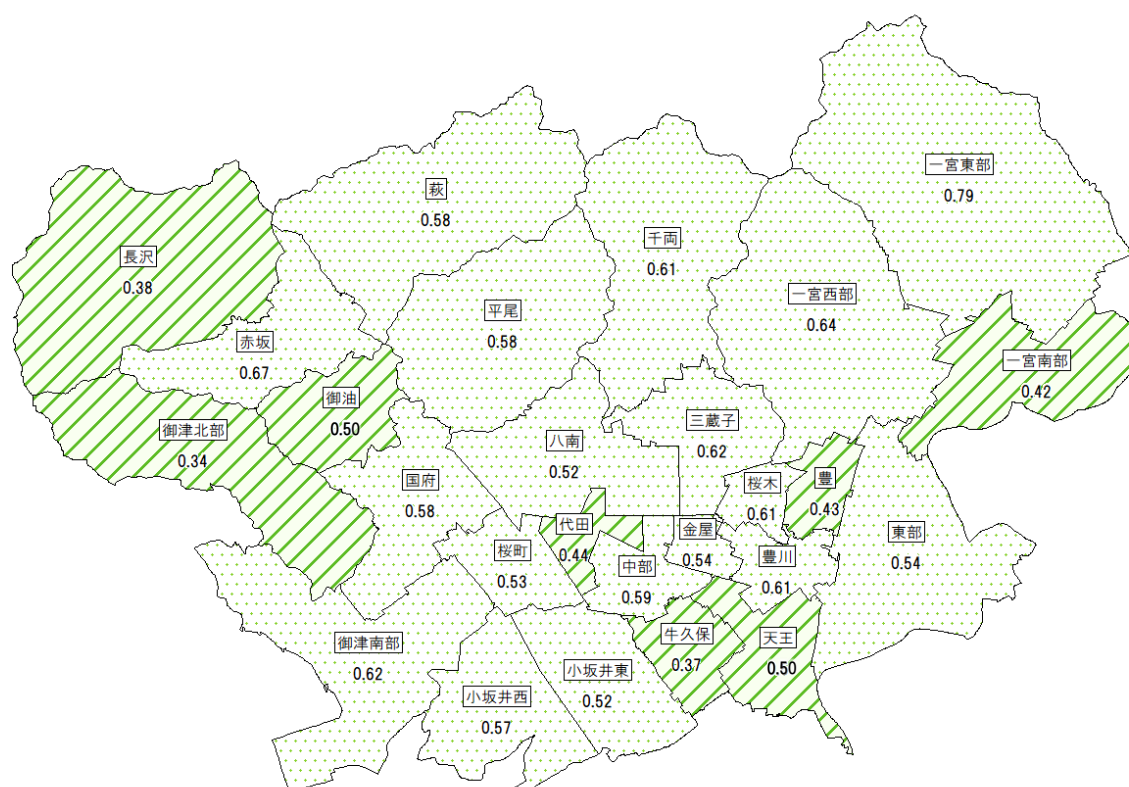


◆■ 小学校区別の傾向（重要度） ■◆

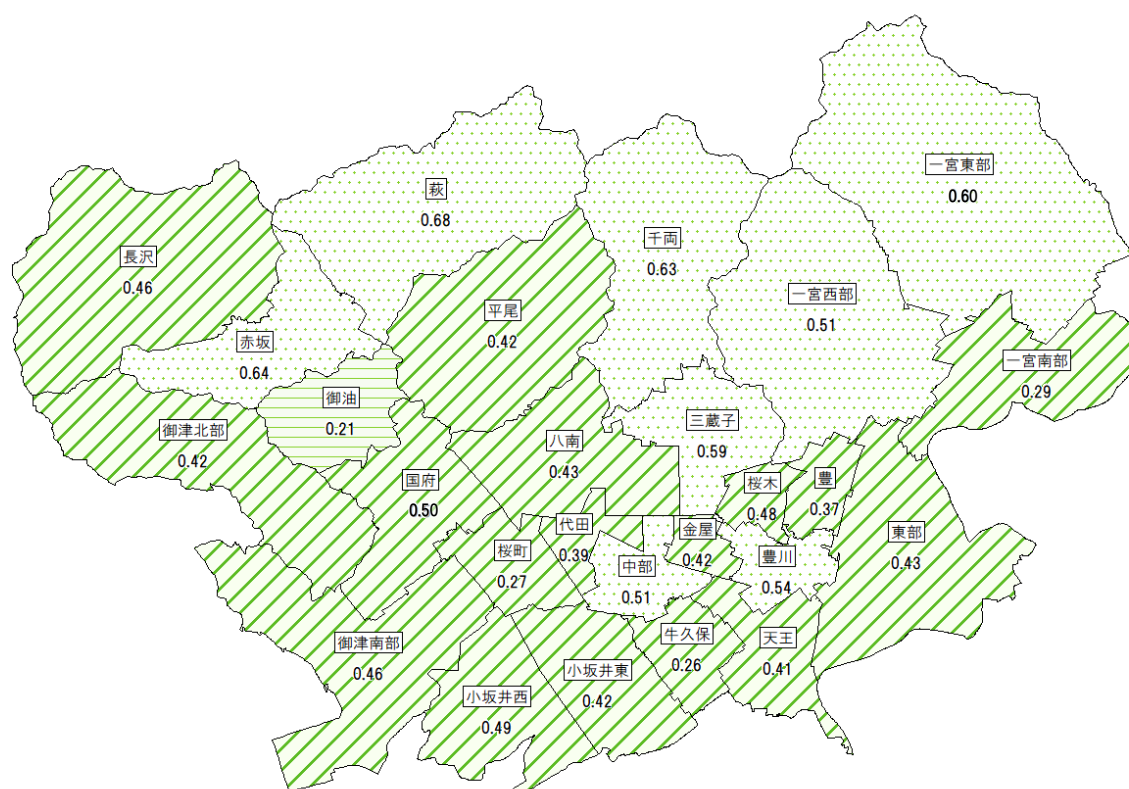
図表 117 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔26 学校の指導や取り組み〕



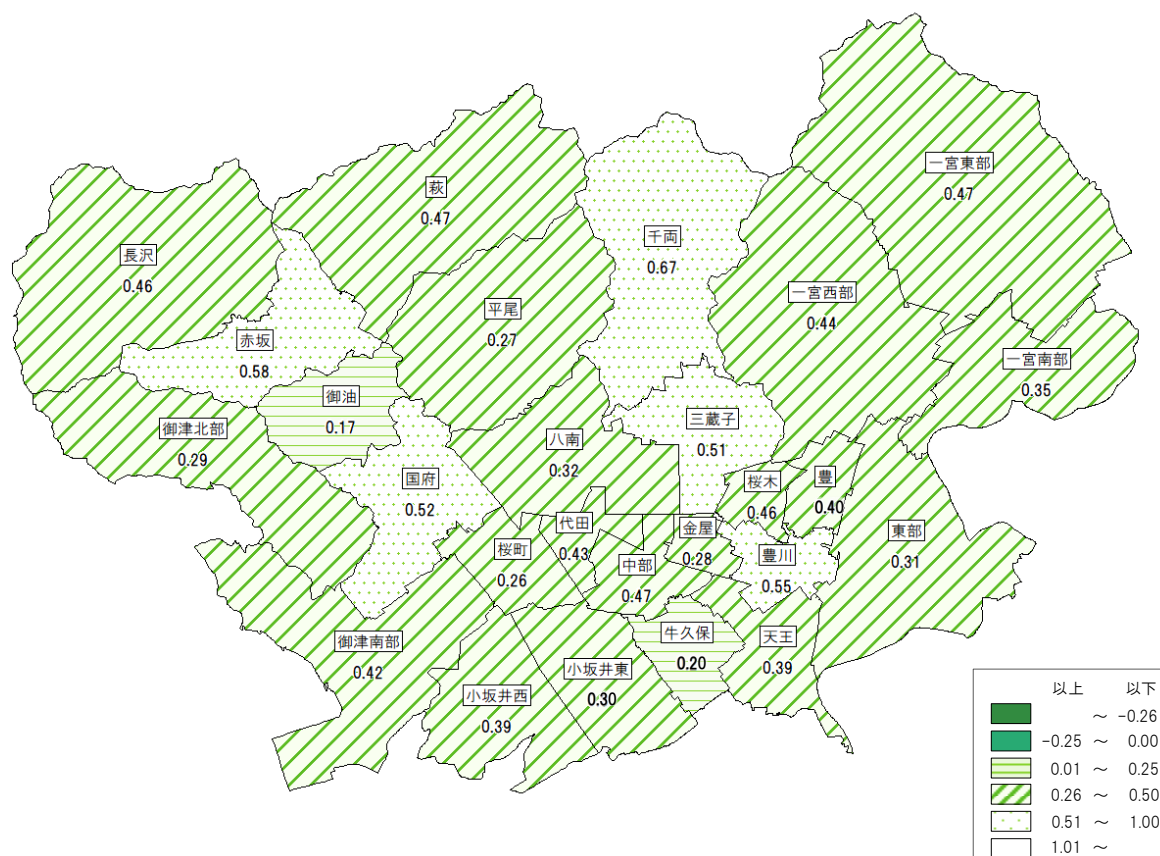
図表 118 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔27 生涯学習の取り組み〕



図表 119 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔28 スポーツの振興〕



図表 120 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔29 文化芸術の振興〕



力 産業・雇用

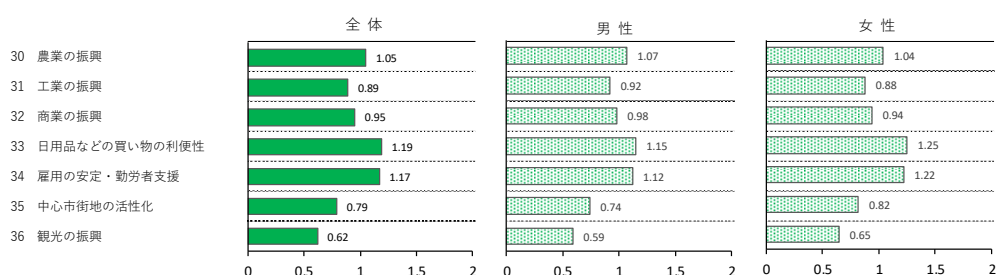
◆ 産業・雇用分野で重要度が高い項目は、「日用品などの買い物の利便性」

産業・雇用分野では、7項目のうち3項目で1.00以上となっている。最も重要度が高かったのは「33 日用品などの買い物の利便性」(1.19)で、次に、「34 雇用の安定・勤労者支援」(1.17)、「30 農業の振興」(1.05)、「32 商業の振興」(0.95)の順となっている。【図表 121】

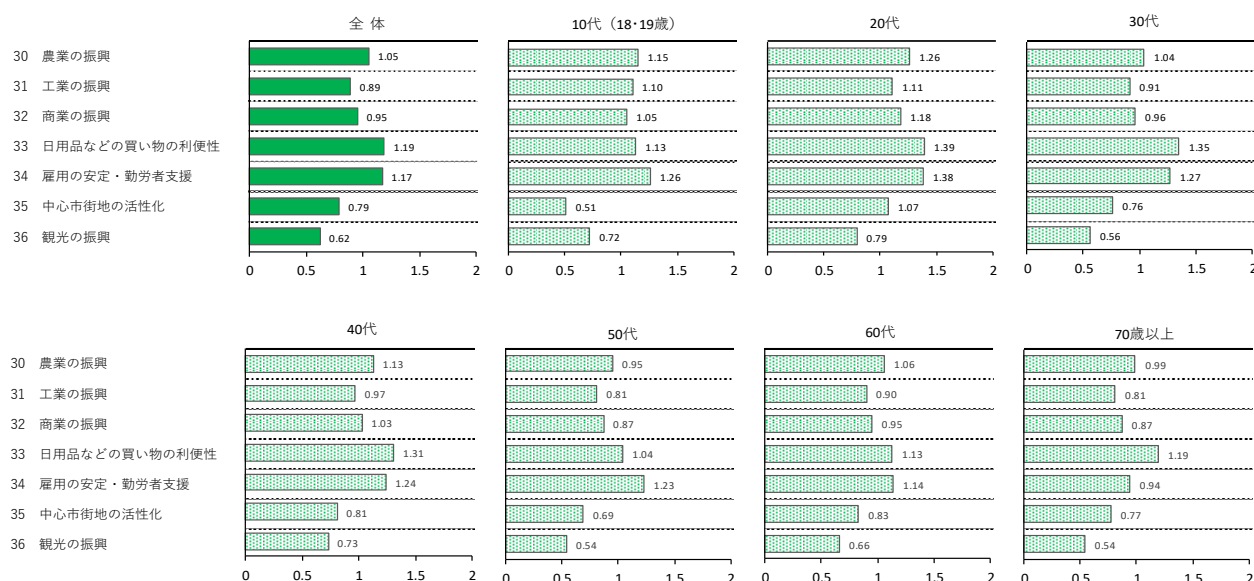
性別でみると、最も差がある項目は「33 日用品などの買い物の利便性」「34 雇用の安定・勤労者支援」で、いずれも「男性」が「女性」よりも0.1ポイント低くなっている。【図表 121】

年齢別でみると、「20代」「40代」では、すべての項目で全体平均よりも重要度が高くなっている。また、「10代(18・19歳)」では、「35 中心市街地の活性化」(0.51)が他の年代と比較して重要度が大幅に低くなっている。【図表 122】

図表 121 「産業・雇用」(全体・性別)

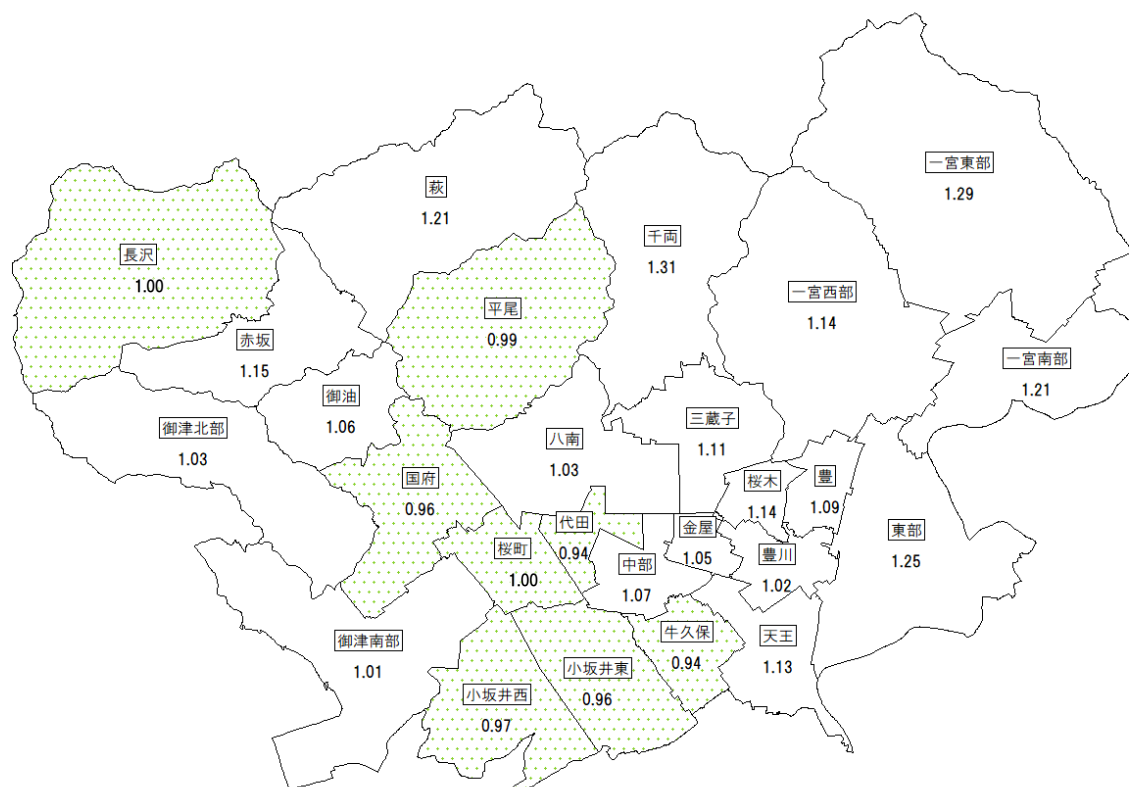


図表 122 「産業・雇用」(全体・年齢別)

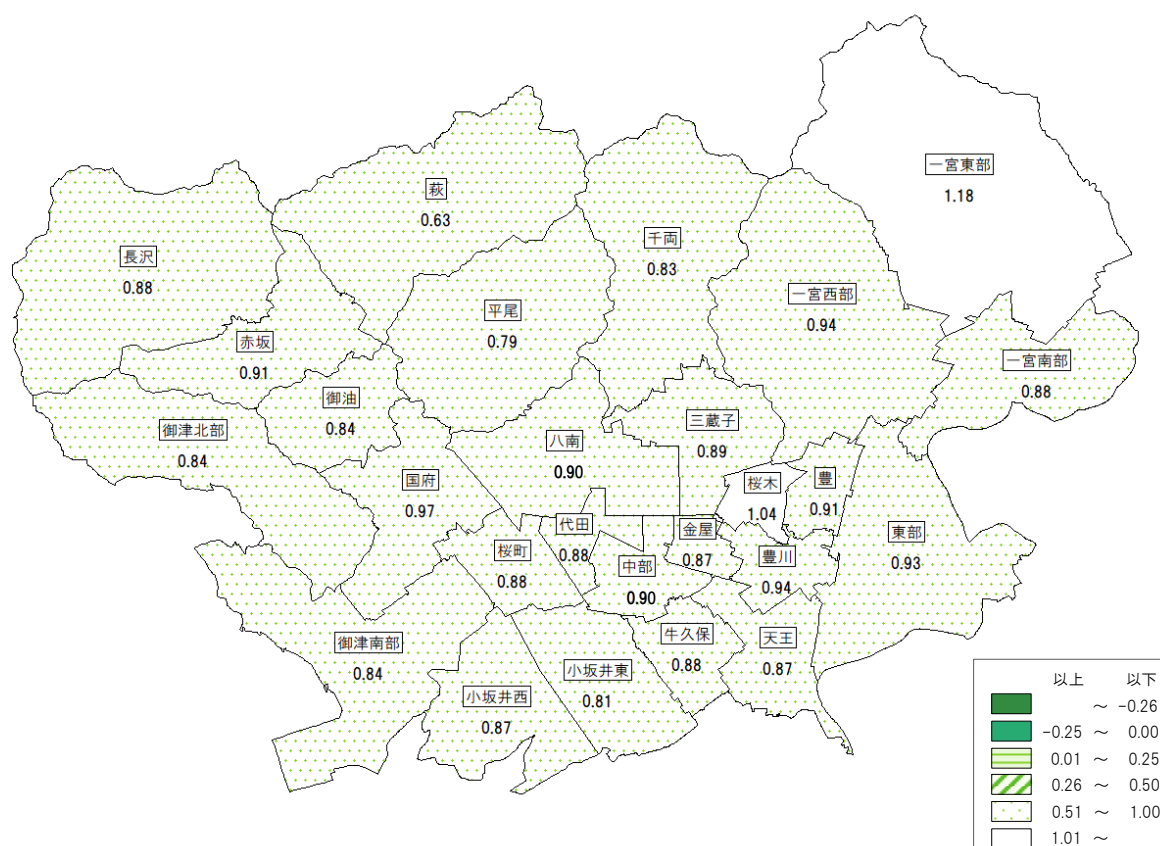


◆■ 小学校区別の傾向（重要度） ■◆

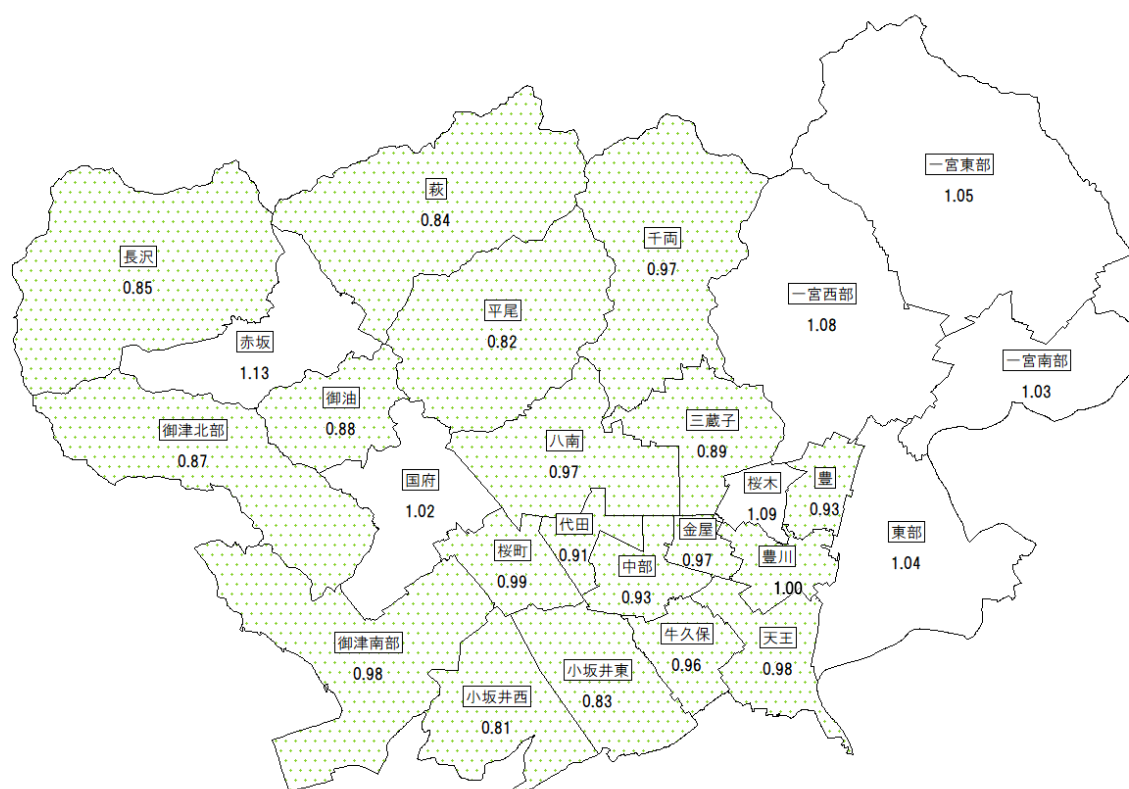
図表 123 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔30 農業の振興〕



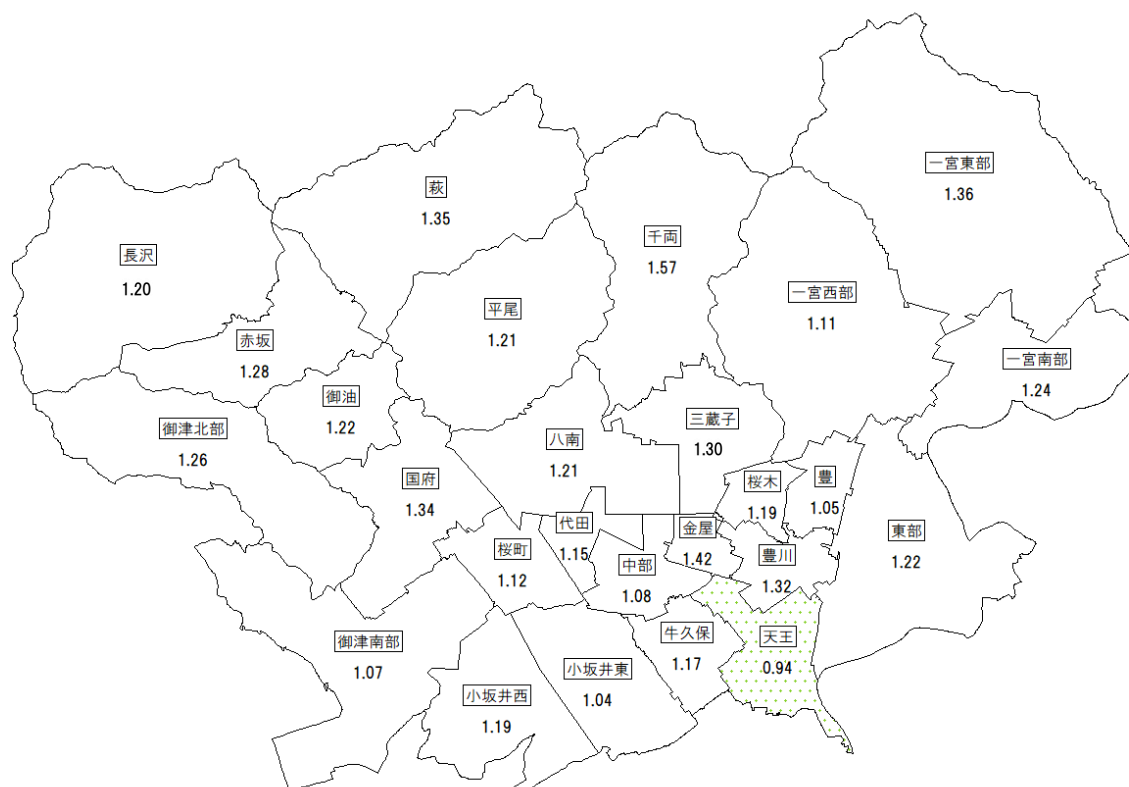
図表 124 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔31 工業の振興〕



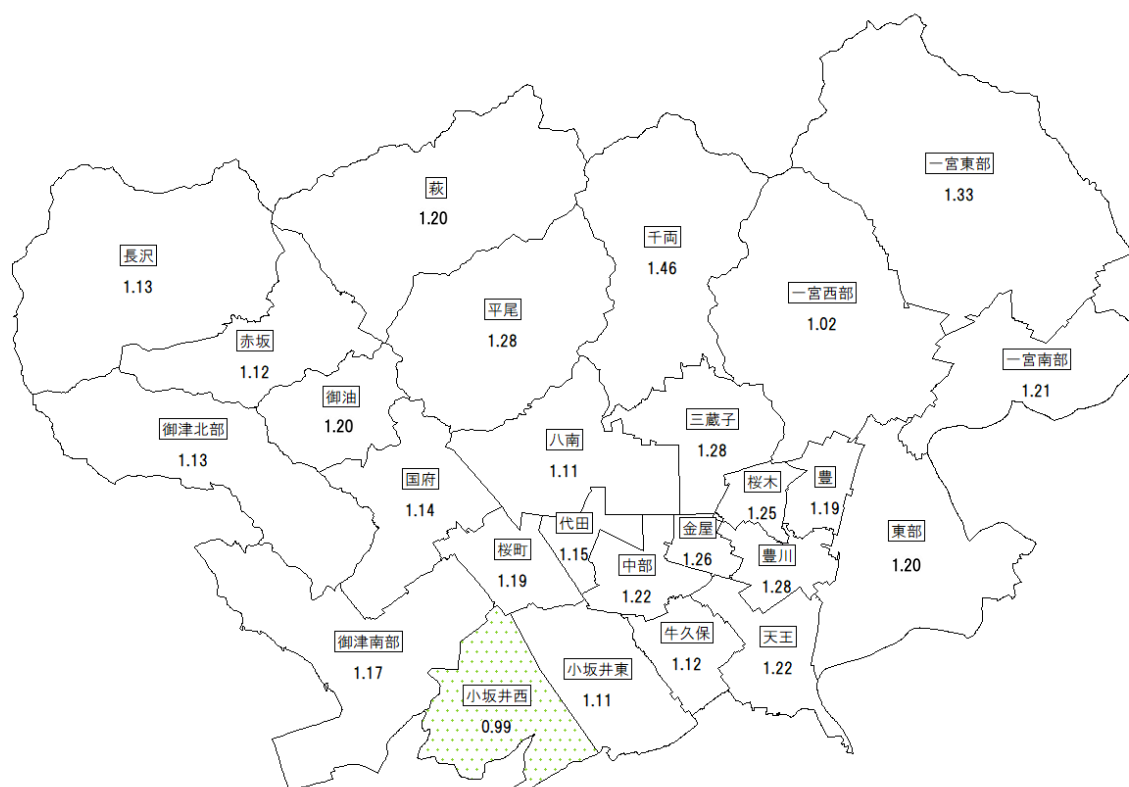
図表 125 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔32 商業の振興〕



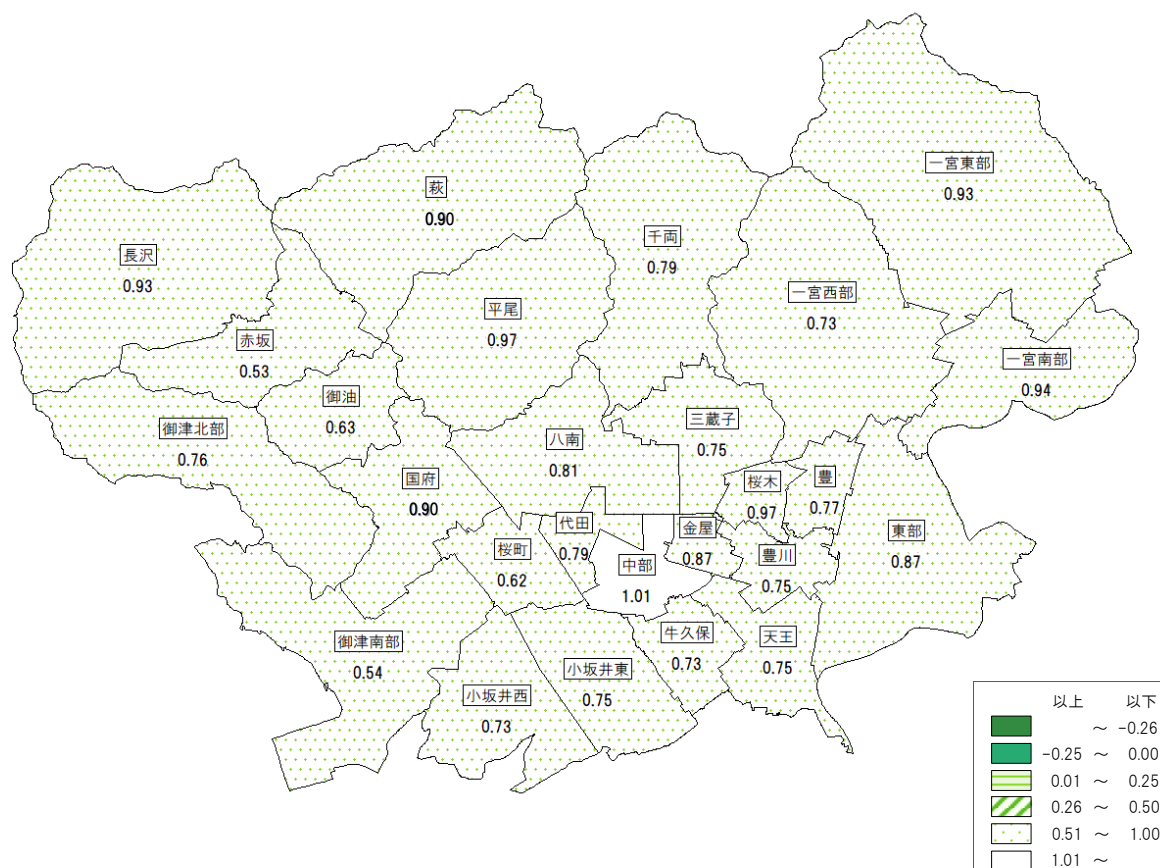
図表 126 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔33 日用品などの買い物の利便性〕



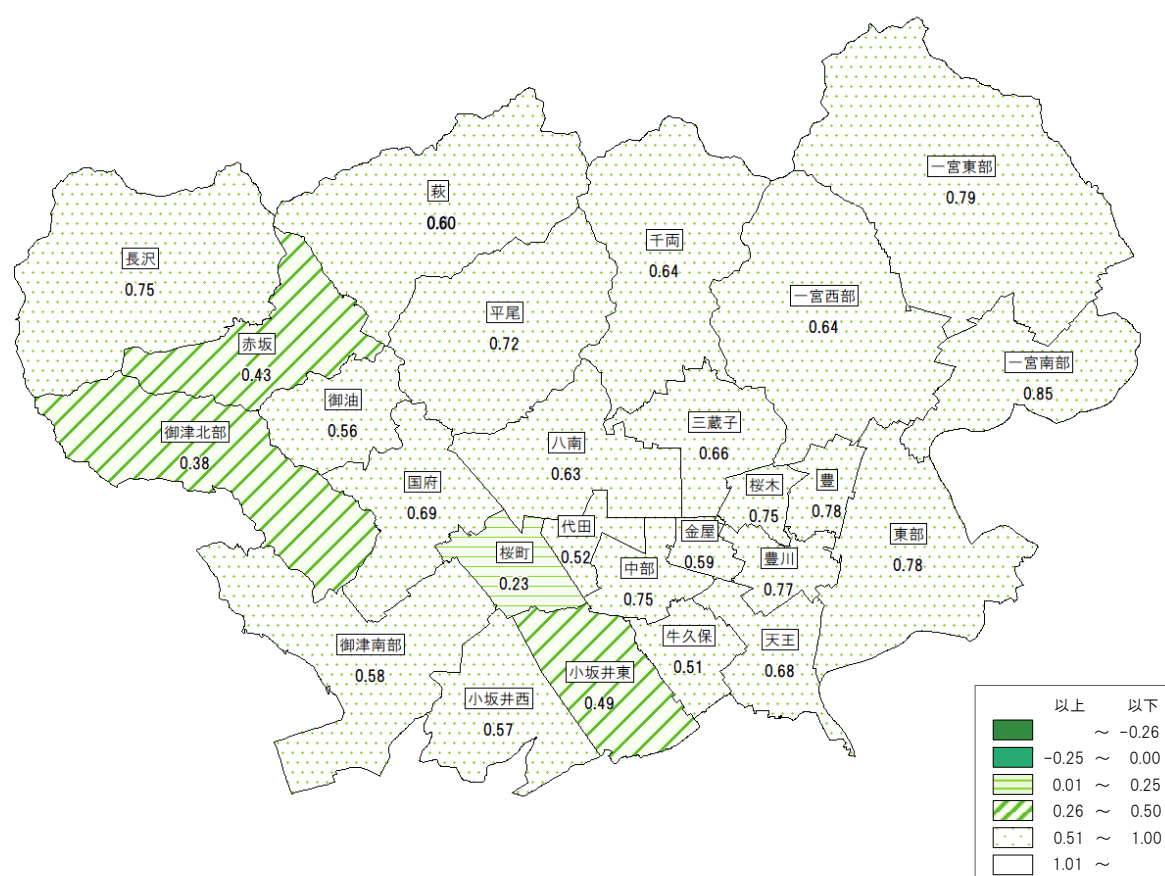
図表 127 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔34 雇用の安定・勤労者支援〕



図表 128 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔35 中心市街地の活性化〕



図表 129 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔36 観光の振興〕



キ 地域・行政

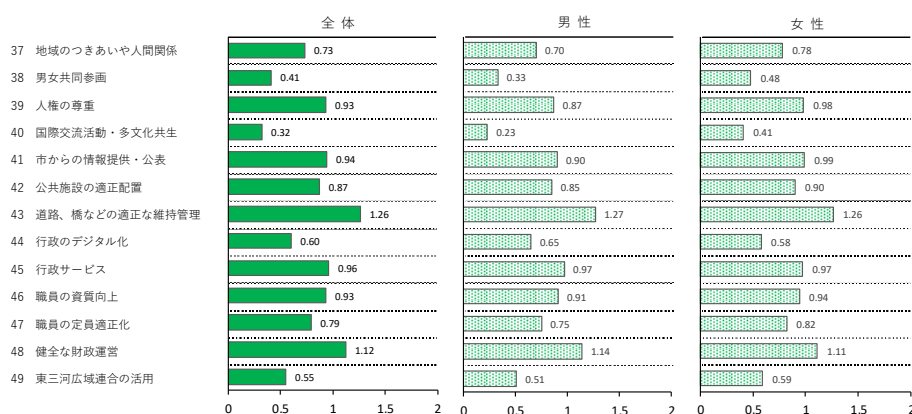
◆ 地域・行政分野で重要度が高い項目は、「道路、橋などの適正な維持管理」

地域・行政分野では、13 項目のうち 2 項目で重要度が 1.00 以上となっている。最も重要度が高かった項目は「43 道路、橋などの適正な維持管理」(1.26) で、次いで、「48 健全な財政運営」(1.12)、「45 行政サービス」(0.96)、「41 市からの情報提供・公表」(0.94) の順となっている。【図表 130】

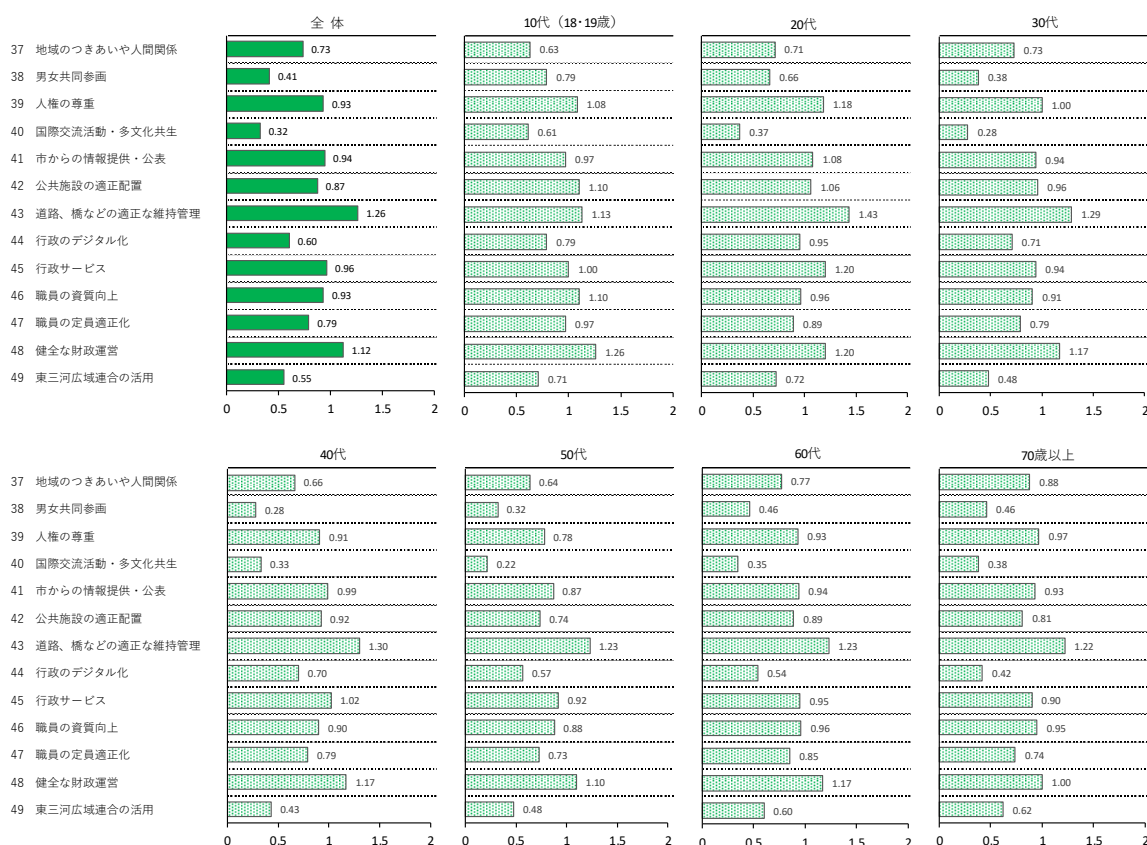
性別でみると、最も差がある項目は「40 国際交流活動・多文化共生」で、「男性」(0.23) が「女性」(0.41) より 0.18 ポイント低くなっている。【図表 130】

年齢別でみると、「10 代 (18・19 歳)」では「38 男女共同参画」(0.79)、「40 国際交流活動・多文化共生」(0.61) が、全体平均と比較して大幅に重要度が高くなっている。また、「20 代」では「44 行政のデジタル化」(0.95)、「39 人権の尊重」(1.18) が、全体平均と比較して大幅に重要度が高くなっている。【図表 131】

図表 130 「地域・行政」(全体・性別)

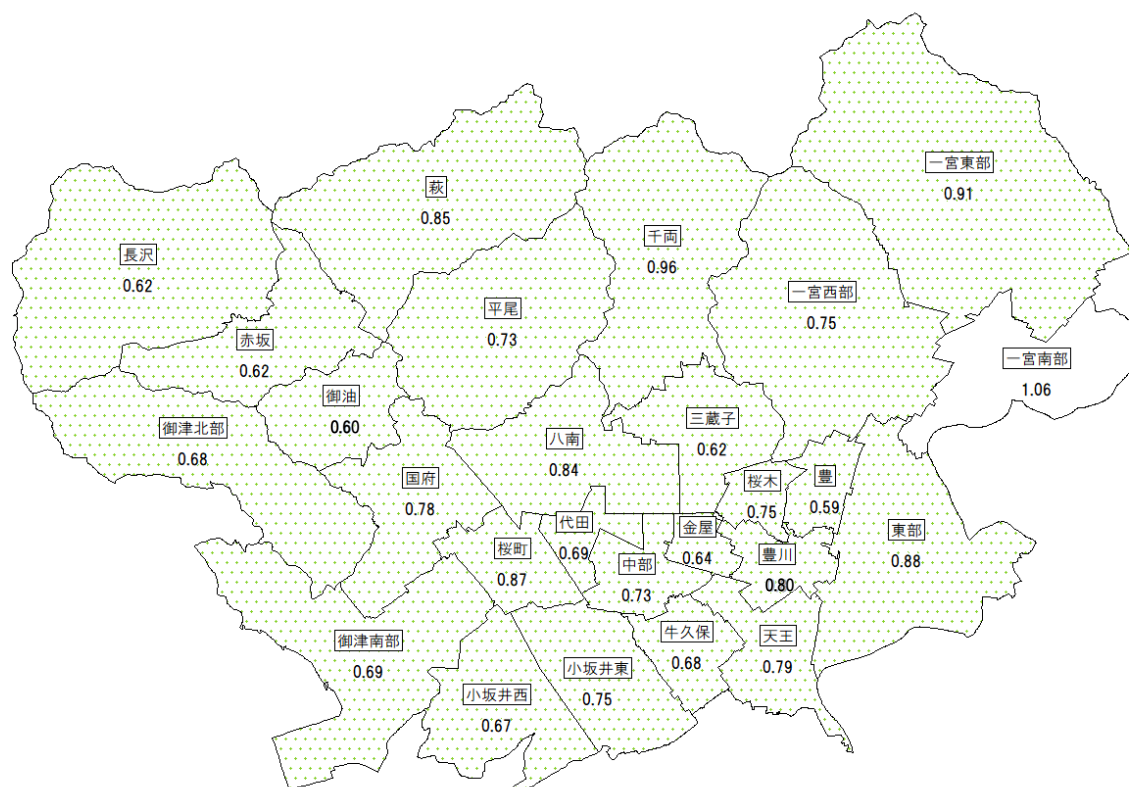


図表 131 「地域・行政」(全体・年齢別)

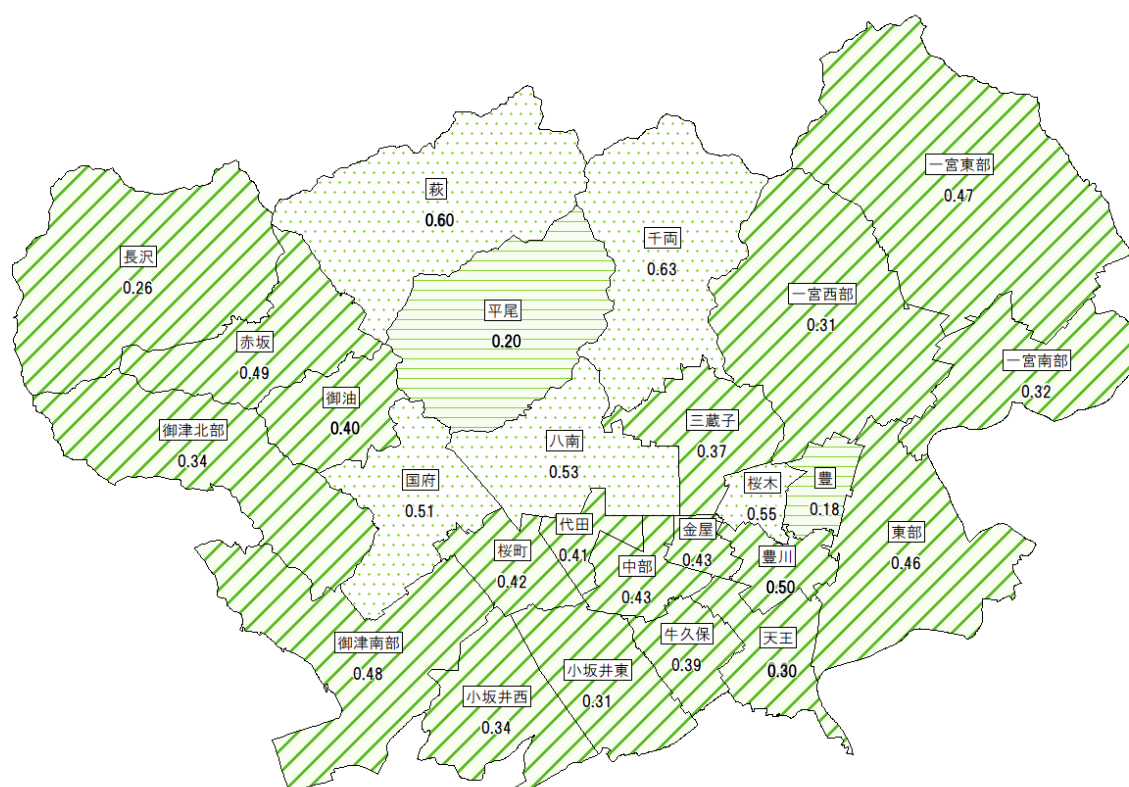


◆■ 小学校区別の傾向（重要度） ■◆

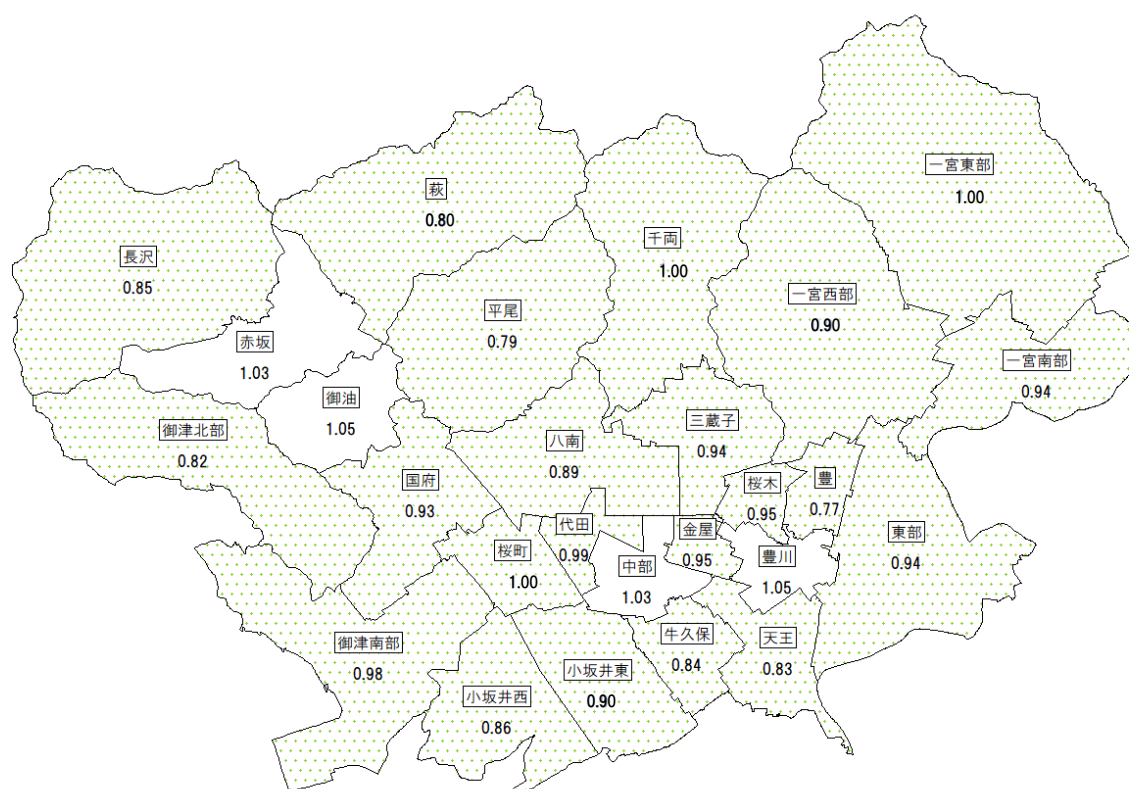
図表 132 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔37 地域のつきあいや人間関係〕



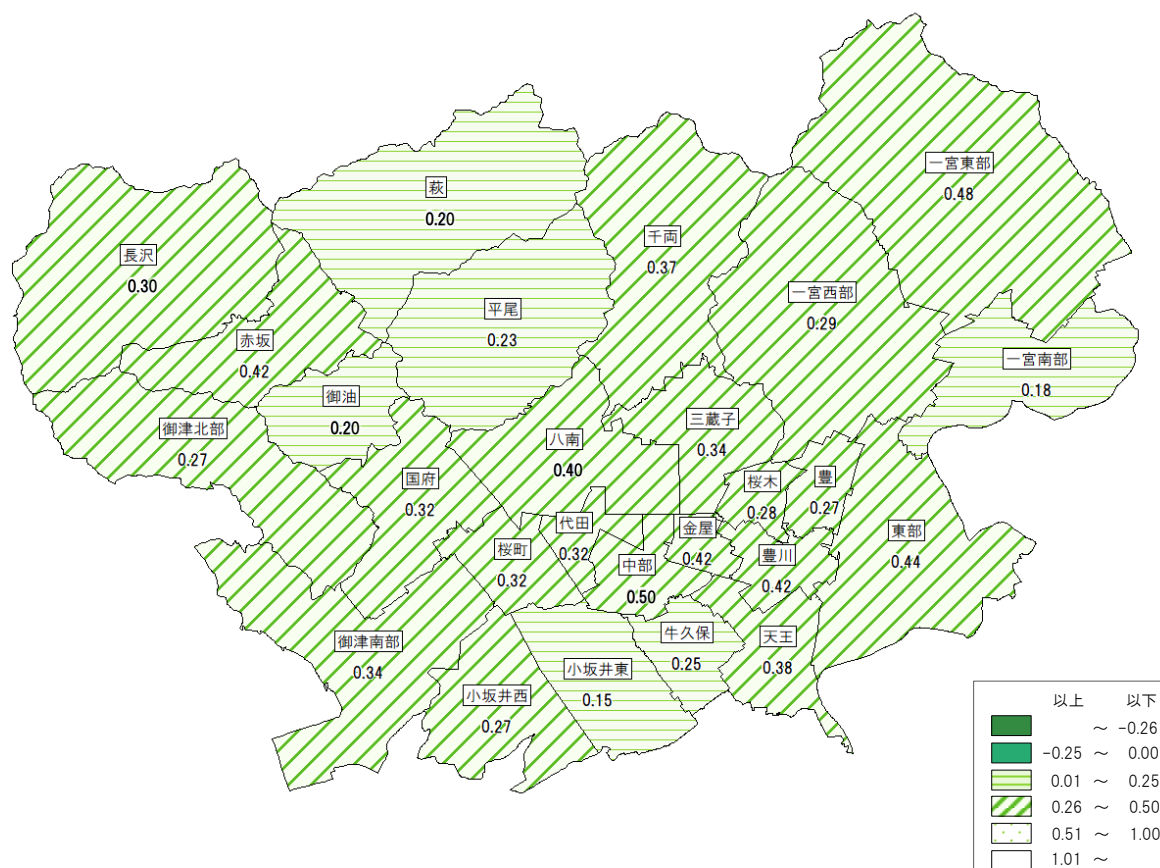
図表 133 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔38 男女共同参画〕



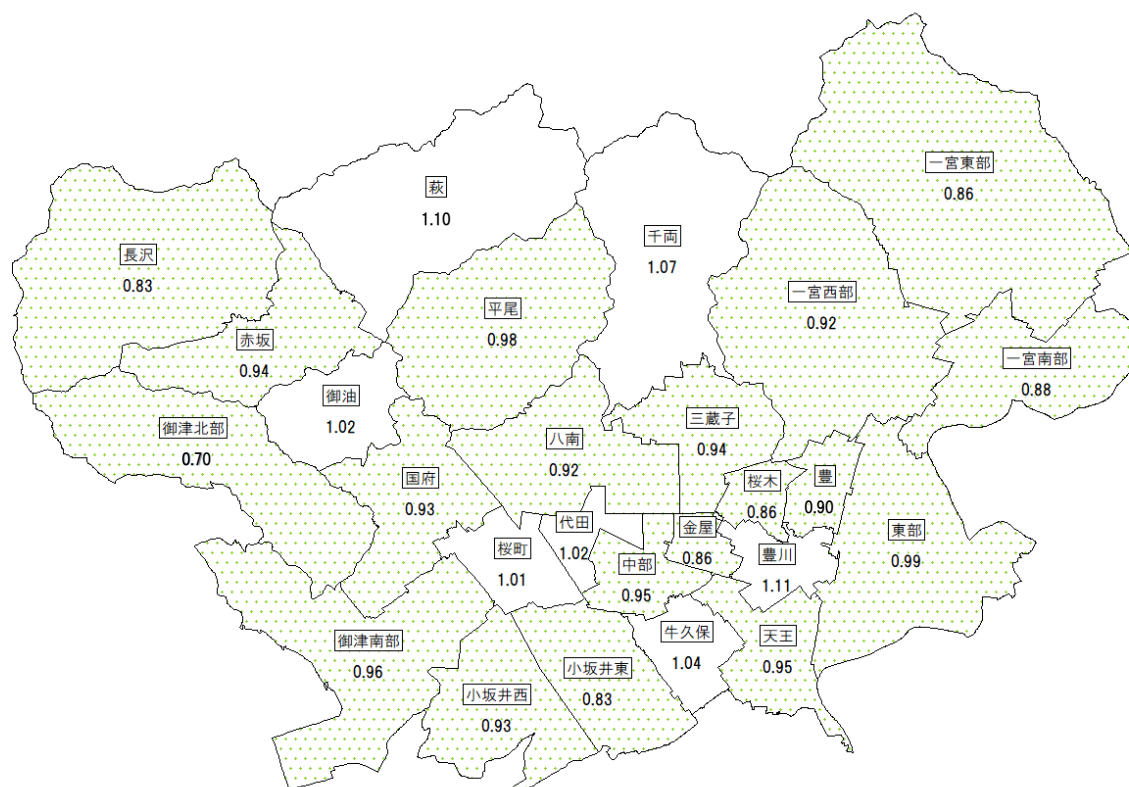
図表 134 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔39 人権の尊重〕



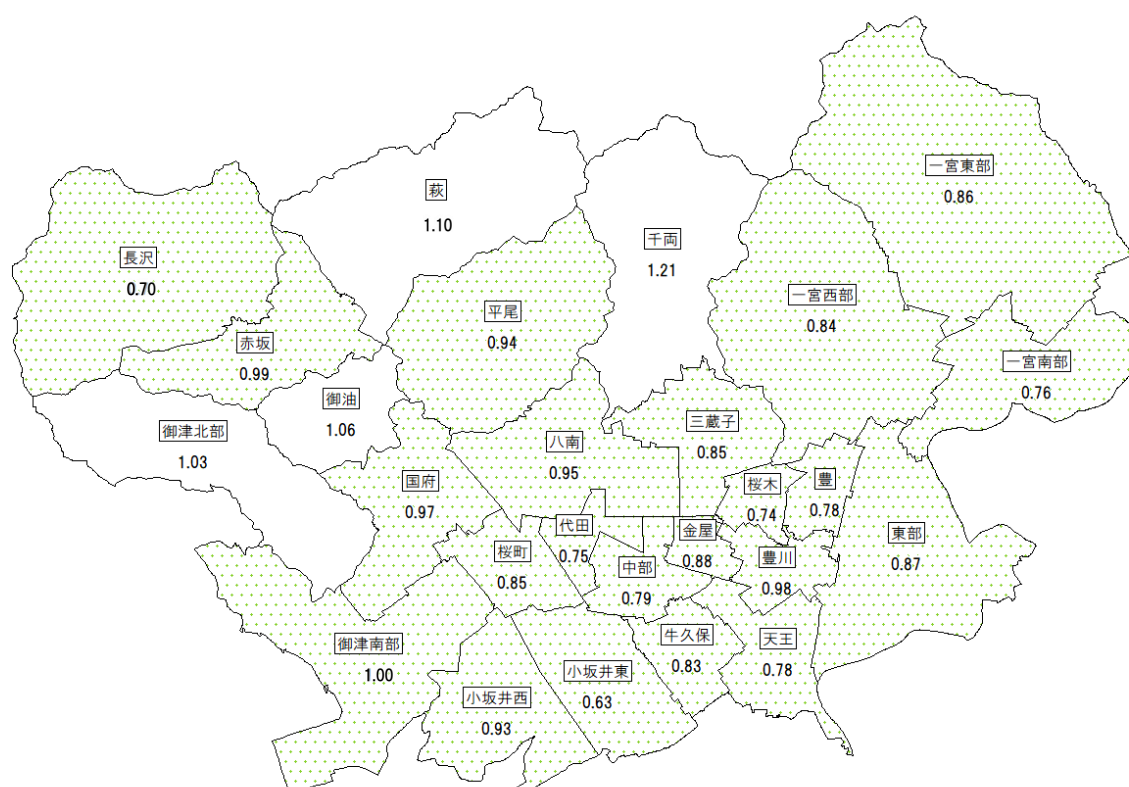
図表 135 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔40 国際交流活動・多文化共生〕



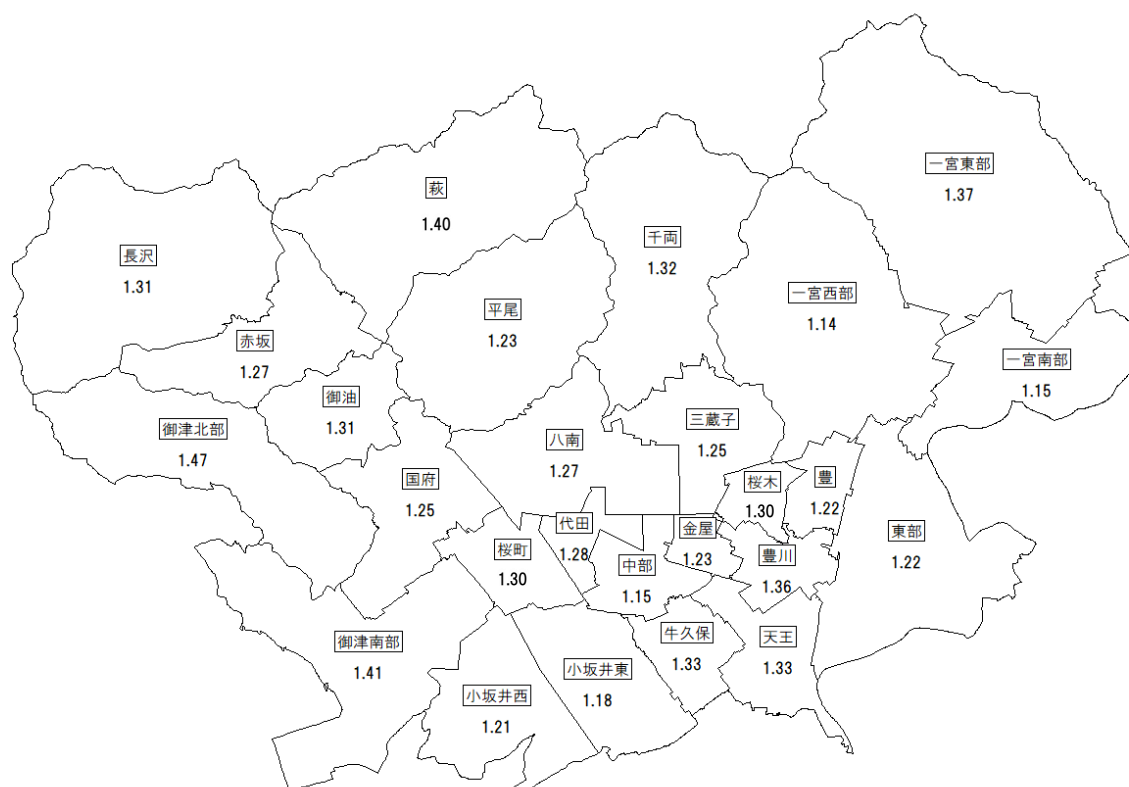
図表 136 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔41 市からの情報提供・公表〕



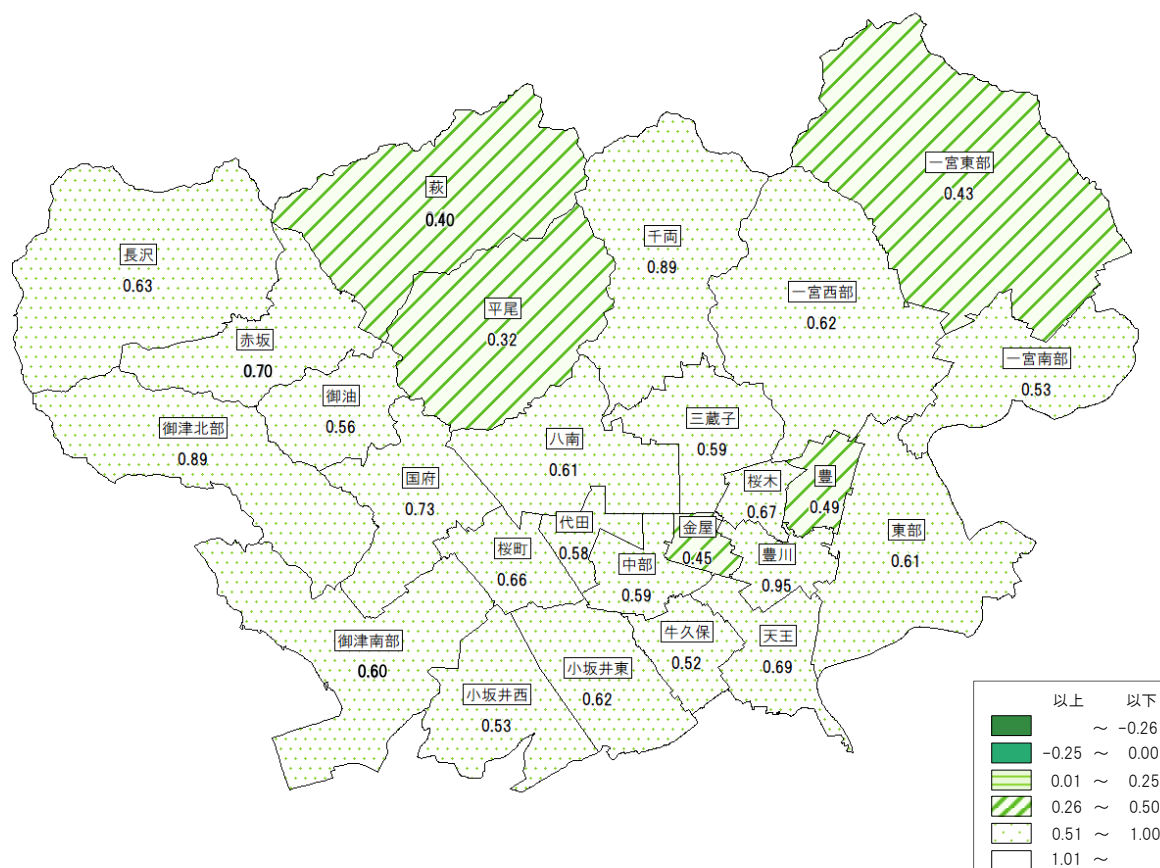
図表 137 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔42 公共施設の適正配置〕



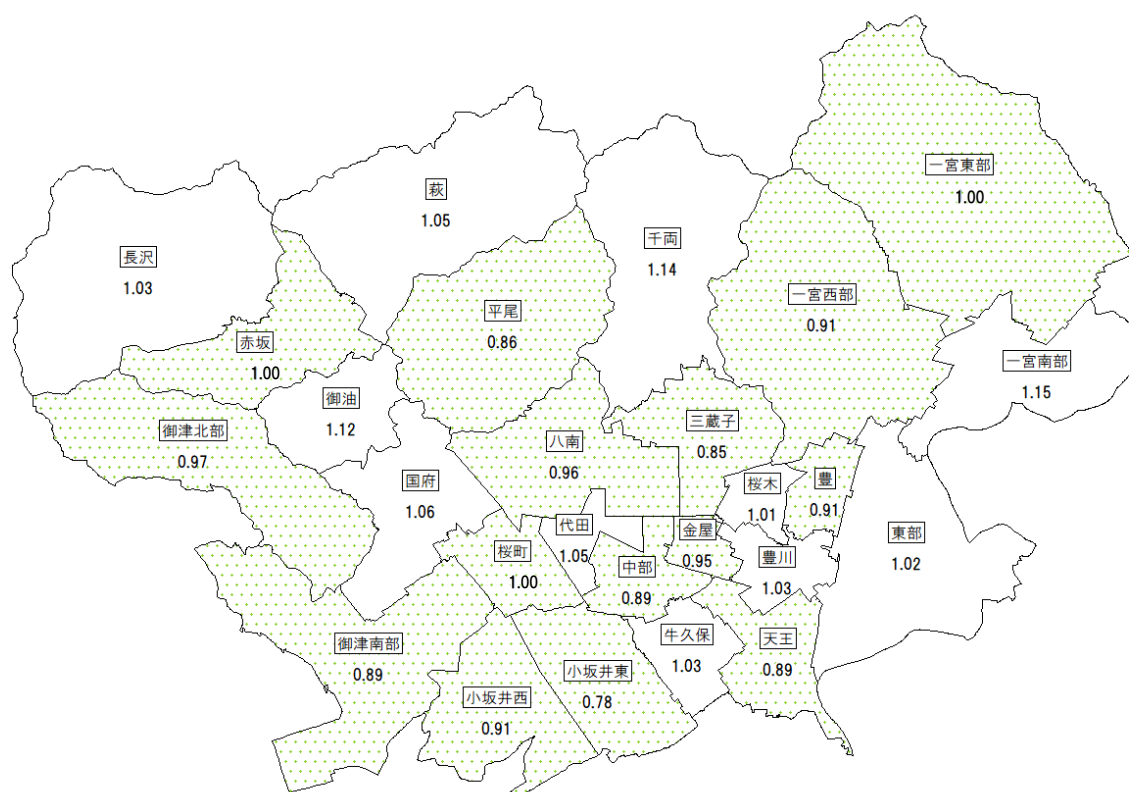
図表 138 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔43 道路、橋などの適正な維持管理〕



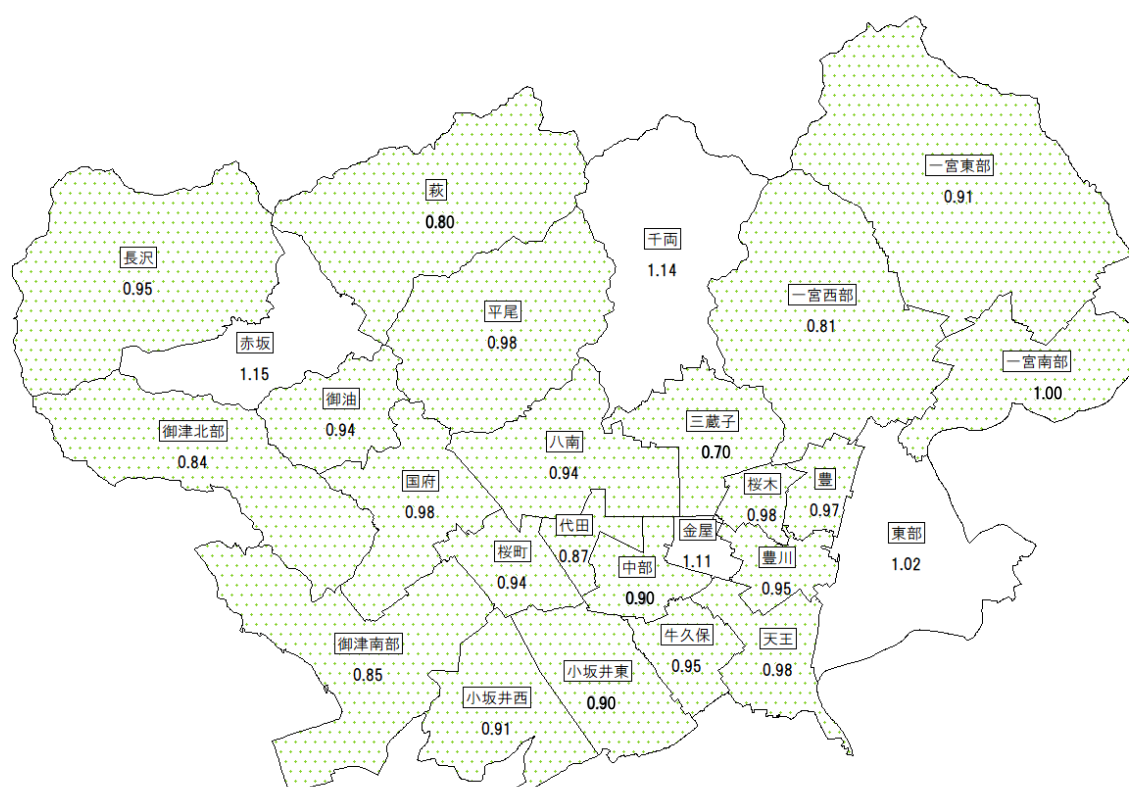
図表 139 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔44 行政のデジタル化〕



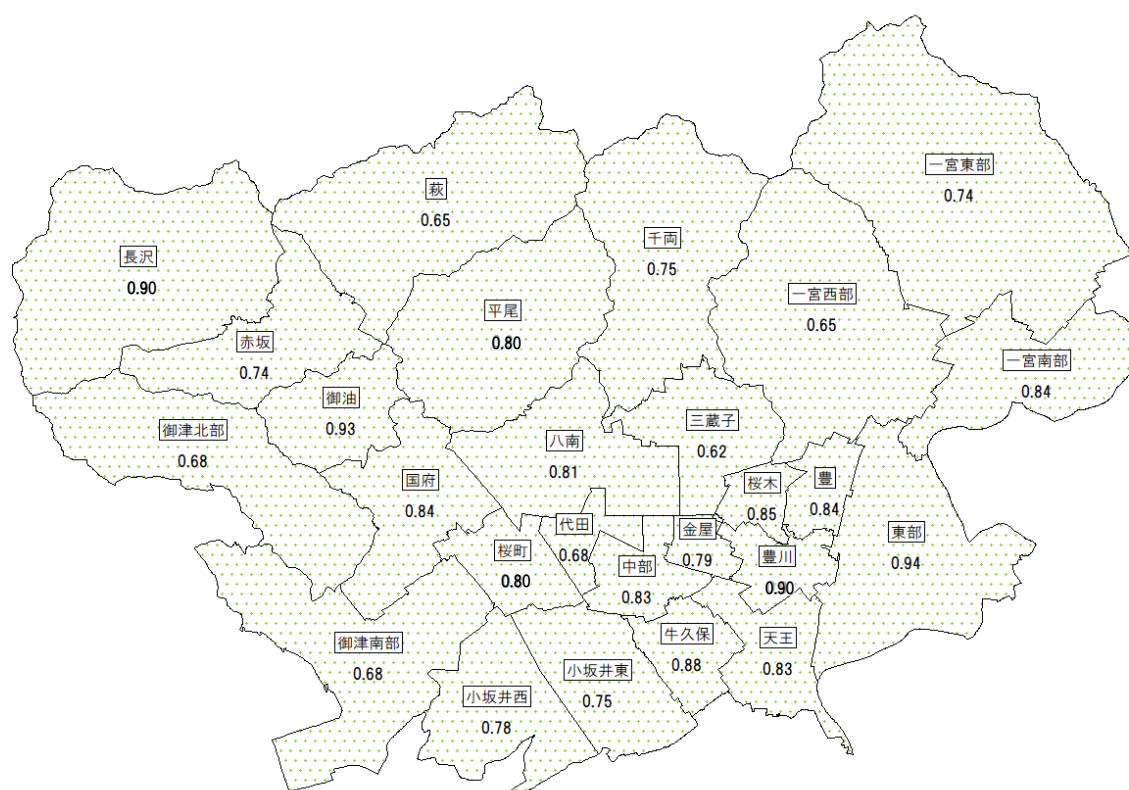
図表 140 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔45 行政サービス〕



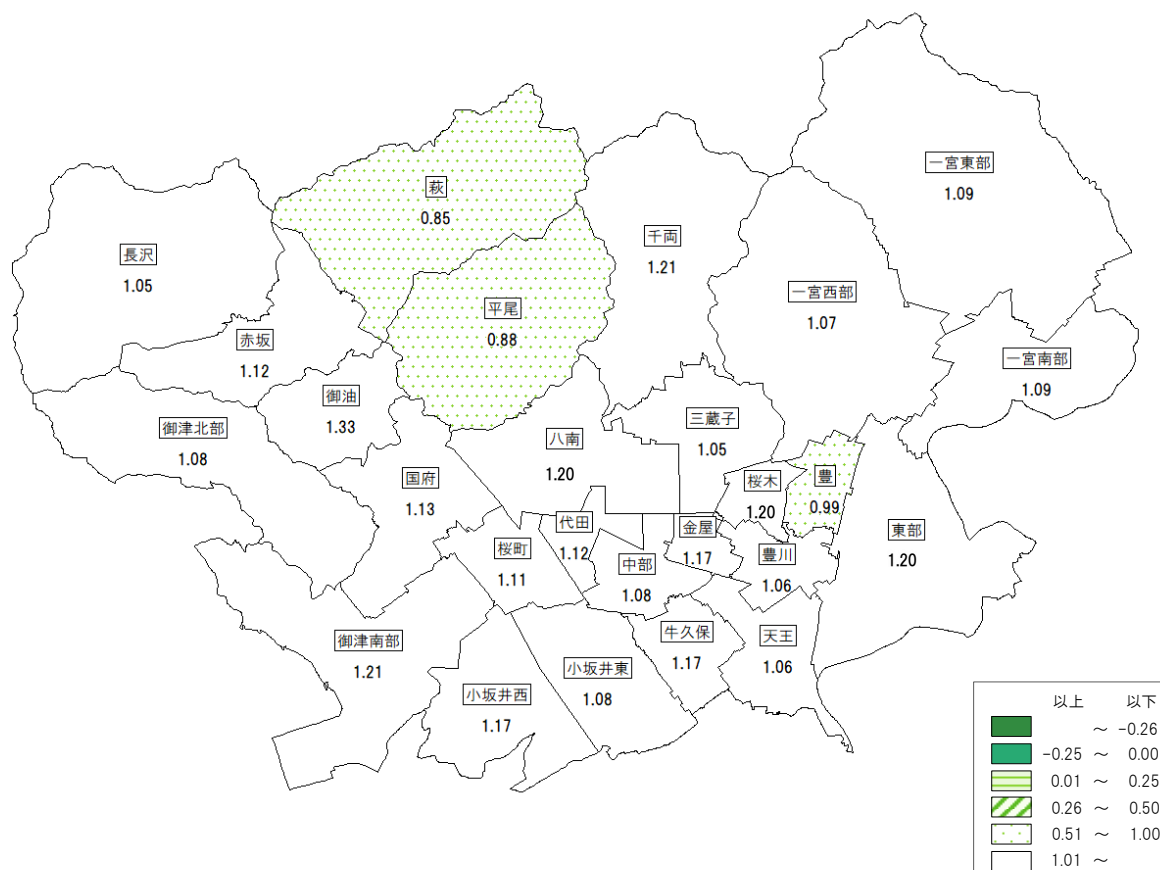
図表 141 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔46 職員の資質向上〕



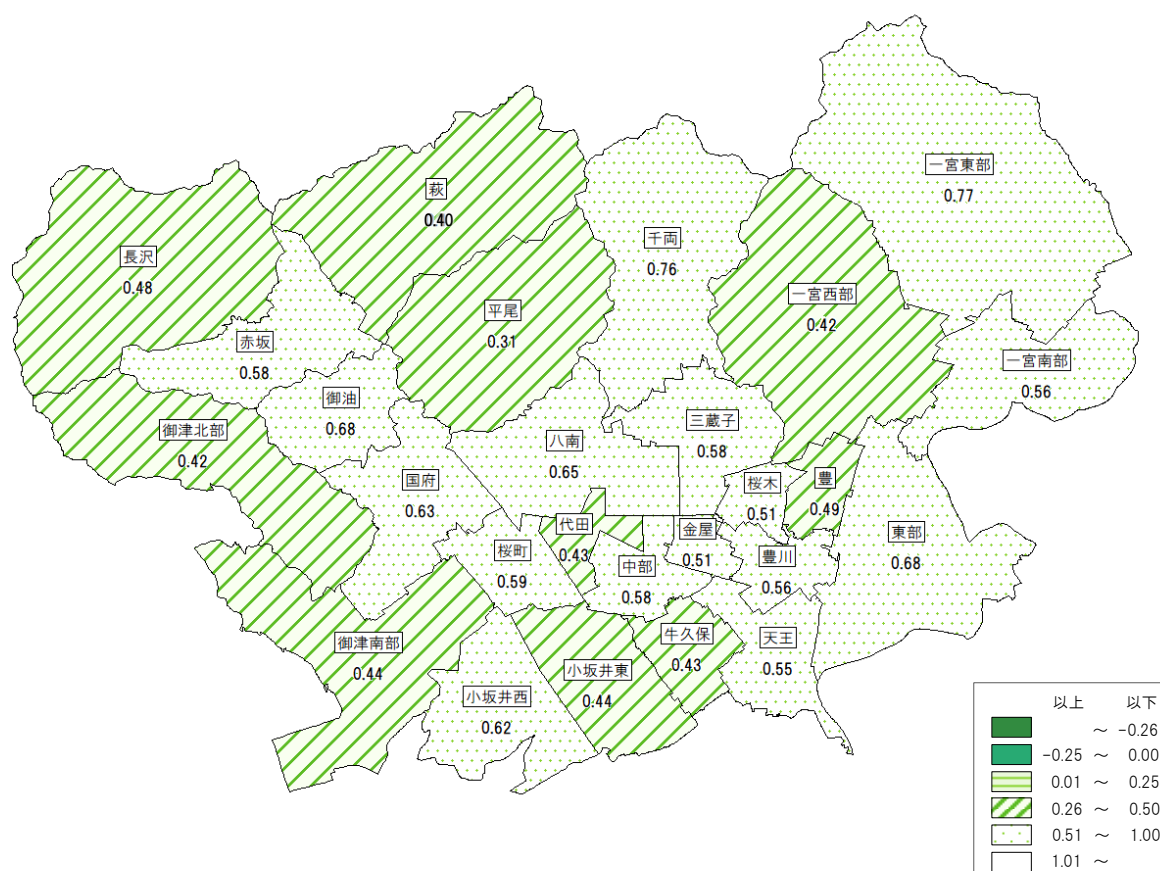
図表 142 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔47 職員の定員適正化〕



図表 143 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔48 健全な財政運営〕



図表 144 小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔49 東三河広域連合の活用〕



3 満足度と重要度の評価

(1) 全体評価

- ◆ 全体では、「歩行者にとっての道路の安全性」で満足度が低く、重要度が高くなっており、優先度が高い

豊川市の市政における現在の満足度の評価点と重要度の評価点を「安全・安心」「子ども・若者」「健康・福祉」「建設・整備」「教育・文化」「産業・雇用」「地域・行政」の7分野49項目について算出し、座標上に表した。横軸が満足度、縦軸が重要度となっており、それぞれの平均値は、満足度が0.28、重要度が1.00となっている。

図の左上部分は、重要度が高く、満足度が低い項目であり、今後の施策の強化が望まれている優先度の高い項目であると言える。【図表 146】

強化が望まれている優先度*の高い項目は、「2 歩行者にとっての道路の安全性」(1.71)、「4 地震などに対する防災対策」(1.53)、「3 防犯対策」(1.45)、「22 道路の整備状況」(1.25)、「1 交通安全対策」(1.24) などとなっている。【図表 145】

※優先度は「重要度－満足度」で算出し、値が大きいものを優先度が高いと評価している

※（図表 145：満足・重要・優先度 5 項目）優先度の数値が同じ場合は、重要度が高い方を上位と位置付ける

※（図表 145：満足・重要・優先度 5 項目）満足度と重要度では、小数点第3位まで算出して位置付けを行っている

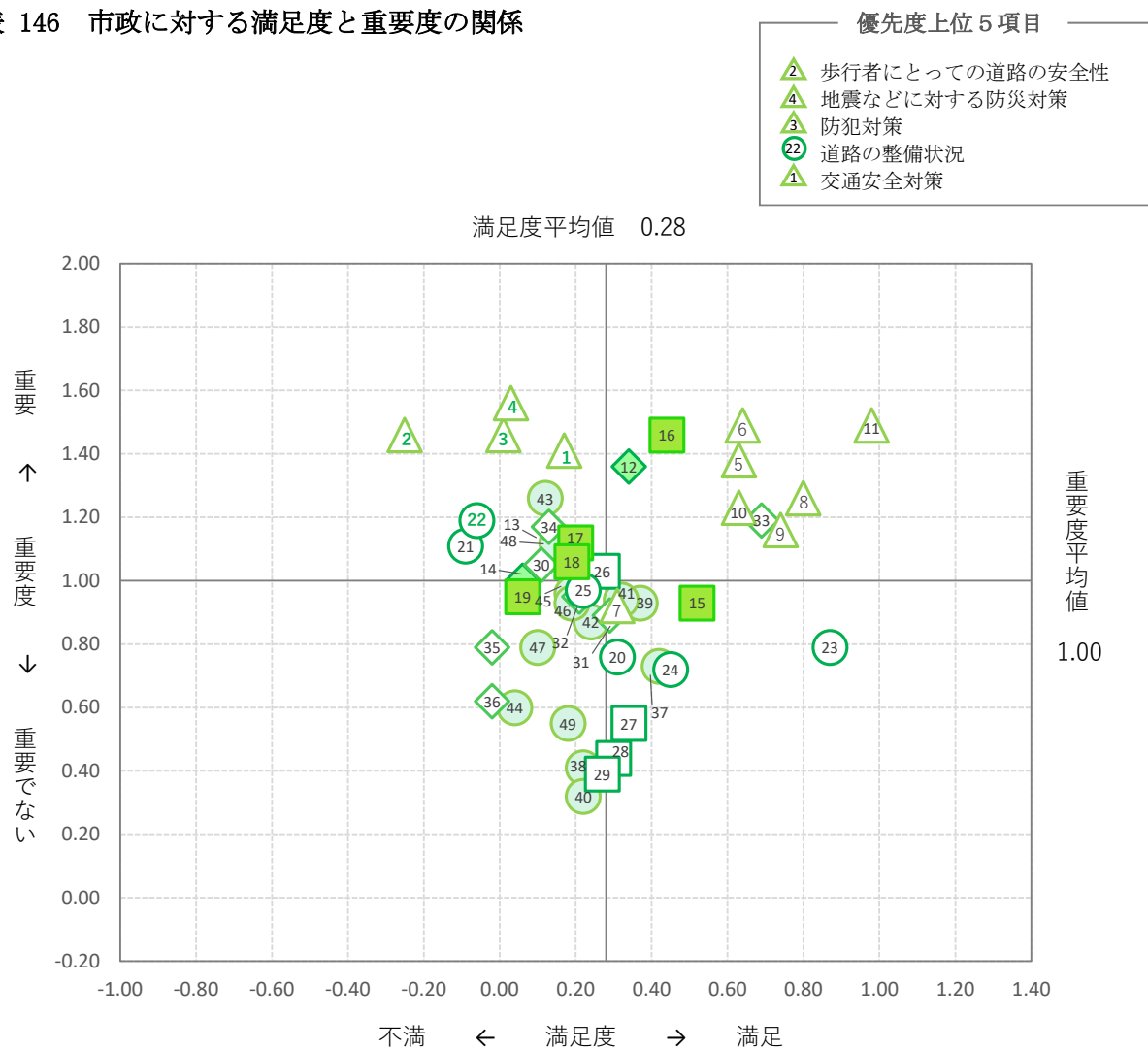
図表 145 満足・重要・優先度 5 項目

順位	満足度	上位 5 項目	順位	満足度	下位 5 項目
1		水道水の安全・安定供給 0.98	1		歩行者にとっての道路の安全性 -0.25
2		緑・自然の豊かさ 0.87	2		公共交通機関の利便性 -0.09
3		ごみ処理対策 0.80	3		道路の整備状況 -0.06
4		生活における衛生環境 0.74	4		中心市街地の活性化 -0.02
5		日用品などの買い物の利便性 0.69	4		観光の振興 -0.02

順位	重要度	上位 5 項目
1		地震などに対する防災対策 1.56
2		救急体制 1.49
2		水道水の安全・安定供給 1.49
4		歩行者にとっての道路の安全性 1.46
4		防犯対策 1.46
4		医療環境 1.46

順位	優先度	上位 5 項目
1		歩行者にとっての道路の安全性 1.71
2		地震などに対する防災対策 1.53
3		防犯対策 1.45
4		道路の整備状況 1.25
5		交通安全対策 1.24

図表 146 市政に対する満足度と重要度の関係



凡 例									
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	20	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係	
	2	歩行者にとっての道路の安全性		21	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画	
	3	防犯対策		22	道路の整備状況		39	人権の尊重	
	4	地震などに対する防災対策		23	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生	
	5	消防体制		24	公園の状況		41	市からの情報提供・公表	
	6	救急体制		25	河川の状況		42	公共施設の適正配置	
	7	地球環境の保全	□ 教育・文化	26	学校の指導や取り組み		43	道路、橋などの適正な維持管理	
	8	ごみ処理対策		27	生涯学習の取り組み		44	行政のデジタル化	
	9	生活における衛生環境		28	スポーツの振興		45	行政サービス	
	10	生活排水対策		29	文化芸術の振興		46	職員の資質向上	
	11	水道水の安全・安定供給		30	農業の振興		47	職員の定員適正化	
◇ 子ども・若者	12	子どもを生み、育てる環境	◇ 産業・雇用	31	工業の振興		48	健全な財政運営	
	13	青少年の育成・支援		32	商業の振興		49	東三河広域連合の活用	
	14	若者への支援		33	日用品などの買い物の利便性				
■ 健康・福祉	15	健康づくり		34	雇用の安定・勤労者支援				
	16	医療環境		35	中心市街地の活性化				
	17	高齢者福祉		36	観光の振興				
	18	障害者福祉							
	19	経済的な自立支援							

(2) 小学校区別評価

◆ 全体評価の満足度上位5項目以外に「生活排水対策」、「救急体制」など

小学校区別で満足度の高い項目は、全体評価の上位5項目以外では、「生活排水対策」が、「桜木」、「千両」、「御津北部」、「御津南部」、「豊」、「長沢」、「平尾」、「赤坂」小学校区の順で高くなっている。

「救急体制」は、「一宮東部」、「長沢」、「御津南部」、「小坂井西」、「天王」、「萩」、「一宮南部」小学校区の順で高くなっている。

「消防体制」は、「豊川」、「小坂井西」、「一宮南部」小学校区の順で高くなっている。【図表147】

図表 147 小学校区別評価 満足度上位5項目

小学校区	満足度 上位5項目					小学校区	満足度 上位5項目				
豊川	水道水の安全・安定供給	ごみ処理対策	生活における衛生環境	日用品などの買い物の利便性	消防体制	千両	水道水の安全・安定供給	生活における衛生環境	緑・自然の豊かさ	ごみ処理対策	生活排水対策
	1.22	0.97	0.95	0.91	0.82		1.29	1.04	0.97	0.82	0.79
桜木	日用品などの買い物の利便性	水道水の安全・安定供給	生活排水対策	緑・自然の豊かさ	生活における衛生環境	八南	水道水の安全・安定供給	緑・自然の豊かさ	日用品などの買い物の利便性	ごみ処理対策	生活における衛生環境
	1.08	1.02	0.92	0.89	0.88		1.00	0.93	0.91	0.89	0.77
豊	水道水の安全・安定供給	日用品などの買い物の利便性	緑・自然の豊かさ	ごみ処理対策	生活排水対策	平尾	水道水の安全・安定供給	生活における衛生環境	緑・自然の豊かさ	ごみ処理対策	生活排水対策
	1.01	0.87	0.81	0.76	0.71		1.00	0.82	0.81	0.79	0.68
東部	緑・自然の豊かさ	ごみ処理対策	水道水の安全・安定供給	生活における衛生環境	日用品などの買い物の利便性	一宮東部	水道水の安全・安定供給	緑・自然の豊かさ	ごみ処理対策	生活における衛生環境	救急体制
	1.05	0.93	0.91	0.68	0.67		1.05	1.05	0.91	0.78	0.74
金屋	水道水の安全・安定供給	日用品などの買い物の利便性	緑・自然の豊かさ	ごみ処理対策	生活における衛生環境	一宮西部	緑・自然の豊かさ	水道水の安全・安定供給	ごみ処理対策	生活における衛生環境	日用品などの買い物の利便性
	1.16	1.03	0.86	0.84	0.81		0.87	0.81	0.77	0.73	0.61
三蔵子	緑・自然の豊かさ	水道水の安全・安定供給	ごみ処理対策	日用品などの買い物の利便性	生活における衛生環境	一宮南部	緑・自然の豊かさ	水道水の安全・安定供給	ごみ処理対策	救急体制	消防体制
	0.87	0.85	0.76	0.67	0.66		1.11	0.86	0.63	0.61	0.56
桜町	水道水の安全・安定供給	ごみ処理対策	生活における衛生環境	緑・自然の豊かさ	日用品などの買い物の利便性	赤坂	緑・自然の豊かさ	水道水の安全・安定供給	生活における衛生環境	生活排水対策	ごみ処理対策
	1.04	0.94	0.94	0.88	0.84		1.10	0.89	0.63	0.59	0.58
代田	水道水の安全・安定供給	日用品などの買い物の利便性	生活における衛生環境	ごみ処理対策	緑・自然の豊かさ	長沢	緑・自然の豊かさ	水道水の安全・安定供給	救急体制	ごみ処理対策	生活排水対策
	1.13	0.85	0.84	0.82	0.80		1.35	0.82	0.69	0.69	0.69
中部	水道水の安全・安定供給	日用品などの買い物の利便性	ごみ処理対策	緑・自然の豊かさ	生活における衛生環境	萩	緑・自然の豊かさ	ごみ処理対策	地域のつきあいや人間関係	水道水の安全・安定供給	救急体制
	1.04	0.97	0.78	0.78	0.75		1.37	0.90	0.75	0.70	0.65
牛久保	水道水の安全・安定供給	日用品などの買い物の利便性	ごみ処理対策	生活における衛生環境	緑・自然の豊かさ	御津南部	水道水の安全・安定供給	緑・自然の豊かさ	生活排水対策	ごみ処理対策	救急体制
	1.03	0.99	0.93	0.93	0.71		1.00	0.88	0.74	0.71	0.66
天王	水道水の安全・安定供給	日用品などの買い物の利便性	緑・自然の豊かさ	救急体制	ごみ処理対策	御津北部	緑・自然の豊かさ	水道水の安全・安定供給	ごみ処理対策	生活排水対策	生活における衛生環境
	0.97	0.79	0.68	0.65	0.65		1.24	1.23	0.85	0.79	0.73
国府	緑・自然の豊かさ	水道水の安全・安定供給	日用品などの買い物の利便性	生活における衛生環境	ごみ処理対策	小坂井東	水道水の安全・安定供給	ごみ処理対策	日用品などの買い物の利便性	生活における衛生環境	緑・自然の豊かさ
	0.96	0.89	0.79	0.75	0.71		0.93	0.75	0.74	0.68	0.67
御油	緑・自然の豊かさ	水道水の安全・安定供給	日用品などの買い物の利便性	ごみ処理対策	生活における衛生環境	小坂井西	水道水の安全・安定供給	ごみ処理対策	緑・自然の豊かさ	救急体制	消防体制
	1.05	0.92	0.87	0.82	0.74		1.03	0.78	0.69	0.66	0.60

※網掛け部分は全体の満足度上位5項目以外の項目

◆ 全体評価の満足度下位 5 項目以外に「防犯対策」、「地震などに対する防災対策」、「行政のデジタル化」など

小学校区別で満足度の低い項目は、全体評価の下位 5 項目以外では、「防犯対策」が、「一宮南部」、「平尾」、「小坂井東」、「東部」、「御油」、「一宮東部」、「三蔵子」、「代田」、「八南」、「国府」、「牛久保」、「桜木」小学校区の順で低くなっている。

「地震などに対する防災対策」は、「一宮南部」、「小坂井西」、「平尾」、「長沢」、「御油」、「三蔵子」、「桜町」小学校区の順で低くなっている。

「行政のデジタル化」は、「千両」、「平尾」、「豊」、「御油」、「八南」、「一宮西部」、「三蔵子」小学校区の順で低くなっている。

「経済的な自立支援」は、「千両」、「平尾」、「御津北部」、「金屋」、「桜町」、「桜木」小学校区の順で低くなっている。

「道路、橋などの適正な維持管理」は、「小坂井東」、「小坂井西」、「御津南部」、「天王」、「一宮東部」小学校区の順で低くなっている。【図表 148】

図表 148 小学校区別評価 満足度下位 5 項目

小学校区	満足度 下位5項目						小学校区	満足度 下位5項目					
豊川	歩行者に 対するの 道路の安全性	若者への支援	道路の 整備状況	観光の振興	公共交通 機関の利便性	中心市街地の 活性化	千両	公共交通 機関の利便性	行政の デジタル化	歩行者に 対するの 道路の安全性	経済的な 自立支援	雇用の安定・ 勤労者支援	
	-0.08	0.05	0.05	0.10	0.11	0.11		-0.89	-0.43	-0.33	-0.25	-0.21	
桜木	歩行者に 対するの 道路の安全性	道路の 整備状況	経済的な 自立支援	防犯対策	若者への支援	中心市街地の 活性化	八南	公共交通 機関の利便性	歩行者に 対するの 道路の安全性	観光の振興	行政の デジタル化	防犯対策	若者への支援
	-0.06	0.06	0.13	0.14	0.17	0.17		-0.14	-0.11	-0.04	-0.03	-0.01	-0.01
豊	歩行者に 対するの 道路の安全性	行政の デジタル化	観光の振興	中心市街地の 活性化	職員の 定員適正化		平尾	歩行者に 対するの 道路の安全性	公共交通 機関の利便性	行政の デジタル化	防犯対策	地震などに 対する 防災対策	経済的な 自立支援
	-0.16	-0.13	-0.09	-0.06	-0.04			-0.30	-0.24	-0.22	-0.20	-0.13	-0.13
東部	歩行者に 対するの 道路の安全性	中心市街地の 活性化	観光の振興	公共交通 機関の利便性	防犯対策		一宮東部	公共交通 機関の利便性	道路の 整備状況	防犯対策	歩行者に 対するの 道路の安全性	公共施設の 適正配置	道路、橋など の適正な 維持管理
	-0.28	-0.16	-0.16	-0.14	-0.12			-0.26	-0.19	-0.09	-0.05	-0.05	-0.05
金屋	歩行者に 対するの 道路の安全性	経済的な 自立支援	観光の振興	中心市街地の 活性化	障害者福祉	健全な 財政運営	一宮西部	歩行者に 対するの 道路の安全性	公共交通 機関の利便性	行政の デジタル化	若者への支援	中心市街地の 活性化	東三河広域 連合の活用
	-0.05	0.01	0.01	0.06	0.10	0.10		-0.21	-0.19	-0.03	0.00	0.00	0.00
三蔵子	公共交通 機関の利便性	歩行者に 対するの 道路の安全性	防犯対策	地震などに 対する 防災対策	行政の デジタル化		一宮南部	公共交通 機関の利便性	防犯対策	地震などに 対する 防災対策	道路の 整備状況	歩行者に 対するの 道路の安全性	
	-0.42	-0.27	-0.05	-0.03	-0.01			-0.60	-0.37	-0.34	-0.32	-0.23	
桜町	歩行者に 対するの 道路の安全性	公共交通 機関の利便性	地震などに 対する 防災対策	道路の 整備状況	経済的な 自立支援		赤坂	公共交通 機関の利便性	歩行者に 対するの 道路の安全性	観光の振興	中心市街地の 活性化	日用品などの 買い物の 利便性	
	-0.21	-0.17	0.05	0.09	0.10			-0.34	-0.33	-0.27	-0.24	-0.22	
代田	歩行者に 対するの 道路の安全性	観光の振興	道路の 整備状況	中心市街地の 活性化	防犯対策		長沢	道路の 整備状況	地震などに 対する 防災対策	観光の振興	日用品などの 買い物の 利便性	歩行者に 対するの 道路の安全性	公共交通 機関の利便性
	-0.24	-0.16	-0.12	-0.10	-0.03			-0.18	-0.10	-0.10	-0.07	-0.05	-0.05
中部	歩行者に 対するの 道路の安全性	中心市街地の 活性化	観光の振興	公共交通 機関の利便性	道路の 整備状況		萩	公共交通 機関の利便性	道路の 整備状況	日用品などの 買い物の 利便性	歩行者に 対するの 道路の安全性	商業の振興	
	-0.20	-0.11	-0.09	-0.05	-0.02			-1.00	-0.40	-0.30	-0.20	-0.20	
牛久保	歩行者に 対するの 道路の安全性	道路の 整備状況	防犯対策	中心市街地の 活性化	農業の振興		御津南部	公共交通 機関の利便性	歩行者に 対するの 道路の安全性	道路の 整備状況	道路、橋など の適正な 維持管理	交通安全対策	
	-0.07	-0.04	0.05	0.08	0.09			-0.47	-0.46	-0.25	-0.13	-0.11	
天王	歩行者に 対するの 道路の安全性	道路の 整備状況	公共交通 機関の利便性	高齢者福祉	道路、橋など の適正な 維持管理		御津北部	公共交通 機関の利便性	道路の 整備状況	中心市街地の 活性化	歩行者に 対するの 道路の安全性	経済的な 自立支援	
	-0.42	-0.24	-0.15	-0.09	-0.09			-0.32	-0.29	-0.20	-0.15	-0.10	
国府	歩行者に 対するの 道路の安全性	観光の振興	中心市街地の 活性化	防犯対策	公共交通 機関の利便性		小坂井東	歩行者に 対するの 道路の安全性	道路の 整備状況	道路、橋など の適正な 維持管理	防犯対策	観光の振興	
	-0.31	-0.14	-0.04	0.02	0.04			-0.51	-0.41	-0.18	-0.13	-0.10	
御油	歩行者に 対するの 道路の安全性	防犯対策	地震などに 対する 防災対策	行政の デジタル化	交通安全対策		小坂井西	歩行者に 対するの 道路の安全性	道路の 整備状況	地震などに 対する 防災対策	道路、橋など の適正な 維持管理	中心市街地の 活性化	観光の振興
	-0.20	-0.11	-0.08	-0.07	-0.05			-0.59	-0.50	-0.31	-0.18	-0.17	-0.17

※網掛け部分は全体の満足度下位 5 項目以外の項目

◆ 全体評価の重要度上位5項目以外に「交通安全対策」、「子どもを生み、育てる環境」、「消防体制」など

小学校区別で重要度の高い項目は、全体評価の上位5項目以外では、「交通安全対策」で、「千両」、「一宮東部」、「御油」、「東部」、「金屋」、「平尾」、「一宮南部」、「八南」小学校区の順で高くなっている。

「子どもを生み、育てる環境」は、「千両」、「赤坂」、「三蔵子」、「桜町」、「八南」小学校区の順で高くなっている。

「消防体制」は、「一宮東部」、「小坂井西」、「長沢」、「萩」、「天王」小学校区の順で高くなっている。【図表 149】

図表 149 小学校区別評価 重要度上位5項目

小学校区	重要度 上位5項目							小学校区	重要度 上位5項目						
豊川	水道水の安全・安定供給	歩行者にとっての道路の安全性	地震などに対する防災対策	防犯対策	救急体制			千両	地震などに対する防災対策	子どもを生み、育てる環境	交通安全対策	歩行者にとっての道路の安全性	防犯対策	日用品などの買い物の利便性	
	1.60	1.55	1.51	1.50	1.50				1.72	1.61	1.59	1.57	1.57	1.57	
桜木	地震などに対する防災対策	救急体制	水道水の安全・安定供給	医療環境	歩行者にとっての道路の安全性			八南	地震などに対する防災対策	歩行者にとっての道路の安全性	防犯対策	子どもを生み、育てる環境	交通安全対策		
	1.56	1.50	1.49	1.46	1.45				1.54	1.48	1.43	1.43	1.42		
豊	地震などに対する防災対策	救急体制	歩行者にとっての道路の安全性	医療環境	水道水の安全・安定供給			平尾	水道水の安全・安定供給	地震などに対する防災対策	歩行者にとっての道路の安全性	交通安全対策	救急体制		
	1.57	1.49	1.48	1.43	1.42				1.54	1.52	1.51	1.50	1.49		
東部	水道水の安全・安定供給	歩行者にとっての道路の安全性	地震などに対する防災対策	交通安全対策	救急体制	医療環境		一宮東部	交通安全対策	地震などに対する防災対策	水道水の安全・安定供給	救急体制	消防体制		
	1.57	1.56	1.55	1.53	1.51	1.51			1.57	1.57	1.56	1.54	1.53		
金屋	地震などに対する防災対策	水道水の安全・安定供給	救急体制	交通安全対策	歩行者にとっての道路の安全性	防犯対策	医療環境	一宮西部	水道水の安全・安定供給	医療環境	地震などに対する防災対策	救急体制	歩行者にとっての道路の安全性		
	1.64	1.58	1.54	1.52	1.49	1.49	1.49		1.52	1.52	1.51	1.49	1.42		
三蔵子	地震などに対する防災対策	救急体制	子どもを生み、育てる環境	医療環境	水道水の安全・安定供給			一宮南部	救急体制	防犯対策	医療環境	地震などに対する防災対策	交通安全対策		
	1.51	1.51	1.50	1.49	1.48				1.64	1.62	1.56	1.50	1.44		
桜町	地震などに対する防災対策	救急体制	歩行者にとっての道路の安全性	水道水の安全・安定供給	子どもを生み、育てる環境			赤坂	医療環境	子どもを生み、育てる環境	水道水の安全・安定供給	地震などに対する防災対策	防犯対策		
	1.60	1.53	1.51	1.48	1.43				1.63	1.55	1.45	1.43	1.41		
代田	防犯対策	地震などに対する防災対策	水道水の安全・安定供給	救急体制	歩行者にとっての道路の安全性	医療環境		長沢	地震などに対する防災対策	救急体制	防犯対策	消防体制	医療環境		
	1.54	1.54	1.53	1.49	1.43	1.43			1.68	1.63	1.50	1.45	1.45		
中部	地震などに対する防災対策	救急体制	水道水の安全・安定供給	歩行者にとっての道路の安全性	医療環境			萩	地震などに対する防災対策	公共交通機関の利便性	防犯対策	消防体制	救急体制	ごみ処理対策	
	1.55	1.47	1.47	1.46	1.46				1.61	1.60	1.56	1.42	1.42	1.42	
牛久保	地震などに対する防災対策	水道水の安全・安定供給	救急体制	防犯対策	歩行者にとっての道路の安全性	医療環境		御津南部	地震などに対する防災対策	防犯対策	医療環境	歩行者にとっての道路の安全性	水道水の安全・安定供給		
	1.56	1.55	1.50	1.46	1.42	1.42			1.59	1.49	1.49	1.48	1.47		
天王	地震などに対する防災対策	医療環境	救急体制	水道水の安全・安定供給	消防体制			御津北部	救急体制	歩行者にとっての道路の安全性	水道水の安全・安定供給	防犯対策	地震などに対する防災対策		
	1.56	1.51	1.47	1.45	1.40				1.61	1.57	1.55	1.49	1.49		
国府	地震などに対する防災対策	医療環境	防犯対策	水道水の安全・安定供給	歩行者にとっての道路の安全性			小坂井東	歩行者にとっての道路の安全性	地震などに対する防災対策	水道水の安全・安定供給	防犯対策	救急体制		
	1.56	1.55	1.52	1.51	1.50				1.59	1.57	1.57	1.50	1.50		
御油	救急体制	地震などに対する防災対策	交通安全対策	防犯対策	水道水の安全・安定供給			小坂井西	地震などに対する防災対策	救急体制	歩行者にとっての道路の安全性	水道水の安全・安定供給	消防体制	医療環境	
	1.72	1.66	1.54	1.54	1.54				1.58	1.51	1.47	1.47	1.46	1.46	

※網掛け部分は全体の重要度上位5項目以外の項目

◆ 全体評価の強化が望まれている優先度上位5項目以外に「公共交通機関の利便性」、「道路、橋などの適正な維持管理」、「日用品などの買い物の利便性」、「雇用の安定・勤労者支援」など

小学校区別で強化が望まれている優先度の高い項目は、全体評価の上位5項目以外では、「公共交通機関の利便性」は、「萩」、「千両」、「赤坂」、「一宮南部」、「三蔵子」、「御津北部」、「御津南部」、「一宮東部」、「平尾」、「一宮西部」、「国府」、「八南」、「豊」、「豊川」、「桜町」小学校区の順で高くなっている。

「道路、橋などの適正な維持管理」は、「御津南部」、「天王」、「一宮東部」、「小坂井西」、「御津北部」、「牛久保」、「八南」、「桜木」小学校区の順で高くなっている。

「日用品などの買い物の利便性」は、「千両」、「萩」、「赤坂」、「長沢」小学校区の順、「雇用の安定・勤労者支援」は、「千両」、「平尾」、「豊」、「金屋」小学校区の順、「子どもを生み、育てる環境」は、「萩」、「八南」小学校区の順で高くなっている。【図表 150】

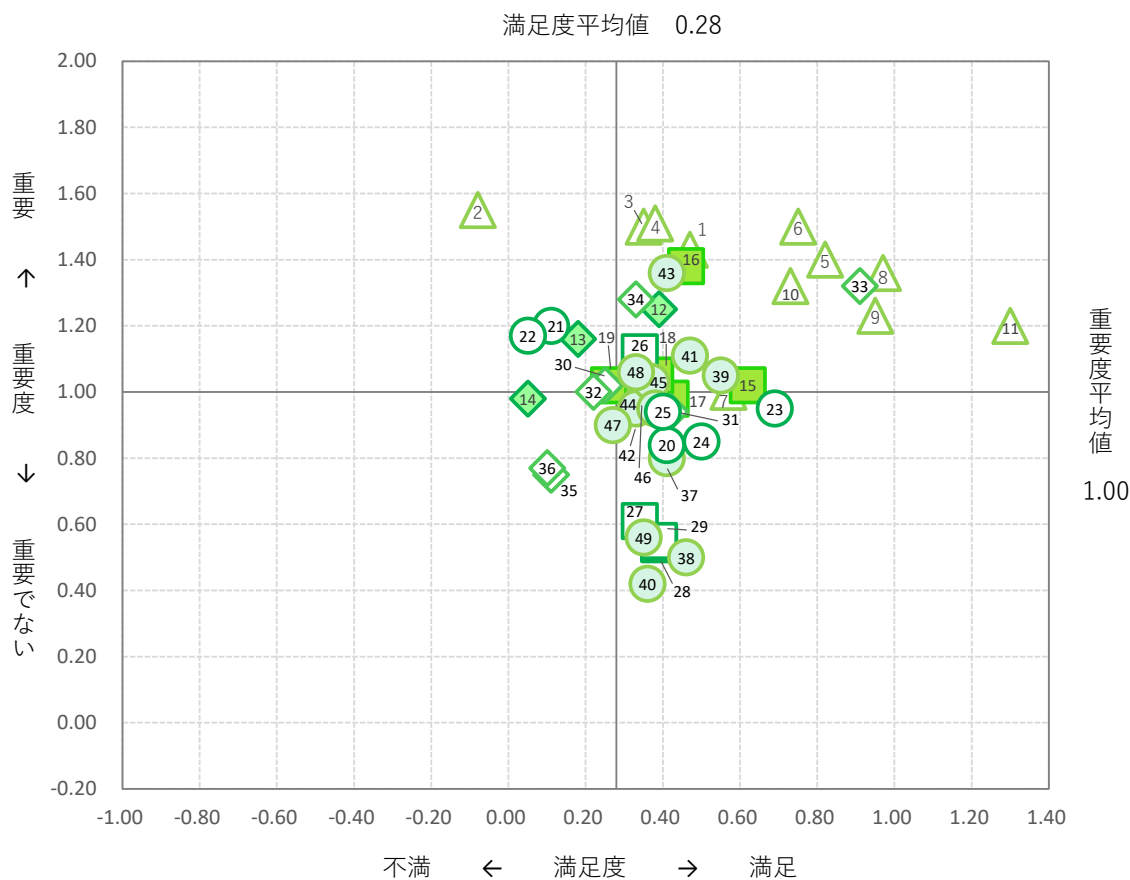
図表 150 小学校区別評価 優先度上位5項目

小学校区	優先度 上位5項目						小学校区	優先度 上位5項目							
豊川	歩行者に 対する 道路の安全性	防犯対策	地震などに 対する 防災対策	道路の 整備状況	公共交通 機関の利便性		千両	公共交通 機関の利便性	歩行者に 対する 道路の安全性	日用品などの 買い物の 利便性	雇用の安定・ 勤労者支援	防犯対策			
	1.63	1.15	1.13	1.12	1.09			2.35	1.90	1.71	1.67	1.57			
桜木	歩行者に 対する 道路の安全性	地震などに 対する 防災対策	防犯対策	道路の 整備状況	道路、橋など の適正な 維持管理	交通安全対策	八南	歩行者に 対する 道路の安全性	防犯対策	地震などに 対する 防災対策	交通安全対策	公共交通 機関の利便性	道路、橋など の適正な 維持管理	子どもを 生み、育てる 環境	健全な 財政運営
	1.51	1.30	1.28	1.19	1.05	1.05		1.59	1.44	1.41	1.28	1.14	1.14	1.14	1.14
豊	歩行者に 対する 道路の安全性	地震などに 対する 防災対策	防犯対策	交通安全対策	公共交通 機関の利便性	雇用の安定・ 勤労者支援	平尾	歩行者に 対する 道路の安全性	防犯対策	地震などに 対する 防災対策	雇用の安定・ 勤労者支援	公共交通 機関の利便性			
	1.64	1.46	1.24	1.16	1.13	1.13		1.81	1.68	1.65	1.37	1.36			
東部	歩行者に 対する 道路の安全性	防犯対策	地震などに 対する 防災対策	交通安全対策	農業の振興		一宮東部	防犯対策	歩行者に 対する 道路の安全性	公共交通 機関の利便性	道路、橋など の適正な 維持管理	道路の 整備状況			
	1.84	1.60	1.57	1.43	1.19			1.56	1.54	1.44	1.42	1.42			
金屋	歩行者に 対する 道路の安全性	地震などに 対する 防災対策	防犯対策	交通安全対策	雇用の安定・ 勤労者支援		一宮西部	歩行者に 対する 道路の安全性	地震などに 対する 防災対策	公共交通 機関の利便性	防犯対策	交通安全対策			
	1.54	1.40	1.20	1.19	1.13			1.63	1.44	1.35	1.34	1.21			
三蔵子	公共交通 機関の利便性	歩行者に 対する 道路の安全性	地震などに 対する 防災対策	防犯対策	交通安全対策		一宮南部	防犯対策	地震などに 対する 防災対策	公共交通 機関の利便性	歩行者に 対する 道路の安全性	交通安全対策			
	1.61	1.56	1.54	1.49	1.32			1.99	1.84	1.69	1.64	1.61			
桜町	歩行者に 対する 道路の安全性	地震などに 対する 防災対策	交通安全対策	防犯対策	公共交通 機関の利便性		赤坂	公共交通 機関の利便性	地震などに 対する 防災対策	歩行者に 対する 道路の安全性	防犯対策	日用品などの 買い物の 利便性			
	1.72	1.55	1.26	1.26	1.09			1.71	1.64	1.61	1.61	1.50			
代田	歩行者に 対する 道路の安全性	防犯対策	地震などに 対する 防災対策	交通安全対策	道路の 整備状況		長沢	地震などに 対する 防災対策	道路の 整備状況	歩行者に 対する 道路の安全性	防犯対策	日用品などの 買い物の 利便性			
	1.67	1.57	1.53	1.20	1.16			1.78	1.57	1.42	1.37	1.27			
中部	歩行者に 対する 道路の安全性	地震などに 対する 防災対策	防犯対策	交通安全対策	道路の 整備状況		萩	公共交通 機関の利便性	日用品などの 買い物の 利便性	道路の 整備状況	子どもを 生み、育てる 環境	地震などに 対する 防災対策			
	1.66	1.50	1.30	1.19	1.16			2.60	1.65	1.65	1.55	1.51			
牛久保	歩行者に 対する 道路の安全性	地震などに 対する 防災対策	防犯対策	道路の 整備状況	道路、橋など の適正な 維持管理		御津南部	歩行者に 対する 道路の安全性	地震などに 対する 防災対策	公共交通 機関の利便性	道路、橋など の適正な 維持管理	防犯対策			
	1.49	1.44	1.41	1.25	1.18			1.94	1.64	1.59	1.54	1.50			
天王	歩行者に 対する 道路の安全性	地震などに 対する 防災対策	防犯対策	道路、橋など の適正な 維持管理	道路の 整備状況		御津北部	歩行者に 対する 道路の安全性	道路の 整備状況	公共交通 機関の利便性	道路、橋など の適正な 維持管理	防犯対策			
	1.81	1.53	1.42	1.42	1.40			1.72	1.63	1.61	1.32	1.26			
国府	歩行者に 対する 道路の安全性	防犯対策	地震などに 対する 防災対策	交通安全対策	公共交通 機関の利便性		小坂井東	歩行者に 対する 道路の安全性	道路の 整備状況	防犯対策	地震などに 対する 防災対策	交通安全対策			
	1.81	1.50	1.48	1.25	1.24			2.10	1.71	1.63	1.62	1.39			
御油	地震などに 対する 防災対策	歩行者に 対する 道路の安全性	防犯対策	交通安全対策	道路の 整備状況		小坂井西	歩行者に 対する 道路の安全性	地震などに 対する 防災対策	道路の 整備状況	防犯対策	道路、橋など の適正な 維持管理			
	1.74	1.72	1.65	1.59	1.28			2.06	1.89	1.72	1.40	1.39			

※網掛け部分は全体の優先度上位5項目以外の項目

図表 151 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(1)

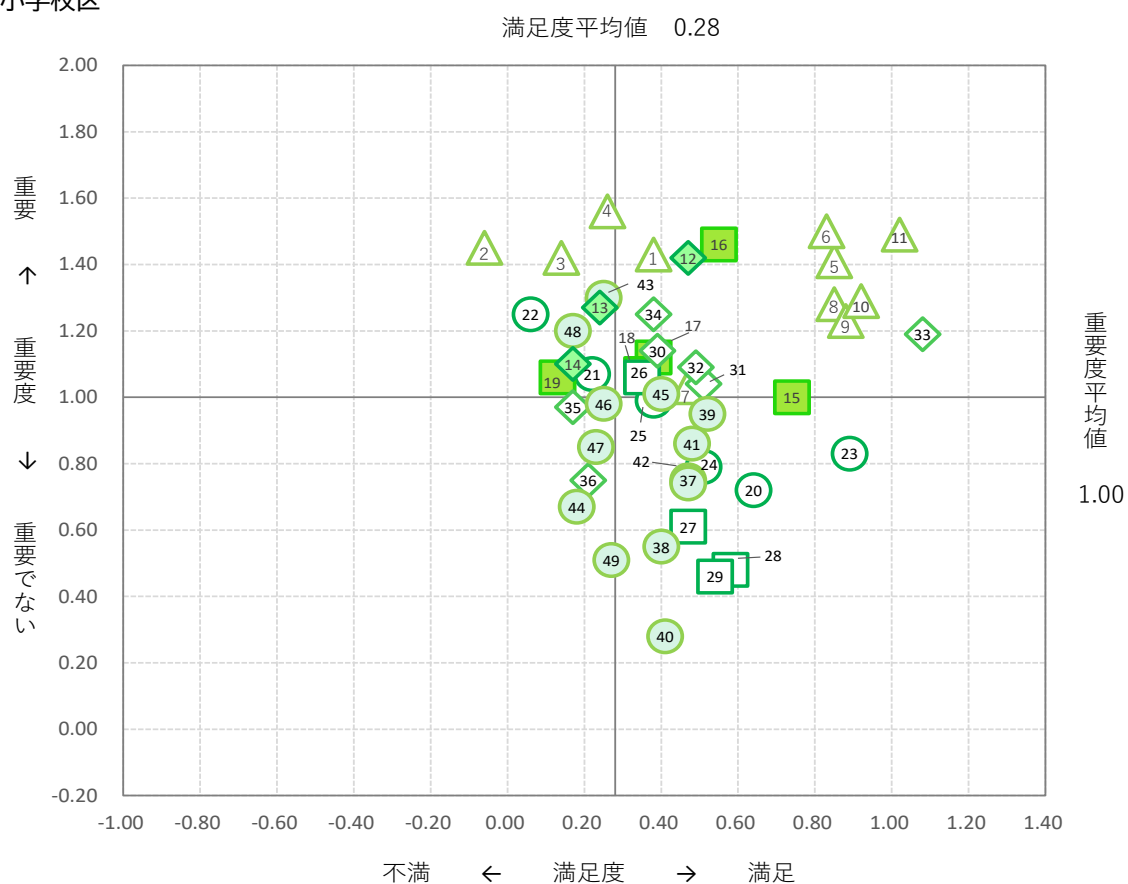
○豊川小学校区



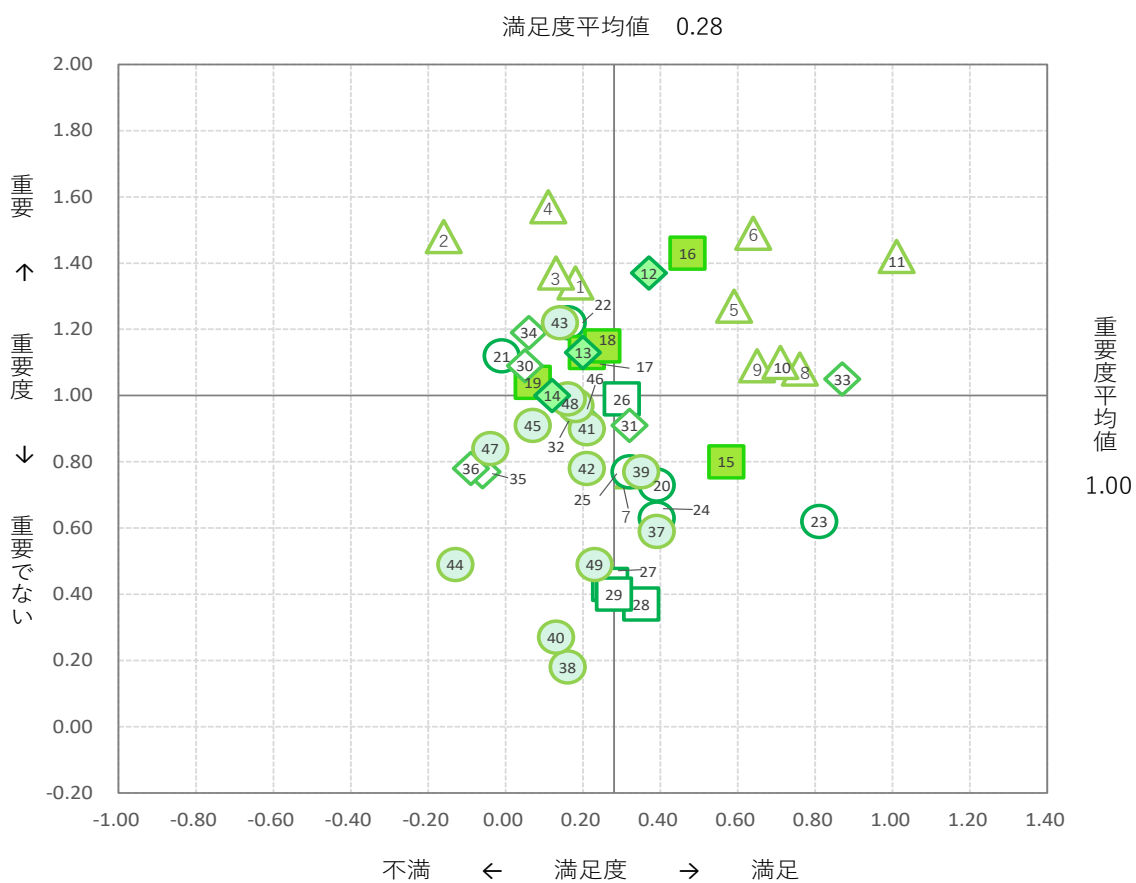
凡 例									
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	20	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係	
	2	歩行者にとっての道路の安全性		21	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画	
	3	防犯対策		22	道路の整備状況		39	人権の尊重	
	4	地震などに対する防災対策		23	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生	
	5	消防体制		24	公園の状況		41	市からの情報提供・公表	
	6	救急体制		25	河川の状況		42	公共施設の適正配置	
	7	地球環境の保全	□ 教育・文化	26	学校の指導や取り組み		43	道路、橋などの適正な維持管理	
	8	ごみ処理対策		27	生涯学習の取り組み		44	行政のデジタル化	
	9	生活における衛生環境		28	スポーツの振興		45	行政サービス	
	10	生活排水対策		29	文化芸術の振興		46	職員の資質向上	
	11	水道水の安全・安定供給		30	農業の振興		47	職員の定員適正化	
◇ 子ども・若者	12	子どもを生み、育てる環境	◇ 産業・雇用	31	工業の振興	48	健全な財政運営		
	13	青少年の育成・支援		32	商業の振興	49	東三河広域連合の活用		
	14	若者への支援		33	日用品などの買い物の利便性				
■ 健康・福祉	15	健康づくり		34	雇用の安定・勤労者支援				
	16	医療環境		35	中心市街地の活性化				
	17	高齢者福祉		36	観光の振興				
	18	障害者福祉							
	19	経済的な自立支援							

図表 152 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(2)

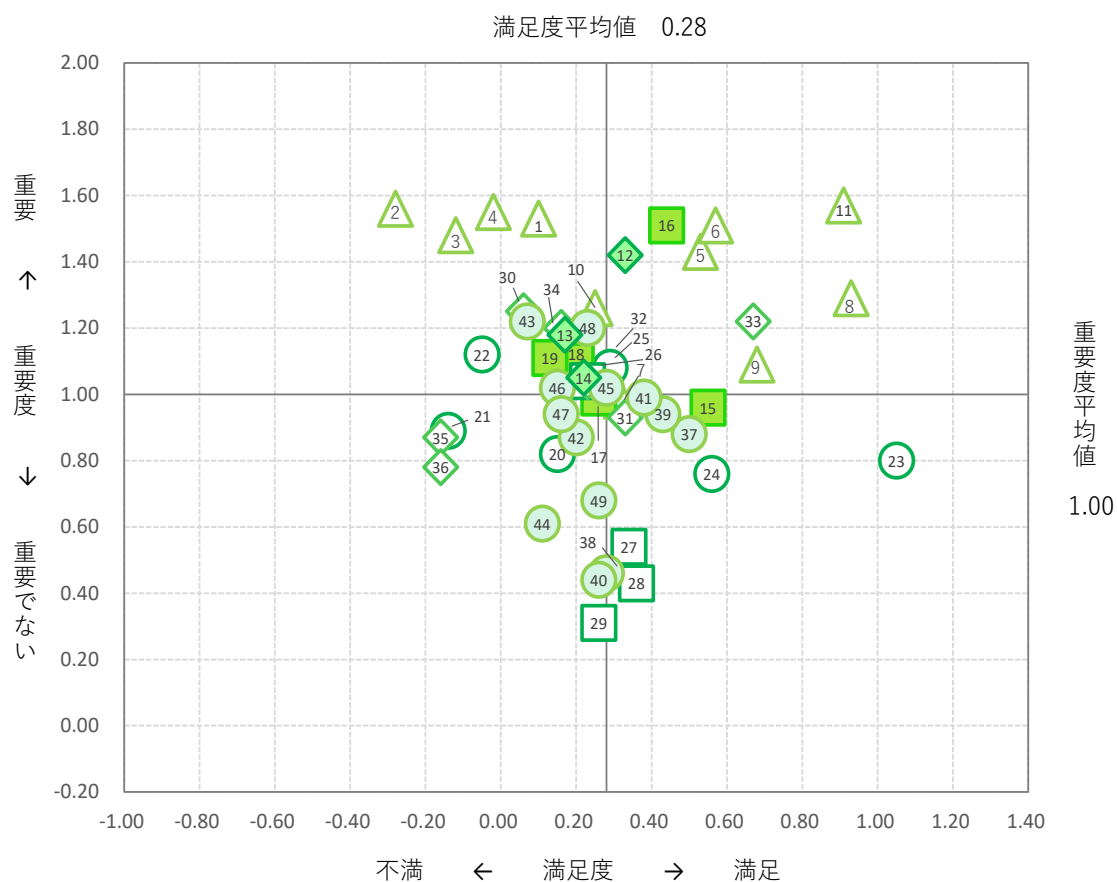
○桜木小学校区



○豊小学校区



○東部小学校区



凡 例									
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	20	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	● 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係	
	2	歩行者にとっての道路の安全性		21	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画	
	3	防犯対策		22	道路の整備状況		39	人権の尊重	
	4	地震などに対する防災対策		23	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生	
	5	消防体制		24	公園の状況		41	市からの情報提供・公表	
	6	救急体制		25	河川の状況		42	公共施設の適正配置	
	7	地球環境の保全	□ 教育・文化	26	学校の指導や取り組み		43	道路、橋などの適正な維持管理	
	8	ごみ処理対策		27	生涯学習の取り組み		44	行政のデジタル化	
	9	生活における衛生環境		28	スポーツの振興		45	行政サービス	
	10	生活排水対策		29	文化芸術の振興		46	職員の資質向上	
	11	水道水の安全・安定供給		30	農業の振興		47	職員の定員適正化	
◆ 子ども・若者	12	子どもを生み、育てる環境	◇ 産業・雇用	31	工業の振興	48	健全な財政運営		
	13	青少年の育成・支援		32	商業の振興	49	東三河広域連合の活用		
	14	若者への支援		33	日用品などの買い物の利便性				
■ 健康・福祉	15	健康づくり		34	雇用の安定・勤労者支援				
	16	医療環境		35	中心市街地の活性化				
	17	高齢者福祉		36	観光の振興				
	18	障害者福祉							
	19	経済的な自立支援							